

HDL2-AAシリーズ

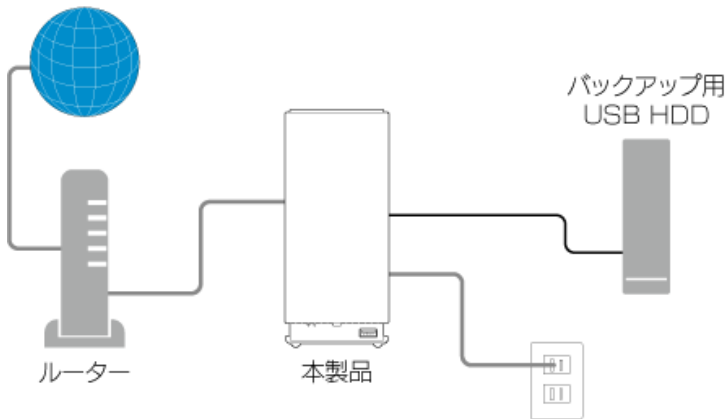
ネットワーク接続ハードディスク（NAS）

パッケージ（追加機能）については

[パッケージ（追加機能）取扱説明書](#)をご覧ください。

おすすめの使用環境

インターネット



■ インターネット

インターネットにつながると、本製品のファームウェアやパッケージ（追加機能）を自動更新できます。

■ バックアップ用USB HDD

バックアップ機能を使い、重要なデータを履歴差分バックアップします。

[対応USB HDD](#)

本製品のおすすめ設定

[履歴差分バックアップ](#)

バックアップした時点でのファイルやフォルダーの構造が日付ごとに丸ごと残ります。

ファイルを間違って消したり更新してしまった場合に、日付を指定して復元することができます。

また、フルバックアップとは違い、アイオー独自の差分バックアップ方式を使っているので、容量は最小ですみます。

[起動スケジュール設定](#)

使用する時間帯が決まっている場合は、本製品が利用されていない時間の消費電力を抑えられるだけでなく、可動部分の消耗による故障の低減につながります。

[ファームウェアの自動更新](#)

ファームウェアの更新（アップデート）には、新しい機能の追加のほかにも本製品の修正など、重要な更新が含まれます。常に最新の状態でご利用いただくためにファームウェアの自動更新をご利用ください。

出荷時：有効（そのままご利用いただけます。）

[パッケージ（機能追加）](#)

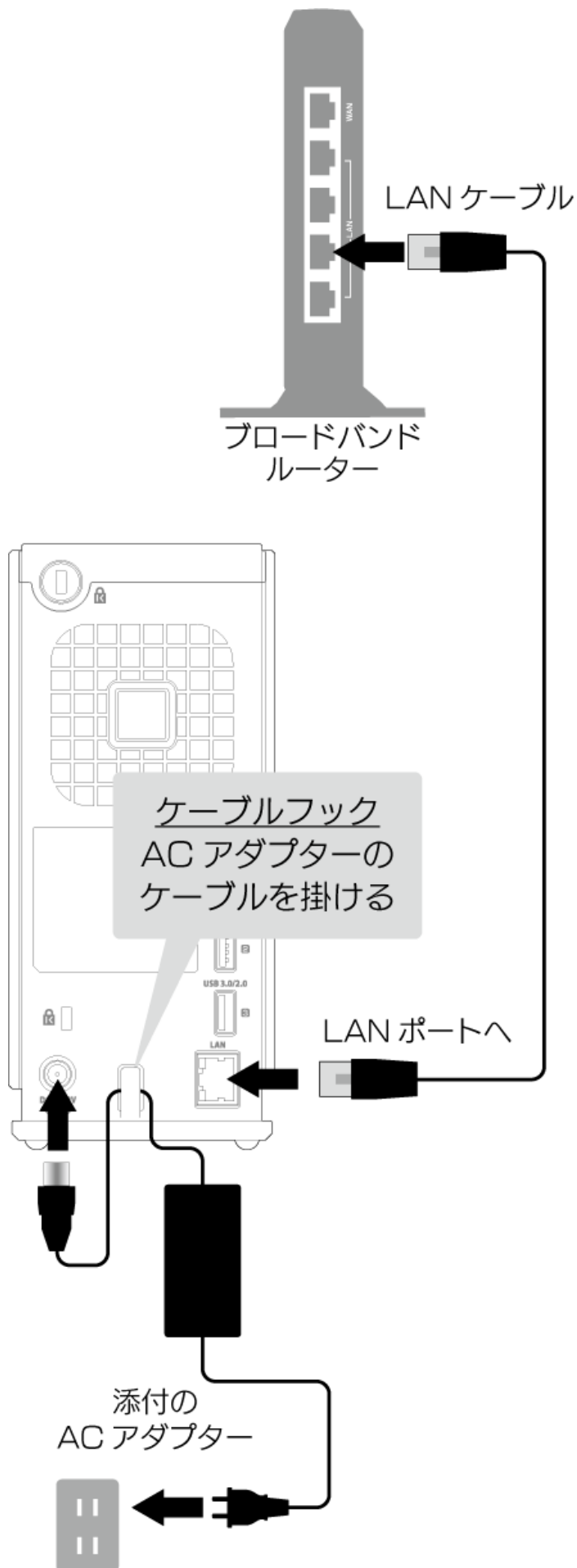
本製品の機能をアドオンパッケージにて拡張することができます。

設置する

本製品をネットワークに設置します。

1. ネットワーク内のルーターなどが正常に動作していることを確認する

2. ①添付のLANケーブルで、本製品とルーターをつなぐ
②添付のACアダプターをつなぐ



ご注意

必ずLANケーブルを先に接続してください。

LANケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

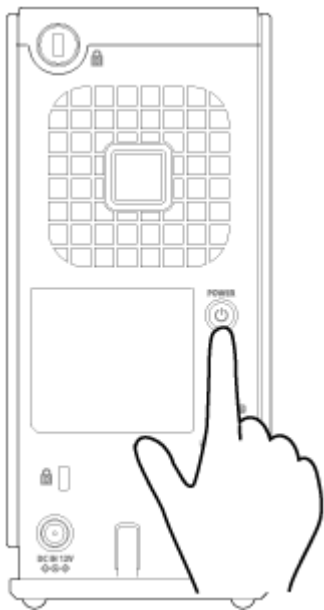
電源を入れる、切る

[電源を入れる](#)

[電源を切る](#)

電源を入れる

1. 背面の電源ボタンを押す



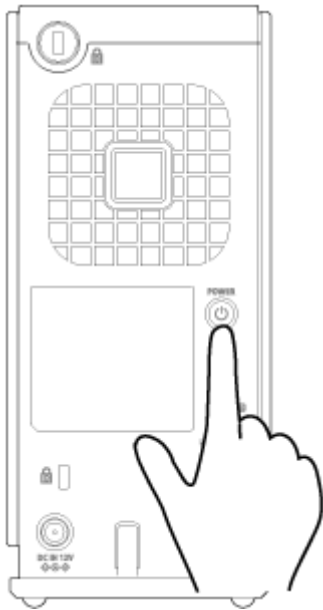
2. 「ピー」と音が鳴ったことを確認する

これで電源が入りました。

電源を切る

1. 背面の電源ボタンを「ピッ」と音になるまで押し続ける

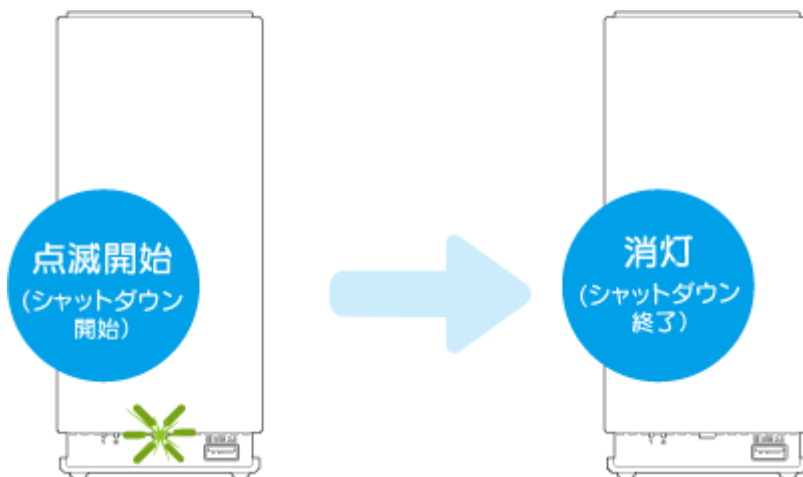
※ 誤操作防止のため、軽く押してすぐに離しただけでは動作しないようになっています。



→前面ランプが緑点滅します。

2. 電源が切れるまで待つ

しばらくすると前面ランプが消灯し、自動的に電源が切れます。



ご注意

ランプが消える前に、絶対に電源ケーブルを抜かないください。故障の原因になります。

長期間使用しない場合

電源コードをコンセントから外しておくことをおすすめします。

導入用ソフトをインストールする

[LAN DISKコネクトをインストールする（Windowsのみ）](#)

[Magical Finderをインストールする（Windows/macOS）](#)

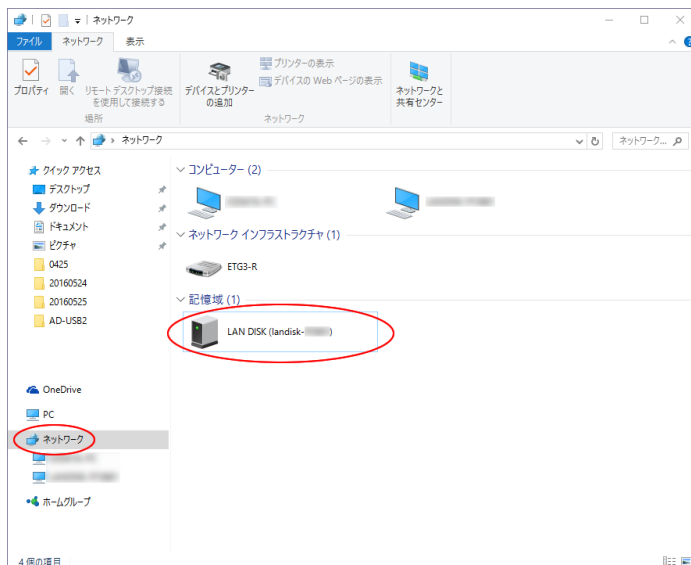
LAN DISKコネクトをインストールする（Windowsのみ）

1.  をクリック

※LAN DISKコネクトをインストール済みの場合は、[設定画面を開く](#)からご覧ください。



2. ① [ネットワーク] をクリック
②記憶域の [LANDISK-XXXXXX] をダブルクリック



※「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と表示された場合は、再度アイコンをダブルクリックしてください。

「記憶域」や [LANDISK-xxxxxx] が表示されない場合

- 画面内の白いところを右クリックし、[グループで表示] → [カテゴリ] をクリックする または、[最新の情報に更新] をクリックする
- セキュリティソフトのファイアウォール機能を一時的に解除する
- 画面上部にネットワーク探索が無効と表示された場合は有効にする

LAN DISKコネクトをダウンロードする方法

以下の弊社Webページ「サポートライブラリ」からLAN DISKコネクトをダウンロードしてインストールできます。

<http://www.iodata.jp/r/5160>

3. [セットアップスタート] をクリック

LAN DISK

かんたんセットアップ

パソコンから本製品の共有フォルダーを開くためのセットアップを行います

セットアップスタート

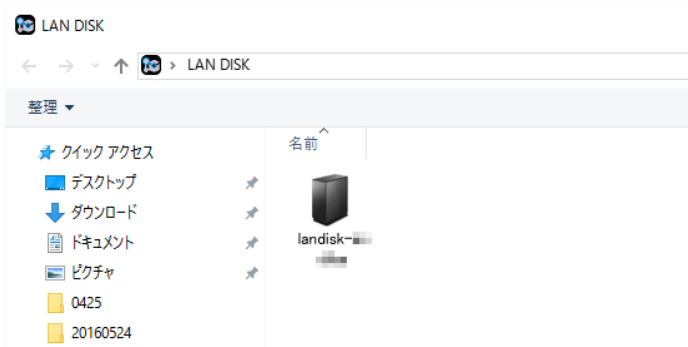
ダウンロードされるファイルを実行してください

4. 画面下に表示された「実行」をクリック



5. [LANDISK-xxxxxx] が開く

⇒LAN DISKコネクタはインストールされました。



上のウィンドウが表示されない

他のウィンドウに隠れていないかご確認ください。

これでインストールは完了です。

Magical Finderをインストールする（Windows/macOS）

かんたんIPアドレス設定ツール「Magical Finder」は、弊社Webページ「サポートライブラリ」からダウンロードし、インストールしてください。

Windows版 <http://www.iodata.jp/r/3022>

macOS版 <http://www.iodata.jp/r/2118>

設定画面を開く

[LAN DISKコネクトで開く（Windowsのみ）](#)

[Magical Finderで開く（Windows/macOS）](#)

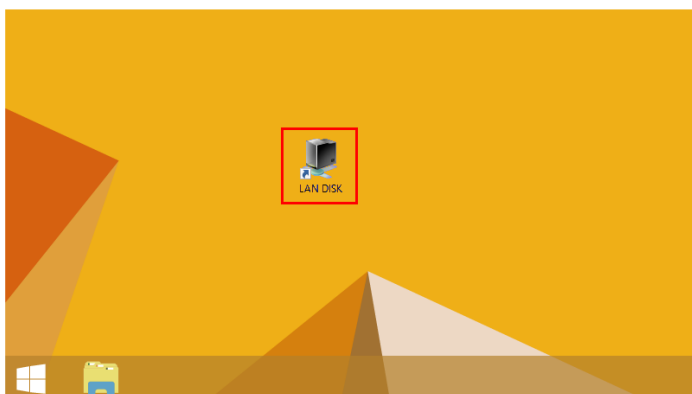
事前に導入用ソフトをインストールしてください。

[LAN DISKコネクトをインストールする（Windowsのみ）](#)

[Magical Finderをインストールする（Windows/macOS）](#)

LAN DISKコネクトで開く（Windowsのみ）

1. デスクトップ上の [LAN DISK] をダブルクリック



2. [LANDISK-xxxxxx] を右クリックして、[設定画面を開く] をクリック

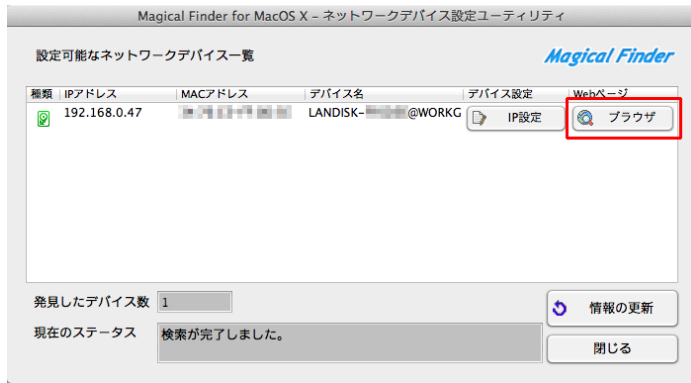


これで設定画面が開きます。

Magical Finderで開く（Windows/macOS）

1. Magical Finderを起動する

2. [ブラウザ] をクリック



これで設定画面が開きます。

はじめて設定画面を開く場合

はじめて設定画面を開いた時は、最初に管理者パスワードを設定し、初期設定へ進みます。
※初期設定の内容は、後で変更できます。

1. 何も入力せずに、[ログイン] をクリック

●マニュアル

LAN DISK

管理者パスワード

ログイン

ユーザーパスワード設定

© I-O DATA DEVICE, INC.

【ユーザーパスワード設定】

本製品に登録したユーザーのパスワードを変更する際にクリックします。

※ 管理者パスワードは変更できません。

2. ①管理者パスワードを2回入力
※ 4 ～ 20 文字（半角英数記号）
② [適用] をクリック

管理者パスワードは 4 文字以上 20 文字以下の半角英数記号で設定してください。
管理者としてログインすると、全ての共有フォルダーへのアクセスが可能になり、装置の設定変更が可能になります。管理者パスワードの取り扱いには十分ご注意ください。また、定期的に変更してください。

管理者パスワード

管理者パスワード(確認)

適用

3. 必要に応じて設定する
各タブの設定は、基本的に変更しなくても利用できます。

●マニュアル | ●プロデ (開始) | ●ログアウト

LAN DISK

初期設定

省電力・電源スケジュール設定の利用を推奨します。
これにより、装置が利用されていない時間帯の消費電力を抑えられるだけでなく、可動部分の消耗低減による故障の低減につながります。
省電力・電源スケジュール設定は下記タブの「省電力」「電源スケジュール」で設定いただけます。

名前 | ネットワーク | Microsoft ネットワーク | 時刻 | 内蔵ボリューム | 省電力 | 電源スケジュール

LAN DISK の名前

landisk-

LAN DISK の説明

HDL-AA series

LAN DISK の設置場所

初期設定を保持する | 全ての設定を反映する

© I-O DATA DEVICE, INC.

タブ (項目)	内容
名前	本製品の名前、説明、設置場所を設定できます。名前を変更した場合は、ネットワーク上で表示される本製品の名前が変わります。
ネットワーク	本製品のIPアドレス設定ができます。（IPv4のみ）
Microsoft ネットワーク	本製品が参加するネットワークの設定ができます。
時刻	本製品の時刻設定ができます。
内蔵ボリューム	本製品の暗号化の設定ができます。
省電力	本製品の省電力設定ができます。

4. 設定したら、[全ての設定を反映する]をクリック

添付ソフトをインストールする

本製品の使用には必須ではありません。必要に応じてダウンロードしてください。
各ソフトウェアの使用方法については、各ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

ダウンロードできるソフトウェア

弊社Webページ「サポートライブラリ」でダウンロードできるソフトウェアは、以下のとおりです。

<http://www.iodata.jp/lib/>

※本製品の型番で探します。

■ EasySaver 4 LE

多彩な機能でカスタマイズして、バックアップを設定できます。

■ Sync with

フォルダー間を定期的に同期します。簡単なバックアップもできます。

■ LAN DISK Admin

LAN DISKを複数台導入した場合の設定を一括で管理することができます。

■ LAN DISK Restore

設定データをコピーして流用することで、複数台導入時の初期設定を省力化することができます。

■ LAN DISK Key Server

ボリュームの暗号化機能によりUSBメモリーに保存されたキーをサーバー上に保存して、このサーバーをロックキーの代わりとして利用するソフトウェアです。

本製品の起動の度にロックキーを接続する作業が不要になり、ロックキーを安全な場所に常に保存しておくことができます。

■ LAN DISK Backup Reader

本製品が故障し、専用フォーマットのUSB HDDからバックアップファイルが読み出せない場合に、パソコンからデータを読み出すことができます。

■ Sight On

メールソフト感覚の簡単操作で、ユーザーによるファイル更新を知ることができます。ファイル更新時にポップアップで通知します。

共有にアクセスする

[共有とは？](#)

[Windowsから共有にアクセスする](#)

[macOSから共有にアクセスする](#)

共有とは？

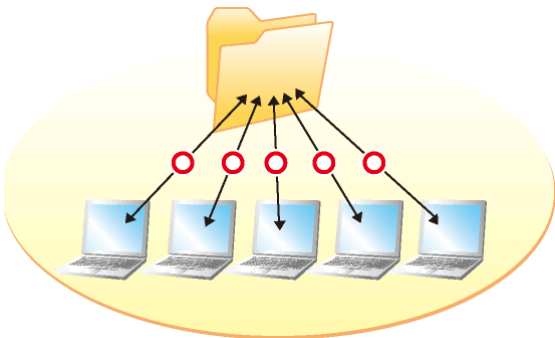
本製品や本製品につないだUSB HDDへのファイルの読み書き（アクセス）は、ネットワーク上の他の機器からおこないます。本製品に作成されている共有フォルダーを通して、ネットワークにつながっている機器からデータを共有することができます。

▼ご購入時の共有状態

※以下のフォルダーは、初期設定で管理者（admin）のみアクセスできます。

disk1	ご購入時にすでに作成されている内蔵ディスクの共有フォルダーです。
LAN DISK Log	データコピーや、バックアップなどの結果が記録されます。 ※この共有フォルダーは削除できません。
usb(xはポート番号)	本製品のUSBポートにつないだUSB HDDで、共有フォルダーが表示されます。 usb1ボリュームを共有モード（FAT/NTFS/専用）に設定時に、USB HDDを〔USBポート1〕につないだ場合は、〔usb1〕と表示されます。

▼共有フォルダーのアクセス権

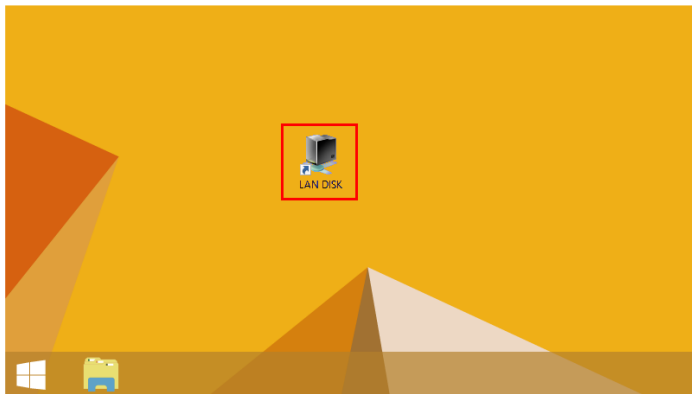
詳細アクセス権設定	各共有フォルダーに対し、ユーザー・グループごとに権限を設定することができます。
全員共有	ネットワークに接続されているすべての機器からデータの読み書きができます。 

設定方法は、[共有を追加する](#)をご覧ください。

Windowsから共有にアクセスする

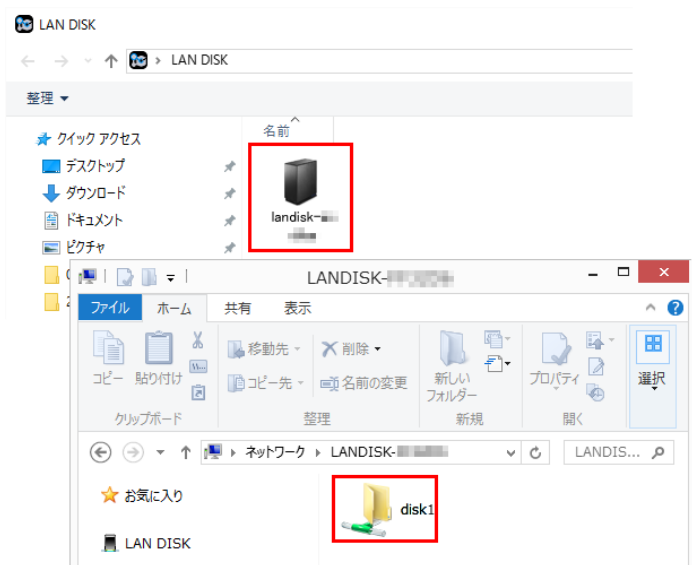
Windowsでは、「LAN DISKコネクト」を使って、本製品へアクセスします。
インストール方法は、[LAN DISKコネクトをインストールする（Windowsのみ）](#) 参照

1. デスクトップ上の [LAN DISK] をダブルクリック



2. [LANDISK-xxxxxx] → [disk1] の順にダブルクリック

※ユーザー名、パスワードを求められたら、アクセス用ユーザーのユーザー名、パスワードを入力します。



これで、データを読み書きできます。

管理者が共有にアクセスする場合

Windowsで次のログオンユーザーを作成し、Windowsにログオンすると、すべての共有フォルダーにアクセスできます。

ユーザー名	admin
パスワード	本製品の管理者パスワード

※管理者は、管理者以外の他のユーザー専用・グループ専用として作成した共有フォルダーにもアクセスできます。

※このアクセスをする場合は本製品をワークグループモードでご利用ください。ドメインモードでは、すべてのユーザーにアクセスを許可した共有フォルダーのみアクセスできます。

macOSから共有にアクセスする

macOSでは、Finderからアクセスします。

AppleShareネットワーク共有（AFP）でアクセスするには

パッケージ「AppleShare」の追加が必要です。

⇒ [パッケージの追加方法](#)

⇒ [パッケージ「AppleShare」について](#) (外部リンク)

1. Finder を開く

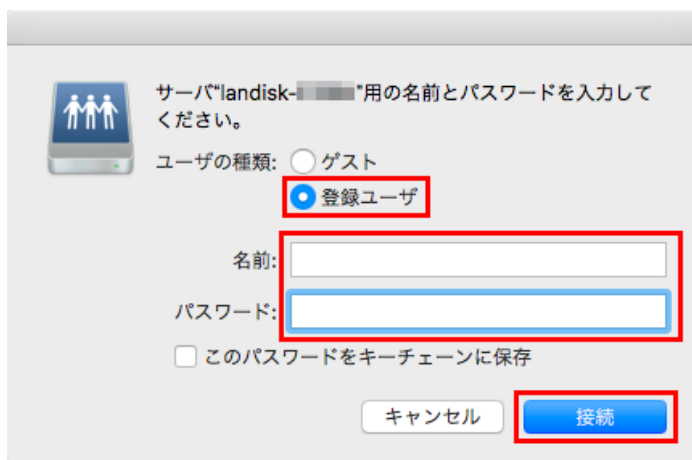
2. ①「共有」の [landisk-xxxxxx(smb)] をクリック
※ xxxxxx は、本製品のシールに記載のMAC アドレス下6 桁です。
- ② [別名で接続] をクリック



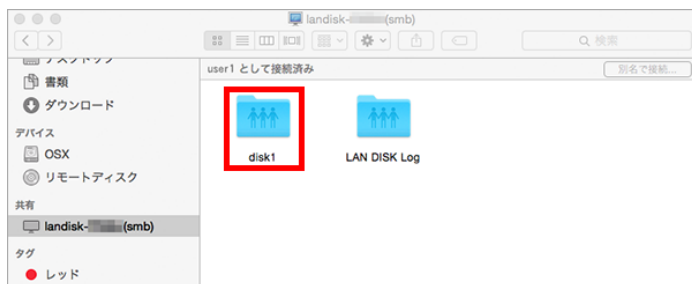
接続できない場合

本製品からLAN ケーブルを抜き、ゆっくり4 秒数えてから再びLAN ケーブルをつないでください。

3. ① [登録ユーザ] を選ぶ
- ② アクセスのためのユーザー名（名前）とパスワードを入力
- ③ [接続] をクリック
⇒ 入力したユーザーで接続されます。



4. [disk1] をダブルクリック



これで、データを読み書きできます。

NarSuS登録をする

この項目は、お使いの製品とは関連がない内容です。

ファームウェアの更新について確認する

この項目は、お使いの製品とは関連がない内容です。

Trend Micro Nas Securityを有効にする

この項目は、お使いの製品とは関連がない内容です。

共有するにあたって

アクセス権の設定例

共有フォルダー使用上のご注意

ユーザー、グループ、共有を作成する方法については、[共有を追加する](#)をご覧ください。

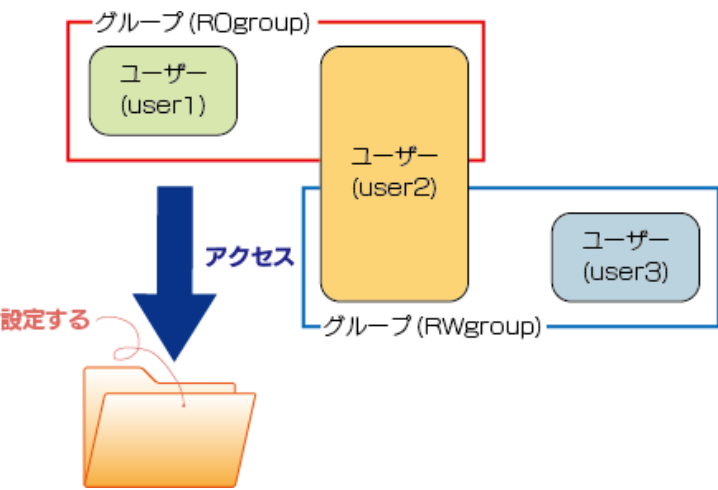
アクセス権の設定例

アクセス権限の優先順位

- アクセス権限は、「読み取り」と「読み書き」を設定できますが、「読み書き」が優先されます。
※グループとユーザーによる優先順位の違いはありません。
- 共有フォルダーを読み取り専用の設定にした場合は、ユーザーやグループの設定に関係なく、読み取りのみとなります。

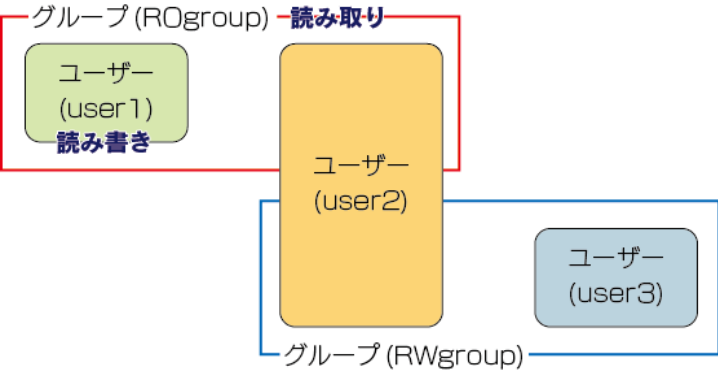
あるフォルダーに、以下のグループやユーザーに対する詳細アクセス権を設定する場合（user2が重複していることに注意）

グループ名	所属するユーザー
ROgroup	user1,user2
RWgroup	user2,user3



▼例1

グループ全体を読み取り権限に設定するが、グループ内の特定ユーザーのみを読み書き権限にする場合

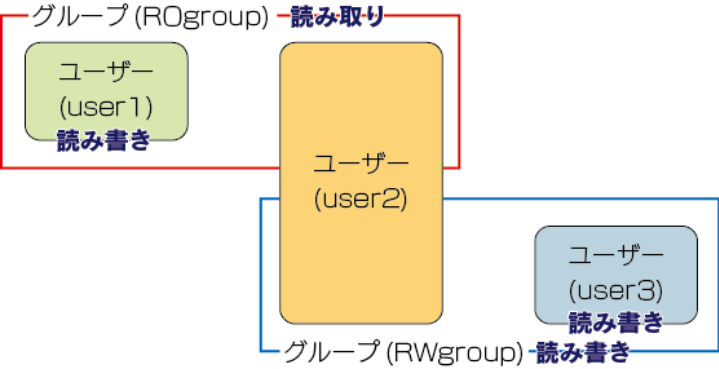


ユーザー名	権限		
	ユーザー	ROgroup	最終結果
user1	読み書き	読み取り	読み書き
user2	—		読み取り

※user1は、ユーザーの読み書き指定が優先され、読み書きのアクセスとなります。

▼例2

ユーザーとユーザーが属するグループに異なるアクセス権を付与した場合



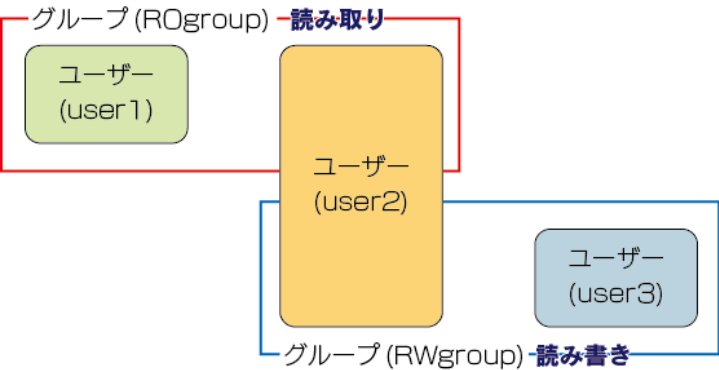
ユーザー名	権限			
	ユーザー	ROgroup	RWGroup	最終結果
user1	読み書き	読み取り	—	読み書き
user2	—			読み書き
user3	読み書き	—	読み書き	読み書き

※user1は、ユーザーの読み書き指定が優先され、読み書きのアクセスとなります。

※user2は、RWgroupグループの読み書き指定が優先され、読み書きのアクセスとなります。

▼例3

二つのグループにそれぞれ読み取り権限と読み書き権限を設定した場合



ユーザー名	権限			
	ユーザー	ROgroup	RWGroup	最終結果
user1	—	読み取り	—	読み取り
user2	—			読み書き
user3	—	—	読み書き	読み書き

※ user2 は、RWgroup グループの読み書き指定 が優先され、読み書きのアクセスとなります。

▼例4

共有フォルダーの読み取り専用チェックをつけた場合

ユーザー、グループに対してどのような設定を実施しても、共有フォルダーの読み取り専用チェックをつけると、許可されたユーザーによるアクセスは読み取りとなります。

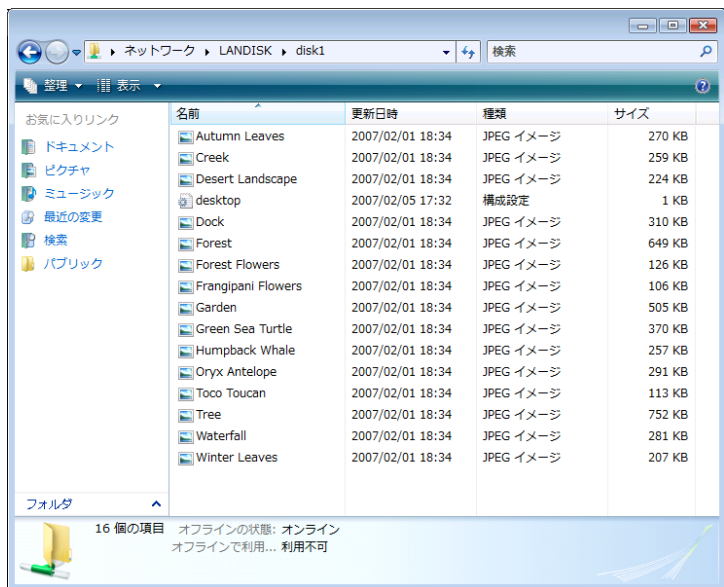
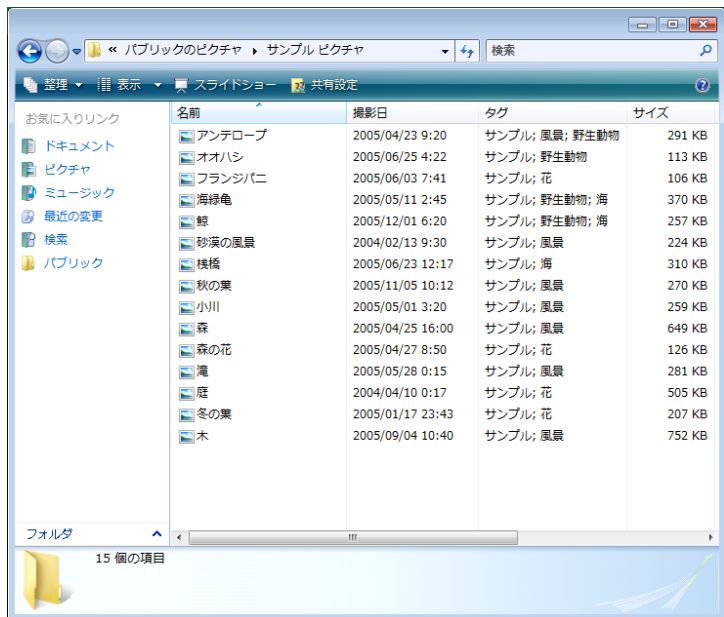
共有フォルダー使用上のご注意

- 本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、OSにより制限があります。
- サブフォルダーには、アクセス権を設定できません。
- Windows 7、Vista上の表示と共有フォルダー上の表示の違いに関する注意

標準インストールされるサンプルピクチャーフォルダーのファイルは、Windows 7、Vista上では画面例(上)のように表示されています。画面例左のサンプルピクチャーを共有フォルダー上にコピーすると、画面例（下）のように全く名前が異なって表示されます。

実際のファイル名は、LAN DISK共有フォルダーで表示されるアルファベット文字のファイル名で正しいようですが、Windows 7、Vista上のサンプルピクチャーのフォルダーは実ファイル名を表示しない設定になっています。

このように名前＝ファイル名ではないフォルダー表示設定が可能ですので、ご注意ください。



共有を追加する

①ユーザーを追加する

②グループを追加する

③共有フォルダーを追加する

①ユーザーを追加する

ユーザーに関する事項

- [ユーザー & グループ] → [ユーザー] → [一覧] で、ユーザーが追加されていることを確認できます。
- ユーザーは300 まで登録できます。
- 使える文字には、制限があります。[文字制限一覧](#)

1. ユーザーがネットワーク（パソコン）にログオンする際の [ユーザー名] と [パスワード] をメモする

2. [ユーザー & グループ] → [ユーザー] → [追加] を クリック

3. ①手順1 のメモを参考に、ユーザー名とパスワード（確認含む）を入力
② [追加] をクリック

追加

ユーザー名	
パスワード	
パスワード(確認)	
フルネーム	
コメント	
プライマリグループ	選択してください
使用量制限値	0.00 GB (小数点第一位で入力してください)
情報	・ 使用量制限は無効です。 設定ページへ移動。

追加

一覧へ

※設定項目については、[ユーザー参照](#)

②グループを追加する

グループに対してアクセス権を設定すると、グループに属するすべてのユーザーに同一の権限を設定することができます。グループは設定しなくてもユーザーのみで共有設定ができます。

グループに関する事項

- [ユーザー & グループ] → [グループ] → [一覧] で、グループが追加されていることを確認できます。
- グループは100まで登録できます。
- 1 グループには、ユーザーを300まで登録できます。
- 使える文字には、制限があります。[文字制限一覧](#)

1. [ユーザー & グループ] → [グループ] → [追加] を クリック

2. ① [名前] を入力
② [未登録ユーザーリスト] からグループに登録するユーザーを選ぶ
③ [選択] をクリック
④ [追加] をクリック

※設定項目については、[グループ参照](#)

③ 共有フォルダーを追加する

共有フォルダーに関する事項

- 「usbx」や「LAN DISK Log」などの削除不可能な共有を除いて最大300まで作成できます。
- 使える文字には、制限があります。[文字制限一覧](#)

1. [共有] → [フォルダー] → [追加] をクリック

2. ① 共有フォルダーを設定

※設定項目については、[フォルダー参照](#)

- ② [追加] をクリック

【詳細アクセス権設定】について

「読み取り」「読み書き」のアクセス権を個別に設定できます。

禁止になっているユーザーやグループを選択し、[選択]をクリックすると、そのユーザーやグループが該当するアクセス権に追加されます。

該当するアクセス権のユーザーやグループを選択し、[除外]をクリックすると、そのユーザーやグループが禁止ユーザー、禁止グループに追加されます。

禁止ユーザー/グループ	このフォルダーへの読み書きを禁止するユーザー/グループです。
読み取りユーザー/グループ	このフォルダーの内容を読み取りのみ可能にするユーザー/グループです。
読み書きユーザー/グループ	このフォルダーの内容を読み書き可能にするユーザー/グループです。

共有フォルダーを変更・削除する

[共有フォルダーを変更する](#)

[共有フォルダーを削除する](#)

共有フォルダーを変更する

ご注意

ファイル数の多い共有フォルダーを変更すると、変更が完了するまでに時間がかかる場合があります。
また、変更が完了するまでこのフォルダーにはアクセスできません。端末から本製品へアクセスされていない時間帯に設定してください。

1. [共有] → [フォルダー] → [変更] をクリック
2. ①変更する共有フォルダーを選ぶ
②設定を変更
③ [変更] をクリック

変更

名前	選択してください
コメント	
基本設定	☐ 読み取り専用 ☐ 非登録ユーザーからのアクセスを拒否 ☒ Microsoftネットワーク共有 ☐ ゴミ箱 本機能を有効から無効にする場合、ゴミ箱用フォルダーが削除されます。 ゴミ箱用フォルダーに大量のファイルが存在する場合、ゴミ箱用フォルダーの削除に時間がかかります。 ☐ 無し 使用量制限値 0.0 GB (小数点第一位で入力してください)
詳細アクセス権	☐ 有効 ☒ 無効 ・現在下記サービスは無効です。設定ページへ移動。
情報	・使用量制限

変更

一覧へ

※設定項目については、[フォルダー参照](#)

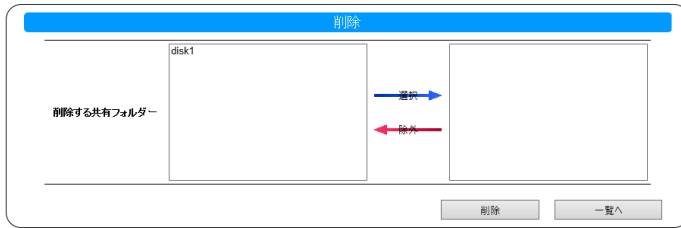
共有フォルダーを削除する

ご注意

- 共有フォルダーを削除すると、共有フォルダー内のデータも 同時に削除されます。必要なデータはあらかじめバックアップしてください。
- 削除する共有フォルダー内のファイルを編集などに使っている場合、削除後、保存先が見つからないなどのエラーとなります。削除前に、削除する共有フォルダーにアクセスしているユーザーがいないかご確認ください。

1. [共有] → [フォルダー] → [削除] をクリック

2. ①削除する共有フォルダーを選ぶ
② [選択] をクリック
③ [削除] をクリック



一覧からも変更・削除できます

[共有] → [フォルダー] → [一覧] を開き、共有フォルダーの右にある [変更]、[削除] をクリックします。

ユーザーを変更・削除する

[ユーザーを変更する](#)

[ユーザーを削除する](#)

ユーザーを変更する

1. [ユーザー&グループ] → [ユーザー] → [変更] を クリック
2. ①変更するユーザーを選ぶ
②設定を変更
③ [変更] をクリック

変更

ユーザー名	選択してください
パスワード	
パスワード(確認)	
フルネーム	
コメント	
プライマリグループ	選択してください
使用量制限値	GB (小数点第一位で入力してください)
情報	・ 使用量制限は無効です。設定ページへ移動。

変更

一覧へ

※設定項目については、[ユーザー参照](#)

ユーザーを削除する

1. [ユーザー&グループ] → [ユーザー] → [削除] を クリック
2. ①削除するユーザーを選ぶ
② [選択] をクリック
③ [削除] をクリック

削除

削除ユーザー

選択

除外

削除

一覧へ

一覧からも変更・削除できます

[ユーザー&グループ] → [ユーザー] → [一覧] を開き、ユーザー名の右にある [変更]、[削除] をクリックします。

グループを変更・削除する

[グループを変更する](#)

[グループを削除する](#)

グループを変更する

- 1. [ユーザー&グループ] → [グループ] → [変更] を クリック
- 2. ①変更するグループを選ぶ
- ②設定を変更
- ③ [変更] をクリック

変更

名前

選択してください

使用量制限

GB

(小数点第一位で入力してください)

ユーザー登録設定

未登録ユーザーリスト

user1

登録ユーザーリスト

選択

除外

情報

・ 使用量制限は無効です。[設定ページへ移動。](#)

変更

一覧へ

※設定項目については、[グループ](#)参照

グループを削除する

- 1. [ユーザー&グループ] → [グループ] → [削除] を クリック
- 2. ①削除するグループを選ぶ
- ② [選択] をクリック
- ③ [削除] をクリック

削除

削除グループ

group1

選択

除外

削除

一覧へ

一覧からも変更・削除できます

[ユーザー&グループ] → [グループ] → [一覧] を開き、グループ名の右にある [変更] 、 [削除] をクリックします。

ゴミ箱機能

ゴミ箱機能を使うと、その共有フォルダーからファイルを削除してもすぐにファイルがなくなり、いったん [trashbox] フォルダーに保管されます。

すでに作成済みの共有フォルダーにゴミ箱機能を有効・無効にする場合は、[共有フォルダーを変更・削除する](#)をご覧ください。

ここでは、[trashbox] フォルダーからファイルを取り戻す方法を説明しています。

ご注意

- [trashbox] フォルダー内のファイルは、自動的に消去されません。
定期的に [trashbox] フォルダー内のファイルを削除することをおすすめします。そのままにしておくと、ファイルを削除するたびにファイルがたまり、ディスクの使用領域が減っていきます。また、通信速度の低下やバックアップ失敗につながる場合があります。
- [trashbox] フォルダー内のファイルを削除すると、該当ファイルはハードディスクから完全に消去されますのでご注意ください。
- ご利用のアプリケーションによっては、その動作中にファイル作成→削除を繰り返すものがあります。結果、[trashbox] フォルダー内のファイルが大幅に増えている場合がありますので、定期的に [trashbox] フォルダー内を確認することをおすすめします。
- ゴミ箱機能を無効にした場合には、[trashbox] フォルダーは削除され、[trashbox] 内のファイルは完全に消去されます。

[trashbox] フォルダーからファイルを取り戻す

1. ネットワーク上から本製品の共有フォルダーにアクセスする
2. [trashbox] フォルダーを開く
→ 削除したファイルが表示されます。
3. 必要なファイルを元の共有フォルダーに移動（またはコピー）する

一括登録をする

ユーザー・グループ・共有フォルダーのリスト（CSVファイル）を作成し、本製品に読み込ませると、一括登録をすることができます。
※弊社製HDL-XRシリーズ用の一括登録用CSVファイルも使えます。

[CSVファイルを準備する](#)

[一括登録をする](#)

CSVファイルを準備する

- CSVファイルの要件
 - ・各要素をカンマ(,)で区切っていること
 - ・文字コードがUTF-8,Shift-JISであること
- ※下記以外の要素が存在すると、エラーとなり正常に処理できません。

- 設定書式
最初に英字で設定項目を表した後、要素が続きます。

▼ユーザー

設定項目	書式
追加	adduser, 名前, パスワード, 使用量制限, プライマリーグループ, フルネーム, コメント
変更	moduser, 名前, パスワード, 使用量制限, プライマリーグループ, フルネーム, コメント
削除	deluser, 名前

▼グループ

設定項目	書式
追加	addgroup, 名前, 使用量制限, グループメンバー
変更	modgroup, 名前, 使用量制限, グループメンバー
削除	delgroup, 名前

▼共有フォルダー

設定項目	書式
追加	addshare, 名前, コメント,RO ユーザー,RO グループ,RW ユーザー,RW グループ, 読取専用,* バックアップ,* バックアップパスワード,Microsoft ネットワーク共有, ゴミ箱, 隠し, 使用量制限,*AppleShare,*Ftp,*リモートアクセス, ゲストユーザー禁止,*DLNA,*TimeMachine
変更	modshare, 名前, コメント,RO ユーザー,RO グループ,RW ユーザー,RW グループ, 読取専用,* バックアップ,* バックアップパスワード,Microsoft ネットワーク共有, ゴミ箱, 隠し, 使用量制限,*AppleShare,*Ftp,* リモートアクセス, ゲストユーザー禁止,*DLNA,*TimeMachine
削除	delshare, 名前

※ * は、出荷時状態で対応外である項目です。弊社製HDL-XRシリーズ用csvと互換とするために実装しています。AppleShare,TimeMachine,Ftp等はパッケージを追加すると対応できます。対応外項目は無視された形で共有設定がなされ、対応外項目を示すエラーシステムログは1回

の一括登録につき各項目1度のみ出力されます。

※設定項目「グループ」内のグループメンバーで、複数のメンバーを指定する場合は、""で囲み、ユーザー名ごとに, で区切ります。

●設定書式カスタマイズ

設定する項目や順序を定義できます。

※項目定義レコードを記述しない場合、デフォルトで上記設定書式と同じ順序で設定レコードを認識します。

※各項目の設定形式と指定しない場合のデフォルト値を“設定形式/ デフォルト値”の形で示しています。

※決められたフィールド名以外の文字を記述した場合、エラーとなり設定されません。

・ユーザー設定項目定義

行頭に"#user_config" という文字列がある場合、そのレコードをユーザ項目定義レコードとして処理する。

例) #user_config,Name>Password,Limit,PrimaryGroup,FullName,Comment

▼フィールド名と設定項目の対応

フィールド名	設定項目	設定形式	デフォルト値
Name	名前	文字列	(指定必須)
Password	パスワード	文字列	(空)
Limit	使用量制限	数字文字列(小数点以下第1 位可)	0
PrimaryGroup	プライマリーグループ	文字列	(空)
FullName	フルネーム	文字列	(空)
Comment	コメント	文字列	(空)

・グループ設定項目定義

行頭に"#group_config" という文字列がある場合、そのレコードをグループ項目定義レコードとして処理する。

例) #group_config,Name,Limit,Member

▼フィールド名と設定項目の対応

フィールド名	設定項目	設定形式	デフォルト値
Name	名前	文字列	(指定必須)
Limit	使用量制限	数字文字列(小数点以下第1 位可)	0
Member	所属ユーザー（形式:" で囲み、ユーザごとに, で区切る）	" で囲み、ユーザーごとに, で区切る	(空)

・共有フォルダー設定項目定義

行頭に"#share_config" という文字列がある場合、そのレコードを共有フォルダー項目定義レコードとして処理する。

例) #share_config,Name,Comment,RoUser,RoGroup,RwUser,RwGroup,ReadOnly,Win,Trash,Hidden,Limit,NoGuest

▼フィールド名と設定項目の対応

フィールド名	設定項目	設定形式	デフォルト値
Name	名前	文字列	(指定必須)
Comment	コメント	文字列	(空)
RoUser	読み取りユーザー	" で囲み、ユーザー名ごとに, で区切る	(空)
RoGroup	読み取りグループ	" で囲み、グループごとに, で区切る	(空)
RwUser	読み書きユーザー	" で囲み、ユーザーごとに, で区切る	(空)
RwGroup	読み書きグループ	" で囲み、グループごとに, で区切る	(空)
ReadOnly	読み取り専用	1-> 有効,0-> 無効, 空-> 無効	無効
Win:MS	ネットワーク共有	1-> 有効,0-> 無効, 空-> 無効	無効
Trash	ゴミ箱	1-> 有効,0-> 無効, 空-> 無効	無効

Hidden	隠し共有	1-> 有効,0-> 無効, 空-> 無効	無効
Limit	使用量制限	数字文字列(小数点以下第1 位可)	0
NoGuest	ゲストユーザ禁止	1-> 有効,0-> 無効, 空-> 無効	無効

※上記フィールドを一部のみ定義した場合、未定義のフィールドは定義したフィールド以降に不特定の順序で内部で定義されます。

●CSVファイルの記述例

ケース1

ユーザー追加	User1を追加	Group1をプライマリーグループに設定
	User2を追加	Group1をプライマリーグループに設定
	User3を追加	特記事項なし
グループ追加	Group1を追加	グループのメンバーとしてUser1,User2を設定
	Group2を追加	グループのメンバーとしてUser3を設定
共有フォルダー追加	AllShareを追加	登録済のユーザーのみがアクセス可能な設定
	UrwGroを追加	User1,User3に読み書き権限、Group1に読み取り権限を設定

▼上記設定内容のCSVファイル

```
adduser,User1,password1,,Group1,, コメント
adduser,User2,password2,,Group1,, コメント
adduser,User3,password3,,,
addgroup,Group1,,"User1,User2"
addgroup,Group2,,User3
addshare,AllShare, 全員,,,,,0,0,,1,0,0,,1,1,1,1,
addshare,UrwGro, 混在,,Group1,"User1,User3",,0,0,,1,0,0,,1,1,0,0,,1
```

ケース2

ユーザー追加	User1を追加	パスワードをpassword1とし、その他項目はデフォルト値
グループ追加	Group1を追加	使用量制限を100.0GB とし、その他項目はデフォルト値
共有フォルダー追加	AllShareを追加	コメントを全員とし、その他項目はデフォルト値

▼上記設定内容のCSVファイル

```
adduser,User1,password1
addgroup,Group1,100.0
addshare,AllShare, 全員
```

ケース3

ユーザー追加	User1を追加	使用量制限を100.0GBとし、その他項目はデフォルト値
	User2を追加	全項目デフォルト値
	User3を追加	全項目デフォルト値
グループ追加	Group1を追加	グループメンバーをUser1とし、その他項目はデフォルト値
	Group2を追加	全項目をデフォルト値
共有フォルダー追加	Share1を追加	User2、User3 に読み書き権限を設定し、Group1 に読み取り権限を設定し、Windows 共有を有効にし、その他項目はデフォルト値

▼上記設定内容のCSVファイル

```
#user_config,Name,Limit
adduser,User1,100.0
adduser,User2
adduser,User3
#group_config,Name,Member
addgroup,Group1,User1
addgroup,Group2
#share_config,Name,RwUser,RoGroup,Win
addshare,Share1,"User2,User3",Group1,1
addshare,Share2
```

既存のユーザー、グループ、共有フォルダーを一括編集/一括削除する場合

既存のユーザー、グループ、共有フォルダー（以下、共有）を一括編集する場合は、書式の先頭要素を adduser、addgroup、addshare ではなく、moduser、modgroup、modshare とします。 名称要素に既存の編集したいユーザー、グループ、共有の名称を指定し、一括追加と同一の書式で編集内容を記述します。 また、存在しないユーザー、グループ、共有の名称を指定した場合は、記述した内容で新規のユーザー、グループ、共有が作成されます。 既存のユーザー、グループ、共有を一括削除する場合は、書式の先頭要素を adduser、addgroup、addshare ではなく、deluser、delgroup、delshare とします。 名前の項目に既存の削除したいユーザー、グループ、共有フォルダーの名称のみを記述します。

一括登録をする

1. [一括登録] → [CSV一括登録] をクリック
2. ① [参照] をクリックし、CSVファイルを選ぶ
② [適用] をクリック

⇒ランプが点滅し、点灯で完了

一括登録の結果確認

- [情報] → [システムログ] でご確認ください。
- ※エラーが表示される場合は、[【CSV一括登録でエラーが表示される】参照](#)

本製品のバックアップ方法

本製品では、以下のバックアップ方法があります。

バックアップ	本製品の内蔵ディスクまたは増設したUSB HDDやネットワーク上の共有フォルダーへバックアップする機能です。 ・ユーザー、グループの情報や、各共有フォルダーのアクセス権設定などは保存することができません。 ・ジョブは7個まで登録できます。 ・履歴差分バックアップは、バックアップした時点でのファイルやフォルダーの構造が日付ごとに丸ごと残ります。ファイルを間違えて消したり更新してしまった場合に、日付を指定して復元することができます。 また、フルバックアップとは違い、アイオー独自の差分バックアップ方式を使っているため、容量は最小です。 ※ バックアップ先が、本製品の内蔵ディスクまたは専用フォーマットされた増設USB HDDの場合のみ、履歴差分バックアップをおこないます。FAT32形式の増設USB HDDやネットワーク上の共有フォルダーをバックアップ先として設定した場合は、毎回フルバックアップとなります。 ①スケジュール設定で毎日の会計ファイルをバックアップ 毎週月～金曜 18:00  ②万が一、誤って更新したり削除してしまった場合…  ③過去に戻ってファイルを復旧可能です 昨日バックアップしたデータ 
データコピー	データコピー元共有フォルダー内のファイルを同一のツリー構成そのままデータコピー先共有フォルダーへコピーする機能です。 古いLAN DISKのデータをそのまま新しいLAN DISKへ移行できるため、LAN DISKの入れ替え時のデータ移行に便利です。 ・ユーザー、グループの情報や、各共有フォルダーのアクセス権設定などは保存することができません。 ・ジョブは20個まで登録できます。 ・同じジョブの2回目以降のコピーは、変更・されたファイルだけをコピーします。 ※ [強制フルコピー] の項目にチェックを付けた場合、2回目以降もフルコピーされます。
クイックコピー	USBメモリーやデジタルカメラをUSBポート1に接続すると、自動的にUSBメモリーやデジタルカメラのデータをあらかじめ指定されている共有フォルダー内にコピーする機能です。
USB HDDを利用したミラーリング	ミラーリングとは、ファイルやフォルダー構造を、別のHDDにまったく同じ構成で複製する機能です。本製品では、USB HDDを利用したミラーリングができます。 ※ RAIDモードを「拡張ボリューム」でお使いの場合、この機能を使えません。

ご注意

- バックアップ/データコピー/クイックコピーはデータのみのバックアップです。本製品のシステムも含めてバックアップする場合は、USB HDDを利用したミラーリングをご利用ください。
- 複数のジョブを同時に実行することはできません。バックアップ実行中に異なるバックアップジョブを実行した場合は、現在実行中のバックアップジョブが終了してから実行されます。
- バックアップ中、ファイル共有などが遅くなる場合があります。
- バックアップ元には [この装置上] および [ネットワーク上] の共有フォルダーを300個まで指定できます。
- ネットワーク経由のバックアップは、ネットワーク上の任意のWindows共有をバックアップ元、先に指定できます。
- バックアップ元とバックアップ先は別のディスクにすることをおすすめします。万一、ディスクが故障した場合でもどちらかのデータを取り出すことができます。
- バックアップ中はバックアップ元やバックアップ先にアクセスしないでください。データ不整合、バックアップ失敗の原因となります。
- USB HDDにバックアップする場合は、事前にUSB HDDを接続しておいてください。
- ネットワーク（ルーター）を超えてバックアップする場合
 - ・バックアップ設定では、バックアップ元を装置名またはIPアドレスで指定してください。
 - ・本製品はバックアップ通信に「TCP: 139番」「TCP: 445番」を使います。バックアップ元の本製品を接続しているルーターがNAT設定されている場合は、「TCP: 139番」「TCP: 445番」宛の通信がバックアップ元の本製品に届くように、ポートフォワード設定が必要です。
 - ・バックアップ通信は暗号化を行っていないので、VPN環境下でのご利用をおすすめします。

- ネットワーク経由でのバックアップでは、その時のネットワーク上のパソコンやトラフィックなどの通信状態により、正常に完了しないことがあります。正常にバックアップされたことを、毎回確認することをおすすめします。
- バックアップ先に指定する〔この装置上〕の専用フォーマットの共有フォルダーは、読み取り専用を設定されファイル共有サービスからの書き込みができなくなります。
- コピー先がFAT32形式の場合、ファイルシステムの制限のため、ファイルサイズが4GB以上のファイルはコピーできません。
- コピー先にNTFS形式のUSB HDDを選ばないでください。NTFS形式のUSB HDDに書き込みはできません。

バックアップ

設定の前に[本製品のバックアップ方法](#)をご覧ください。

[バックアップを設定する](#)

[今すぐバックアップする](#)

[バックアップを停止する](#)

[バックアップしたデータを確認する](#)

[バックアップからデータを復元する](#)

バックアップを設定する

ご注意

- USB HDDにバックアップする場合は、事前に専用フォーマットをおこなってください。[USB HDDをフォーマットする](#)
- バックアップ先が、本製品の内蔵ディスクまたは専用フォーマットされた増設USB HDDの場合のみ、履歴差分バックアップをおこないます。FAT32形式の増設USB HDDやネットワーク上の共有フォルダーをバックアップ先として設定した場合は、毎回フルバックアップとなります。
- バックアップ先には、1ジョブにつき1つの共有のみ指定できます。
- スケジュール設定をおこなう場合は、他のスケジュール設定と重ならないようご注意ください。
- バックアップ先に指定する本製品の共有フォルダーは読み取り専用を設定されます。ファイルの削除、書き込みをするためには、バックアップ設定を解除する必要があります。
- 設定するWindows共有フォルダーがリストに表示されない場合は、項目左側のテキストボックスに直接"¥¥ホスト名¥共有フォルダー名"の形式で入力してください。ホスト名の代わりにIPv4形式やIPv6(コロン区切り)形式でも設定できますが、その際の対象機器側IPアドレスは固定設定にしてください。英語版キーボードをご使用の場合やmacOSの場合は、¥マークではなく"\¥ホスト名¥共有フォルダー名"で入力してください。(バックスラッシュは日本語入力がOFFの状態でキーボードの「ろ」キーを押すと入力できます)
- macOSからアクセスする共有フォルダーをバックアップする場合、フォルダー・ファイル名に「¥/:*?"<>|」を使わないでください。使った場合、バックアップに失敗します。

1. [データバックアップ] → [バックアップ] → [追加] をクリック

2. ①バックアップ内容を設定

※設定項目については、[バックアップ](#)参照

② [追加] をクリック

追加	
ジョブ名	
履歴数	0 設定可能範囲[0-31]。0は「制限なし」になります。 バックアップ先に十分な容量があるかご確認ください ボリューム情報
スケジュール	☐ 有効 ☒ 無効 曜日 ☐ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 時刻 00 : 00
オプション	☐ ゴミ箱もバックアップする ☐ バックアップ後シャットダウン ☐ 強制フルコピー
バックアップ元設定	
オプション	☐ ローカル全共有フォルダーを対象(外付けボリューム共有は対象外)
	バックアップ元 リスト取得中...
バックアップ元情報	ユーザー名 パスワード
	追加
バックアップ元一覧	設定されていません
バックアップ先設定	
	リスト取得中...
バックアップ先情報	☒ 当製品内内蔵あるいは専用フォーマットの共有フォルダーを指定した場合、その共有フォルダーは読み取り専用で設定されます。
	ユーザー名 パスワード

注意:

追加

一覧へ

バックアップ先容量の目安について

本製品のバックアップ対象のデータ量と履歴数により、バックアップ先USB HDDの容量を調整することをおすすめします。

【参考】履歴10回（月～金の2週分）を残す場合

条件：バックアップ対象のデータ量が100GBで、毎日10GBずつ更新されるとします。

このとき、バックアップ先に保存されるデータ量は、最大190GBとなります。（初回フルバックアップ100GB + 10GB×9回（更新数））

以降は、最大履歴数の10回を維持し続けます。

この場合、バックアップ対象のデータ量が増えても、本製品+1TBの容量のUSB HDDをバックアップ先にするだけで十分な容量だといえます。

▼設定項目

ジョブ名	任意の名前
履歴数	10
スケジュール	有効 月～金にチェックし、時刻は00時00分 ※起動スケジュールの時刻と重ならないようにする必要があります。
オプション	チェックしない

▼バックアップ元設定

オプション	チェックしない
バックアップ元情報	バックアップ対象の共有フォルダー ※ユーザー名、パスワードは空欄

▼バックアップ先設定

バックアップ先	USB HDDが接続されているポート ※ユーザー名、パスワードは空欄
---------	---------------------------------------

すべての内蔵ディスクをバックアップする

オプションにある［ローカル全共有フォルダーを対象（外付けボリューム共有は対象外）］をチェックします。本製品の内蔵ディスクすべてがバックアップ元になります。

今すぐバックアップする

1. [データバックアップ] → [バックアップ] → [一覧] をクリック
2. 実行するバックアップジョブの右にある [バックアップ開始] をクリック

一覧						
■ 有効	ジョブ名	ステータス	スケジュール	実行	設定	
☐	 backup1	未実行	曜日: 時刻:	バックアップ開始 復元 停止	変更	削除
☐	 backup2	未実行	曜日: 時刻:	バックアップ開始 復元 停止	変更	削除

[複数停止](#) [複数削除](#) [追加へ](#)

設定したスケジュールでバックアップする

［有効］にチェックをつけます。

3. [実行]をクリック
→バックアップが開始（ランプが点滅）
→“ピピピピピ”（STATUSランプが点灯）
→バックアップ完了

実行	
以下のジョブを実行します。	
ジョブ名	backup2
ステータス	停止
バックアップ元	LAN DISK Manual
バックアップ先	disk1

[実行](#) [一覧へ](#)

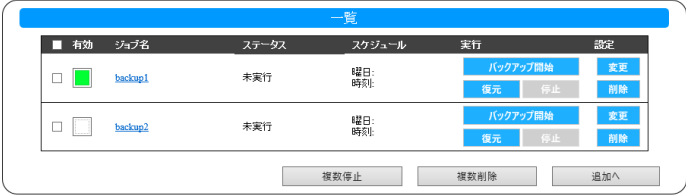
ご注意

- ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、ランプが赤点滅する場合は、[【エラーのログが表示された、バックアップ（データコピー）を実行するとブザーが鳴りエラーとなる】](#)をご覧ください。
- エラーが発生した場合は、[LAN DISK Log] 共有の [Backup] の [ジョブ名] 以下をご確認ください。[バックアップしたデータを確認する参照](#)

バックアップを停止する

1. [データバックアップ] → [バックアップ] → [一覧] をクリック

2. 停止するバックアップジョブの右にある [停止] をクリック



複数のバックアップジョブを停止する

停止するバックアップジョブにチェックをつけ、下の [複数停止] ボタンをクリックします。

バックアップを再度開始する場合

[バックアップ開始] をクリックすると、バックアップを最初から開始します。

ご注意

現在バックアップ中のジョブのみ停止できます。

バックアップしたデータを確認する

ご注意

- [LAN DISK Log] 共有の [Backup] の [ジョブ名] 以下にバックアップの結果を記録します。失敗した場合は「(バックアップ実行日時)_failed.log」というファイル名のログファイルが生成されますので、内容を確認してください。
- バックアップデータを見せないようにしたい場合は、[【バックアップ、データコピー先のデータを見せないようにできますか?】](#)をご覧ください。
- バックアップ先の共有フォルダーは読み込み専用に設定されています。そのためデータを取り出すことはできますが、書き込むことはできません。

1. ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示
バックアップ先に設定した共有フォルダーを開く

2. バックアップのジョブ名のフォルダーを確認します。
[ジョブ名]
→ [年月日・時刻]
→ [バックアップ元ホスト名]
→ [バックアップ元ホストの共有名]

ジョブ名	バックアップ設定時に指定した [ジョブ名] のフォルダーです。
年月日・時刻	バックアップを開始した年月日・時刻を元にして、自動で作成されるフォルダーです。[20131231000000] の場合は、2013年12月31日00時00分00秒に開始しています。
バックアップ元ホスト名	バックアップ元で選ばれたホスト名のフォルダーです。本製品上を選択した場合は「localhost」となります
バックアップ元ホストの共有名	バックアップ元で選択された共有名のフォルダー です。バックアップ元にサブフォルダーを指定した場合、共有名の後に"_"で区切られてサブフォルダー名が追加されます。

履歴差分バックアップできていない？

- バックアップ先が、本製品の内蔵ディスクまたは専用フォーマットされたUSB HDDでない場合、履歴差分バックアップされません。
- 履歴差分バックアップされていますが、データを見やすいように全てのファイルが表示されています。履歴差分バックアップされていないファイルは、以前のバックアップフォルダーから参照されていますので、容量を消費しません。

バックアップの結果を確認する

[LAN DISK Log]共有の[Backup]の[ジョブ名]以下にバックアップの結果を記録します。
「(バックアップ実行日時)_summary.log」というファイル名のログファイルで内容を確認してください。
失敗した場合は「[バックアップ実行日時](fullまたはdiff)_failed.log」というファイル名のログファイルで、内容を確認してください。
(fullはフルバックアップ、diffは履歴差分バックアップしたことを表します)

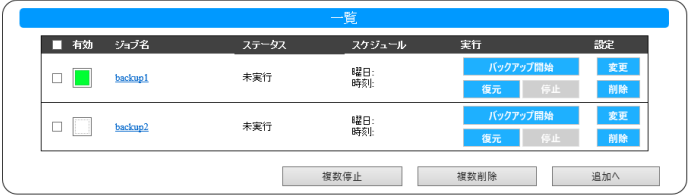
■ログファイルの内容と対処：ログ内容を「Error」で検索し、検索に掛かった場合は対処をご覧ください。

ログ内容	意味	対処
NoSpaceError	バックアップ先の容量が足りません。	バックアップ先の容量を確保してください。
NoEntryError	フォルダーやファイルが見つかりません。	バックアップ中にファイル・フォルダーを変更しないようにしてください。
ExistsError	以下のうちいずれかに該当します。 ・バックアップ元にあるファイルと同名のフォルダーがバックアップ先に存在します。 ・バックアップ元にあるフォルダーと同名のファイルがバックアップ先に存在します。	同名のファイル、フォルダーのうち片方の名称を変更してください。
TimeOutError	ネットワーク上のバックアップ元への接続がタイムアウトしました。	バックアップ元や本製品のネットワーク設定を確認してください。
DisableFileSystemError	バックアップ先が対象フォーマットではありません。	バックアップ先が専用フォーマットまたはFAT32 フォーマットであるか確認してください。
NotShareModeError	対象のボリュームが共有モードではありません。	対象のボリュームが共有モードであるか確認してください。
UnMountedError	対象のボリュームがマウントされていません。	対象のボリュームがマウントされているか確認してください。
ShareNotExistsError	対象の共有フォルダーが存在していません。	対象の共有フォルダーが存在しているか確認してください。
PermissionError	ファイルやフォルダーのアクセス権がありません。	対象のファイルやフォルダーのアクセス権を変更してください。
NameTooLongError	以下のうちいずれかに該当します。 ・ファイル名やフォルダー名の長さが255バイトより大きい。 ・ファイルやフォルダーのパス長が4095バイトより大きい。	対象のファイル、フォルダーの名前またはパス長を変更してください。

バックアップからデータを復元する

1. [データバックアップ] → [バックアップ] → [一覧] をクリック

2. 復元するバックアップジョブの右にある「復元」をクリック



3. ①内容を確認し、「バックアップ履歴」で復元するバックアップの日時を選ぶ
②「実行」をクリック



復元について

- 復元先に同じ名前のファイルが存在する場合は上書きされます。
- バックアップに存在しないファイルが復元先にあった場合でも、そのファイルは削除などされません。
- 復元先が読み取り専用の場合、復元できません。

復元の結果を確認する

[LAN DISK Log] 共有の「Restore」の「ジョブ名」以下に復元の結果を記録します。
「(復元実行日時)_summary.log」というファイル名のログファイルで内容を確認してください。
失敗した場合は「(復元実行日時)_failed.log」というファイル名のログファイルで、内容を確認してください。
■ログファイルの内容と対処：ログ内容を「Error」で検索し、検索に掛かった場合は対処をご覧ください。

ログ内容	意味	対処
NoSpaceError	復元先の容量が足りません。	復元先の容量を確保してください。
NoEntryError	フォルダーやファイルが見つかりません。	復元中にファイル・フォルダーを変更しないようにしてください。
ExistsError	以下のうちいずれかに該当します。 ・復元元にあるファイルと同名のフォルダーが復元先に存在します。 ・復元元にあるフォルダーと同名のファイルが復元先に存在します。	同名のファイル、フォルダーのうち片方の名称を変更してください。
TimeOutError	ネットワーク上の復元元への接続がタイムアウトしました	復元元や本製品のネットワーク設定を確認してください。
DisableFileSystemError	復元先が対象フォーマットではありません。	復元先が専用フォーマットまたはFAT32 フォーマットであるか確認してください。
NotShareModeError	対象のボリュームが共有モードではありません。	対象のボリュームが共有モードであるか確認してください。
UnMountedError	対象のボリュームがマウントされていません。	対象のボリュームがマウントされているか確認してください。

ShareNotExists Error	対象の共有フォルダーが存在していません。	対象の共有フォルダーが存在しているか確認してください。
PermissionError	ファイルやフォルダーのアクセス権がありません。	対象のファイルやフォルダーのアクセス権を変更してください。
NameTooLongError	以下のうちいずれかに該当します。 ・ファイル名やフォルダー名の長さが255バイトより大きい。 ・ファイルやフォルダーのパス長が4095バイトより大きい。	対象のファイル、フォルダーの名前またはパス長を変更してください。

データコピー

設定の前に[本製品のバックアップ方法](#)をご覧ください。

[データコピーを設定する](#)

[今すぐデータコピーする](#)

[データコピーしたデータを確認する](#)

データコピーを設定する

ご注意

- データコピー元、先にはそれぞれ、1ジョブにつき1つの共有のみ指定できます。
- スケジュール設定をおこなう場合は、他のスケジュール設定と重ならないようご注意ください。
- 設定するWindows共有フォルダーがリストに表示されない場合は、項目左側のテキストボックスに直接"¥¥ホスト名¥共有フォルダー名"の形式で入力してください。ホスト名の代わりにIPv4形式やIPv6(コロンの区切り)形式でも設定可能ですが、その際の対象機器側IPアドレスは固定設定にしてください。英語版キーボードをご使用の場合やmacOSの場合は、¥マークではなく"\"ホスト名\共有フォルダー名"で入力してください。（バックスラッシュは日本語入力がOFFの状態ではキーボードの「ろ」キーを押すと入力できます）
- macOSからアクセスする共有フォルダーをデータコピーする場合、フォルダー・ファイル名に「¥/:*?"<>|」を使わないでください。使った場合、データコピーに失敗します。

1. [データバックアップ] → [データコピー] → [追加] をクリック

2. ①データコピー内容を設定

※設定項目は、[データコピー参照](#)

② [追加] をクリック

追加

ジョブ名

○有効

●無効

スケジュール

曜日

日

月

火

水

木

金

土

時刻

00

00

00

00

オプション

☐

ゴミ箱もコピーする

☐

データコピー後シャットダウン

☐

強制フルコピー

☐

データコピー元のないファイルを削除する

データコピー元設定

データコピー元

リスト取得中...

データコピー元情報

ユーザー名

パスワード

データコピー先設定

データコピー先

リスト取得中...

データコピー先情報

ユーザー名

パスワード

注意

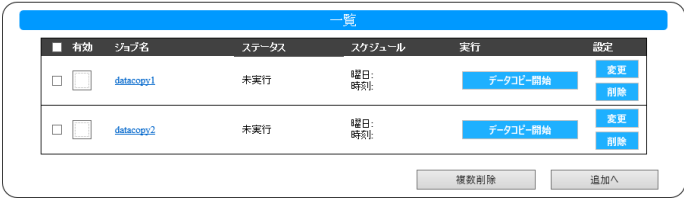
追加

一覧へ

今すぐデータコピーする

1. [データバックアップ] → [データコピー] → [一覧] をクリック

2. 実行するバックアップジョブの右にある「データコピー開始」をクリック

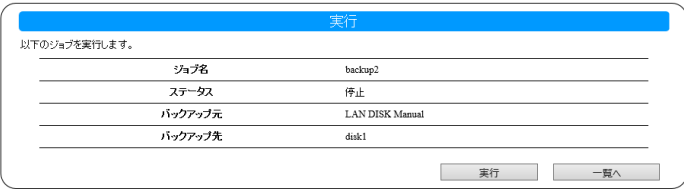


設定したスケジュールでデータコピーする

「有効」にチェックをつけます。

3. 「実行」をクリック

- データコピーが開始（ランプが点滅）
- “ピピピピッ”（ランプが点灯）
- データコピー完了



ご注意

- ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、ランプが赤点滅する場合は、[【エラーのログが表示された、バックアップ（データコピー）を実行するとブザーが鳴りエラーとなる】](#)をご覧ください。
- エラーが発生した場合は、データコピーしたフォルダー内の[LAN DISK Log] 共有の「Data Copy」の「ジョブ名」フォルダーをご確認ください。[データコピーしたデータを確認する](#)参照

データコピーしたデータを確認する

1. ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示
データコピー先に設定した共有フォルダーを開く
2. データコピー元と同じ構成のフォルダーが作成されていることを確認

データコピーの結果を確認する

[LAN DISK Log]共有の「Data Copy」の「ジョブ名」以下にデータコピーの結果を記録します。
「(データコピー実行日時)_summary.log」というファイル名のログファイルで内容を確認してください。
失敗した場合は「(データコピー実行日時)_failed.log」というファイル名のログファイルで、内容を確認してください。

■ログファイルの内容と対処：ログ内容を「Error」で検索し、検索に掛かった場合は対処をご覧ください。

ログ内容	意味	対処
NoSpaceError	データコピー先の容量が足りません。	データコピー先の容量を確保してください。
NoEntryError	フォルダーやファイルが見つかりません。	データコピー中にファイル・フォルダーを変更しないようにしてください。
ExistsError	以下のうちいずれかに該当します。 ・データコピー元にあるファイルと同名のフォルダーがデータコピー先に存在します。	同名のファイル、フォルダーのうち片方の名称を変更してください。

	・データコピー元にあるフォルダーと同名のファイルがデータコピー先に存在します。	
TimeOutError	ネットワーク上のバックアップ元への接続がタイムアウトしました。	データコピー元や本製品のネットワーク設定を確認してください。
DisableFileSy stemError	バックアップ先が対象フォーマットではありません。	バックアップ先が専用フォーマットまたはFAT32 フォーマットであるか確認してください。
DisableFileSy stemError	データコピー先が対象フォーマットではありません。	データコピー先が専用フォーマットまたはFAT32 フォーマットであるか確認してください。
NotShareMod eError	対象のボリュームが共有モードではありません。	対象のボリュームが共有モードであるか確認してください。
UnMountedEr ror	対象のボリュームがマウントされていません。	対象のボリュームがマウントされているか確認してください。
ShareNotExis tsError	対象の共有フォルダーが存在していません。	対象の共有フォルダーが存在しているか確認してください。
PermissionErr or	ファイルやフォルダーのアクセス権がありません。	対象のファイルやフォルダーのアクセス権を変更してください。
NameTooLon gError	以下のうちいずれかに該当します。 ・ファイル名やフォルダー名の長さが255バイトより大きい。 ・ファイルやフォルダーのパス長が4095バイトより大きい。	対象のファイル、フォルダーの名前またはパス長を変更してください。

クイックコピー

設定の前に[本製品のバックアップ方法](#)をご覧ください。

[使えるデジタルカメラやUSBメモリー](#)

[クイックコピーを利用する](#)

[コピーしたデータを確認する](#)

使えるデジタルカメラやUSBメモリー

ご注意

- クイックコピーは、[USBポート1]でのみ利用できます。他のUSBポートではご利用いただけません。
- コピー先のディスクに空き容量が十分あることをご確認ください。
- [USBポート1]でUSB HDDを使うために、[USBポート1]の設定を変更した場合は、クイックコピーの設定に戻してください。[USBポート1の設定](#)
- すでに[USBポート1]にUSB機器をつないでいる場合は、そのUSB機器の取り外し処理をおこなってください。

使えるデジタルカメラやUSBメモリーは以下のものです。

- ・USBマストレージクラスの転送に対応し、かつ、そのモードに設定されているデジタルカメラ
- ・FATまたはNTFS 形式のデジタルカメラ、またはUSBメモリー

※最新の対応機器については、弊社Webページの商品ページをご覧ください。

クイックコピーを利用する

ご注意

ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、ランプが赤点滅し、エラーになる場合は、以下をご覧ください。[ログにクイックコピーエラーが表示された](#)

1. 本製品のUSBポート1にUSBメモリーをつなぐ
→ランプが点滅し、しばらくすると点灯
→コピーを開始します。（ランプが点滅）
2. “ピッピッピッ”と音が鳴り、ランプが点灯
→コピー完了。そのままUSBメモリーを取り外せます。

データのコピー先について

データは、コピー先に指定された共有フォルダー(出荷時は[disk1])の下に、自動で作成される[QuickCopy]フォルダー内にコピーされます。

さらにその下に「実行時の[日付]フォルダー」を作成し、そのフォルダーにファイルがコピーされます。

複数のUSBメモリーなどをコピーする場合でも、「実行時の[日付]フォルダー」で区別されますので、上書きされることはありません。

コピーしたデータを確認する

1. ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示

〔disk1〕フォルダーを開く

※出荷時の設定です。データのコピー先を変更した場合は、そちらを開いてください。

2. 〔QuickCopy〕フォルダーを確認

※クイックコピー時に自動で作成されるフォルダーです。

〔QuickCopy〕フォルダー内に、バックアップを開始した年月日・時刻を元にして、自動で作成されるフォルダーです。

〔20160531000000〕の場合は、2016年5月31日00時00分00秒にバックアップを開始したことになります。

クイックコピーの結果を確認する

[LAN DISK Log] 共有内の〔QuickCopy〕フォルダー以下にクイックコピーの結果を記録します。

「(クイックコピー実行日時)_summary.log」というファイル名のログファイルで内容を確認してください。

「失敗した場合は (クイックコピー実行日時)_failed.log」というファイル名のログファイルで、内容を確認してください。

バックアップ結果を確認する

[情報] → [システムログ] をクリック

→メッセージ欄にバックアップ結果が表示されます。

ログの内容

[ログ・お知らせ一覧](#)をご覧ください。

弊社製EasySaver 4 LE を使う

弊社製EasySaver 4 LE を使って、パソコンのデータを本製品にバックアップしたり、逆に本製品のデータをパソコンにバックアップしたりすることができます。

詳細は、EasySaver 4 LEの取扱説明書を参照してください。

[弊社Webページ](#)からダウンロードできます。

ご注意

EasySaver 4 LEを使ってバックアップする場合、バック アップ元（先）に使う本製品、あるいは、USB HDDを事前にネットワークドライブに割り当てておく必要があります。

USB HDDを利用したミラーリング

設定の前に[本製品のバックアップ方法](#)をご覧ください。

RAIDモードが「拡張ボリューム」の場合、この機能は使えません

[本製品のバックアップ方法](#)をご覧ください。他の方法でバックアップしてください。

[ミラーリングに使えるUSB HDD](#)

[USB HDDでミラーリングする](#)

[ミラーディスクを保管する](#)

[保管したミラーディスクから復旧する](#)

ミラーリングに使えるUSB HDD

※最新の対応機器については、[弊社Webページ](#)をご覧ください。

ご注意

- ミラーリング実行中にUSBケーブルが抜けたり、USB HDDの電源が切れたりすると、故障の原因となります。ケーブルをしっかり接続してください。

ミラーリングで使える動作確認済みのUSB HDD	弊社Webページをご覧ください。 http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm
ミラーリングで接続する本製品のポート	USB 3.0ポート（USBポート3）に接続します。他のUSBポートに接続してもミラーリングできません。すでにUSBポート3に、ミラーリング以外のUSB HDDを接続している場合は取り外してください。
ミラーリングに必要なUSB HDDの容量	ご利用の本製品の容量以上のUSB HDDをご用意ください。

USB HDDでミラーリングする

1. 本製品の電源が入っていることを確認
2. USB HDDの電源を入れる

USB HDDの電源連動機能

つなぐUSB HDDに電源連動機能がある場合は、手順3で本製品につないではじめて電源が入ります。USB HDDの電源連動機能については、USB HDDの取扱説明書をご覧ください。

3. 本製品背面のUSBポート3にUSB HDDをつなぐ

ご注意

本製品は、電源が入っている状態でUSB HDDをつなげられます。ただし、本製品のランプが点滅中には、USB HDDをつながないでください。

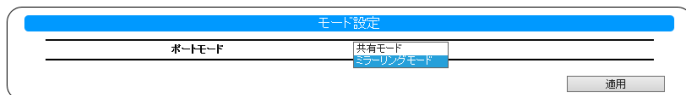
※本製品にすでに別のUSB HDDをつないでいる場合には、そのUSB HDDのランプをご確認ください。

4. [ボリューム] → [USB3] → [モード設定] をクリック

5. ① [ミラーリングモード] を選ぶ

② [適用] をクリック

→ミラーリングの構築を開始



ご注意

ミラーリングの途中で本製品の電源を切るとミラーリングは完了しません。ミラーリングが完了したことを確認してから本製品の電源を切ってください。

「ピーピーピー」と鳴り、エラーが表示されたら…

エラーの内容により、USB HDDの容量が十分か、USB HDDに異常がないかを確認してください。

構築状況の確認

[情報] → [ボリューム情報] で、[USB3] の [ステータス] から確認できます。

- ・構築中：[ミラーリング (再構築中xx%)] (xxは再構築の進捗率)
- ・構築完了：[ミラーリング]

※再確認する場合は、[情報] → [ボリューム情報] を開きなおしてください。

ミラーディスクを保管する

ミラーリング運用中にUSB HDDを取り外すことができます。

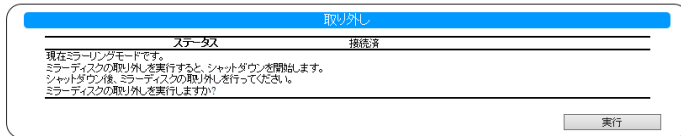
ミラーディスクの保管について

取り外したUSB HDDは、取り外した時点のミラーリング上に作成した「共有データ」、「登録ユーザー」、「グループ情報」、「ネットワーク設定」などすべての設定情報が記録されたミラーディスクとして保管できます。

本製品につなぐUSB HDD を定期的に交換することで、ミラーリングをおこないながら、ミラーリングしたディスク上に作成した共有データ、すべての設定情報を一定期間バックアップとして保管するといった運用もできます。

1. [ボリューム] → [USB3] → [取り外し] をクリック

2. [実行] をクリック



3. 本製品のランプが赤点灯したら、USBポート3のUSB HDDを取り外して、保管する

4. 別のUSB HDDをUSBポート3につなぐ

5. 本製品の電源を入れる
→ミラーリングの構築を開始

保管したミラーディスクから復旧する

1. 本製品の電源が切れていることを確認する

2. ミラーディスクをUSBポート3につなぐ

3. ミラーディスクの電源を入れる

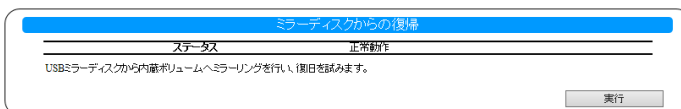
ミラーディスクの電源連動機能

つなぐミラーディスクに電源連動機能がある場合は、本製品の電源を入れると電源が入ります。ミラーディスクの電源連動機能については、ミラーディスクの取扱説明書をご覧ください。

4. 本製品の電源を入れる

5. [ボリューム] → [内蔵] → [ミラーディスクからの復元] をクリック

6. [実行] をクリック



本製品が再起動されたら、USB HDDから内蔵へミラーリングを開始します。

USB HDDに関するご注意

本製品で共有モードに設定してあるUSBポートに、フォーマット済みのUSB HDDを接続すると、USB HDDを共有フォルダーとして使うことができます。

ポートに対する共有フォルダー名とポートの初期状態は以下のようになります。

ポート名	共有フォルダー名	ポートの初期状態
USBポート1	usb1	クイックコピー※
USBポート2	usb2	共有
USBポート3	usb3	共有

※共有モードで使うためには設定が必要です。ポートの設定については、[USBポート1の設定](#)をご覧ください。

対応フォーマット以外ではご利用いただけません。本製品のミラーリング機能を使って作成されたミラーディスクを含みます。使うことができるフォーマット形式と読み書き制限については以下をご覧ください。

対応フォーマット形式	FAT ※1	NTFS	専用 ※4,5
本製品に接続して使う	読み書き可	読み込みのみ可	読み書き可
パソコンに接続して使う※2	読み書き可	読み書き可	読み込みのみ可※3

※1 FAT形式のフォーマットでは、2TB以上の容量を使うことはできません。本製品で2TBより大きい容量のUSB HDDをFAT形式でフォーマットする場合は、2TBのパーティションを作成してフォーマットされます。また、FAT32形式のフォーマットでは、1ファイル4GB以上のファイルを扱うことができません。

※2 2TBより大きい容量のUSB HDDはWindows Vista以降でのみご利用になれます。

※3 添付の「LAN DISK Backup Reader」を使う必要があります。（[添付ソフトをインストールする参照](#)）

※4 本製品で専用フォーマットしたUSB HDDは、弊社製HDL-XR、XV、AHシリーズでは使えません。

※5 弊社製LAN DISKで専用フォーマットしたUSB HDDも、本製品で使うことができます。

USBポート1の設定

出荷時のUSBポート1の動作モードは、[クイックコピーモード] に設定されています。この場合、増設するHDDをUSBポート1に接続してもそのままでは共有ディスクとして使えません。USBポート1でUSB HDDを使えるようにするには、以下の手順で、動作モードを[共有モード] に変更する必要があります。

クイックコピーモードとは？

USBメモリーやデジタルカメラを[USBポート1] につなぐと、自動的にUSBメモリーやデジタルカメラのデータを、あらかじめ指定した本製品の共有フォルダー内にコピーすることができます。
クイックコピーモードは、[USBポート1] でのみ機能します。また、USBポート1の動作モードがクイックコピーモードとなっている場合のみ機能します。（[クイックコピー](#)参照）

1. [ボリューム] → [USB1] → [モード設定] を クリック
2. ① [ポートモード] の [共有モード] を選ぶ
② [適用] をクリック

モード設定

ポートモード

クイックコピーモード

クイックコピー共有 disk1

適用

USB HDDを増設する

[USB HDDをつなぐ](#)

[USB HDDの接続を確認する](#)

[USB HDDにアクセスする](#)

USB HDDをつなぐ

ご注意

- つなぐUSB HDDの容量や対応しているフォーマット形式の違いについては、[USB HDDに関するご注意](#)をご覧ください。
- 本製品のUSBポートには、USBハブをつながないでください。
- バスパワーで動作するUSB HDDは使えません。必ずセルフパワーでご利用ください。
- 対応していないフォーマット形式のUSB HDDを本製品につなぐと、ランプが赤く点灯し、ブザーが「ピーピーピー」と鳴ります。Windowsパソコンか、[本製品でフォーマット](#)してください。
 - ※ フォーマットするとUSB HDD内のデータはすべて消えます。
- 弊社製HDL-XR、XVシリーズで専用フォーマットしたUSB HDDをお使いの場合、1フォルダーに作成可能なフォルダー数は、31998個までとなります。
- 下記状況では、USB HDDをつながないでください。
 - ・ ランプが点滅中（本製品にアクセス中、設定画面操作中）
 - ・ USB HDDのランプが点滅中など（USB HDDにアクセス中）
 - ※ 本製品の電源が入っている状態でつなぐことができます。
- USB HDDにつなぐ時や取り外す時は、共有サービスが停止するため、共有へのアクセスはできません。

1. 本製品の電源が入っていることを確認

2. USB HDDの電源をONにする

- ※ USB HDDの電源の入れ方については、USB HDDの取扱説明書をご覧ください。
- ※ USB HDDに電源連動機能がある場合は、本製品につないだ時にUSB HDDの電源が入ります。

3. 本製品のUSBポートにUSB HDDをつなぐ

USB HDDの接続を確認する

[情報] → [ボリューム情報]をクリック

→USB HDDの状況が表示されます。確認したいHDDをクリックすると、詳細情報が表示されます。

USB HDDにアクセスする

ご注意

- NTFSフォーマットのUSB HDDは、読み込み専用です。書き込むことはできません。
- USB HDDを複数パーティションに分割していた場合は、先頭のパーティションのみ表示されます。

ネットワーク上から、本製品の共有フォルダーを表示する

→一覧に共有フォルダー [usbx] が表示されます。

※xにはUSB HDDをつないだ本製品の [USBポート] 番号が表示されます。

ディスク	表示
------	----

USB1	usb1
USB2	usb2
USB3	usb3
(内蔵ディスク)	disk1

USB HDDを取り外す

ご注意

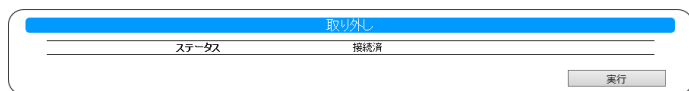
- ファイルコピー中に、USBポートにつないだ機器の接続や取り外しをしたり、本製品やUSB HDDの電源を切らないでください。コピーの処理が正常におこなわれません。
- USB HDDをバックアップ先に指定している場合、USB HDDを取り外すとバックアップできません。
- 取り外しは、ここに記載されているように操作してください。本製品動作中（USB HDDにアクセスされている最中）に記載を無視して取り外すと、データの破損や本製品やUSB HDDの故障の原因になります。
- 本製品をシャットダウンし、本製品の電源を切った後に取り外すこともできます。
- WindowsとmacOSで共有して利用していた場合

Windowsパソコンに直接つないでUSB HDD内を見ると、見覚えの無いファイル、フォルダーが見える場合があります。これは、macOSでフォルダーを作成したりファイルをコピーした際は、作成したファイル（フォルダー）の他に、別のファイル（フォルダー）が作成されるためです。このファイル（フォルダー）には、macOSユーザー用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。

1. [ボリューム] → [USBx] → [取り外し] をクリック

※[USBx]のxは、取り外すUSB HDDの接続ポート番号です。

2. [実行]をクリック



3. 「取り外し処理が完了しました」と表示されたら、取り外し処理をおこなったポートのUSB HDDを取り外す

ご注意

USB HDDの接続・取り外し中は、共有サービスが停止するため、共有へのアクセスはできません。

USB HDDをフォーマットする

ご注意

- フォーマットするとデータはすべて消去されます。USB HDD内に必要なデータがある場合は、事前にバックアップしてください。
 - フォーマット中は、絶対に電源を切らないでください。
 - 本製品でUSB HDDをNTFS形式にすることはできません。Windows/パソコンに接続してフォーマットしてください。フォーマットの方法については、USB HDDの取扱説明書を参照してください。
- ※ただし、NTFS形式のUSB HDDは、本製品では読み取りのみ可能となり、書き込みはできません。
- 2TBより大きい容量のHDDを、本製品でFAT32フォーマットした場合、2TBのパーティションでフォーマットします。すべての領域を使うには、専用形式でフォーマットしてください。
 - USB HDDのフォーマット開始時やフォーマットの終了時は、共有サービスが停止するため、共有へのアクセスはできません。本製品にアクセスしていないことを確認してから実行してください。

1. [ボリューム] → [USBx] → [フォーマット] をクリック

※[USBx]のxは、取り付けたUSB HDDの接続ポート番号です。

2. ①[フォーマット形式]を選ぶ

※暗号化については、[本製品の暗号化機能](#)をご覧ください。

※USB HDDをバックアップ先にする場合は、[専用形式]を選びます。

②[実行]をクリック

フォーマット	
ステータス	未実行
フォーマット形式	☒ 専用フォーマット ☐ FAT32
暗号化	☐ 有効 ☒ 無効
実行	

3. 「フォーマットしますか？」と表示されたら、[OK]をクリック

→フォーマットを開始します。しばらくお待ちください。

フォーマット時間の目安

- USB 2.0専用フォーマット時間 → 約2時間30分（弊社製RHD4-UX12TRW(RAID 0)）
- USB 3.0専用フォーマット時間 → 約30分（弊社製HDS2-UT6.0(RAID 0)）

USB HDDをペアとして増設する

この項目は、お使いの製品とは関連がない内容です。

パッケージを追加/削除する

本製品の機能をアドオンパッケージにて拡張することができます。パッケージごとに追加・削除・更新ができます。
※追加したパッケージについては、[パッケージ（追加機能）取扱説明書](#)をご覧ください。

追加可能なアドオンパッケージ

弊社Webページでご確認いただけます。

http://www.iodata.jp/product/nas/info/landisk/hdl-h_package.htm

※ インターネットに接続できない場合は、インターネット接続できるパソコンなどをご覧ください。

本製品がインターネット接続できない環境にある場合

パッケージをUSBメモリーからインストールできます。

インターネット接続できるパソコンで、[弊社Webページ](#)を開き、説明にしたがってください。

[パッケージを追加する](#)

[パッケージを削除する](#)

パッケージを追加する

1. [システム] → [パッケージ管理] → [追加] をクリック
2. ①追加するパッケージにチェック
② [追加] をクリック

追加

☐ 全てチェック全て解除

パッケージ名	バージョン	詳細
☐ [パッケージ名]	1.00	詳細
☐ [パッケージ名]	1.00	詳細

追加

一覧

各パッケージの詳細情報

各パッケージの「詳細」をクリックすると、それぞれの詳細情報が表示されます。

パッケージを削除する

1. [システム] → [パッケージ管理] → [一覧] をクリック

2. ①削除するパッケージにチェック
- ② [削除] をクリック

一覧

☐ 全てチェック全て解除

パッケージ名	バージョン	操作	
☐	1.00	削除	詳細
☐	1.00	削除	詳細
☐	1.00	削除	詳細

削除

更新

追加へ

パッケージごとの削除

各パッケージの [削除] をクリックすると、それぞれのパッケージが削除されます。

パッケージの自動更新設定をする

すでに適用したパッケージの更新が見つかった場合に、自動的に更新する設定をおこないます。
※出荷時設定で有効に設定されています。

最新のパッケージをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版に更新してご利用ください。
最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

1. [システム] → [パッケージ管理] → [自動更新設定] をクリック

2. ① [有効] を選ぶ
② [適用] をクリック

自動更新設定	
自動更新	☒ 有効 ☐ 無効
時刻	3 時
適用	

【時刻】

更新チェックをする時刻を選びます。パッケージの自動更新時刻と更新通知時刻は共通です。
※仕様により、設定した時刻から1時間以内で動作します。

パッケージ情報を通知する

定期的に新しいパッケージの更新チェックをおこないます。

※ 出荷時設定で有効に設定されています。

一日一回チェックをおこない更新がある場合、お知らせ、ランプで通知します。

1. [システム] → [パッケージ管理] → [更新通知設定] をクリック

2. ① [有効] を選ぶ
② [適用] をクリック

更新通知設定	
更新通知	☒ 有効 ☐ 無効
オプション	☒ インストール済みパッケージのみ
時刻	3 時
適用	

【インストール済みパッケージのみ】

チェックをつけると、インストール済みパッケージの更新時のみ通知します。

【時刻】

更新チェックする時刻を選びます。パッケージの自動更新時刻と更新通知時刻は共通となります。

※仕様により、設定した時刻から1時間以内で動作します。

使用量制限について（クォータ機能）

本製品に作成した共有フォルダーを使うユーザー、グループ、共有フォルダーごとに使用量の制限を設定することができます。また、[メール通知設定] をすると、特定のユーザー、グループ、共有フォルダーの使用率が設定した値を超えるとメールにて通知することができます。

※プライマリーグループが未設定のユーザーによる書き込みは、どのグループの使用量にも加算されません。

※ユーザー"admin" による共有フォルダーへの書き込みは使用量制限を設定できず、使用量制限にカウントもされません。

使用量制限により計算される使用量について

本製品に作成した共有フォルダーの設定により、コピーされたファイルの使用量は以下のように加算されます。

- 共有フォルダー使用量制限が有効な共有フォルダーの場合
どのユーザーがファイルを保存しても、共有フォルダー使用量として加算します。ユーザー使用量、およびグループ使用量には加算されません。
- 共有フォルダー使用量制限が無効、詳細アクセス権設定が有効な共有フォルダーの場合
ファイルを保存したユーザーの使用量、およびユーザーに設定したプライマリーグループの使用量として加算します。

ご注意

- OSやアプリケーションによって、データ容量の計算方法が違います。そのため、設定した制限設定値に満たない容量しか使用していても、ファイルの書き込みができなくなる場合があります。
- 使用量制限を有効に設定する際や制限設定値を設定する際、登録されているユーザー数・グループ数・ファイル数により、設定に時間がかかる場合があります。
- ユーザー使用量設定、グループ使用量設定、共有フォルダー使用量設定は、共有フォルダー、USB共有に対しては無効です。
- フォルダー使用量制限を設定した共有フォルダーは、詳細アクセス権の設定をおこなっても、共有フォルダーにアクセスしたユーザーの使用量、プライマリーグループの使用量は加算されません。
- フォルダー使用量制限を設定した共有フォルダーは、Microsoftネットワーク共有サービスからのみアクセスできます。

使用量制限を有効にする

- 1. [システム] → [サービス設定] をクリック
- 2. ① [使用量制限] を [有効] にする
- ② [適用] をクリック

サービス設定

使用量制限	☐ 有効 ☒ 無効
UPS警告	☐ 有効 ☒ 無効
ファームウェア自動更新	☒ 有効 ☐ 無効
ファームウェア更新通知	☒ 有効 ☐ 無効
パッケージ自動更新	☒ 有効 ☐ 無効
パッケージ更新通知	☒ 有効 ☐ 無効
SNMPトラップ	設定されていません。 設定ページへ移動
アクセスログ	☐ 有効 ☒ 無効
Microsoftネットワーク	☒ 有効 ☐ 無効

適用

ユーザーごとに使用量制限を設定する

1. [ユーザー&グループ] → [ユーザー] → [使用量制限] をクリック
2. ①各ユーザーの使用量制限を設定
② [変更] をクリック

使用量制限

ユーザーリスト

☐ 全てチェック/全て解除

GB

一括入力

	名前	現在の使用量	使用量制限値
☐	user1	0 GB	0.0 GB
☐	user2	0 GB	0.0 GB
☐	user3	0 GB	0.0 GB

ドメインユーザーリスト
なし

変更

ご注意

- 制限設定値は半角数値のみ小数点1位まで設定できます。
- 使用量制限値に[0]を設定した場合、使用量制限が無制限設定になります。

一括入力する

- ①一括入力するユーザーにチェック
- ②使用量制限を設定
- ③ [一括入力] をクリック

使用量制限

ユーザーリスト

☒ 全てチェック/全て解除

GB

一括入力

	名前	現在の使用量	使用量制限値
☒	user1	0 GB	1 GB
☒	user2	0 GB	1 GB
☒	user3	0 GB	1 GB

ドメインユーザーリスト
なし

変更

グループごとに使用量制限を設定する

1. [ユーザー＆グループ] → [グループ] → [使用量制限] をクリック
2. ①各グループの使用量制限を設定
② [変更] をクリック

使用量制限

グループリスト

☐ 全てチェック全て解除

GB

一括入力

	名前	現在の使用量	使用量制限値
☐	group1	0 GB	0.0 GB
☐	group2	0 GB	0.0 GB
☐	group3	0 GB	0.0 GB

ドメイングループリスト

なし

変更

ご注意

- 制限設定値は半角数値のみ小数点1位まで設定できます。
- 使用量制限値に[0]を設定した場合、使用量制限が無制限設定になります。
- グループ使用量は、使用量制限を指定したグループを、プライマリーグループに設定しているユーザーの書き込みのみ、使用量として加算します。グループ使用量機能を利用するには、あらかじめ使用量制限を設定するグループに所属するユーザーのプライマリーグループを、そのグループに設定しておく必要があります。

一括入力する

- ①一括入力するグループにチェック
- ②使用量制限を設定
- ③ [一括入力] をクリック

使用量制限

グループリスト

☒ 全てチェック全て解除

GB

一括入力

	名前	現在の使用量	使用量制限値
☒	group1	0 GB	1 GB
☒	group2	0 GB	1 GB
☒	group3	0 GB	1 GB

ドメイングループリスト

なし

変更

共有フォルダーごとに使用量制限を設定する

1. [共有] → [フォルダー] → [使用量制限] をクリック

2. ①各フォルダーの使用量制限を設定

② [変更] をクリック

使用量制限

フォルダーリスト

☐ 全てチェック全て解除

GB

一括入力

名前	現在の使用量	使用量制限値
☐ LAN DISK Manual	0.0 GB	0.0 GB
☐ disk1	0.0 GB	0.0 GB
☐ share	0.0 GB	1.0 GB
☐ share1	0.0 GB	0.0 GB
☐ share2	0.0 GB	0.0 GB
☐ share3	0.0 GB	0.0 GB
☐ usb1	0.0 GB	0.0 GB
☐ usb2	0.0 GB	0.0 GB
☐ usb3	0.0 GB	0.0 GB
☐ usb4	0.0 GB	0.0 GB

変更

ご注意

- 制限設定値は半角数値のみ小数点1位まで設定できます。
- 使用量制限値に[0] を設定した場合、使用量制限が無制限設定になります。

一括入力する

①一括入力するフォルダーにチェック

②使用量制限を設定

③ [一括入力] をクリック

使用量制限

フォルダーリスト

☒ 全てチェック全て解除

1

GB

一括入力

名前	現在の使用量	使用量制限値
☒ LAN DISK Manual	0.0 GB	1 GB
☒ disk1	0.0 GB	1 GB
☒ share	0.0 GB	1 GB
☒ share1	0.0 GB	1 GB
☒ share2	0.0 GB	1 GB
☒ share3	0.0 GB	1 GB
☒ usb1	0.0 GB	1 GB
☒ usb2	0.0 GB	1 GB
☒ usb3	0.0 GB	1 GB
☒ usb4	0.0 GB	1 GB

変更

本製品の暗号化機能

本製品の暗号化機能は、本製品の内蔵ディスク、専用フォーマットのUSB HDDを丸ごと暗号化する機能です。

専用の鍵(ロックキー)をつながない限り、暗号化されたディスク領域にアクセスすることはできませんので、万一本製品の盗難にあった場合でも、記録された情報の漏洩を防ぐことができます。

暗号化にはAES方式（256bit）を使い、安全に処理されます。暗号化は、内蔵ボリュームが正常動作していれば、動作モードに関わらず設定できます。

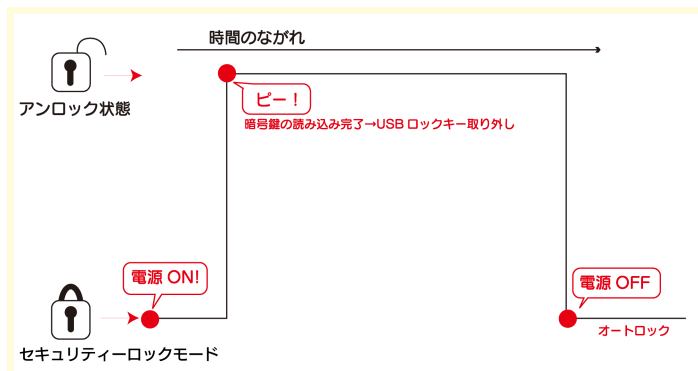
・設定時に必要なもの

64MB以上の容量を持つ弊社製USBメモリー(ロックキーとして使用します。)

ご注意

- ロックキーとして使うUSBメモリーに記録されているデータはすべて消去されます。
- 暗号化されているUSBメモリーはご利用いただけません。弊社製ED-HBシリーズの場合は、アンロックした状態でご使用ください。

・暗号化のイメージ



ご注意

- 内蔵ディスクに暗号化設定をした場合、本製品にロックキーをつなぐずに起動すると、本製品は「セキュリティロックモード」で起動します。「セキュリティロックモード」では、すべての共有サービスは停止し、共有フォルダー上に保存されたデータにアクセスできません。「セキュリティロックモード」は、ロックキーを本製品につなぐことで解除することができます。
※ 本製品の起動/再起動時には再びロックキーが必要です。スケジュール起動/終了する場合はご注意ください。
- 「セキュリティロックモード」は内蔵ディスクの暗号化が解除されていない場合のモードです。USB HDDの暗号化だけが解除されていない場合は「セキュリティロックモード」になりません。この場合、暗号解除されるまで USB HDDにはアクセスできません。
- 本製品の暗号化ボリューム機能はディスクを丸ごと暗号化します。ファイル単位、フォルダー単位の暗号化については、市販のアプリケーションをご利用ください。
- 暗号化に利用するキーはロックキー内にのみ存在します。（本製品内には保存されません。）万一ロックキーが壊れたり、紛失した場合、暗号化ボリュームにアクセスできなくなります。必ず「マスターキー」と「スペアキー」の複数のロックキーを用意し、万一に備えて「マスターキー」を安全な場所に保管しておいてください。スペアキーの作り方は、[スペアキーを作成する](#)をご覧ください。
- 暗号化されるのは内蔵ディスクおよび専用フォーマットのUSB HDD上のデータのみとなります。専用フォーマット以外のUSB HDDは暗号化されません。そのため、バックアップ機能で専用フォーマット以外のUSB HDD上、または、ネットワーク上の本製品からバックアップされたファイルは、暗号化されていない状態のファイルとなりますのでご注意ください。

暗号化ボリュームを作成/解除する

ご注意

- 以下の設定をおこなうと、暗号化する内蔵ディスク上のデータ、USB HDD上のデータ、本製品につないだUSBメモリー内のデータがすべて消去されます。必要なデータがある場合は、あらかじめバックアップした上で実行してください。
- ロックキーに保存される鍵データは、ボリューム設定するたびに新規に生成されますので、本製品を複数使う場合は、それぞれに専用のロックキーを用意する必要があります。
- ロックキーをパソコンにつなぎ、フォーマット、ファイルやフォルダーのコピー、削除、リネームなどをおこなわないでください。鍵ファイルを削除すると、暗号化されたボリュームにアクセスできなくなります。他のUSBメモリーと混同しないように大切に保管してください。

[内蔵ディスクの暗号化を設定する](#)

[USB HDDの暗号化を設定する](#)

内蔵ディスクの暗号化を設定する

1. [ボリューム] → [内蔵] → [フォーマット] をクリック
2. ①ロックキーにするUSBメモリーを、USBポート1につなぐ
②ランプの緑点滅が終わるまで待つ
3. ① [暗号化] の [有効] を選ぶ
※暗号化を解除する場合は [無効] を選ぶ
② [実行] をクリック

フォーマット	
ステータス	完了(成功)
RAIDモード	[RAID6] ▼ 正常動作
暗号化	☒ 有効 ☐ 無効
実行	

4. 「フォーマットしますか？」と表示されたら、[OK] をクリック
フォーマットを開始します。しばらくお待ちください。

ご注意

ロックキーは紛失しないよう、必ず安全な場所に保管してください。

ロックキーを保存する（キーサーバー機能）

「LAN DISK Key Server」は、ロックキーに保存されたキーをサーバー上に保存して、このサーバーをロックキーの代わりとして利用するソフトウェアです。

本製品の起動の度にロックキーをつなぐ作業が不要になり、ロックキーを安全な場所に保管できます。

弊社Webページからダウンロードしてください。設定方法については、「LAN DISK Key Server」付属のマニュアルをご覧ください。

USB HDDの暗号化を設定する

ご注意

- 暗号化するUSB HDDは、本製品専用フォーマットにする必要があります。
- USBポート1はロックキーをつなぐポートとして予約されているため、暗号化できません。また、暗号化されたUSB HDDを USBポート1につないでも、アンロックできません。

1. 暗号化するUSB HDDをUSBポート2につなぐ
2. [ボリューム] → [USBx] → [フォーマット] をクリック
※ [USBx] のxは、暗号化するUSB HDDをつないだUSBポート番号です。
3. ①ロックキーにするUSBメモリーを、USB ポート1につなぐ
②ランプの緑点滅が終わるまで待つ
4. ① [フォーマット形式] の [専用フォーマット] を選ぶ
② [暗号化] の [有効] を選ぶ
※暗号化を解除する場合は [無効] を選ぶ
③ [実行] をクリック

フォーマット	
ステータス	未実行
フォーマット形式	☒ 専用フォーマット ☐ FAT32
暗号化	☒ 有効 ☐ 無効
実行	

5. 「フォーマットしますか？」と表示されたら、[OK] をクリック
フォーマットを開始します。しばらくお待ちください。

ご注意

ロックキーは紛失しないよう、必ず安全な場所に保管してください。

暗号化ボリュームにアクセスする

1. 本製品の電源をOFFにする
2. ロックキーを、USBポート1につなぐ
3. 本製品の電源をONにする
4. 本製品の起動が完了したら、ロックキーをUSBポート1から取り外す
これで暗号化ボリュームにアクセスできます。

「セキュリティロックモード」を解除するには

内蔵ディスクに暗号化ボリューム設定をした場合、本製品にロックキーをつなぐずに起動すると、本製品は「セキュリティロックモード」で起動します。「セキュリティロックモード」では、すべての共有サービスは停止し、共有フォルダー上に保存されたデータにアクセスできません。「セキュリティロックモード」は、ロックキーを本製品につなぐことで解除することができます。

※次回本製品の起動/再起動時には再びロックキーが必要です。スケジュール起動/終了する場合はご注意ください。

●「セキュリティロックモード」は内蔵ディスクの暗号化が解除されていない場合のモードです。USB HDDの暗号化だけが解除されていない場合は「セキュリティロックモード」になりません。

●「セキュリティロックモード」を解除するには、以下の操作をおこなってください。

◇ロックキーをUSBポート1につなぐ

正しいロックキーをつないだ場合、本製品は正常動作に戻り、共有フォルダー上に保存されたデータにアクセスできるようになります。解除後、ロックキーは取り外してください。

※次回本製品の起動時、または再起動時には再びロックキーが必要です。

キーサーバー機能使用時のアクセス方法

「LAN DISK Key Server」がインストールされたパソコンが起動してから、本製品を起動してください。

スペアキーを作成する

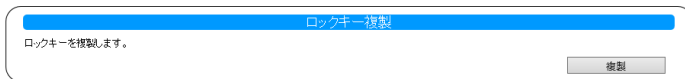
スペアキーを作るには、USBメモリーが必要です

- 64MB以上の容量を持つUSBメモリーをご用意ください。
 - USBメモリーにあらかじめ記録されているデータはすべて消去されます。
 - 暗号化されているUSBメモリーはご利用いただけません。弊社製ED-HBシリーズの場合は、アンロックした状態で挿入してください。
- ※本製品のキーサーバー機能でもロックキーを生成できます。方法は、[キーサーバー機能](#)をご覧ください。

1. [ボリューム] → [ロックキー] → [ロックキー複製] をクリック

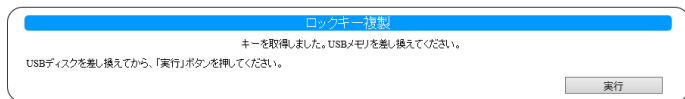
2. ロックキー（マスターキー）を、USBポート1につなぐ

3. [複製] をクリック



4. 「キーを取得しました。USBメモリーを差し換えてください。」と表示されたら、USBポート1につないだロックキー（マスターキー）を、新しいUSBメモリーに差し換える

5. [実行] をクリック



ご注意

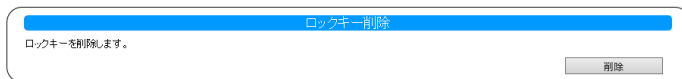
ロックキーはなくさないでください。また、防犯上、安全な場所に保管してください。

ロックキーを削除する

ご注意

ロックキーを削除すると、暗号化ボリュームにアクセスできなくなります。必ず暗号化ボリュームの解除後に実行してください。[暗号化ボリュームを作成/解除する参照](#)

1. 削除するロックキーを、USBポート1につなぐ
2. [ボリューム] → [ロックキー] → [ロックキー削除] をクリック
3. [削除] をクリック
→ロックキーのキー情報を削除しました。



4. ランプが緑点灯になったら、USBメモリーをそのまま取り外す
※取り外したUSBメモリーは、フォーマットしてからご利用ください。

キーサーバー機能

添付ソフト「LAN DISK Key Server」をご利用いただくと、キーサーバーが本製品と通信して安全にロックキー情報を交換できますので、毎回ロックキーを利用しなくても暗号化ボリュームにアクセスできるようになります。複数台の本製品のロックキーをまとめて管理する場合に便利です。また、キーサーバーは最大3台まで設定可能です。キーサーバーを複数台利用すると冗長性が上がります。

事前にキーサーバーとするパソコンに「LAN DISK Key Server」をインストールしてください

● LAN DISK Key Sever Ver.1.20 以降をご使用ください。

● あらかじめ本製品の暗号化処理をおこない、ロックキーを準備しておいてください。

[キーサーバーを設定する](#)

[キーサーバーへ本製品のキーを登録する](#)

[本製品のロックキーを生成する](#)

[ロックキーの対象機器を変更する](#)

キーサーバーを設定する

キーサーバー機能を利用する場合は、使用するキーサーバーを有効にします。

1. [ボリューム] → [ロックキー] → [キーサーバー] をクリック
2. ① [有効] にチェックをつける
- ② [キーサーバー]（必要に応じて [ポート]）を入力
[キーサーバー] には、「LAN DISK Key Server」をインストールしたパソコンの名前またはIPアドレスを入力します。
※ポート未入力の場合は、51056になります。「LAN DISK Key Server」で利用するポート番号を変更している場合、変更したポート番号に合わせて設定してください。
- ③ [適用] をクリック

キーサーバー

有効	キーサーバー	ポート	キーの登録状況	操作
☒		51056	-	キー登録 ロックキー生成
☐		51056	-	キー登録 ロックキー生成
☐		51056	-	キー登録 ロックキー生成

適用

キーサーバーへ本製品のキーを登録する

キーサーバーに本製品のキーの情報を登録します。あらかじめキーサーバー側で登録している場合は不要です。

事前にキーサーバーとするパソコンの「LAN DISK Key Server」で以下の設定をします

[連携許可設定] で [許可する] に設定を変更しておきます。

設定方法は、【LAN DISK Key Server 画面で見るマニュアル】をご確認ください。

1. キーサーバーに登録するロックキーを、USBポート1につなぐ
※本製品用のロックキー以外は登録できません。

2. [ボリューム] → [ロックキー] → [キーサーバー] をクリック

3. [キー登録] をクリック

※キーサーバーを設定していない場合、設定してください。[キーサーバーを設定する](#)

有効	キーサーバー	ポート	キーの登録状況	操作
☒		51056	未登録	キー登録 ロックキー生成
☐		51056	-	キー登録 ロックキー生成
☐		51056	-	キー登録 ロックキー生成

適用

4. ①LAN DISK Key Serverの連携許可設定で登録したパスワードを入力
② [OK] をクリック

キーをキーサーバーに登録します。

1. USBポート1に本製品のロックキーを挿入します。
2. キーサーバーの連携許可設定で設定したパスワードを入力します。
3. [OK]をクリックします。

パスワード:

OK Cancel

本製品のロックキーを生成する

キーサーバーに登録したキーからロックキーを生成します。

事前にキーサーバーとするパソコンの「LAN DISK Key Server」の設定をします

[連携許可設定] で [許可する] に設定を変更しておきます。
設定方法は、【LAN DISK Key Server 画面で見るマニュアル】をご確認ください。

1. キーサーバーに登録するロックキーを、USBポート1につなぐ
※本製品用のロックキー以外は登録できません。
2. [ボリューム] → [ロックキー] → [キーサーバー] をクリック

3. ①生成するキーの「有効」にチェックをつける
 ②「適用」をクリック
 ※キーサーバーを設定していない場合、設定してください。[キーサーバーを設定する](#)

4. 「ロックキー生成」をクリック

5. ①LAN DISK Key Serverの連携許可設定で登録したパスワードを入力
 ②「OK」をクリック

ロックキーの対象機器を変更する

他の本製品で利用していたロックキーを本機用に変更する機能です。
 変更後のロックキーは本機専用となり、元の製品では使用できなくなりますのでご注意ください。
 ※通常本操作は必要ありません。本製品の入れ替えが必要になった場合などにご利用ください。

用途例

環境	古いLAN DISK にUSB HDDを接続し、暗号化して運用
用途	USB HDDとロックキーをそのまま新しいLAN DISKで使う
方法	以下の方法で、新しいLAN DISKに入れ替え、ロックキーの対象機器を変更する

1. 対象を変更するロックキーを、USBポート1につなぐ
2. 「ボリューム」→「ロックキー」→「対象変更」をクリック

3. 「対象変更」をクリック

対象変更

本機能は別個体で作成されたロックキーを本機のロックキーとして変換します。USBポートIIに対象となるロックキーを挿入し、「対象変更」を押して下さい。

対象変更

チェックディスクを実行する

ハードディスクのチェックを定期的に行うと、ハードディスクのエラー発生を早期に発見し対処できます。

チェックディスクには、以下の特徴があります。

- ・チェックディスクは、ファイルシステムに論理的な障害が発生していないか検査し、修復をおこないます。
- ・チェックディスク中に電源を切らないでください。完了するまでお待ちください。
- ・チェックディスク中に以下の操作はできません。
 - 共有フォルダーへのアクセス
 - 各種設定変更
 - ファームウェア更新
 - パッケージ追加、削除、更新
 - スケジュールシャットダウン
 - バックアップ
 - データコピー
 - クイックコピー
- ・購入初期の正常な本製品の場合は約 1 分で完了します。
 - ※ 非常に時間がかかる場合があります。
- ・専用フォーマットのUSB HDDのチェックディスクは、フォーマット直後でも5分以上かかります。容量や転送速度、お使いの状態により、非常に時間がかかる場合があります。

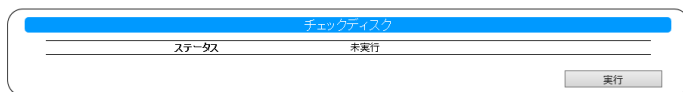
ご注意

チェックディスクは、以下のハードディスクに対して実行できます。

- ・内蔵ディスク
- ・USB HDD（専用フォーマット形式）

FAT 形式やNTFS 形式のUSB HDDについては、パソコンにUSB HDDをつないでチェックディスクをおこなってください。方法は、各OSのヘルプ等をご確認ください。

1. [ボリューム] → [内蔵] → [チェックディスク] をクリック
※USB HDDの場合は、[ボリューム] → [USBx] → [チェックディスク] をクリック
2. [実行] をクリック



ご注意

- チェックディスクを中断することはできません。チェックディスク中に電源を切るなどして中断しないでください。システムが破損するおそれがあります。
- FAT/NTFSでフォーマットされているUSB HDDはチェックディスクできません。（直接パソコンに接続し、Windows上などでエラーチェックをおこなってください。）

メール通知機能を利用する

メール通知機能については、[メール基本設定](#)をご覧ください。

アクティブリペアを実行する

ハードディスクのチェックを定期的に行うと、ハードディスクのエラー発生を早期に発見し対処できます。

アクティブリペアでは、ハードディスク（内蔵ディスクまたはミラーリングしているUSB HDD）の一部に不良セクターが発見された場合、他の正常なハードディスクからデータを読み込んで異常のあるハードディスクに書き込み、ハードディスク不良によるデータ損失を未然に防止する機能です。

アクティブリペアには、以下の特徴があります。

- ・ハードディスクに何らかのリードエラーが発生している場合、検出あるいは修復をおこなうことができます。
- ・アクティブリペア中、設定画面その他の動作が遅くなる場合があります。
- ・アクティブリペア実行中は、外部からの操作等をおこなっていない状態でも、対象ハードディスクがアクセス中の状態になります。
- ・アクティブリペア結果をメール送信できます。
- ・アクティブリペアは、バックグラウンドで処理するため、アクティブリペア中に他の操作をおこなうことができます。ただし、アクティブリペア中に電源ボタンで本製品の電源を切った場合、処理が中断されます。
- ・アクティブリペア中にスケジュールシャットダウン時刻になってもアクティブリペアが完了するまでスケジュールシャットダウンは開始されません。
- ・アクティブリペア実行中に、スケジュールバックアップ開始時間になった場合、スケジュールバックアップは開始されますが、アクティブリペアとバックアップの所要時間が長くなります。アクティブリペア時間とスケジュールバックアップが同時実行されないように設定することをおすすめします。
- ・スケジュールを設定して指定した時間にアクティブリペアを実行することができます。
- ・本製品は、アクティブリペアのスケジュール実行を有効に設定しており、毎月最初の土曜日の午前0時00分よりアクティブリペアが自動的に開始されます。
- ・アクティブリペアのスケジュール実行時刻に本製品の電源がOFFの場合、アクティブリペアのスケジュール実行は行われませんので、スケジュール実行時刻には本製品を起動しておいてください。
- ・アクティブリペアのスケジュール実行は、月に1回のみ動作するよう設定できます。

ご注意

出荷時状態でもアクティブリペアを実行可能ですが、実際に機能するのはUSB HDDとミラーリングをおこなっている場合のみです。

1. [ボリューム] → [内蔵] → [アクティブリペア] をクリック

2. [アクティブリペア開始] をクリック

アクティブリペア	
ステータス	停止
アクティブリペア停止 アクティブリペア開始	
スケジュール機能	☒ 有効 ☐ 無効
曜日(毎月最初)	☐ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☒ 土
時刻	00 00
適用	

スケジュールを設定する場合

上記画面で以下の操作をします。

- ① 実行する曜日・時刻を選ぶ
- ② [適用] をクリック

メール通知機能を利用する

メール通知機能については、[メール基本設定](#)をご覧ください。

LAN DISKの名前を変更する

1. [システム] → [名前設定] をクリック

2. ① [LAN DISKの名前] を設定する

② [適用] をクリック

名前設定

LAN DISKの名前	landisk-
LAN DISKの説明	HDL-AA series
LAN DISKの設置場所	

適用

日付と時刻を変更する

1. [システム] → [時刻設定] をクリック

2. ① [同期] を選ぶ
② [適用] をクリック

時刻設定

時刻設定

☐ 手動 ☒ 同期

NTPサーバー

ntp.nict.jp

同期のタイミング

☒ 起動時
☐ 毎日 0 0

適用

同期について

インターネットに接続できる環境にある場合は、[同期] を選んだ場合、設定の適用と同時に同期を開始します。

手動で設定する

①で[手動] を選ぶと、年月日時分を入力して設定することができます。

ネットワークを設定する

1. [ネットワーク] → (設定するLANポート) → (設定するプロトコル) をクリック

2. ①ネットワークを設定

※設定項目については、[ネットワーク](#)をご覧ください。

② [適用] をクリック

IPv4

IPアドレス設定方式	☒ 自動で取得する(DHCP) ☐ 手動で設定する	
IPアドレス	192.168.31.199	
サブネットマスク	255.255.255.0	
スループットサイズ	1500	リストから選択
Wake On LAN	☒ 有効 ☐ 無効	

追加設定

設定方法	☒ 自動で取得する ☐ 手動で設定する	
デフォルトゲートウェイ	192.168.31.1	
DNSサーバー	192.168.31.1	

適用

設定について

ご家庭でお使いの場合

ブロードバンドルーターに本製品をつなぐ場合は、通常「IPアドレス設定方式」と追加設定の「設定方法」はともに「自動で取得する」に設定してください。

オフィスなどでお使いの場合

手動で設定する場合がありますので、ネットワーク管理者にご確認ください。

ご注意

- IPv4とIPv6のいずれか、または両方を同時に利用できます。
- [Wake On LAN] 機能は IPv6通信に対応していません。
- 本製品にIPv6で接続するには、お使いのOSがIPv6に対応している必要があります。また、接続方法はOSやアプリケーションにより異なります。

プロキシを設定する

インターネットに接続する際に、プロキシを利用する必要がある場合に設定します。

- 1. [ネットワーク] → [プロキシ設定] をクリック
- 2. ①項目を設定
- ② [適用] をクリック

プロキシ設定

プロキシ

☒ 使用しない

☐ 自動設定スクリプトを使用する

☐ 手動設定

適用

使用しない	プロキシ設定を利用しません。
自動設定スクリプトを利用する	自動設定スクリプトファイルのURL を入力します。 ※指定するURL については、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。
手動設定	プロキシサーバーの [アドレス] と [ポート] を入 力します。 ※指定するアドレス、ポートについては、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。

管理者パスワードを設定する

管理者は本製品の全設定や、すべての共有（全員共有、ユーザー共有、グループ共有）にアクセスできる権限を持っています。

※すべての共有にアクセスできるのはWindowsパソコンからのみです。他の人にパスワードが漏れないようしっかり管理し、定期的にパスワードを変更してください。

※管理者パスワードは以下の場合に使います。

- ・本製品の設定画面を開く場合
- ・「LAN DISKコネクト」または「Magical Finder」からIP設定画面を開く場合
- ・管理者として共有フォルダーにアクセスする際のパスワード
- ・「LAN DISK Admin」使用時、対象機器の情報を取得・設定する場合
- ・「LAN DISK Restore」使用時、対象機器の情報を取得・復元する場合
- ・「SightOn」使用時、対象機器の共有フォルダーを監視対象とする場合

ご注意

パスワードは忘れないようしっかり管理してください。設定したパスワードを忘れた場合、本製品のRESETボタンを押すと、管理者パスワードとネットワーク設定が出荷時設定に戻ります。[出荷時設定に戻す](#)

また、RESETボタンは有効・無効に設定することができます。[各ボタンを有効/無効にする](#)

1. [システム] → [管理者設定] をクリック

2. ①新しいパスワードを2回入力
※4 ～ 20 文字（半角英数記号）
② [適用] をクリック

管理者設定

パスワード

パスワード(確認)

メール

ログインタイムアウト時間

10

(分)

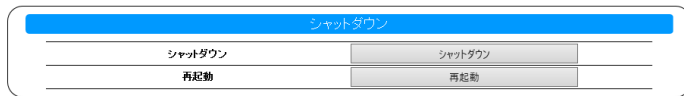
適用

その他の設定項目

メール	必要に応じてメールアドレスを設定できます。ここで設定したメールアドレスは、[システム] → [通知] → [メール] → [通知設定] の送信先メールアドレスの既定値となります。
ログインタイムアウト時間	操作がおこなわれなかった場合に、自動的にログアウトする時間を設定します。

シャットダウン/再起動する

1. [システム] → [電源] → [シャットダウン] を クリック
2. ・シャットダウンする場合は、[シャットダウン] をクリック
・再起動する場合は、[再起動] をクリック



あとは、画面の指示にしたがってください。

起動スケジュールを設定する

ご注意

- 起動スケジュール設定を使う場合は、電源コンセントに常につないだ状態にしておいてください。
- 起動スケジュールによる終了（シャットダウン）に関して、指定した終了時間にバックアップ、データコピーがおこなわれている場合、処理が完了するまで終了しません。
- 本製品の時刻を正しく設定してください。

1. [システム] → [電源] → [スケジュール設定] をクリック
2. ①それぞれ起動・終了を設定したい曜日をチェックし、時刻を設定する
② [適用] をクリック

スケジュール設定

起動設定	起動時刻設定	終了設定	終了時刻設定
日 ☐	08 00	☐	20 00
月 ☐	08 00	☐	20 00
火 ☐	08 00	☐	20 00
水 ☐	08 00	☐	20 00
木 ☐	08 00	☐	20 00
金 ☐	08 00	☐	20 00
土 ☐	08 00	☐	20 00

☐ 10分間共有フォルダーにアクセスがなくなるまで終了時刻を延期
※クラウドサービスと同期設定を行っている場合、終了しない場合があります。

適用

[10分間共有フォルダーへアクセスがなくなるまで終了時刻を延期]

以下の条件を満たすまでシャットダウンを延期する機能です。

- ・ 過去10分間内蔵ディスクのデータ領域へのアクセスがない
- ・ 過去10分間USB HDDへのアクセスがない

※クラウドサービスと同期設定していると、終了しない場合があります。

AC電源連動設定をする

停電などでコンセントからの電源供給が途絶え、復帰したときに自動的に電源ONにする機能です。

1. [システム] → [電源] → [AC電源連動設定] をクリック
2. ① [有効] を選ぶ
② [適用] をクリック

AC電源連動設定

AC電源連動設定

☐ 有効 ☒ 無効

適用

ご注意

停電から復旧して10分経過しても本製品が自動起動しない場合は、電源ボタンを押して起動してください。

省電力機能を使う

電力消費を抑えるため、一定時間アクセスがなければ内蔵ディスクの回転を停止します。また、本製品の省電力機能に対応しているUSB HDDを使うと、USB HDDも同時に省電力モードに設定することができます。

ご注意

- 設定時間内にHDDにアクセスしなくても、本製品のシステムがHDDにアクセスした場合は、停止しません。
- HDD停止中にアクセスしなくても、本製品システムからのアクセスによりディスクがスピニングアップする場合があります。
- 冷却ファンは停止しません。
- 本製品をDHCPクライアントモードでお使いの場合、IPアドレスを更新する際に、内蔵ディスクがスピニングアップします。また、ネットワークの通信中やシステム処理のためにディスクアクセスすることがあります。DHCPサーバーのリース時間を長く設定すると、アドレス更新によるスピニングアップ間隔も長くできます。
- 定期的に本製品にアクセスするソフトウェア（例：弊社製LAN DISK Admin、SightOnなど）をお使いの場合、本製品の省電力機能を有効にしても、HDDが停止しない場合があります。

1. [システム] → [電源] → [省電力設定] をクリック

2. ①停止までの時間を設定
②各ボリュームで [有効] を選ぶ
③ [適用] をクリック

省電力設定

時間設定	30分
内蔵ボリューム	☒ 有効 ☐ 無効
USB1ボリューム	☒ 有効 ☐ 無効
USB2ボリューム	☒ 有効 ☐ 無効
USB3ボリューム	☒ 有効 ☐ 無効

適用

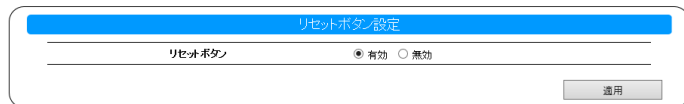
ボタンを有効/無効にする

RESETボタンの有効/無効を切り替える方法を説明します。

1. [システム] → [ボタン] → [リセットボタン設定] をクリック

2. ① [有効] / [無効] を選ぶ

② [適用] をクリック



ご注意

RESETボタンを無効に設定した場合、RESETボタンによるネットワーク設定の初期化、および管理者パスワードのリセット機能が無効になります。設定した管理者パスワードを忘れた場合、本製品の設定画面を開くことができなくなります。管理者パスワードは厳重に管理してください。

ランプの明るさを設定する

- 1. [システム] → [ランプ設定] をクリック
- 2. ①ランプの明るさを選ぶ
② [適用] をクリック

ランプ設定

LEDの明るさ

☐ 暗 ☐ 中 ☒ 明

適用

自己診断する

1. [システム] → [自己診断] をクリック

2. ①診断する項目をチェック
② [実行] をクリック

自己診断

診断項目	結果
☐ Ping ・送信先ホスト:	未実行
☐ Traceroute ・送信先ホスト:	未実行
☐ サービス	未実行
☐ デバイス	未実行
☐ キーサーバー	未実行
☐ SNMPトラップ	未実行
☐ ネットワークシャットダウン ・シャットダウン: ☐ する ☒ しない	未実行
☐ メール	未実行
☐ バックアップ	未実行
☐ データコピー	未実行

実行

Ping	以下の形式で入力した送信先ホストへのネットワーク通信が可能かを確認します。 IPv4アドレス or IPv6アドレス(コロン区切り) or ホスト名
Traceroute	以下の形式で入力した送信先ホストへのネットワーク通信経路を確認します。 IPv4アドレス or IPv6アドレス(コロン区切り) or ホスト名
サービス	本製品の各サービス(ファイル共有/UPS警告等) の稼働状態を確認します。
デバイス	本製品に接続されている機器(内蔵ディスク/USB HDD/USB UPS/USBプリンター) の各情報を確認します。
キーサーバー	本製品に設定したキーサーバーと接続/ 認識できることを確認します。
SNMPトラップ	本製品に設定したSNMPトラップ先ホストと接続/認識できることを確認します。
ネットワークシャットダウン	本製品に設定したネットワークシャットダウン相手ホストと接続/認識できることを確認します。
メール	本製品に設定したメール送信先アドレスへメール送信できることを確認します。
バックアップ	本製品に設定したバックアップジョブのバックアップ元/先と接続/認識できることを確認します。
データコピー	本製品に設定したデータコピージョブのデータコピー元/先と接続/認識できることを確認します。

ファームウェアを更新する

ファームウェアの更新（アップデート）には、新しい機能の追加のほかにも本製品の修正など、重要な更新が含まれます。
必ず最新のファームウェアを適用して本製品を使ってください。
本製品がインターネットに接続できる環境にある場合は、ファームウェアの自動更新機能を有効に設定しておくことをおすすめします。（出荷時設定：有効）
本製品がインターネットに接続できない場合は、ファームウェアを[弊社Webページ](#)よりダウンロードできます。

ご注意

- ファームウェアを更新する際は、パソコンのファイアウォールの設定を解除してください。解除されていないと、正常に更新できない場合があります。
- ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。更新中に電源を切ると、本製品を破損するおそれがあります。
- 正しくファームウェアを更新するために、本製品にアクセスしているユーザーがいないことを確認してください。または、パソコンと本製品を1対1で接続して実行してください。
- ファームウェアバージョンを以前のバージョンに戻すことはできません。
- ファームウェアのアップデートをしても設定やデータは消えませんが、万一のため大切なデータのバックアップは必ずお取りください。

ファームウェアを手動更新する

ファームウェアの自動更新設定をする

ファームウェアの更新通知設定をする

ファームウェアを手動更新する

1. [システム] → [ファームウェア] → [更新] を クリック
2. ① [サーバーからダウンロードする] を選ぶ
② [更新] をクリック

更新

現バージョン	1.00
更新方法	● サーバーからダウンロードする ○ ファームウェアファイルを指定する

更新

3. ①更新内容を確認
② [実行] をクリック

更新

バージョン	更新ポイント
100.01	
100.02	

戻る

実行

ファームウェアの更新が開始されます。
「ピピピピ」となり、ランプが緑点灯すれば完了です。

再起動やシャットダウンをする場合があります

ファームウェアの更新の際、再起動やシャットダウンをする場合があります。その場合は、その時点でファームウェアの更新は完了です。

複数の本製品をまとめて更新する

添付の管理ツール「LAN DISK Admin」でまとめて更新できます。詳しくは、LAN DISK Admin取扱説明書をご覧ください。

ご注意

ファームウェアを更新後、設定画面が変更される場合がありますので、Webブラウザのキャッシュを消去してください。Internet Explorerの場合は、Webブラウザ画面上で、キーボードの【Ctrl】キーを押しながら、【F5】キーを押します。Safariの場合は、Safariを起動し、メニューより【Safari】→【キャッシュを空にする】をクリックし、表示される画面からキャッシュを空にします。

ファームウェアの自動更新設定をする

1. 【システム】→【ファームウェア】→【自動更新設定】をクリック
2. ①【自動更新】の【有効】・【無効】を選ぶ
②自動更新時刻を設定
③【適用】をクリック

自動更新について

- 自動更新時刻と更新通知時刻は共通となります。
- 実際の自動更新は設定した時刻から1時間以内で行われます。

ファームウェアの更新通知設定をする

1. 【システム】→【ファームウェア】→【更新通知設定】をクリック

2. ① [更新通知] の [有効] ・ [無効] を選ぶ
② 更新通知時刻を設定
③ [適用] をクリック

更新通知設定

更新通知

☒ 有効 ☐ 無効

時刻

3

時

適用

更新通知について

- 更新通知時刻と自動更新時刻は共通となります。
- 実際には、設定した時刻から 1 時間以内で自動更新されます。

アクセスログを確認する

本製品に対してどのような操作をおこなったかを記録することができます。
ファイルの参照・作成・編集などのアクセス記録がリアルタイムに記録されます。また、管理者宛にメールでログを一括転送するように設定できますので、監査記録として利用することができます。
※アクセスログはMicrosoftネットワーク共有で通信したときのみ記録されます。

アクセスログを有効にする

アクセスログを確認する

アクセスログを有効にする

1. [システム] → [サービス設定] をクリック
2. ① [アクセスログ] の [有効] を選ぶ
② [適用] をクリック

サービス設定

使用量制限	☐ 有効 ☒ 無効
UPS警告	☐ 有効 ☒ 無効
ファームウェア自動更新	☒ 有効 ☐ 無効
ファームウェア更新通知	☒ 有効 ☐ 無効
パッケージ自動更新	☒ 有効 ☐ 無効
パッケージ更新通知	☒ 有効 ☐ 無効
SNMPトラップ	設定されていません。 設定ページへ移動。
アクセスログ	☐ 有効 ☒ 無効
Microsoftネットワーク	☒ 有効 ☐ 無効

適用

アクセスログを確認する

1. [情報ログ表示] → [アクセスログ] をクリック
→アクセスログが表示されます。

アクセスログ

ダウンロード

前へ1次へ

日時	ユーザー名	ホスト名	IPアドレス	操作	結果	共有フォルダー名	対象
2015/09/30 16:16:42	admin	r631-28e	192.168.	open	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	r631-28e	192.168.	close	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	r631-28e	192.168.	open	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	r631-28e	192.168.	close	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	r631-28e	192.168.	open	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	r631-28e	192.168.	connect	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:41	test	r631-28e	192.168.	disconnect	ok	LAN DISK Manual	LAN DISK Manual
2015/09/30 16:16:34	test	r631-28e	192.168.	connect	ok	LAN DISK Manual	LAN DISK Manual

前へ1次へ

アクセスログのダウンロード

表示されたアクセスログの [ダウンロード] をクリックすると、アクセスログをダウンロードできます。

アクセスログの読み方

以下の順で表示されます。

日時,操作したユーザー,操作したホスト名,ユーザーのパソコンのIPアドレス,操作内容※,操作結果（OK：成功 fail(xxxx)：失敗）,操作したフォルダーとファイル

※操作内容

connect：クライアントPC が共有フォルダーに接続した

disconnect：クライアントPC が共有フォルダーの接続を解除した

open_read：対象ファイルを読み込みモードで開いた

open_write：対象ファイルを書き込みモードで開いた

close：ファイルが閉じられた

mkdir：フォルダー作成時

rmdir：フォルダー削除時

rename：ファイル/ フォルダーの名前が変更された

unlink：ファイル削除時

ご注意

アクセスログをメール送信する場合は、[システム] → [通知] → [メール] → [通知設定] で設定します。

システムログを確認する

1. [情報ログ表示] → [システムログ] をクリック
→システムログが表示されます。上から新しい順に 1 0 0 件表示されます。

システムログ

フィルタリング設定

ダウンロード

ソート

日時 降順

フィルタリング

☐ 有効 ☒ 無効

◀ 前へ

1

次へ ▶

日時	レベル	カテゴリ	メッセージ
2013年11月26日 11:19:09	情報	システム	管理者ログインしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日 11:18:14	情報	システム	管理者ログアウトしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日 11:18:03	情報	システム	管理者ログインしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日 11:17:57	情報	システム	管理者ログアウトしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日 11:17:40	警告	NarSuS	NarSuSサーバーへの接続に失敗しました。(3109-0000)
2013年11月26日 11:12:32	情報	NarSuS	設定を変更しました。
2013年11月26日 11:09:50	情報	LAN1	LAN1 DHCP成功。アドレス: 192.168.31.91 更新情報: 259200 秒
2013年11月26日 11:09:46	警告	LAN2	LAN2がリンクしていません。(608-0000)
2013年11月26日 11:09:44	情報	システム	管理者ログインしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日 11:09:40	情報	LAN1	LAN1がリンクしました。
2013年11月26日 11:08:29	情報	システム	システムを起動しました。
2013年11月26日 11:08:20	情報	RAIDボリューム	内蔵ボリュームをマウントしました。
2013年11月26日 11:07:52	警告	ファームウェア	ファームウェア公開サーバーへの接続に失敗しました。(3709-0000)
2013年11月26日 11:07:48	警告	バックアップ	バックアップ公開サーバーへの接続に失敗しました。(3609-0000)
2013年11月26日 11:07:43	情報	日付と時刻	NTPサーバーと時刻を同期しました。
2013年11月22日 16:45:51	情報	システム	システムをシャットダウンします。
2013年11月22日 16:44:36	情報	システム	システムを起動しました。
2013年11月22日 16:44:27	情報	RAIDボリューム	内蔵ボリュームをマウントしました。
2013年11月22日 16:43:53	警告	ファームウェア	ファームウェア公開サーバーへの接続に失敗しました。(3709-0000)
2013年11月22日 16:43:51	警告	バックアップ	バックアップ公開サーバーへの接続に失敗しました。(3609-0000)
2013年11月22日 16:43:48	警告	日付と時刻	NTPサーバーと時刻を同期できませんでした。(309-0000)
2013年11月22日 16:43:15	警告	LAN2	LAN2がリンクしていません。(608-0000)
2013年11月22日 16:43:08	警告	LAN1	LAN1がリンクしていません。(508-0000)

◀ 前へ

1

次へ ▶

フィルタリング設定	フィルタリングの設定ができます。[日時]、[レベル]、[カテゴリ]をそれぞれ設定し、[適用]をクリックすると保存されます。
ダウンロード	ログを.csv 形式でダウンロードします。
ソート	ログの並べ替え方法を指定できます。
フィルタリング	設定したフィルタリングの有効/無効を設定します。
日時	ログを記録した日時を表示します。
レベル	ログの警告レベルを表示します。
カテゴリ	ログのカテゴリを表示します。
メッセージ	ログの内容を表示します。

ご注意

ログ情報は、以下のような状況のときに古いログから削除されます。

- ・ログのサイズが一定のサイズを超えた場合
- ・本製品をシャットダウンした場合

※システムログをメール送信する設定については、[メール基本設定](#)をご覧ください。

※システムログの一覧は、[ログ・お知らせ一覧](#)をご覧ください。

各種情報を確認する

[メイン画面](#)

[お知らせ](#)

[システム情報](#)

[ネットワーク情報](#)

[ボリューム情報](#)

メイン画面



▼上部アイコン

マニュアル	本製品の【画面で見るマニュアル】を開きます。
メロディ(開始)	本製品のメロディを鳴らします。メロディが鳴っている間はメロディ(停止) ボタンとなります。
ログアウト	設定画面からログアウトし、トップページに戻ります。

▼通知エリア（左）

通知	警告などを表示します。
----	-------------

▼通知エリア（右）

LAN DISKの名前	LAN DISKの名前を表示します。
バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
IPアドレス	本製品のLANのIPv4アドレスを表示します。
MACアドレス	本製品のLANのMACアドレスを表示します。
使用容量/全容量	現在の内蔵ディスクの使用容量と全容量を表示します。 ※本製品のシステム用に、約6GB使われています。ご了承ください。

▼下部アイコン

ホーム	クリックすると、メイン画面に戻ります。
-----	---------------------

	表示されているアイコンをクリックすると、そのページにジャンプします。
戻る	クリックすると、上位メニューに戻ります。
全ヘルプ	すべてのヘルプを表示させます。
ヘルプ無し	マウスオーバーでのヘルプを表示させません。

お知らせ

お知らせ

レベル
警告
警告

メッセージ
・バックアップ公開サーバーへの接続に失敗しました。(3609-0000)
・ファームウェア公開サーバーへの接続に失敗しました。(3709-0000)

クリア

〔情報ログ表示〕→〔お知らせ〕をクリック
→お知らせが表示されます。
閉じると、警告レベルのお知らせは消去されます。

レベル	お知らせのレベルを表示します。
メッセージ	お知らせの内容です。
クリア	レベルが「エラー」のお知らせを消去します。

システム情報

システム情報

製品	HDL
システムのバージョン	1.00(2016/04/19 20:29)
時刻	2016/4/28 08:32:44
時刻の同期	有効 時間サーバー ntp.nict.jp
有効なサービス	・ファームウェア自動更新 ・ファームウェア更新通知 ・バックアップ自動更新 ・バックアップ更新通知 ・Microsoftネットワーク
RAIDモード	拡張ボリューム
クイックコピー	有効
バックアップスケジュール	無効
データベーススケジュール	無効
省電力モード	30分
ランプの明るさ	明
起動スケジュール	無効
温度	43℃
FANの回転数	3000rpm
プリンター	未接続
UPS警告	無効
UPS接続状態	未接続
UPSバッテリー残量	-

〔情報ログ表示〕→〔システム情報〕をクリック
→システム情報が表示されます。
項目名をクリックすると、設定画面が表示されます。

製品	本製品の型番です。
システムのバージョン	本製品のファームウェアバージョンです。
時刻	現在の時刻です。
時刻の同期	本製品の時刻をタイムサーバーから取得するかどうかについて表示します。
有効なサービス	本製品が提供しているサービスを表示します。
クイックコピー	クイックコピー機能の有効/無効を表示します。

バックアップスケジュール	バックアップスケジュールの有効/無効を表示します。
データコピースケジュール	データコピースケジュールの有効/ 無効を表示します。
省電力モード	省電力モードの有効/ 無効を表示します。
ランプの明るさ	現在のランプの明るさです。
起動スケジュール	起動スケジュールの有効/無効を表示します。
温度	本製品の温度を表示します。
FANの回転数	FANの回転数を表示します。
プリンター	プリンターの接続状態を表示します。
UPS警告	UPS警告機能の有効/無効を表示します。
UPS接続状態	UPSの接続状態を表示します。
UPSバッテリー残量	UPSのバッテリー状態を表示します。

ネットワーク情報

ネットワーク情報

LAN DISKの名前		landisk-000000	
LAN DISKの説明		HDL-AA series	
LAN DISKの設置場所			

LAN1	IPv4	IPv6	
	IPアドレス設定方式	自動で取得する(DHCP)	無効
	IPアドレス	192.168.0.100	-
	サブネットマスク/プレフィックス長	255.255.255.0	-
	Wake On LAN	有効	-
	フレームサイズ	1500byte	-
	MACアドレス	00:00:00:00:00:00	
	リンク状態	1000Mbps	
追加設定	設定方法	LAN1優先で自動で取得する	LAN1優先で自動で取得する
	デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1	
	DNSサーバー	192.168.0.1	

プロキシ	使用しない
------	-------

Microsoftネットワーク	ワークグループ
ワークグループ名	WORKGROUP
WINSサーバー	

[情報ログ表示] → [ネットワーク情報] をクリック
 →ネットワーク情報が表示されます。
 項目名をクリックすると、設定画面が表示されます。

LAN DISKの名前	本製品に設定している名前です。この名前は、Windowsネットワークに接続しているクライアントから本製品を指定する場合などに利用します。
LAN DISKの説明	本製品に設定している説明文です。ネットワークで本製品を詳細表示した際に表示されます。
LAN DISKの設置場所	本製品の設置場所です。設定時に記入した場合に表示されます。

▼LANx

IPアドレス設定方式	本製品のIPアドレスを自動取得するか（DHCP機能）を表示します。
IPアドレス	本製品に設定しているIPアドレスです。DHCP機能が有効の場合は、DHCPサーバーから自動取得したアドレスが表示されます。（DHCP 取得失敗時： 192.168.0.200）

サブネットマスク/プレフィックス長	本製品に設定しているサブネットマスクです。IPアドレスとの組み合わせにより、通信できるネットワークが決まります。DHCP機能を有効にしている場合は、DHCPサーバーから取得したサブネットマスク値が表示されます。(DHCP 取得失敗時：255.255.255.0)
Wake On LAN	Wake On LANの有効/ 無効を表示します。
フレームサイズ	本製品が通信する際に送り出す 1 回分のデータの最大値を指定します。 ※ネットワーク上すべての製品が1000BASE-T でジャンボフレームに対応している場合のみご利用いただけます。 ※ネットワーク上のすべての機器が同一の値でないと通信できません。設定をご確認ください。
MACアドレス	本製品のMAC アドレスです。出荷時点で本製品に書き込まれており、変更はできません。
リンク状態	現在のリンクスピードを表示しています。

▼ 共通

設定方法	デフォルトゲートウェイとDNSサーバーアドレスの情報取得方法を表示します。
デフォルトゲートウェイ	本製品に設定しているデフォルトゲートウェイです。
DNSサーバーアドレス	本製品に設定しているDNS サーバーアドレスです。

▼ プロキシ

プロキシ	プロキシ設定の有効/ 無効を表示します。
------	----------------------

▼ Microsoftネットワーク

(ワークグループ設定時) ワークグループ名	本製品に設定しているワークグループ名です。
(ActiveDirectory設定時) ドメイン名(NetBIOS 名)	本製品で設定しているActive Directory のドメイン名 (NetBIOS名) です。
(ActiveDirectory設定時) ドメイン名(フルDNS名)	本製品で設定しているActive Directory のドメイン名 (フルDNS名) です。
(ActiveDirectory設定時) ドメインコントローラーの名前	本製品で設定しているNT ドメイン名です。
(NTドメイン設定時) ドメイン名	本製品で設定しているActive Directory のドメイン名 (NetBIOS名) です。
(NTドメイン設定時) ドメインコントローラーの名前	本製品で設定しているNTドメインコントローラーの名前です。
WINS サーバーアドレス	本製品に設定しているWINS サーバーアドレスです。この設定により、ルーターで区切られたネットワークにおいても名前によるWindows ネットワーク共有サービスが受けられます。通常、ご家庭でご利用になる場合は設定の必要はありません。

ボリューム情報

ボリューム情報

ディスク一覧

内蔵ディスク

USB1

USB2

		内蔵ディスク
モード	標準ドライブ	
ステータス	正常動作	
ボリューム情報	全容量	1994.32GB (1994323779584byte)
	使用容量	0.03GB (33832960byte) 0.00%
	フォーマット形式	専用フォーマット
ディスク	内蔵ディスク1	接続済 WDC WD20EZRX-22JD 2000.40 GB

トップへ戻る

		USB1
モード	クイックコピモード	
ステータス	未接続	

トップへ戻る

		USB2
モード	共有モード	
ステータス	未接続	

トップへ戻る

[情報ログ表示] → [ボリューム情報] をクリック
 →ボリューム情報が表示されます。
 項目名をクリックすると、設定画面が表示されます。

▼モード

モード	本製品の動作モードを表示します。
-----	------------------

▼内蔵ディスクのステータス

内蔵ディスクの動作状態を表示します。状態により複数表示される場合があります。

正常動作	内蔵ディスクは正常に動作しています。
構成異常	一部の内蔵ディスクが故障か接続されていない状態です。 [ディスク] の表示を確認し、故障したディスクの交換をしてください。
停止中	内蔵ディスクを停止した状態です。
マウント失敗	内蔵ディスクのマウントに失敗した状態です。
チェックディスク中	内蔵ディスクがチェックディスク中です。
フォーマット中	内蔵ディスクがフォーマット中です。
未フォーマット	内蔵ディスクは未フォーマット状態です。
セキュリティロック中	内蔵ディスクがセキュリティロックされた状態です。ロックキーで解除されます。
処理中	内蔵ディスクに対して他の操作中を実行中です。

▼ボリューム情報

全容量	内蔵ディスク全体の容量を表示します。 1Kbyte = 1000byte で算出しています。
使用容量	現在使っている容量を表示します。
フォーマット形式	内蔵ディスクのフォーマット形式を表示します。

▼ディスク

内蔵ディスクの一覧を次の形式で表示します。（番号 状態 ディスク名 容量）

状 態	未 接	内蔵ディスクが接続されていません。
--------	--------	-------------------

続	
接続済	本製品で正常に認識されています。
容量不足	必要なサイズより小さなサイズの内蔵ディスクです。適切な容量の内蔵ディスクに交換する必要があります。
故障	読み書きエラーやS.M.A.R.T.診断エラーが発生した内蔵ディスクです。新しい内蔵ディスクカートリッジに交換する必要があります。
異常	起動時に故障と判定されましたが、アクセスに成功したので、RAID崩壊を防ぐためRAIDに組み込まれた内蔵ディスクです。（他にも故障した内蔵ディスクがあります）まずデータをバックアップした後、この内蔵ディスクおよび他の故障した内蔵ディスクを新しい内蔵ディスクに交換してください。
ディスク名	ディスクのモデルナンバーを表示します。
容量	ディスク容量を表示します。1Kbyte = 1000byte で算出しています。

▼USBのステータス

USB機器の動作状態を表示します。状態により複数表示される場合があります。

未接続	USB HDDが接続されていないか、取り外し処理をおこなったか、あるいは正常に認識されていない状態です。USB機器を接続していない場合、USB機器を接続できます。
使用中	USB HDDが正常にマウントされています。取り外す場合は、USB HDDの取り外し処理をおこなってください。
取り外し済	USB HDDは取り外し処理済です。USB HDDの取り外しができます。ロックキー暗号化用のロックキーが接続されています。ロックキーは本体から取り外すことができます。
セキュリティロック中	暗号化されたUSB HDDのセキュリティロックが解除されていない状態です。使うには暗号化フォーマット時に利用したロックキーを接続してください。
マウント失敗	USB HDDのマウントに失敗しています。USB HDDの取り外しは可能です。
待機中	ミラーに追加したボリュームにデータが入っているため、手動でのミラーリング開始操作を待っている状態です。USB HDDの取り外しは可能です。
容量不足	USB HDDが接続されており、正常に認識されていますが、RAIDに組み込めない状態です。接続したUSB HDDの容量がミラーリングするために必要な容量より小さい場合に表示されます。適切な容量のUSB HDDと交換してください。USB HDDの取り外しは可能です。
チェックディスク中	USB HDDをチェックしている状態です。取り外す場合は、USB HDDの取り外し処理をおこなってください。
フォーマット中	USB HDDをフォーマットしている状態です。取り外す場合は、USB HDDの取り外し処理をおこなってください。
故障	USB HDDが故障しています。USB HDDの取り外しは可能です。
未フォーマット	USB HDDが未フォーマット状態です。USB HDDの取り外しは可能です。
ミラーリング	ミラーリングモードに設定され、正常に動作しています。USB HDDは取り外さないでください。
ミラーリング（異常）	ミラーリングモードに設定され、USB HDDのみで動作している状態です。故障した内蔵ディスクを交換し、USB HDDからミラーリングをおこなってください。USB HDDは取り外さないでください。

ミラーリング
(再構築中
(*%))

ミラーリングモードに設定され、再構築を実行中です。USB HDDは取り外さないでください。

出荷時設定に戻す

[IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す](#)

[本製品のすべての設定を出荷時設定に戻す](#)

IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す

万一、本製品に設定したIPアドレスや、本製品設定時の管理者パスワードを忘れてしまった場合にする手順です。初期化される項目は下記の3つのみです。（以下の表以外のすべての設定情報は変更されません。）

IPアドレス	LAN1ポートのIPアドレスを〔自動に取得する(DHCP)〕に戻ります。 IPアドレスを手動設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。
管理者パスワード	〔未設定〕に戻ります。 最初から設定し直す必要があります。
フレームサイズ	〔未使用:1500byte〕に戻ります。

ご注意

- ◆ 内蔵ディスクやUSB HDD内のデータは残ります。（消去されません。）
- ◆ 初期化处理中は、本製品の電源を切らないでください。
処理完了後、本製品は再起動し再度アクセス可能になります。
- ◆ ネットワークに接続したまま実行できます。
- ◆ RESETボタンを無効に設定してある場合は、この機能を利用できません。この場合、パスワードも戻すことができませんので、管理者パスワードがわからなくなった場合の対応がおこなえなくなります。

1. 本製品の電源が入っていることを確認（ランプが緑点灯）
※ランプが点滅中には、初期化しないでください。

2. RESETボタンを針金などの先の細いもので約4秒押す
→ランプが点滅し、「ピッ」と鳴ります。
ランプが 緑点灯 または 赤点灯 すれば完了です。
緑点灯：DHCPサーバーあり
赤点灯：DHCPサーバーなし

IPアドレスや管理者パスワードなどが初期値になっていますので、再度設定をやり直してください。

本製品のすべての設定を出荷時設定に戻す

設定画面から、本製品のすべての設定を初期化し、内蔵ディスクをフォーマットします。初期化される項目は次のとおりです。

- ・本製品のすべての設定
- ・内蔵ディスクの全データ

ご注意

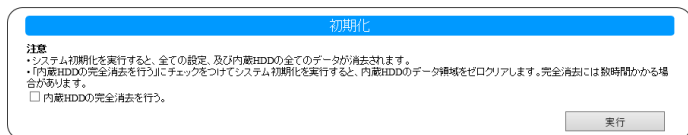
- ◆ 事前に本製品内のデータをバックアップしてください。（USB HDDのデータも事前にバックアップしてください。）
- ◆ USB HDDのデータは消去されませんが、取り外しておくことをおすすめします。

- ◆ 初期化処理中は、本製品の電源を切らないでください。
特に「内蔵HDDの完全消去」をチェックした場合は処理が完了するまでに長時間かかります。
- ◆ 動作モードもすべて初期設定に戻ります。USB HDDをミラーリングモードでご利用の場合、先にミラーディスクの保管をおこなってください。

1. [システム] → [初期化] をクリック

2. ①注意を読む

② [実行] をクリック



【内蔵HDDの完全消去】

【内蔵HDDの完全消去を行う】をチェックした場合、内蔵ディスク全体に0を書き込んだ後、フォーマットします。0を全体に書き込むことにより、一般のツールから内容の復元処理をすることが難しくなりますので、ファイル断片からの情報漏れに強くなります。

本製品を廃棄や譲渡される場合におすすめします。

※目安の時間

完全消去：1TBあたり約2.5時間

通常の初期化：約4分

すべての設定が初期値になっていますので、再度設定をやり直してください。

プリンターをつなぐ

本製品にプリンターをUSB接続することにより、共有プリンターとして利用できます。

[プリンターをつなぐ](#)

[プリンターバッファをクリアする](#)

ご注意

- 本製品の電源のON/OFFに関係なく、プリンターの電源をON/OFFすることができます。本製品は、プリンターのホットプラグに対応しています。ただし、プリンターの電源をONにした後、印刷可能となるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 本製品につないだプリンターは、本製品の電源が入っている状態でも取り外すことができます。プリンターを使っていないことを確認後、本製品からUSBケーブルを取り外してください。
- Windows/パソコンのみ共有プリンターとして使えます。macOSでは使えません。
- 本製品でプリンターを使うすべてのパソコンにプリンタードライバーをインストールする必要があります。（詳細はプリンターの取扱説明書を参照してください。）
- プリンターの双方向機能には対応しておりません。
- 複合機（プリンター機能以外にスキャナーやリーダーライターの機能などを有するもの）をお使いの場合、プリンター機能のみ対応します。
- Microsoft Windows Printing System(WPS) 専用プリンター、プリンターメーカーが独自に採用しているプリンティングシステムのプリンターでは、その仕様上プリントサーバー機能はご利用いただけません。
- 本製品にプリンターは1台のみ、つなげることができます。
- 本製品の内蔵ディスクに空き容量が必要です。本製品を通して印刷時、プリントデータを本製品の内蔵ディスクにスプールするため、スプールデータ用の空き容量が必要になります。印刷できなかった場合は、不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。
- プリンターの機種によってはご利用いただけない場合があります。対応プリンターについては、<http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/function.htm>をご確認ください。

プリンターをつなぐ

1. 本製品の電源が入っていることを確認
2. プリンターの電源を入れ、プリンターが起動したことを確認
3. 本製品のUSBポート2にプリンターをつなぐ

プリンターがつながっていることを確認する

- ① [情報ログ表示] → [システム情報] をクリック
 - ② [プリンター] 欄が [接続済] になっていることを確認
- ※ [未接続] と表示されている場合は、以下をお試しください。
- ・プリンターが正しく起動していること
 - ・しばらく時間をおいてから、再度確認する

プリンターバッファをクリアする

1. [システム] → [プリンターバッファークリア] をクリック

2. [実行] をクリック

プリンター

プリンターバッファークリアしますか？

実行

UPSをつなぐ

[UPSをつなぐ](#)

[UPS警告を有効にする](#)

[UPSによるネットワークシャットダウン設定を有効にする](#)

便利な使いかた

- UPS警告や定期的な再警告（1時間ごと）をメールで通知できます。[定期通知設定](#)
- 停電から復旧した際に本製品を自動起動させられます。[AC電源連動設定をする](#)

UPSをつなぐ

1. UPSの電源を入れ、UPSが起動することを確認
2. 本製品のUSBポートにUPSをつなぐ

UPSがつながっていることを確認する

- ① [情報ログ表示] → [システム情報] をクリック
 - ② [UPS接続状態] が [正常] になっていることを確認
- ※ [正常] と表示されていない場合は、それぞれ下のような状況が考えられます。
- [未接続] [通信不能] → UPSが本製品に正しく接続されていない
 - [バッテリー動作] → 停電状態でUPSのバッテリーによる動作状態

ご注意

- 本製品をUPSのバックアップ出力コンセントに、正しくつないでください。
- UPSと「つないだ後、取り外す」「取り外した後つなぐ」際は、「つなぐ」「取り外す」後30 秒以上間隔をあけてください。
- 停電時、UPS のバッテリー残容量が約30%以下となった場合は、「停電後のシャットダウン」にて設定された時間よりも早くシャットダウンします。
- 本製品は停電時のシャットダウンの際、UPSにシャットダウン信号を送ってシャットダウンします。UPSはシャットダウン信号を受信して数分後に電源出力コンセントの出力を停止しますので、次をお守りください。
 - ・停電中には本製品の電源を手動で入れないでください。
 - ・停電から復帰した場合でも、UPSがシャットダウン処理中の場合もあります。本製品の電源を入れるときは、UPSがシャットダウン処理から復帰しているかをご確認ください。

UPS警告を有効にする

本製品とUPSの接続状態を監視し、次の状態をランプやブザーでお知らせします。

- ・システム起動時に、UPSがつながれていない状態
- ・システム稼働中に、UPS接続ケーブルが抜けた状態

1. [システム] → [電源] → [UPS設定] をクリック

2. ① [UPS警告] の [有効] を選ぶ

② [適用] を選ぶ

UPS設定		
UPS警告 ☐ 有効 ☒ 無効		
停電後のシャットダウン 10分		
ネットワークシャットダウン設定		
有効	シャットダウンするLAN DISK名	管理者パスワード
☐		
☐		
☐		
☐		
☐		
適用		

UPSによるネットワークシャットダウン設定を有効にする

本製品は、ネットワークシャットダウン対応機器です。

UPSをつなぐと、停電時には自動的にシャットダウンすることができます。

ひとつのUPSに複数のLAN DISKシリーズの電源をつないでいる環境において、ネットワークシャットダウン機能を設定すると、UPSとつないでいないLAN DISKシリーズも停電時にシャットダウンすることができます。（最大5台）

下の図例は、以下のように構成されています。

ネットワークシャットダウン対応機器のマスター

「UPS監視ケーブル(USB)」をつなぎ、UPSを監視しています。

停電時には、UPSからの信号を受けて、シャットダウンコマンドをネットワークシャットダウン対応機器のスレーブに送信します。

ネットワークシャットダウン対応機器のスレーブ

ネットワークシャットダウン対応機器のマスターとは、ハブを介してLANケーブルでつながっています。

停電時には、マスターからのシャットダウンコマンドを受けて、シャットダウンします。

ハブ

各ネットワークシャットダウン対応機器をLANケーブルでつなぎます。

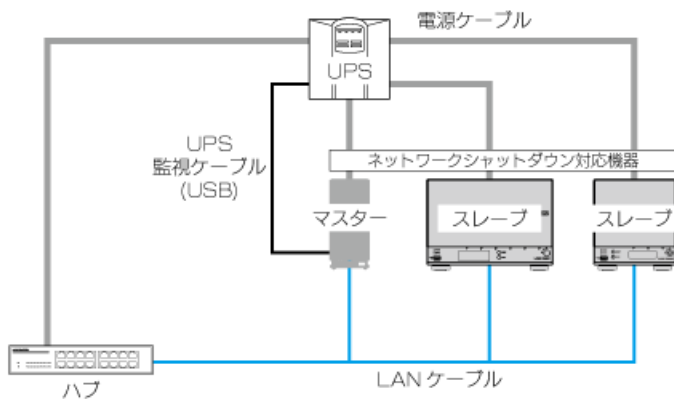
停電時に各ネットワークシャットダウン対応機器が通信できるように、UPSから電源を取ってください。

UPS

各ネットワークシャットダウン対応機器とハブに電源を供給します。

停電時には、ネットワークシャットダウン対応機器のマスターに信号を送信します。

マスターからのシャットダウン信号を受けて、UPS自身もシャットダウンします。



ご注意

- ネットワークシャットダウン対応機器の情報については、[弊社Webページ](#)をご覧ください。（一部機器は、ファームウェアの更新が必要です）
- 停電時、各ネットワークシャットダウン対応機器が通信できないと、ネットワークシャットダウンは実行されません。ネットワーク経路上のすべてのネットワーク機器について、UPSによる電源保護をする必要があります。

1. [システム] → [電源] → [UPS設定] をクリック

2. ① [ネットワークシャットダウン設定] を入力し、入力した行の [有効] にチェックをつける
② [適用] を選ぶ

UPS設定

UPS警告

☐有効

☒無効

停電時のシャットダウン

10分

▼

ネットワークシャットダウン設定

有効

☐
☐
☐
☐
☐

シャットダウンするLAN DISK名

管理者パスワード

適用

有効	ネットワークシャットダウン設定を有効にしま す。
シャットダウンする LAN DISK名	停電時にシャットダウンする [LAN DISK名] （またはIPアドレス）を入力します。
管理者パスワード	シャットダウンするLAN DISKの管理者パスワードを入力します。

Active Directoryへログオンする

Active Directoryが構築されたWindows ネットワークに本製品が参加できる機能です。Active Directory管理のユーザー情報、グループ情報を利用して本製品上の共有フォルダーにアクセス権限が設定できます。本製品へユーザー登録をおこなわずに済むので、ユーザー情報が一元管理できるほか、Active Directory管理下のユーザーが一度認証すれば同じActive Directory内の機器へ認証無しにアクセスできる一元認証機能が利用可能になります。

ご注意

- Active Directoryログオン機能は、ドメインユーザー数1000人、およびグループ数1000グループの環境で動作確認をおこなっております。それ以上の規模のドメインでは、本製品の応答が著しく遅くなったり、正常に動作できないことがあります。
- macOSでは利用できません。
- アクセス権を設定した共有フォルダーは、Active Directoryへ参加方法を切り替えると、本製品で設定していたユーザー、グループで利用できなくなります。また、参加方法を元に戻すと、ドメインモード（Active Directory）で設定したユーザー、グループでアクセス権を設定した共有フォルダーを利用できなくなります。そのため、各参加方法の切り替えをおこなう際は、あらかじめ共有フォルダーのアクセス権を無効(すべてのユーザーでアクセスできるよう)にしておくか、切り替え前にデータをバックアップしてください。

1. ドメインコントローラーとなっているパソコンの時刻と、本製品の日付と時刻の設定を合わせる

[日付と時刻を設定する](#)

ご注意

ドメインコントローラーの時刻と本製品の時刻が5分以上離れていると、ログオンに失敗します。

2. 参加するドメインコントローラーの「ドメイン名（フルDNS名）」、「ドメイン名(NetBIOS名)」を確認し、メモする

ドメイン名の確認方法

「ドメイン名（フルDNS 名）」、「ドメイン名(NetBIOS 名)」はすでにActive Directory に参加しているパソコンから確認できます。（以下はWindows 7の例）

- ① [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] を開きます。
- ② [システムとセキュリティ] → [システム] を開きます。
- ③ [ドメイン] に表示されている文字列を確認します。

この文字列が「ドメイン名（フルDNS名）」になります。ここで「ドメイン名（フルDNS名）」が [domain.local] の場合は「ドメイン名(NetBIOS 名)」は「DOMAIN」となります。

3. 参加するドメインコントローラーの「ドメインコントローラーの名前」を確認し、メモする

ドメインコントローラーの名前の確認方法

「ドメインコントローラー」の名前は、ドメインコントローラーから確認します。

- ① [管理ツール] → [Active Directoryユーザーとコンピューター] を開きます。
- ② 左のツリー表示より、[Domain Controllers] をクリックし、右側に表示されるものが「ドメインコントローラーの名前」になります。

4. Administratorパスワードを変更する

※Active Directoryの仕様により、Administratorパスワードが1度も変更されていない場合、ログオンは失敗します。

5. 本製品のLANポートにActive Directoryの構成された ネットワークへのLANケーブルを接続

6. 本製品設定画面を開き、 [ネットワーク] → [LAN1] → [IPv4] をクリック

7. ① [IPアドレス]、[サブネットマスク] を設定
② 共通設定の [設定方法] で [手動で設定する] を選ぶ
③ [デフォルトゲートウェイ]、[DNSサーバー] を設定
④ [適用] をクリック

IPv4

IPアドレス設定方式	☒ 自動で取得する(DHCP) ☐ 手動で設定する
IPアドレス	192.168.31.199
サブネットマスク	255.255.255.0
スレームサイズ	1500
Wake On LAN	☒ 有効 ☐ 無効

追加設定

設定方法	☒ 自動で取得する ☐ 手動で設定する
デフォルトゲートウェイ	192.168.31.1
DNSサーバー	192.168.31.1

適用

IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ	ドメインコントローラーにアクセス可能な適切な値を設定してください。
DNSサーバー	ドメインコントローラーのIPアドレスを入力します。Active Directoryの名前解決がおこなえるDNSサーバーがドメインコントローラーと別のサーバーにて構築されている場合は、そのDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

8. [ユーザー＆グループ] → [Microsoftネットワーク設定] をクリック

9. ①Active Directoryについて設定
② [適用] をクリック

Microsoftネットワーク設定

設定方法	☐ ワークグループ ☒ Active Directory
ドメイン名(NetBIOS名)	
ドメイン名(フルDNS名)	
ドメインコントローラーの名前	
管理者名	
管理者パスワード	
WINSサーバー	

注意

- 管理者ユーザー名には、ActiveDirectoryのadministrator権限を持ったユーザー名を指定してください。
- ドメインでご利用になる場合はワークグループに切替えないようにしてください。
- ドメインのインストール後にドメインユーザー、ドメイングループで作成した共有は、ワークグループに切替えると使用不可になりますので、事前にデータを保存し共有を削除してください。
- また、異なるドメインにログインした場合には以前のドメインユーザー、ドメイングループで作成した共有は使用できません。

適用

ドメイン名（NetBIOS名）	手順2でメモしたドメイン名(NetBIOS名)を入力します。
ドメイン名（フルDNS名）	手順2でメモしたドメイン名(フルDNS名)を入力します。
ドメインコントローラーの名前	手順3でメモしたドメインコントローラーの名前を入力します。
管理者名	Active DirectoryのAdministrator権限を持ったユーザー名を入力します。
管理者パスワード	〔管理者名〕で指定したユーザーのパスワードを入力します。
WINSサーバー	WINSサーバーがネットワーク内にある場合は、そのWINSサーバーのIPアドレスを入力します。

以上で、設定は完了です。
ユーザーやグループが取得されているかをご確認ください。（ [ユーザー＆グループ] → [ユーザー] または [グループ] → [一覧] ）

- ログインに失敗する場合は、[Active Directoryへの参加ができない](#)をご覧ください。
- サーバーに本製品の名前と同じコンピューターがすでに登録されていた場合は、登録されているコンピューターをいったん削除し、再度手順 1 から設定してください。
- ドメインコントローラーにIPv6で接続する場合、本製品が参照するDNSサーバーにドメインコントローラーのIPv6 PTRレコード(逆引きレコード)を登録しておく必要があります。

メール

メール基本設定

通知設定

メール基本設定

各種情報をメール送信するための設定をおこないます。本製品でメール通知機能を利用するには、メール基本設定が正しく設定されていることが必要です。

1. [システム] → [通知] → [メール] → [基本設定] をクリック
2. ①基本設定項目を入力
② [適用] をクリック

基本設定

SMTPサーバー	
SMTPポート	25
SSL暗号化通信	☐ 有効 ☒ 無効
差出人メールアドレス	
メールエンコード	☐ UTF-8 ☒ ISO-2022-JP
認証	認証なし

適用

SMTPサーバー	メール送信に利用する SMTPサーバーを設定します。プロバイダーや会社から指定されたサーバー名を入力してください。	
SMTPポート	メール送信に利用するTCPポート番号を指定します。（初期値：25） ご利用のプロバイダがセキュリティ上の理由で25番ポートでのメール送信を遮断している場合は、適切な番号に変更してください。	
SSL暗号化通信	SSL暗号化通信の有効/無効を設定します。【有効】に設定すると、SMTPSでメールを送信します。（【無効】の場合はSMTP）	
差出人メールアドレス	送信するメールアドレスの差出人を設定することができます。送信メールサーバーが差出人チェックを実行している場合や、どこから送られてきているのかを明確にしたい場合などに設定します。	
メールエンコード	送信するメールのエンコードを選択します。受信するメーラーの設定に合わせてください。	
認証	指定するSMTPサーバーがサポートしている認証方式を設定してください。	
	認証なし	設定はありません。
	POP before SMTP	POPサーバー、POPポート、ユーザー名、パスワードを入力します。
	SMTP AUTH(PLAIN)	ユーザー名、パスワードを入力します。
	SMTP AUTH(LOGIN)	ユーザー名、パスワードを入力します。
	SMTP AUTH(CRAM-MDS)	ユーザー名、パスワードを入力します。

Gmailを利用する場合

次の本製品とGmail の設定をおこなってください。

●Gmailのアカウント設定

※次の手順は2015年6月時点のものです。最新の各手順はGmailのヘルプをご覧ください。

次の設定1または2のどちらかを設定します。

- ・設定1：[安全性の低いアプリの許可] を有効に設定

Googleアカウントでログイン後、[アカウント情報] の[ログインとセキュリティ] から、[接続済みのアプリとサイト] の[安全性の低いアプリの許可] を有効にします。

- ・設定2：2段階認証プロセスを設定

※2段階認証プロセスを設定すると、他のGoogleアプリ用のパスワードの生成や設定など更に作業が必要になる場合があります。

①Googleアカウントでログイン後、[アカウント情報] の[Googleへのログイン] から、[パスワードとログイン方法] の[2段階認証プロセス] を有効に設定します。

②Googleアカウントでログイン後、[アカウント情報] の[Googleへのログイン] から、[パスワードとログイン方法] の[アプリのパスワード] で、本製品用のパスワードを生成します。

▼本製品のメール基本設定

SMTPサーバー	smtp.gmail.com	
SMTPポート	587	
SSL暗号化通信	有効	
差出人メールアドレス	任意のメールアドレス（通常はGmail のメールアドレス） ※送信されたメールのFrom: はGmailのメールアドレスになります。	
メールエンコード	UTF-8またはISO-2022JP	
認証	SMTP AUTH(PLAIN) またはSMTP AUTH(LOGIN)	
	ユーザー名	Googleアカウントのユーザー名
	パスワード	Googleアカウントのパスワード (2段階認証の場合、接続用に生成したパスワード)

通知設定

通知をするイベントを設定します。

メール通知イベントについては、[ログ・お知らせ一覧](#)を確認してください。また、本製品でメール通知機能を利用するには、メール基本設定が正しく設定されていることが必要です。

1. [システム] → [通知] → [メール] → [通知設定] をクリック

2. ①設定項目を入力
- ② [適用] をクリック

通知設定

情報

●基本設定が設定されていません。設定ページへ移動。

有効

メール設定

通知項目

☐

メールアドレス

☐詳細設定

☐システムイベント

☐システムログ

☐アクセスログ

☐バックアップ・データコピー

☐温度・FANエラー

☐定期レポート

☐UPS警告

☐ディスク情報

☐ボリューム使用量警告

☐使用量制限警告

☐システムイベント

☐

メールアドレス

☐詳細設定

☐システムイベント

☐システムログ

☐アクセスログ

☐バックアップ・データコピー

☐温度・FANエラー

☐定期レポート

☐UPS警告

☐ディスク情報

☐ボリューム使用量警告

☐使用量制限警告

適用

有効	チェックをつけると、エラー発生時および定期通知 時に、メールを送信します。
メールアドレス	送信先のメールアドレスを入力します。
詳細設定	チェックすると、[メール基本設定] の内容と同じ設定項目を設定できます。この設定は、[メール基本設定] より優先されます。（宛先によって異なる設定が必要な場合に使います） ※設定を変更したい項目のみ設定してください。空白項目は、[メール基本設定] のものとなります。
通知項目	チェックを付けた項目に該当するイベントが発生し た場合、メールによる通知をおこないます。以下の【送信されるメールについて】をご覧ください。

ご注意

[ボリューム使用量警告]と[使用量制限警告]は定期通知設定の「定期通知」を有効にしないとメール通知されません。[定期レポート]は定期レポート設定の「定期レポート」を有効にしないとメール通知されません。

送信されるメールについて

通知項目により以下の内容のメールが送信されます。

通知項目	メール内容「本文例」
システムイベント	システムログのカテゴリーが次のもの以外で、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 ・バックアップ ・データコピー ・クイックコピー ・レプリケーション ・ログ ・温度 ・FAN ・ディスク ・ロックキー ・ボリューム ・ボリューム使用量 ・使用量制限 ・UPS 「2015/11/06 23:00:11 新しいパッケージが公開されています。」
システムログ	機器のシャットダウン・再起動時、およびシステムログの内部記録サイズが一定以上となった際に、それまでに記録されているシステムログの最新分の内容が送信されます。 「2015/10/26 06:31:18 情報:LAN1:LAN1 がリンクしました。」
アクセスログ	機器のシャットダウン・再起動時、およびアクセスログの内部記録サイズが一定以上となった際に、それまでに記録されているアクセスログの最新分の内容が送信されます。 「2014-02-26 11:59:46 shingoy 1001-1617A(172.16.93.70): connect(ok): 開発部 開発部」

バックアップ・データコピー	システムログのカテゴリが「バックアップ」「データコピー」「クイックコピー」「レプリケーション」のいずれかで、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 「2015/11/06 23:00:11 週次バックアップの差分バックアップを開始しました。」
温度・FANエラー	システムログのカテゴリが「温度・FAN」で、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 「2015/11/12 13:38:00 装置温度が異常です。装置の設置環境を見直してください。システムを強制終了 します。」
定期レポート	機器であらかじめ設定したタイミングで定期的に送信されます。 「ボリューム使用量レポート 内蔵ボリューム: 全容量 : 11158 GB (11981608009728 byte) 使用量 : 0 GB (673304576 byte) 0.0% ユーザー: gx620: 制限設定値 : - GB 使用量 : 0.0 GB (-%) グループ: gx620_G: 制限設定値 : - GB 使用量 : 0.0 GB (-%) フォルダー: disk1: 制限設定値 : - GB 使用量 : 0.0 GB (-%)」
UPS警告	システムログのカテゴリが「UPS」で、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 「2015/11/12 13:38:00 UPS が接続されていません。」
ディスク情報	システムログのカテゴリが「ディスク」「ロックキー」「ボリューム」のいずれかで、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 「2015/11/12 13:38:00 内蔵ディスク1 が故障しました。交換してください。」
ボリューム使用量警告	システムログのカテゴリが「ボリューム使用量」で、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 「2015/11/12 13:38:00 内蔵ボリュームの使用率が90%を超えました。」
使用量制限警告	システムログのカテゴリが「使用量制限」で、メール送信対象のログが記録される際に送信されます。 「2015/11/12 13:38:00 使用量制限の警告使用率90%を超えました。」

対象として設定した項目について定期的に状態を確認する機能です。

UPS	警報UPSの状態を確認
-----	-------------

定期レポート

指定日時にレポートメールを送信する機能です。

1. [システム] → [通知] → [定期レポート] をクリック
2. ① [有効] を選ぶ
- ② レポート送信する曜日と時刻を設定
- ③ [適用] をクリック

定期レポート

定期レポート

☐ 有効

☒ 無効

☐ 日

☐ 月

☐ 火

☐ 水

☐ 木

☐ 金

☐ 土

時刻

12

00

適用

送信されるメールの内容

メール本文は以下の部分から構成されます。

- ・内蔵ボリュームの合計容量・使用量
- ・ユーザーごとの使用量制限設定・使用量
- ・グループごとの使用量制限設定・使用量
- ・共有フォルダーごとの使用量制限設定・使用量

※ユーザー・グループ・共有フォルダーの各使用量制限設定をしていない場合は、その部分の使用量は0になります。

▼メール例

ボリューム使用量レポート

内蔵ボリューム：

全容量：

xxxxx GB (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx byte)

使用量：

xxx GB (xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx byte) x.x%

ユーザー：

xxxx:

制限設定値：

xx GB

使用量：

x.x GB (x%)

・

・

・

SNMPトラップを有効にする

1. [システム] → [通知] → [SNMP] をクリック
2. ① [有効] を選ぶ
②項目を設定
③ [適用] をクリック

SNMP

SNMPトラップ	☐ 有効 ☒ 無効
ポート番号	162
送信先ホスト	

適用

ポート番号	ポート番号を入力します。
送信先ホスト	IPv4アドレス、IPv6アドレス、コンピューター名の いずれかを入力します。

SNMPトラップ機能

SNMPトラップ機能を有効にした場合、お知らせに表示される「エラー」や「警告」の状態が発生すると、以下内容のSNMPトラップが送信されます。

バージョン	2c
コミュニティ	public
トラップOID	1.3.6.1.4.1.4615.8.1.2.1

上記トラップには、メッセージコードと追加情報が付加されます。

メッセージコード

OID	1.3.6.1.4.1.4615.8.1.1.1.1
型	INTEGER(整数値)
値	お知らせに表示されるメッセージに対応するメッセージコード

追加情報

OID	1.3.6.1.4.1.4615.8.1.1.1.2
型	STRING(文字列)
値	お知らせメッセージに埋め込まれる追加情報(エンコード:UTF-8) 追加情報がない場合は、空文字となる。

メッセージコード・追加情報とお知らせに表示されるメッセージの対応は、[ログ・お知らせ一覧](#)をご覧ください。追加情報は「ログ・お知らせ一覧」のメッセージの%sに埋め込まれる情報です。

[SNMP MIB情報ダウンロード \(zip形式 : 1.57KB\)](#)

この項目は、お使いの製品とは関連がない内容です。

動作環境/ハードウェア仕様

動作環境/ハードウェア仕様については、弊社Webページをご覧ください。

<http://www.iodata.jp/product/nas/personal/hdl2-aa/spec.htm>

オプションHDD

以下の弊社Webページをご確認ください。

http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm

対応外付け機器

動作確認済み機器については、以下の弊社Webページの製品情報をご覧ください。

- USB HDD

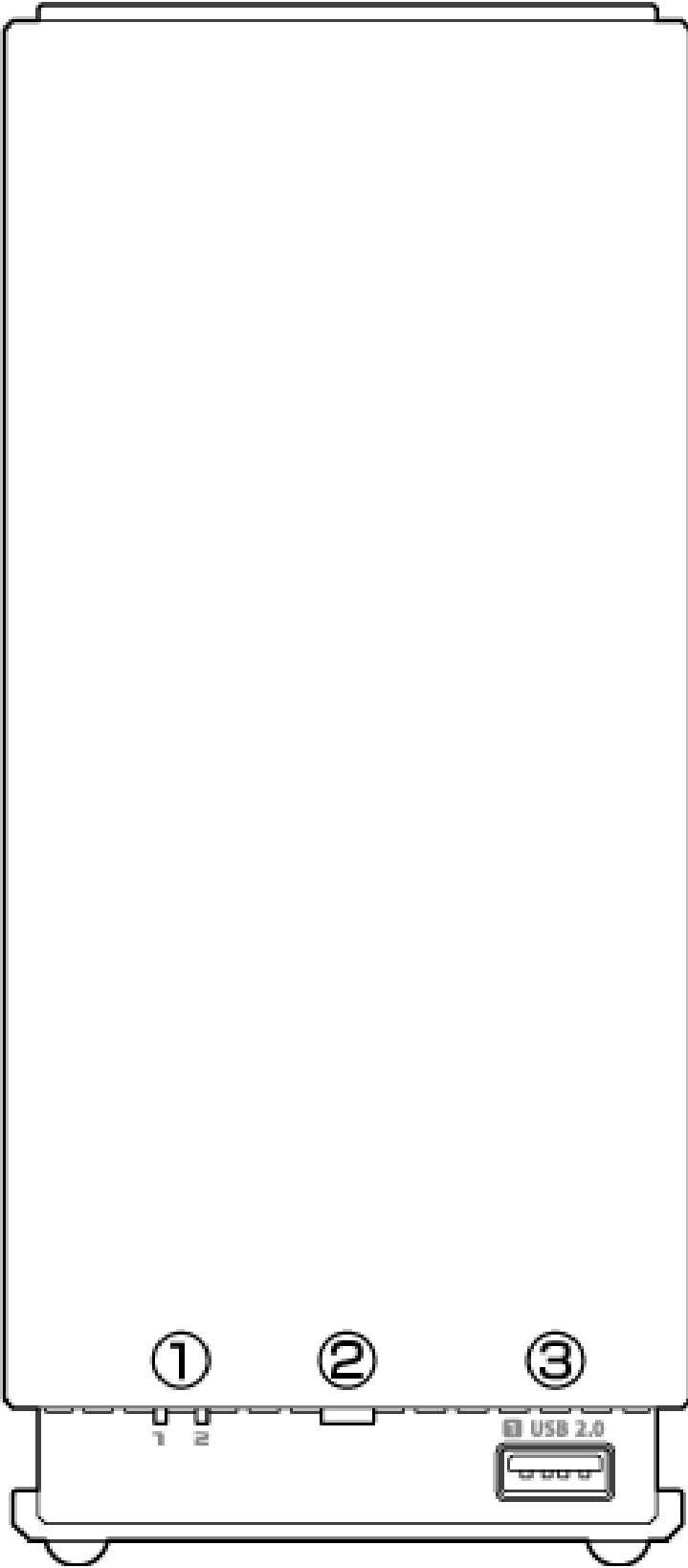
<http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>

- USB 機器・プリンター

<http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/function.htm>

各部の名称

前面



①HDD1/2 ランプ	緑点灯	内蔵ディスク正常認識時
	赤点灯	内蔵ディスクエラー時
	消 灯	内蔵ディスク未接続時
②電源ランプ	ランプ・ブザーの状態 をご覧ください。	

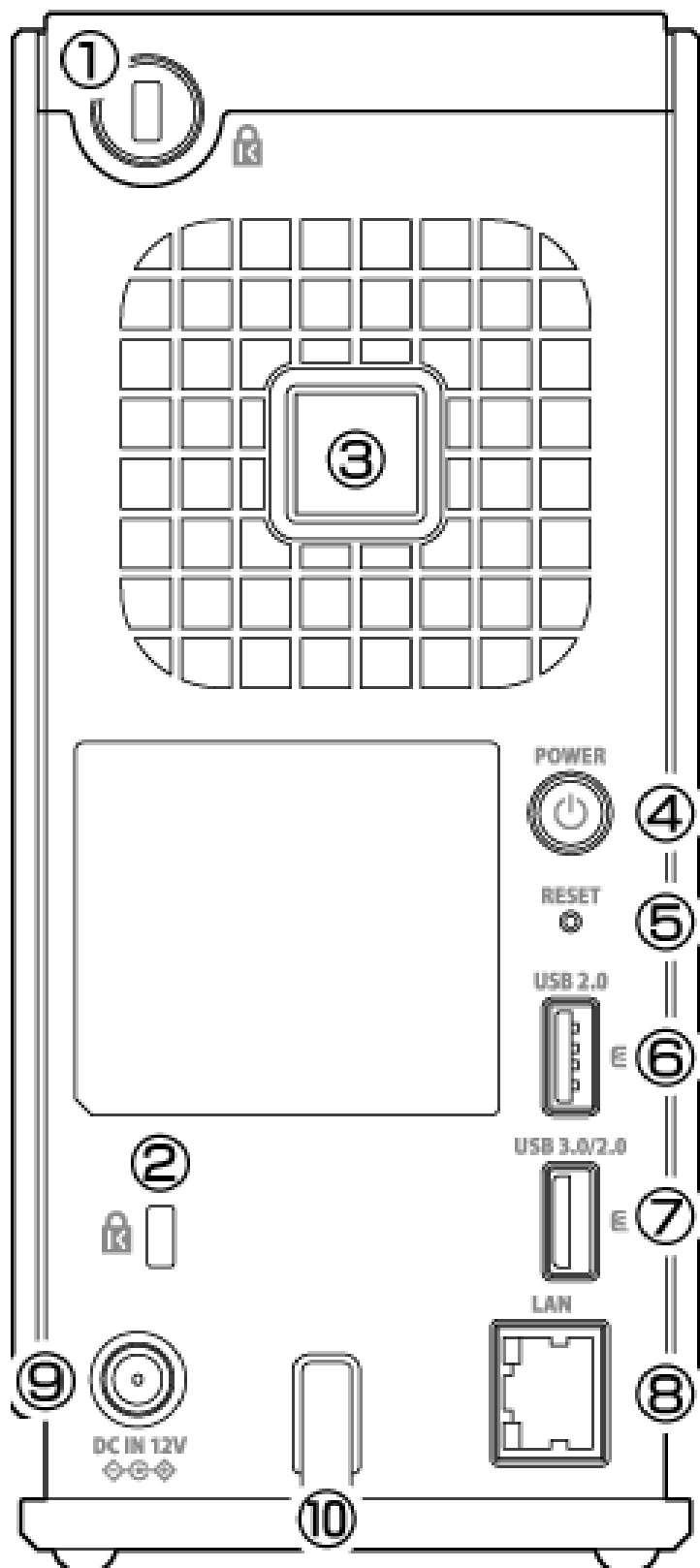
③USBポート1

USB機器を接続します。(USB 2.0)

[クイックコピー](#)で使⽤します。

[本製品の暗号化機能](#)で使⽤します。

背面



①ケンジントンセキュリティ
スロット

盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。
内蔵ディスクも守ります。

②ケンジントンセキュリティ
スロット

盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。

③ファン	冷却用です。ふさがないでください。
④電源ボタン	本製品の電源を入/切します。 電源を入れる、切る また、エラー発生時にブザーが鳴りつづけている時に押すと、ブザーを停止します。
⑤RESETボタン	本製品のIPアドレスと管理者パスワードのみを出荷時設定に戻します。 IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す
⑥USBポート2	USB機器を接続します。(USB 2.0)
⑦USBポート3	USB機器を接続します。(USB 3.0)
⑧LANポート	LANケーブルでルーターと接続します。 ランプが2つ搭載されています。 上のランプは「Link Speedランプ」といい、橙点灯は1000BASE-T接続、緑点灯は100BASE-TX接続、消灯は10BASE-T接続を示します。 下のランプは「Link/Actランプ」といい、点灯はLink状態、点滅はAct状態を示します。
⑨電源コネクタ	添付のACアダプターをつなぎます。
⑩ケーブルフック	ACアダプターの抜け防止用です。引っ掛けて使用します。

ランプ・ブザーの状態

ランプの表示

電源ランプ	緑点灯	正常に使用可能な状態であることを示します。
	緑点滅	システム処理中を示します。
	赤点灯	USB HDDの接続失敗など、警告レベルのお知らせがあることを示します。
	赤点滅	本製品にとって重大な問題、エラーレベルのお知らせがあることを示します。
	消 灯	本製品の電源が入っていないことを示します。
HDDランプ	緑点灯	正常状態であることを示します。
	赤点灯	本製品はRAID 崩壊しているが、該当HDD は正常であることを示します。
	赤点滅	該当HDD が故障していることを示します。
	消 灯	該当HDDが未接続であることを示します。

ブザーによる状態通知

「ピー」 1回 鳴る	◆ 正常に起動した ◆ 内蔵ディスクやUSB HDD を正常に取り付けた ◆ クイックコピー/ ボリューム設定変更/ などに成功した
「ピー」 3回 鳴る	◆ ルーターなどのDHCPサーバーからIPアドレスを取得できなかった ルーターなどDHCPサーバーを設置するか、IPアドレスを固定する必要がある ◆ 内蔵ディスクを取り付けたが、問題があった 故障や容量不足 ◆ USB HDDを取り付けたが、問題があった。 故障や容量不足、フォーマット形式に対応していない また、拡張ボリュームモードやミラーリングモードでは、USB HDDにデータが入っている ◆ 対応していないデジタルカメラやメモリーをつないだ（クイックコピーモード） ◆ クイックコピーに失敗したログを確認 ◆ 設定変更/操作に失敗した
「ピッ」 3回 鳴る	フォーマット/チェックディスク/バックアップ/ クイックコピーが正常終了した
「ピッ、ピッ」と鳴り続く	RAID の構成に問題が発生している（内蔵ディスクの故障など）
「ピーポー」と鳴り続く	RAID が崩壊した（内蔵ディスクの故障など）
「ドレミ」と鳴り続く	UPSが接続されていない/停電状態（UPS警告が有効）
「ピピッ」と鳴り続く	警告対象が、使用量制限値に達した（使用量警告が有効）

鳴り続けているブザーを止める

電源ボタンを押してください。

※ 電源ボタンを押し続けると、電源が切れてしまいます。ご注意ください。

出荷時設定一覧

▼カテゴリ：ネットワーク

設定項目			初期設定内容	備考
IPv4	LAN1	IPアドレス設定方式	自動で取得する（DHCP）	-
		IPアドレス	（設定なし）	DHCPサーバーから取得
		サブネットマスク	（設定なし）	DHCPサーバーから取得
		フレームサイズ	1500	-
		Wake On LAN	有効	-
	共通設定	設定方法	自動で取得する（DHCP）	-
		デフォルトゲートウェイ	（設定なし）	DHCPサーバーから取得
		DNSサーバー	（設定なし）	DHCPサーバーから取得
IPv6	LAN1	IPアドレス設定方式	無効	-
		IPアドレス	（設定なし）	-
		プレフィックス長	（設定なし）	入力補助のため「64」と表示される
		フレームサイズ	1500	-
		Wake On LAN	有効	-
	共通設定	設定方法	自動で取得する	-
		デフォルトゲートウェイ	（設定なし）	DHCPサーバーから取得
		DNSサーバー	（設定なし）	DHCPサーバーから取得
プロキシ設定		プロキシ	使用しない	-

▼カテゴリ：共有

設定項目			初期設定内容	備考
フォルダー	disk1	コメント	HDL-AA share	-
		基本設定	Microsoftネットワーク共有	-
		詳細アクセス権	有効	-
	usb1	コメント	HDL-AA USB share	-
		基本設定	Microsoftネットワーク共有	-
		詳細アクセス権	有効	-
	usb2	コメント	HDL-AA USB share	-
		基本設定	Microsoftネットワーク共有	-
		詳細アクセス権	有効	-
	usb3	コメント	HDL-AA USB share	-
		基本設定	Microsoftネットワーク共有	-
		詳細アクセス権	有効	-
方式	Microsoftネットワーク共有設定		Microsoftネットワーク	有効

▼カテゴリ：ユーザー & グループ

設定項目		初期設定内容	備考
ユーザー		登録済みユーザーなし	-
グループ		登録済みグループなし	-
Microsoftネットワーク設定	設定方法	ワークグループ	-
	ワークグループ名	WORKGROUP	-
	WINSサーバー	(設定なし)	-

▼カテゴリ：ボリューム

設定項目			初期設定内容	備考
内蔵	フォーマット	RAIDモード	拡張ボリューム	-
		暗号化	無効	-
	アクティブリペア	スケジュール機能	有効	-
		曜日（毎月最初）	土	-
		時刻	0：00	-
usb1	ポートモード		クイックコピー	-
	クイックコピー共有		disk1	-
usb2	ポートモード		共有	-
usb3	ポートモード		共有	-
ロックキー	キーサーバー機能		無効	-
	キーサーバー1ホスト		(設定なし)	-
	キーサーバー1ポート		(設定なし)	入力補助のため「51056」と表示される
	キーサーバー2ホスト		(設定なし)	-
	キーサーバー2ポート		(設定なし)	入力補助のため「51056」と表示される

▼カテゴリ：サービス

設定項目	初期設定内容	備考
使用量制限	無効	-
UPS警告	無効	-
ファームウェア自動更新	有効	-
ファームウェア更新通知	有効	-
SNMPトラップ	未設定	-
アクセスログ	無効	-
Microsoftネットワーク	有効	-

▼カテゴリ：データバックアップ

設定項目		初期設定内容	備考
リセットボタン設定	リセットボタン	有効	-

▼カテゴリ：システム - ランプ設定

設定項目		初期設定内容	備考
ランプ設定	LEDの明るさ	明	-

▼カテゴリ：システム - 通知

設定項目			初期設定内容	備考
定期通知	定期通知		有効	-
	定期通知項目	UPS警告	有効	-
		ディスクエラー	有効	-
		ボリューム使用量警告	無効	-
		使用量制限警告	無効	-
定期レポート		定期レポート	無効	-
		曜日	(設定なし)	-
		時刻	(設定なし)	-
メール	基本設定	SMTPサーバー	(設定なし)	-
		SMTPポート	25	-
		SSL暗号化通信	無効	-
		差出人メールアドレス	(設定なし)	-
		メールエンコード	ISO-2022-JP	-
		認証	認証なし	-
	通知設定	登録済みメールアドレスなし	-	
SNMP		SNMPトラップ	無効	-
		ポート番号	162	-
		送信先ホスト	(設定なし)	-

▼カテゴリ：システム - パッケージ

設定項目		初期設定内容	備考
自動更新設定	自動更新	有効	-
	時刻	2～4のいずれか	-
更新通知設定	更新通知	有効	-
	インストール済みパッケージのみ	有効	-
	時刻	2～4のいずれか	-

▼カテゴリ：システム – ファームウェア

設定項目		初期設定内容	備考
自動更新設定	自動更新	有効	-
	時刻	2 ～ 4 のいずれか	-
更新通知設定	更新通知	有効	-
	時刻	2 ～ 4 のいずれか	-

文字制限一覧

各設定項目の文字制限

項目名	文字数		使える文字		使えない文字列
	最小	最大	半角	全角	
管理者パスワード	4	20	表1	×	なし
LAN DISK の名前	1	15	表6	×	・ハイフンから始まる文字列 ・数字のみの文字列
LAN DISK の説明	0	半角48 全角48	表4	○	なし
LAN DISK の設置場所	0	半角48 全角48	表4	○	なし
ユーザー名	1	20	表2	×	・ハイフンから始まる文字列 ・数値のみの文字列 ・既存のユーザー名と大文字小文字のみが異なる文字列
ユーザーフルネーム	0	半角48 全角48	表4	○	なし
ユーザーコメント	0	半角48 全角48	表4	○	なし
ユーザーパスワード	0	20	表1	×	なし
グループ名	1	20	表2	×	・ハイフンから始まる文字列 ・数値のみの文字列 ・既存のグループ名と大文字小文字のみが異なる文字列
共有フォルダー	1	半角27 全角9	表4	○	・ドル記号で終わる文字列 ・半角スペースで始まる文字列 ・半角スペースで終わる文字列 ・半角スペースが連続する文字列 ・# で始まる文字列
共有フォルダーコメント	0	半角48 全角48	表4	○	なし
ワークグループ名	1	15	表2	×	LAN DISKの名前と同じ文字列
NTドメイン名	1	15	表2	×	LAN DISKの名前と同じ文字列
NTドメインコントローラー名	1	15	表2	×	LAN DISKの名前と同じ文字列
ドメイン名 (NetBIOS名)	1	15	表3	×	LAN DISKの名前と同じ文字列
ドメイン名 (フルDNS名)	1	155	表3	×	ピリオドで区切られた各フィールドが64文字以上の文字列

ドメイン管理者名	1	20	表3	×	なし
ドメイン管理者パスワード	0	20	表1	×	なし
ドメインコントローラーの名前	1	155	表3	×	ピリオドで区切られた各フィールドが64文字以上の文字列
メール基本設定・メールアドレス	5	50	表5	×	・記号で始まる文字列 ・記号で終わる文字列 ・@ の後ろにピリオドが含まれない文字列
メール基本設定- 認証設定（ユーザー名）	1	155	○	○	なし
メール基本設定- 認証設定（パスワード）	0	20	○	○	なし

各設定項目の文字制限

共有フォルダーに保存できるファイル名、フォルダー名には以下の制限があります。

- ・半角255 文字（全角85 文字）までとなります。

※使う文字種によっては上記の数値よりも少なくなる場合があります。

- ・使える名前は、クライアントOS により制限されます。

※特にWindowsとmacOSが混在した環境でお使いの場合、macOSから「¥/:*?"<>|」を使った名前を作成しないことを推奨します。

表：使える半角文字
※グレーの文字は使えません。
▼表1

[空白]	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

▼表2

[空白]	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

▼表3

[空白]	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

▼表4

[空白]	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

▼表5

[空白]	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

▼表6

[空白]	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

ログ・お知らせ一覧

- ※ レベルが「情報」のメッセージは、メッセージコードがシステムログに表示されません。
- ※ SNMPトラップで送信されるメッセージコードには"-"は含まれません。
- ※ メール通知、SNMPトラップは、[システム]→[通知]で有効に設定されている場合のみ通知されます。
- ※ 本製品で現在使用しないメッセージも含まれています。ご承知おきください。

すべて

お知らせ表示

メール通知

NarSuS通知

SNMPトラップ

▼カテゴリー:名前設定

200-0000

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
名前設定の設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

203-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

204-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
名前設定の設定変更に失敗した。

通知 : なし

▼カテゴリー:日付と時刻

300-0000

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
時刻設定の設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

300-0001

レベル : 情報

メッセージ :
NTP サーバーと時刻を同期しました。

説明 :
NTP サーバーと時刻同期を行い成功した。

通知 : なし

303-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

304-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
時刻設定の設定変更に失敗した。

通知 : なし

309-0000

レベル : 警告

メッセージ :
NTP サーバーと時刻を同期できませんでした。

説明 :
NTP サーバーと時刻同期を行い失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

400-0000

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
ネットワークの設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

403-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

404-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
ネットワークの設定変更に失敗した。

通知 : なし

▼ カテゴリー: LAN1

500-0000

レベル : 情報

メッセージ :
LAN1 - DHCP成功 - アドレス : <IPアドレス> 更新間隔: <有効時間> 秒

説明 :
DHCPサーバーからのIPアドレスの取得に成功した。

通知 : SNMP

500-0001

レベル : 情報

メッセージ :
LAN1がリンクしました。

説明 :
ネットワークに接続された。

通知 : SNMP

508-0000

レベル : 警告

メッセージ :
LAN1がリンクしていません。

説明 :
ネットワークから切断された。

通知 : お知らせ、SNMP

509-0000

レベル : 警告

メッセージ :
LAN1 - DHCP失敗 - アドレス : <IPアドレス>

説明 :
DHCPサーバーからのIPアドレスの取得に失敗したため、IPアドレスを一時的に割り当てた。

通知 : お知らせ、SNMP

▼カテゴリー:LAN2

600-0000

レベル : 情報

メッセージ :
LAN2 - DHCP成功 - アドレス : <IPアドレス> 更新間隔: <有効時間> 秒

説明 :
DHCPサーバーからのIPアドレスの取得に成功した。

通知 : SNMP

600-0001

レベル : 情報

メッセージ :
LAN2がリンクしました。

説明 :
ネットワークに接続された。

通知 : SNMP

608-0000

レベル : 警告

メッセージ :
LAN2がリンクしていません。

説明 :
ネットワークから切断された。

通知 : お知らせ、SNMP

609-0000

レベル : 警告

メッセージ :
LAN2 - DHCP失敗 - アドレス : <IPアドレス>

説明 :
DHCPサーバーからのIPアドレスの取得に失敗したため、IPアドレスを一時的に割り当てた。

通知 : お知らせ、SNMP

▼カテゴリー:管理者

700-0000

レベル : 情報

メッセージ :
管理者情報を変更しました。

説明 :
管理者情報の設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

703-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

704-0000

レベル : 警告

メッセージ :
管理者情報の変更に失敗しました。

説明 :
管理者情報の変更に失敗した。

通知 : なし

▼カテゴリー:ユーザー

800-0000

レベル : 情報

メッセージ：

<ユーザー名>のパスワードを変更しました。

説明：

ユーザーのパスワード変更が正常に完了した。

通知：なし

800-0001

レベル：情報

メッセージ：

<ユーザー名>を追加しました。

説明：

ユーザーの追加が正常に完了した。

通知：なし

800-0002

レベル：情報

メッセージ：

<ユーザー名>を削除しました。

説明：

ユーザーの削除が正常に完了した。

通知：なし

800-0003

レベル：情報

メッセージ：

<ユーザー名>の設定を変更しました。

説明：

ユーザーの設定変更が正常に完了した。

通知：なし

803-0000

レベル：警告

メッセージ：

システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明：

他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知：なし

804-0000

レベル：警告

メッセージ：

<ユーザー名>のパスワード変更に失敗しました。

説明 :
ユーザーのパスワード変更に失敗した。

通知 : なし

804-0001

レベル : 警告

メッセージ :
<ユーザー名>の追加に失敗しました。

説明 :
ユーザーの追加に失敗した。

通知 : なし

804-0002

レベル : 警告

メッセージ :
<ユーザー名>の削除に失敗しました。

説明 :
ユーザーの削除に失敗した。

通知 : なし

804-0003

レベル : 警告

メッセージ :
<ユーザー名>の設定変更に失敗しました。

説明 :
ユーザーの設定変更に失敗した。

通知 : なし

804-0004

レベル : 警告

メッセージ :
<ユーザー名>は既に存在します。

説明 :
Web管理以外からの追加で、指定されたユーザーがすでに存在。

通知 : なし

804-0005

レベル : 警告

メッセージ :
<ユーザー名>は存在しません。

説明 :
Web管理以外からの設定変更で、指定されたユーザーが存在しない。

通知 : なし

804-0006

レベル : 警告

メッセージ :
これ以上ユーザーを作成できません。(＜ユーザー名＞)

説明 :
ユーザー数が作成可能な最大数に達している。

通知 : なし

▼カテゴリー:グループ

900-0000

レベル : 情報

メッセージ :
＜グループ名＞を追加しました。

説明 :
グループの追加が正常に完了した。

通知 : なし

900-0001

レベル : 情報

メッセージ :
＜グループ名＞を削除しました。

説明 :
グループの削除が正常に完了した。

通知 : なし

900-0002

レベル : 情報

メッセージ :
%sの設定を変更しました。

説明 :
グループの設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

903-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

904-0000

レベル : 警告

メッセージ :
<グループ名>の追加に失敗しました。

説明 :
グループの追加に失敗した。

通知 : なし

904-0001

レベル : 警告

メッセージ :
<グループ名>の削除に失敗しました。

説明 :
グループの削除に失敗した。

通知 : なし

904-0002

レベル : 警告

メッセージ :
<グループ名>の設定変更に失敗しました。

説明 :
グループの設定変更に失敗した。

通知 : なし

904-0003

レベル : 警告

メッセージ :
<グループ名>は既に存在します。

説明 :
Web管理以外からの追加で、指定されたグループがすでに存在。

通知 : なし

904-0004

レベル : 警告

メッセージ :
<グループ名>は存在しません。

説明 :
Web管理以外からの設定変更で、指定されたグループが存在しない。

通知 : なし

904-0005

レベル : 警告

メッセージ：
これ以上グループを作成できません。(＜グループ名＞)

説明：
グループ数が作成可能な最大数に達している。

通知：なし

▼カテゴリー:共有

1000-0000

レベル：情報

メッセージ：
＜共有フォルダー名＞を追加しました。

説明：
共有フォルダーの追加が正常に完了した。

通知：なし

1000-0001

レベル：情報

メッセージ：
＜共有フォルダー名＞を削除しました。

説明：
共有フォルダーの削除が正常に完了した。

通知：なし

1000-0002

レベル：情報

メッセージ：
＜共有フォルダー名＞の設定を変更しました。

説明：
共有フォルダーの設定変更が正常に完了した。

通知：なし

1003-0000

レベル：警告

メッセージ：
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明：
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知：なし

1004-0000

レベル : 警告

メッセージ :
<共有フォルダー名>の追加に失敗しました。

説明 :
共有フォルダーの追加に失敗した。

通知 : なし

1004-0001

レベル : 警告

メッセージ :
<共有フォルダー名>の削除に失敗しました。

説明 :
共有フォルダーの削除に失敗した。

通知 : なし

1004-0002

レベル : 警告

メッセージ :
<共有フォルダー名>の設定変更に失敗しました。

説明 :
グループの設定変更に失敗した。

通知 : なし

1004-0003

レベル : 警告

メッセージ :
<共有フォルダー名>は既に存在します。

説明 :
Web管理以外からの追加で、指定された共有フォルダーがすでに存在。

通知 : なし

1004-0004

レベル : 警告

メッセージ :
<共有フォルダー名>は存在しません。

説明 :
Web管理以外からの設定変更で、指定された共有フォルダーが存在しない。

通知 : なし

1004-0005

レベル : 警告

メッセージ :
これ以上共有フォルダーを作成できません。(<共有フォルダー名>)

説明 :
共有フォルダー数が作成可能な最大数に達している。

通知 : なし

▼ カテゴリー: 使用量制限

1100-0000

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
使用量制限の設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

1100-0001

レベル : 情報

メッセージ :
各使用量制限の使用率は正常値です。

説明 :
各使用量制限の使用率が警告値を超えていない。

通知 : NarSuS、SNMP

1103-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

1104-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
使用量制限の設定変更に失敗した。

通知 : なし

1104-0001

レベル : 警告

メッセージ :

セキュリティロックモードのため情報取得できませんでした。

説明 :

セキュリティロックモードのため使用量を取得できなかった。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

1104-0002

レベル : エラー

メッセージ :

使用量制限情報を取得できません。

説明 :

何らかの異常状態のため使用量制限情報を取得できなかった。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1104-0003

レベル : 警告

メッセージ :

RAID崩壊状態のため情報取得できませんでした。

説明 :

RAID崩壊状態のため使用量を取得できなかった。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

1110-0000

レベル : エラー

メッセージ :

使用量制限の警告使用率<警告使用率>%を超えました。

説明 :

使用量制限対象のいずれかの使用率が警告値を超えた。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1110-0001

レベル : 警告

メッセージ :

ユーザー(<ユーザー名>)の使用率が<警告使用率>%を超えました。

説明 :

ユーザーの使用率が使用量制限の警告値を超えた。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

1110-0002

レベル : 警告

メッセージ :

グループ(<グループ名>)の使用率が<警告使用率>%を超えました。

説明 :
グループの使用率が使用量制限の警告値を超えた。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

1110-0003

レベル : 警告

メッセージ :
共有フォルダー(<共有フォルダ名>)の使用率が<警告使用率>%を超えました。

説明 :
共有フォルダーの使用率が使用量制限の警告値を超えた。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

1110-0004

レベル : 警告

メッセージ :
ドメインユーザー(<ドメインユーザー名>)の使用率が<警告使用率>%を超えました。

説明 :
ドメインユーザーの使用率が使用量制限の警告値を超えた。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

1110-0005

レベル : 警告

メッセージ :
ドメイングループ(<ドメイングループ名>)の使用率が<警告使用率>%を超えました。

説明 :
ドメイングループの使用率が使用量制限の警告値を超えた。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

▼ カテゴリー: ボリューム使用量

1200-0000

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ボリュームの使用率は正常値です。

説明 :
ボリューム使用量の使用率が警告値を超えていない。

通知 : NarSuS、SNMP

1204-0000

レベル : 警告

メッセージ :

セキュリティロックモードのため情報取得できませんでした。

説明 :

セキュリティロックモードのため使用量を取得できなかった。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

1204-0001

レベル : エラー

メッセージ :

内蔵ボリュームの使用率を取得できません。異常がないかボリューム情報を確認してください。

説明 :

何らかの異常状態のため内蔵ボリュームの使用率を取得できなかった。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1204-0002

レベル : 警告

メッセージ :

RAID崩壊状態のため情報取得できませんでした。

説明 :

RAID崩壊状態のため使用量を取得できなかった。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

1210-0000

レベル : エラー

メッセージ :

内蔵ボリュームの使用率が<警告使用率>%を超えました。

説明 :

内蔵ボリュームの使用率が警告値を超えた。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

▼カテゴリー:Microsoftネットワーク

1300-0000

レベル : 情報

メッセージ :

設定を変更しました。

説明 :

Microsoftネットワークの設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

1303-0001

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

1304-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
Microsoftネットワークの設定変更に失敗した。

通知 : なし

▼ カテゴリー:一括登録

1400-0000

レベル : 情報

メッセージ :
開始しました。

説明 :
一括登録を開始した。

通知 : なし

1400-0001

レベル : 情報

メッセージ :
完了しました。

説明 :
一括登録を正常に完了した。

通知 : なし

1403-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

1406-0000

レベル : 警告

メッセージ :
ファイルサイズが20MBを超えています。

説明 :
20MB超のファイルが指定された。

通知 : なし

1406-0001

レベル : 警告

メッセージ :
ファイルが不正です。

説明 :
不正なファイルが指定された。

通知 : なし

1407-0000

レベル : 警告

メッセージ :
<コマンド名>:<対象名>の設定が不正です

説明 :
設定値として不正な値が指定された。

通知 : なし

1407-0001

レベル : 警告

メッセージ :
<コマンド名>:<項目名>の項目は対応外です

説明 :
一括登録の対応外の項目が指定された。

通知 : なし

1407-0002

レベル : 警告

メッセージ :
<コマンド名>:<項目名>の項目が指定されていない箇所があります

説明 :
必要な項目が指定されていない箇所がある

通知 : なし

1500-0000

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>を追加しました。

説明 :
ジョブの追加が正常に完了した。

通知 : なし

1500-0001

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>を削除しました。

説明 :
ジョブの削除が正常に完了した。

通知 : なし

1500-0002

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>を変更しました。

説明 :
ジョブの変更が正常に完了した。

通知 : なし

1500-0010

レベル : 情報

メッセージ :
開始しました。

説明 :
Web管理からバックアップが開始された。

通知 : なし

1500-0011

レベル : 情報

メッセージ :
実行を開始しました。

説明 :
バックアップスケジュールに対して実際に処理を開始した。

通知 : なし

1500-0012

レベル : 情報

メッセージ：完了しました。

説明：バックアップが正常に完了した。

通知：なし

1500-0013

レベル：情報

メッセージ：<ジョブ名>が待機状態となりました。

説明：バックアップジョブが待機状態となった。

通知：なし

1500-0014

レベル：情報

メッセージ：<ジョブ名>を開始しました。

説明：ジョブ1つのバックアップが開始された。

通知：メール、NarSuS、SNMP

1500-0015

レベル：情報

メッセージ：<ジョブ名>が完了しました。

説明：ジョブ1つのバックアップが正常に完了した。

通知：メール、NarSuS、SNMP

1500-0016

レベル：情報

メッセージ：バックアップ元: <UNC>を開始しました。

説明：バックアップ元1つのからのバックアップを開始した。

通知：なし

1500-0017

レベル：情報

メッセージ：バックアップ元: <UNC>が完了しました。

説明 :
バックアップ元1つのからのバックアップを正常に完了した。

通知 : なし

1500-0018

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>のフルバックアップを開始しました。

説明 :
ジョブ1つのフルバックアップが開始された。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1500-0019

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>の差分バックアップを開始しました。

説明 :
ジョブ1つの差分バックアップが開始された。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1500-0020

レベル : 情報

メッセージ :
停止を開始しました。

説明 :
Web管理からバックアップが停止処理が開始された。

通知 : なし

1500-0021

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>を停止しました。

説明 :
ジョブ1つのバックアップが正常に停止した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1500-0022

レベル : 情報

メッセージ :
完了しました。(一部のジョブは停止しました)

説明 :
バックアップが完了したが、一部のジョブは停止している。

通知 : なし

1500-0023

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>の復元を停止しました。

説明 :
ジョブ1つのバックアップの復元が正常に停止した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1500-0030

レベル : 情報

メッセージ :
復元を開始しました。

説明 :
Web管理から復元が開始された。

通知 : なし

1500-0031

レベル : 情報

メッセージ :
復元が完了しました。

説明 :
復元が正常に完了した。

通知 : なし

1500-0032

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>の復元が待機状態となりました。

説明 :
ジョブの復元が待機状態となった。

通知 : なし

1500-0033

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>の復元を開始しました。

説明 :
ジョブ1つの復元が開始された。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1500-0034

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>の復元が完了しました。

説明 :
ジョブ1つの復元が正常に完了した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1500-0035

レベル : 情報

メッセージ :
バックアップ元 : <UNC>への復元を開始しました。

説明 :
バックアップ先1つからの復元を開始した。

通知 : なし

1500-0036

レベル : 情報

メッセージ :
バックアップ元 : <UNC>への復元が完了しました。

説明 :
バックアップ先1つからの復元が正常に完了した。

通知 : なし

1503-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

1503-0001

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。処理を中止しました。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1504-0000

レベル : 警告

メッセージ :
<ジョブ名>の追加に失敗しました。

説明 :
ジョブの追加に失敗した。

通知 : なし

1504-0001

レベル : 警告

メッセージ :
<ジョブ名>の削除に失敗しました。

説明 :
ジョブの削除に失敗した。

通知 : なし

1504-0002

レベル : 警告

メッセージ :
<ジョブ名>の変更に失敗しました。

説明 :
ジョブの変更に失敗した。

通知 : なし

1504-0003

レベル : 警告

メッセージ :
これ以上ジョブを作成できません。(<ジョブ名>)

説明 :
ジョブ数が作成可能な最大数に達している。

通知 : なし

1504-0010

レベル : 警告

メッセージ :
バックアップ元が指定されていません。バックアップ設定を確認してください。

説明 :
バックアップ元が指定されていない状態でバックアップが開始された。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1504-0011

レベル : 警告

メッセージ :
バックアップ先が対象フォーマットではありません。

説明 :
バックアップ先のボリュームが対象のフォーマットでない。

通知 : なし

1504-0012

レベル : 警告

メッセージ :
<UNC>の設定が不正です。

説明 :
共有フォルダーがバックアップ用に設定されていない。

通知 : なし

1504-0013

レベル : 警告

メッセージ :
<UNC>のボリュームがマウントされていません。

説明 :
共有フォルダーが存在するボリュームがマウントされていないためバックアップできない。

通知 : なし

1504-0014

レベル : 警告

メッセージ :
<UNC>は存在しません。

説明 :
共有フォルダーが存在しない。

通知 : なし

1504-0015

レベル : 警告

メッセージ :
<UNC>への接続に失敗しました。

説明 :
共有フォルダーにアクセスできない。

通知 : なし

1504-0016

レベル : 警告

メッセージ :
<UNC>へのアクセス権がありません。

説明 :
共有フォルダーへのアクセス権がない。

通知 : なし

1504-0017

レベル : 警告

メッセージ :
<UNC>に空きがありません。

説明 :
共有フォルダーに空きがない。

通知 : なし

1504-0018

レベル : 警告

メッセージ :
バックアップに失敗しました。

説明 :
バックアップに失敗した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1504-0019

レベル : 警告

メッセージ :
バックアップ元: <UNC>が失敗しました。

説明 :
バックアップ元1つからのバックアップに失敗した。

通知 : なし

1504-0020

レベル : 警告

メッセージ :
<ジョブ名>が一部失敗しています。

説明 :
ジョブ1つの一部のバックアップに失敗した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1504-0030

レベル : 警告

メッセージ :
<ジョブ名>のログファイルが作成できませんでした。

説明 :
バックアップログファイルが作成できない。

通知 : なし

1504-0031

レベル : 警告

メッセージ :
復元に失敗しました。

説明 :

復元に失敗した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1504-0032

レベル : 警告

メッセージ :

復元対象<UNC>の設定が不正です。

説明 :

共有フォルダーが復元用に設定されていない。

通知 : なし

1504-0033

レベル : 警告

メッセージ :

復元先が対象フォーマットではありません。

説明 :

復元先のボリュームが対象のフォーマットでない。

通知 : なし

1504-0034

レベル : 警告

メッセージ :

復元対象<UNC>のボリュームがマウントされていません。

説明 :

共有フォルダーが存在するボリュームがマウントされていないため復元できない。

通知 : なし

1504-0035

レベル : 警告

メッセージ :

復元対象<UNC>は存在しません。

説明 :

復元対象の共有フォルダーが存在しない。

通知 : なし

1504-0036

レベル : 警告

メッセージ :

復元対象<UNC>への接続に失敗しました。

説明 :

復元対象共有フォルダーにアクセスできない。

通知 : なし

1504-0037

レベル : 警告

メッセージ :
復元対象<UNC>へのアクセス権限がありません。

説明 :
共有フォルダーへのアクセス権限がない。

通知 : なし

1504-0038

レベル : 警告

メッセージ :
復元対象<UNC>に空きがありません。

説明 :
復元対象共有フォルダーに空きがない。

通知 : なし

1504-0039

レベル : 警告

メッセージ :
バックアップ元: <UNC>への復元が失敗しました。

説明 :
バックアップ先1つからの復元に失敗した。

通知 : なし

1504-0040

レベル : 警告

メッセージ :
<ジョブ名>への復元が一部失敗しています。

説明 :
ジョブ1つの一部の復元に失敗した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1504-0041

レベル : 警告

メッセージ :
バックアップを停止できませんでした。

説明 :
バックアップを停止できなかった。

通知 : なし

1504-0042

レベル : 警告

メッセージ：
<ジョブ名>を停止できませんでした。

説明：
ジョブの停止に失敗しました

通知：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1504-0043

レベル：警告

メッセージ：
復元を停止できませんでした。

説明：
復元を停止できなかった。

通知：なし

1504-0044

レベル：警告

メッセージ：
<ジョブ名>の復元を停止できませんでした。

説明：
ジョブの復元の停止に失敗しました

通知：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

▼カテゴリー:データコピー

1600-0000

レベル：情報

メッセージ：
<ジョブ名>を追加しました。

説明：
ジョブの追加が正常に完了した。

通知：なし

1600-0001

レベル：情報

メッセージ：
<ジョブ名>を削除しました。

説明：
ジョブの削除が正常に完了した。

通知：なし

1600-0002

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>を変更しました。

説明 :
ジョブの変更が正常に完了した。

通知 : なし

1600-0010

レベル : 情報

メッセージ :
開始しました。

説明 :
Web管理からデータコピーが開始された。

通知 : なし

1600-0011

レベル : 情報

メッセージ :
実行を開始しました。

説明 :
データコピースケジュールに対して実際に処理を開始した。

通知 : なし

1600-0012

レベル : 情報

メッセージ :
完了しました。

説明 :
データコピーが正常に完了した。

通知 : なし

1600-0013

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>が待機状態となりました。

説明 :
データコピージョブが待機状態となった。

通知 : なし

1600-0014

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>を開始しました。

説明 :
ジョブ1つのデータコピーが開始された。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1600-0015

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>が完了しました。

説明 :
ジョブ1つのデータコピーが正常に完了した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1600-0016

レベル : 情報

メッセージ :
停止を開始しました。

説明 :
Web管理からデータコピーが停止処理が開始された。

通知 : なし

1600-0017

レベル : 情報

メッセージ :
<ジョブ名>を停止しました。

説明 :
ジョブ1つのデータコピーが正常に停止した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1600-0018

レベル : 情報

メッセージ :
完了しました。(一部のジョブは停止しました)

説明 :
データコピーが完了したが、一部のジョブは停止している。

通知 : なし

1603-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

1603-0001

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。処理を中止しました。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1604-0000

レベル : 警告

メッセージ :
<ジョブ名>の追加に失敗しました。

説明 :
ジョブの追加に失敗した。

通知 : なし

1604-0001

レベル : 警告

メッセージ :
<ジョブ名>の削除に失敗しました。

説明 :
ジョブの削除に失敗した。

通知 : なし

1604-0002

レベル : 警告

メッセージ :
<ジョブ名>の変更に失敗しました。

説明 :
ジョブの変更に失敗した。

通知 : なし

1604-0003

レベル : 警告

メッセージ :
これ以上ジョブを作成できません。(<ジョブ名>)

説明 :
ジョブ数が作成可能な最大数に達している。

通知 : なし

1604-0010

レベル : 警告

メッセージ :

データコピー元が指定されていません。データコピー設定を確認してください。

説明 :

データコピー元が指定されていない状態でデータコピーが開始された。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1604-0011

レベル : 警告

メッセージ :

データコピー先が対象フォーマットではありません。

説明 :

データコピー先のボリュームが対象のフォーマットでない。

通知 : なし

1604-0012

レベル : 警告

メッセージ :

<UNC>の設定が不正です。

説明 :

共有フォルダーがデータコピー用に設定されていない。

通知 : なし

1604-0013

レベル : 警告

メッセージ :

<UNC>のボリュームがマウントされていません。

説明 :

共有フォルダーが存在するボリュームがマウントされていないためデータコピーできない。

通知 : なし

1604-0014

レベル : 警告

メッセージ :

<UNC>は存在しません。

説明 :

共有フォルダーが存在しない。

通知 : なし

1604-0015

レベル : 警告

メッセージ :

<UNC>への接続に失敗しました。

説明 :
共有フォルダーにアクセスできない。

通知 : なし

1604-0016

レベル : 警告

メッセージ :
<UNC>へのアクセス権がありません。

説明 :
共有フォルダーへのアクセス権がない。

通知 : なし

1604-0017

レベル : 警告

メッセージ :
<UNC>に空きがありません。

説明 :
共有フォルダーに空きがない。

通知 : なし

1604-0018

レベル : 警告

メッセージ :
データコピーに失敗しました。

説明 :
データコピーに失敗した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1604-0019

レベル : 警告

メッセージ :
<ジョブ名>が失敗しています。

説明 :
ジョブ1つの一部のデータコピーに失敗した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1604-0020

レベル : 警告

メッセージ :
データコピーを停止できませんでした。

説明 :
データコピーを停止できなかった。

通知 : なし

1604-0021

レベル : 警告

メッセージ :
<ジョブ名>を停止できませんでした。

説明 :
ジョブの停止に失敗しました

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

▼カテゴリー:クイックコピー

1700-0000

レベル : 情報

メッセージ :
開始しました。

説明 :
クイックコピーを開始した。

通知 : なし

1700-0001

レベル : 情報

メッセージ :
完了しました。

説明 :
クイックコピーを正常に完了した。

通知 : なし

1703-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。処理を中止しました。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : お知らせ

1704-0000

レベル : 警告

メッセージ :
クイックコピーに失敗しました。

説明 :

通知 : お知らせ、SNMP

1704-0001

レベル : 警告

メッセージ :
<UNC>の設定が不正です。

説明 :
共有フォルダーがクイックコピー用に設定されていない。

通知 : なし

1704-0002

レベル : 警告

メッセージ :
<UNC>のボリュームがマウントされていません。

説明 :
共有フォルダーが存在するボリュームがマウントされていないためクイックコピーできない。

通知 : なし

1704-0003

レベル : 警告

メッセージ :
<UNC>は存在しません。

説明 :
共有フォルダーが存在しない。

通知 : なし

1704-0004

レベル : 警告

メッセージ :
<UNC>に空きがありません。

説明 :
共有フォルダーに空きがない。

通知 : なし

1704-0005

レベル : 警告

メッセージ :
クイックコピー先が対象フォーマットではありません。

説明 :
クイックコピー先のボリュームが対象のフォーマットでない。

通知 : なし

1800-0001

レベル : 情報

メッセージ :
RAIDを強制復帰しました。

説明 :
強制的なRAIDの構成処理が成功した。

通知 : なし

1800-0002

レベル : 情報

メッセージ :
RAIDが正常状態に復帰しました。

説明 :
RAIDの状態が構成異常などから正常状態に復帰した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1800-0003

レベル : 情報

メッセージ :
USB3ボリュームからミラーリングを開始しました。

説明 :
USB3ボリュームから内蔵ボリュームへミラーリングを開始した。

通知 : なし

1800-0004

レベル : 情報

メッセージ :
USB3ボリュームへミラーリングを開始しました。

説明 :
内蔵ボリュームからUSB3ボリュームへのミラーリングを開始した。

通知 : なし

1800-0005

レベル : 情報

メッセージ :
USB3ボリュームを拡張ボリュームに組み込みました。

説明 :
USB3ボリュームが拡張ボリュームに組み込まれた。

通知 : なし

1800-0006

レベル : 情報

メッセージ :

USB4ボリュームを拡張ボリュームに組み込みました。

説明 :

USB4ボリュームが拡張ボリュームに組み込まれた。

通知 : なし

1800-0007

レベル : 情報

メッセージ :

USB2ボリュームからミラーリングを開始しました。

説明 :

USB2ボリュームから内蔵ボリュームへミラーリングを開始した。

通知 : なし

1800-0008

レベル : 情報

メッセージ :

USB2ボリュームへミラーリングを開始しました。

説明 :

内蔵ボリュームからUSB2ボリュームへのミラーリングを開始した。

通知 : なし

1800-0010

レベル : 情報

メッセージ :

内蔵ボリューム-再構築を開始しました。

説明 :

内蔵ボリュームの再構築が開始された。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1800-0011

レベル : 情報

メッセージ :

内蔵ボリューム-再構築進捗 %s%

説明 :

内蔵ボリュームの再構築が進行中。

通知 : なし

1800-0012

レベル : 情報

メッセージ :

内蔵ボリューム-再構築を完了しました。

説明 :
内蔵ボリュームの再構築が完了した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1800-0020

レベル : 情報

メッセージ :
ミラーリング-再構築を開始しました。

説明 :
USBボリュームとのミラーリングの再構築が開始された。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1800-0021

レベル : 情報

メッセージ :
ミラーリング-再構築進捗 %s%

説明 :
USBボリュームとのミラーリングの再構築が進行中。

通知 : なし

1800-0022

レベル : 情報

メッセージ :
ミラーリング-再構築を完了しました。

説明 :
USBボリュームとのミラーリングの再構築が完了した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

1800-0030

レベル : 情報

メッセージ :
RAID6への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID6への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0031

レベル : 情報

メッセージ :
RAID5への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID5への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0032

レベル : 情報

メッセージ :
RAID0への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0033

レベル : 情報

メッセージ :
拡張ボリュームへの変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリュームへの変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0034

レベル : 情報

メッセージ :
RAIDモードの変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードの変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0035

レベル : 情報

メッセージ :
RAID1への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID1への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0036

レベル : 情報

メッセージ :
拡張ボリューム(6台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリューム(6台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0037

レベル : 情報

メッセージ :

拡張ボリューム(5台)への変更が完了しました。

説明 :

RAIDモードの拡張ボリューム(5台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0038

レベル : 情報

メッセージ :

拡張ボリューム(4台)への変更が完了しました。

説明 :

RAIDモードの拡張ボリューム(4台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0040

レベル : 情報

メッセージ :

拡張ボリューム(3台)への変更が完了しました。

説明 :

RAIDモードの拡張ボリューム(3台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0041

レベル : 情報

メッセージ :

拡張ボリューム(2台)への変更が完了しました。

説明 :

RAIDモードの拡張ボリューム(2台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0042

レベル : 情報

メッセージ :

拡張ボリューム(1台)への変更が完了しました。

説明 :

RAIDモードの拡張ボリューム(1台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0043

レベル : 情報

メッセージ :

RAID6(6台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID6(6台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0044

レベル : 情報

メッセージ :
RAID6(5台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID6(5台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0045

レベル : 情報

メッセージ :
RAID6(4台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID6(4台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0046

レベル : 情報

メッセージ :
RAID6(3台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID6(3台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0047

レベル : 情報

メッセージ :
RAID6(2台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID6(2台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0048

レベル : 情報

メッセージ :
RAID6(1台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID6(1台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0049

レベル : 情報

メッセージ :
RAID5(6台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID5(6台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0050

レベル : 情報

メッセージ :
RAID5(5台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID5(5台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0051

レベル : 情報

メッセージ :
RAID5(4台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID5(4台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0052

レベル : 情報

メッセージ :
RAID5(3台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID5(3台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0053

レベル : 情報

メッセージ :
RAID5(2台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID5(2台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0054

レベル : 情報

メッセージ :

RAID5(1台)への変更が完了しました。

説明 :

RAIDモードのRAID5(1台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0055

レベル : 情報

メッセージ :

RAID1(6台)への変更が完了しました。

説明 :

RAIDモードのRAID1(6台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0056

レベル : 情報

メッセージ :

RAID1(5台)への変更が完了しました。

説明 :

RAIDモードのRAID1(5台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0057

レベル : 情報

メッセージ :

RAID1(4台)への変更が完了しました。

説明 :

RAIDモードのRAID1(4台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0058

レベル : 情報

メッセージ :

RAID1(3台)への変更が完了しました。

説明 :

RAIDモードのRAID1(3台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0059

レベル : 情報

メッセージ :

RAID1(2台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID1(2台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0060

レベル : 情報

メッセージ :
RAID1(1台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID1(1台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0061

レベル : 情報

メッセージ :
RAID0(6台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0(6台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0062

レベル : 情報

メッセージ :
RAID0(5台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0(5台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0063

レベル : 情報

メッセージ :
RAID0(4台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0(4台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0064

レベル : 情報

メッセージ :
RAID0(3台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0(3台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0065

レベル : 情報

メッセージ :
RAID0(2台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0(2台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0066

レベル : 情報

メッセージ :
RAID0(1台)への変更が完了しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0(1台)への変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0070

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
RAIDに関する設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0100

レベル : 情報

メッセージ :
拡張ボリューム(6台)への組込が完了しました。

説明 :
拡張ボリューム(6台)への組込が正常に完了した。

通知 : なし

1800-0120

レベル : 情報

メッセージ :
拡張ボリューム(6台)への自動組込が完了しました。

説明 :
拡張ボリューム(6台)への自動組込が正常に完了した。

通知 : なし

1804-0001

レベル : 警告

メッセージ :

RAIDの強制復帰に失敗しました。

説明 :

強制的なRAIDの構成処理に失敗した。

通知 : なし

1804-0002

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームからミラーリングを開始できませんでした。

説明 :

USB3ボリュームから内蔵ボリュームへのミラーリングの開始に失敗した。

通知 : なし

1804-0003

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームへのミラーリングを開始できませんでした。

説明 :

内蔵ボリュームからUSB3ボリュームへのミラーリングの開始に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

1804-0004

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームの容量不足のため、ミラーリングを開始できませんでした。

説明 :

USB3ボリュームの容量が小さいためUSB3ボリュームへのミラーリングを開始できなかった。

通知 : お知らせ、SNMP

1804-0005

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームにデータが存在するため、ミラーリングを開始できませんでした。

説明 :

USB3ボリュームにデータが存在するためUSB3ボリュームへのミラーリングを開始できなかった。

通知 : お知らせ、SNMP

1804-0006

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームが故障のため、ミラーリングを開始できませんでした。

説明 :
USB3ボリュームが故障のためUSB3ボリュームへのミラーリングを開始できなかった。

通知 : お知らせ、SNMP

1804-0007

レベル : 警告

メッセージ :
USB2ボリュームからミラーリングを開始できませんでした。

説明 :
USB2ボリュームから内蔵ボリュームへのミラーリングの開始に失敗した。

通知 : なし

1804-0008

レベル : 警告

メッセージ :
USB2ボリュームへのミラーリングを開始できませんでした。

説明 :
内蔵ボリュームからUSB2ボリュームへのミラーリングの開始に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

1804-0009

レベル : 警告

メッセージ :
USB2ボリュームの容量不足のため、ミラーリングを開始できませんでした。

説明 :
USB2ボリュームの容量が小さいためUSB2ボリュームへのミラーリングを開始できなかった。

通知 : お知らせ、SNMP

1804-0010

レベル : 警告

メッセージ :
USB2ボリュームにデータが存在するため、ミラーリングを開始できませんでした。

説明 :
USB2ボリュームにデータが存在するためUSB2ボリュームへのミラーリングを開始できなかった。

通知 : お知らせ、SNMP

1804-0011

レベル : 警告

メッセージ :
USB2ボリュームが故障のため、ミラーリングを開始できませんでした。

説明 :
USB2ボリュームが故障のためUSB2ボリュームへのミラーリングを開始できなかった。

通知 : お知らせ、SNMP

1804-0030

レベル : 警告

メッセージ :
RAID6への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードのRAID6への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0031

レベル : 警告

メッセージ :
RAID5への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードのRAID5への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0032

レベル : 警告

メッセージ :
RAID0への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0033

レベル : 警告

メッセージ :
拡張ボリュームへの変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0034

レベル : 警告

メッセージ :
モード変更を実行できません。内蔵ディスクが全て正常に接続されているか確認してください。

説明 :
内蔵HDDの台数がそろっていないためRAIDモードの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0035

レベル : 警告

メッセージ :

RAID1への変更に失敗しました。

説明 :

RAIDモードのRAID1への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0036

レベル : 警告

メッセージ :

モード変更に失敗しました。

説明 :

RAIDモードの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0041

レベル : 警告

メッセージ :

拡張ボリューム(6台)への変更に失敗しました。

説明 :

RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0042

レベル : 警告

メッセージ :

拡張ボリューム(5台)への変更に失敗しました。

説明 :

RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0043

レベル : 警告

メッセージ :

拡張ボリューム(4台)への変更に失敗しました。

説明 :

RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0044

レベル : 警告

メッセージ :

拡張ボリューム(3台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0045

レベル : 警告

メッセージ :
拡張ボリューム(2台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0046

レベル : 警告

メッセージ :
拡張ボリューム(1台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0051

レベル : 警告

メッセージ :
RAID6(6台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0052

レベル : 警告

メッセージ :
RAID6(5台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0053

レベル : 警告

メッセージ :
RAID6(4台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0061

レベル : 警告

メッセージ :
RAID5(6台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0062

レベル : 警告

メッセージ :
RAID5(5台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0063

レベル : 警告

メッセージ :
RAID5(4台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0064

レベル : 警告

メッセージ :
RAID5(3台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0071

レベル : 警告

メッセージ :
RAID1(6台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードのRAID1への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0072

レベル : 警告

メッセージ :

RAID1(5台)への変更に失敗しました。

説明 :

RAIDモードのRAID1への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0073

レベル : 警告

メッセージ :

RAID1(4台)への変更に失敗しました。

説明 :

RAIDモードのRAID1への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0074

レベル : 警告

メッセージ :

RAID1(3台)への変更に失敗しました。

説明 :

RAIDモードのRAID1への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0075

レベル : 警告

メッセージ :

RAID1(2台)への変更に失敗しました。

説明 :

RAIDモードの拡張ボリュームへの変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0076

レベル : 警告

メッセージ :

RAID1(1台)への変更に失敗しました。

説明 :

RAIDモードのRAID1への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0081

レベル : 警告

メッセージ :

RAID0(6台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0082

レベル : 警告

メッセージ :
RAID0(5台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0083

レベル : 警告

メッセージ :
RAID0(4台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0084

レベル : 警告

メッセージ :
RAID0(3台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0085

レベル : 警告

メッセージ :
RAID0(2台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0086

レベル : 警告

メッセージ :
RAID0(1台)への変更に失敗しました。

説明 :
RAIDモードのRAID0への変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0090

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
RAIDに関する設定変更に失敗した。

通知 : なし

1804-0100

レベル : 警告

メッセージ :
拡張ボリューム(6台)への組込に失敗しました。

説明 :
拡張ボリューム(6台)への組込に失敗した。

通知 : なし

1804-0120

レベル : 警告

メッセージ :
拡張ボリューム(6台)への自動組込に失敗しました。

説明 :
拡張ボリューム(6台)への自動組込に失敗した。

通知 : なし

1810-0000

レベル : エラー

メッセージ :
RAIDが崩壊しました。

説明 :
故障などにより必要台数分のHDDが利用できなくなりRAIDを維持できない状態になった。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1810-0001

レベル : エラー

メッセージ :
RAIDの構成異常が発生しました。

説明 :
故障などにより一部HDDを利用できない状態になった。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1810-0002

レベル : エラー

メッセージ :

RAIDが異常状態になりました。

説明 :

USBボリュームのみで動作する状態になった。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

1810-0023

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームの拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。

説明 :

USB3ボリュームの拡張ボリュームへの組み込みに失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

1810-0024

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームが容量不足のため、拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。

説明 :

USB3ボリュームの容量が小さいため拡張ボリュームへの組み込みに失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

1810-0025

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームがデータが存在するため、拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。

説明 :

USB3ボリュームにデータが存在するため拡張ボリュームへの組み込みに失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

1810-0026

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームが故障のため、拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。

説明 :

USB3ボリュームが故障のため拡張ボリュームへの組み込みに失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

1810-0033

レベル : 警告

メッセージ :

USB4ボリュームの拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。

説明 :
USB3ボリュームの拡張ボリュームへの組み込みに失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

1810-0034

レベル : 警告

メッセージ :
USB4ボリュームが容量不足のため、拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。

説明 :
USB4ボリュームの容量が小さいため拡張ボリュームへの組み込みに失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

1810-0035

レベル : 警告

メッセージ :
USB4ボリュームがデータが存在するため、拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。

説明 :
USB4ボリュームにデータが存在するため拡張ボリュームへの組み込みに失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

1810-0036

レベル : 警告

メッセージ :
USB4ボリュームが故障のため、拡張ボリュームへの組み込みに失敗しました。

説明 :
USB4ボリュームが故障のため拡張ボリュームへの組み込みに失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

▼ カテゴリー: RAID ボリューム

1900-0000

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ボリュームをマウントしました。

説明 :
内蔵ボリュームのマウントが正常に完了した。

通知 : NarSuS、SNMP

1904-0000

レベル : エラー

メッセージ :
内蔵ボリュームのマウントに失敗しました。

説明 :
内蔵ボリュームのマウントに失敗した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

▼カテゴリー: ボリューム

2000-0000

レベル : 情報

メッセージ :
モード変更が完了しました。

説明 :
モード設定のモード変更が正常に完了した。

通知 : なし

2000-0001

レベル : 情報

メッセージ :
モード変更が完了しました。ミラーリングが開始されています。

説明 :
モード設定のミラーリングへのモード変更が完了し、ミラーリングが開始された。

通知 : なし

2000-0002

レベル : 情報

メッセージ :
モード変更が完了しました。USB3ボリュームの容量不足のため、ミラーリングは開始されていません。

説明 :
モード設定のミラーリングへのモード変更は完了したが、USB3ボリュームの容量不足のためミラーリングは開始されなかった。

通知 : なし

2000-0003

レベル : 情報

メッセージ :
モード変更が完了しました。USB3ボリュームが未接続のため、ミラーリングは開始されていません。

説明 :
モード設定のミラーリングへのモード変更は完了したが、USB3ボリュームが未接続のためミラーリングは開始されなかった。

通知 : なし

2000-0004

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。USB3ボリュームにデータが存在するため、ミラーリングは開始されていません。

説明：

モード設定のミラーリングへのモード変更は完了したが、USB3ボリュームにデータが存在するためミラーリングは開始されなかった。

通知：なし

2000-0005

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。USB3ボリュームが故障のため、ミラーリングは開始されていません。

説明：

モード設定のミラーリングへのモード変更は完了したが、USB3ボリュームが故障のためミラーリングは開始されなかった。

通知：なし

2000-0006

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。ミラーリングは開始されていません。

説明：

モード設定のミラーリングへのモード変更は完了したが、何らかの原因によりミラーリングは開始されなかった。

通知：なし

2000-0007

レベル：情報

メッセージ：

ミラーリング中のUSBボリュームの取り外しを開始しました。シャットダウンが完了したら、USBボリュームを取り外してください。

説明：

ミラーリングモードのUSBボリュームに対して取り外し処理を行った。

通知：なし

2000-0008

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。USBボリュームは拡張ボリュームに組み込まれました。

説明：

モード設定の拡張ボリュームへのモード変更が完了し、USBボリュームは拡張ボリュームに組み込まれた。

通知：なし

2000-0009

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。USBボリュームは容量不足のため、拡張ボリュームには組み込まれていません。

説明：

モード設定の拡張ボリュームへのモード変更は完了したが、USBボリュームは容量不足のため、拡張ボリュームには組み込まれなかった。

通知：なし

2000-0010

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。USBボリュームは未接続のため、拡張ボリュームには組み込まれていません。

説明：

モード設定の拡張ボリュームへのモード変更は完了したが、USBボリュームは未接続のため、拡張ボリュームには組み込まれなかった。

通知：なし

2000-0011

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。USBボリュームにデータが存在するため、拡張ボリュームには組み込まれていません。

説明：

モード設定の拡張ボリュームへのモード変更は完了したが、USBボリュームにデータが存在するため、拡張ボリュームには組み込まれなかった。

通知：なし

2000-0012

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。USBボリュームが故障のため、拡張ボリュームには組み込まれていません。

説明：

モード設定の拡張ボリュームへのモード変更は完了したが、USBボリュームが故障のため、拡張ボリュームには組み込まれなかった。

通知：なし

2000-0013

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。USBボリュームは拡張ボリュームに組み込まれていません。

説明：

モード設定の拡張ボリュームへのモード変更は完了したが、何らかの原因により、USBボリュームは拡張ボリュームには組み込まれなかった。

通知：なし

2000-0014

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。USB2ボリュームの容量不足のため、ミラーリングは開始されていません。

説明：

モード設定のミラーリングへのモード変更は完了したが、USB2ボリュームの容量不足のためミラーリングは開始されなかった。

通知：なし

2000-0015

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。USB2ボリュームが未接続のため、ミラーリングは開始されていません。

説明：

モード設定のミラーリングへのモード変更は完了したが、USB2ボリュームが未接続のためミラーリングは開始されなかった。

通知：なし

2000-0016

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。USB2ボリュームにデータが存在するため、ミラーリングは開始されていません。

説明：

モード設定のミラーリングへのモード変更は完了したが、USB2ボリュームにデータが存在するためミラーリングは開始されなかった。

通知：なし

2000-0017

レベル：情報

メッセージ：

モード変更が完了しました。USB2ボリュームが故障のため、ミラーリングは開始されていません。

説明：

モード設定のミラーリングへのモード変更は完了したが、USB2ボリュームが故障のためミラーリングは開始されなかった。

通知：なし

2000-0020

レベル：情報

メッセージ：

内蔵ボリュームのフォーマットを開始しました。

説明：

内蔵ボリュームのフォーマットを開始した。

通知：なし

2000-0021

レベル：情報

メッセージ：

内蔵ボリュームのフォーマットが完了しました。

説明：

内蔵ボリュームのフォーマットが正常に完了した。

通知：なし

2000-0022

レベル	： 情報
メッセージ	： 内蔵ボリュームのチェックディスクを開始しました。
説明	： 内蔵ボリュームのチェックディスクを開始した。
通知	： なし

2000-0023

レベル	： 情報
メッセージ	： 内蔵ボリュームのチェックディスクが完了しました。
説明	： 内蔵ボリュームのチェックディスクが正常に完了した。
通知	： なし

2000-0110

レベル	： 情報
メッセージ	： USB1ボリュームのフォーマットを開始しました。
説明	： USB1ボリュームのフォーマットを開始した。
通知	： なし

2000-0111

レベル	： 情報
メッセージ	： USB1ボリュームのフォーマットが完了しました。
説明	： USB1ボリュームのフォーマットが正常に完了した。
通知	： なし

2000-0112

レベル	： 情報
メッセージ	： USB1ボリュームのチェックディスクを開始しました。
説明	： USB1ボリュームのチェックディスクが正常に完了した。
通知	： なし

2000-0113

レベル	： 情報
-----	------

メッセージ :

USB1ボリュームのチェックディスクが完了しました。

説明 :

USB1ボリュームのチェックディスクが正常に完了した。

通知 : なし

2000-0114

レベル : 情報

メッセージ :

USB1ボリュームをマウントしました。

説明 :

USB1ボリュームのマウントが正常に完了した。

通知 : なし

2000-0115

レベル : 情報

メッセージ :

USB1ボリュームの取り外し処理が完了しました。

説明 :

USB1ボリュームの取り外し処理が正常に完了した。

通知 : なし

2000-0120

レベル : 情報

メッセージ :

USB2ボリュームのフォーマットを開始しました。

説明 :

USB2ボリュームのフォーマットを開始した。

通知 : なし

2000-0121

レベル : 情報

メッセージ :

USB2ボリュームのフォーマットが完了しました。

説明 :

USB2ボリュームのフォーマットが正常に完了した。

通知 : なし

2000-0122

レベル : 情報

メッセージ :

USB2ボリュームのチェックディスクを開始しました。

説明 :
USB2ボリュームのチェックディスクが正常に完了した。

通知 : なし

2000-0123

レベル : 情報

メッセージ :
USB2ボリュームのチェックディスクが完了しました。

説明 :
USB2ボリュームのチェックディスクが正常に完了した。

通知 : なし

2000-0124

レベル : 情報

メッセージ :
USB2ボリュームをマウントしました。

説明 :
USB2ボリュームのマウントが正常に完了した。

通知 : なし

2000-0125

レベル : 情報

メッセージ :
USB2ボリュームの取り外し処理が完了しました。

説明 :
USB2ボリュームの取り外し処理が正常に完了した。

通知 : なし

2000-0130

レベル : 情報

メッセージ :
USB3ボリュームのフォーマットを開始しました。

説明 :
USB3ボリュームのフォーマットを開始した。

通知 : なし

2000-0131

レベル : 情報

メッセージ :
USB3ボリュームのフォーマットが完了しました。

説明 :
USB3ボリュームのフォーマットが正常に完了した。

通知 : なし

2000-0132

レベル：情報

メッセージ：
USB3ボリュームのチェックディスクを開始しました。

説明：
USB3ボリュームのチェックディスクが正常に完了した。

通知：なし

2000-0133

レベル：情報

メッセージ：
USB3ボリュームのチェックディスクが完了しました。

説明：
USB3ボリュームのチェックディスクが正常に完了した。

通知：なし

2000-0134

レベル：情報

メッセージ：
USB3ボリュームをマウントしました。

説明：
USB3ボリュームのマウントが正常に完了した。

通知：なし

2000-0135

レベル：情報

メッセージ：
USB3ボリュームの取り外し処理が完了しました。

説明：
USB3ボリュームの取り外し処理が正常に完了した。

通知：なし

2000-0140

レベル：情報

メッセージ：
USB4ボリュームのフォーマットを開始しました。

説明：
USB4ボリュームのフォーマットを開始した。

通知：なし

2000-0141

レベル：情報

メッセージ :

USB4ボリュームのフォーマットが完了しました。

説明 :

USB4ボリュームのフォーマットが正常に完了した。

通知 : なし

2000-0142

レベル : 情報

メッセージ :

USB4ボリュームのチェックディスクを開始しました。

説明 :

USB4ボリュームのチェックディスクが正常に完了した。

通知 : なし

2000-0143

レベル : 情報

メッセージ :

USB4ボリュームのチェックディスクが完了しました。

説明 :

USB4ボリュームのチェックディスクが正常に完了した。

通知 : なし

2000-0144

レベル : 情報

メッセージ :

USB4ボリュームをマウントしました。

説明 :

USB4ボリュームのマウントが正常に完了した。

通知 : なし

2000-0145

レベル : 情報

メッセージ :

USB4ボリュームの取り外し処理が完了しました。

説明 :

USB4ボリュームの取り外し処理が正常に完了した。

通知 : なし

2003-0000

レベル : 警告

メッセージ :

システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

2004-0000

レベル : 警告

メッセージ :
モード変更に失敗しました。

説明 :
モード設定のモード変更に失敗した。

通知 : なし

2004-0020

レベル : 警告

メッセージ :
内蔵ボリュームのフォーマットに失敗しました。

説明 :
内蔵ボリュームのフォーマットに失敗した。

通知 : なし

2004-0021

レベル : 警告

メッセージ :
内蔵ボリュームのチェックディスクでエラーが発生しました。

説明 :
内蔵ボリュームのチェックディスクに失敗した。

通知 : なし

2004-0110

レベル : 警告

メッセージ :
USB1ボリュームのフォーマットに失敗しました。

説明 :
USB1ボリュームのフォーマットに失敗した。

通知 : なし

2004-0111

レベル : 警告

メッセージ :
USB1ボリュームのチェックディスクでエラーが発生しました。

説明 :
USB1ボリュームのチェックディスクに失敗した。

通知 : なし

2004-0112

レベル : 警告

メッセージ :
USB1ボリュームのマウントに失敗しました。

説明 :
USB1ボリュームのマウントに失敗した。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

2004-0113

レベル : 警告

メッセージ :
USB1ボリュームの取り外し処理に失敗しました。

説明 :
USB1ボリュームの取り外し処理に失敗した。

通知 : なし

2004-0120

レベル : 警告

メッセージ :
USB2ボリュームのフォーマットに失敗しました。

説明 :
USB2ボリュームのフォーマットに失敗した。

通知 : なし

2004-0121

レベル : 警告

メッセージ :
USB2ボリュームのチェックディスクでエラーが発生しました。

説明 :
USB2ボリュームのチェックディスクに失敗した。

通知 : なし

2004-0122

レベル : 警告

メッセージ :
USB2ボリュームのマウントに失敗しました。

説明 :
USB2ボリュームのマウントに失敗した。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

2004-0123

レベル : 警告

メッセージ :

USB2ボリュームの取り外し処理に失敗しました。

説明 :

USB2ボリュームの取り外し処理に失敗した。

通知 : なし

2004-0130

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームのフォーマットに失敗しました。

説明 :

USB3ボリュームのフォーマットに失敗した。

通知 : なし

2004-0131

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームのチェックディスクでエラーが発生しました。

説明 :

USB3ボリュームのチェックディスクに失敗した。

通知 : なし

2004-0132

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームのマウントに失敗しました。

説明 :

USB3ボリュームのマウントに失敗した。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

2004-0133

レベル : 警告

メッセージ :

USB3ボリュームの取り外し処理に失敗しました。

説明 :

USB3ボリュームの取り外し処理に失敗した。

通知 : なし

2004-0140

レベル : 警告

メッセージ :

USB4ボリュームのフォーマットに失敗しました。

説明 :
USB4ボリュームのフォーマットに失敗した。

通知 : なし

2004-0141

レベル : 警告

メッセージ :
USB4ボリュームのチェックディスクでエラーが発生しました。

説明 :
USB4ボリュームのチェックディスクに失敗した。

通知 : なし

2004-0142

レベル : 警告

メッセージ :
USB4ボリュームのマウントに失敗しました。

説明 :
USB4ボリュームのマウントに失敗した。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

2004-0143

レベル : 警告

メッセージ :
USB4ボリュームの取り外し処理に失敗しました。

説明 :
USB4ボリュームの取り外し処理に失敗した。

通知 : なし

2010-0110

レベル : 警告

メッセージ :
USB1ボリュームは未フォーマットです。

説明 :
USB1ボリュームは未フォーマット状態。

通知 : なし

2010-0111

レベル : 警告

メッセージ :
USB1ボリュームは専用フォーマット以外のためチェックディスクできません。

説明 :
USB1ボリュームが専用フォーマット以外のためチェックディスクできない。

通知 : なし

2010-0120

レベル : 警告

メッセージ :
USB2ボリュームは未フォーマットです。

説明 :
USB2ボリュームは未フォーマット状態。

通知 : なし

2010-0121

レベル : 警告

メッセージ :
USB2ボリュームは専用フォーマット以外のためチェックディスクできません。

説明 :
USB2ボリュームが専用フォーマット以外のためチェックディスクできない。

通知 : なし

2010-0130

レベル : 警告

メッセージ :
USB3ボリュームは未フォーマットです。

説明 :
USB3ボリュームは未フォーマット状態。

通知 : なし

2010-0131

レベル : 警告

メッセージ :
USB3ボリュームは専用フォーマット以外のためチェックディスクできません。

説明 :
USB3ボリュームが専用フォーマット以外のためチェックディスクできない。

通知 : なし

2010-0140

レベル : 警告

メッセージ :
USB4ボリュームは未フォーマットです。

説明 :
USB4ボリュームは未フォーマット状態。

通知 : なし

2010-0141

レベル : 警告

メッセージ：
USB4ボリュームは専用フォーマット以外のためチェックディスクできません。

説明：
USB4ボリュームが専用フォーマット以外のためチェックディスクできない。

通知：なし

▼カテゴリー:ディスク

2100-0010

レベル：情報

メッセージ：
内蔵ディスク1が接続されました。

説明：
内蔵ディスク1が接続された。

通知：なし

2100-0011

レベル：情報

メッセージ：
内蔵ディスク1が取り外されました。

説明：
内蔵ディスク1が取り外された。

通知：なし

2100-0012

レベル：情報

メッセージ：
内蔵ディスク1を取り外しました。

説明：
内蔵ディスク1を取り外しました。

通知：なし

2100-0020

レベル：情報

メッセージ：
内蔵ディスク2が接続されました。

説明：
内蔵ディスク2が接続された。

通知：なし

2100-0021

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ディスク2が取り外されました。

説明 :
内蔵ディスク2が取り外された。

通知 : なし

2100-0022

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ディスク2を取り外しました。

説明 :
内蔵ディスク2を取り外しました。

通知 : なし

2100-0030

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ディスク3が接続されました。

説明 :
内蔵ディスク3が接続された。

通知 : なし

2100-0031

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ディスク3が取り外されました。

説明 :
内蔵ディスク3が取り外された。

通知 : なし

2100-0032

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ディスク3を取り外しました。

説明 :
内蔵ディスク3を取り外しました。

通知 : なし

2100-0040

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ディスク4が接続されました。

説明：内蔵ディスク4が接続された。

通知：なし

2100-0041

レベル：情報

メッセージ：内蔵ディスク4が取り外されました。

説明：内蔵ディスク4が取り外された。

通知：なし

2100-0042

レベル：情報

メッセージ：内蔵ディスク4を取り外しました。

説明：内蔵ディスク4を取り外しました。

通知：なし

2100-0050

レベル：情報

メッセージ：内蔵ディスク5が接続されました。

説明：内蔵ディスク5が接続された。

通知：なし

2100-0051

レベル：情報

メッセージ：内蔵ディスク5が取り外されました。

説明：内蔵ディスク5が取り外された。

通知：なし

2100-0052

レベル：情報

メッセージ：内蔵ディスク5を取り外しました。

説明：内蔵ディスク5を取り外しました。

通知：なし

2100-0060

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ディスク6が接続されました。

説明 :
内蔵ディスク6が接続された。

通知 : なし

2100-0061

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ディスク6が取り外されました。

説明 :
内蔵ディスク6が取り外された。

通知 : なし

2100-0062

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ディスク6を取り外しました。

説明 :
内蔵ディスク6を取り外しました。

通知 : なし

2100-0110

レベル : 情報

メッセージ :
USB1にディスクが接続されました。

説明 :
USB1にディスクが接続された。

通知 : なし

2100-0111

レベル : 情報

メッセージ :
USB1からディスクが取り外されました。

説明 :
USB1からディスクが取り外された。

通知 : なし

2100-0112

レベル : 情報

メッセージ :

USB1ディスクを取り外しました。

説明 :

USB1からディスクを取り外しました。

通知 : なし

2100-0120

レベル : 情報

メッセージ :

USB2にディスクが接続されました。

説明 :

USB2にディスクが接続された。

通知 : なし

2100-0121

レベル : 情報

メッセージ :

USB2からディスクが取り外されました。

説明 :

USB2からディスクが取り外された。

通知 : なし

2100-0122

レベル : 情報

メッセージ :

USB2ディスクを取り外しました。

説明 :

USB2からディスクを取り外しました。

通知 : なし

2100-0130

レベル : 情報

メッセージ :

USB3にディスクが接続されました。

説明 :

USB3にディスクが接続された。

通知 : なし

2100-0131

レベル : 情報

メッセージ :

USB3からディスクが取り外されました。

説明 :
USB3からディスクが取り外された。

通知 : なし

2100-0132

レベル : 情報

メッセージ :
USB3ディスクを取り外しました。

説明 :
USB3からディスクを取り外しました。

通知 : なし

2100-0140

レベル : 情報

メッセージ :
USB4にディスクが接続されました。

説明 :
USB4にディスクが接続された。

通知 : なし

2100-0141

レベル : 情報

メッセージ :
USB4からディスクが取り外されました。

説明 :
USB4からディスクが取り外された。

通知 : なし

2100-0142

レベル : 情報

メッセージ :
USB4ディスクを取り外しました。

説明 :
USB4からディスクを取り外しました。

通知 : なし

2108-0010

レベル : 警告

メッセージ :
内蔵ディスク1が故障しました。交換してください。

説明 :
内蔵ディスク1が故障した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2108-0011

レベル : 警告

メッセージ :
内蔵ディスク1は容量不足です。

説明 :
接続された内蔵ディスク1が容量不足のためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

2108-0012

レベル : 警告

メッセージ :
内蔵ディスク1は故障しています。

説明 :
接続された内蔵ディスク1が故障しているためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

2108-0013

レベル : 警告

メッセージ :
内蔵ディスク1は取り外しできません。

説明 :
内蔵ディスク1を取り外せない。

通知 : なし

2108-0014

レベル : 警告

メッセージ :
RAIDが正常ではないため内蔵ディスク1は取り外しできません。

説明 :
RAID異常のため内蔵ディスク1を取り外せない。

通知 : なし

2108-0015

レベル : 警告

メッセージ :
RAIDが構成異常のため内蔵ディスク1は取り外しできません。

説明 :
RAID異常のため内蔵ディスク1を取り外せない。

通知 : なし

2108-0016

レベル : 警告

メッセージ :

RAIDが崩壊しているため内蔵ディスク1は取り外しできません。

説明 :

RAID異常のため内蔵ディスク1を取り外せない。

通知 : なし

2108-0020

レベル : 警告

メッセージ :

内蔵ディスク2が故障しました。交換してください。

説明 :

内蔵ディスク2が故障した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2108-0021

レベル : 警告

メッセージ :

内蔵ディスク2は容量不足です。

説明 :

接続された内蔵ディスク2が容量不足のためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

2108-0022

レベル : 警告

メッセージ :

内蔵ディスク2は故障しています。

説明 :

接続された内蔵ディスク2が故障しているためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

2108-0023

レベル : 警告

メッセージ :

内蔵ディスク2は取り外しできません。

説明 :

内蔵ディスク2を取り外せない。

通知 : なし

2108-0024

レベル : 警告

メッセージ :

RAIDが正常ではないため内蔵ディスク2は取り外しできません。

説明：

RAID異常のため内蔵ディスク2を取り外せない。

通知：なし

2108-0025

レベル：警告

メッセージ：

RAIDが構成異常のため内蔵ディスク2は取り外しできません。

説明：

RAID異常のため内蔵ディスク2を取り外せない。

通知：なし

2108-0026

レベル：警告

メッセージ：

RAIDが崩壊しているため内蔵ディスク2は取り外しできません。

説明：

RAID異常のため内蔵ディスク2を取り外せない。

通知：なし

2108-0030

レベル：警告

メッセージ：

内蔵ディスク3が故障しました。交換してください。

説明：

内蔵ディスク3が故障した。

通知：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2108-0031

レベル：警告

メッセージ：

内蔵ディスク3は容量不足です。

説明：

接続された内蔵ディスク3が容量不足のためRAIDに組み込めない。

通知：なし

2108-0032

レベル：警告

メッセージ：

内蔵ディスク3は故障しています。

説明：

接続された内蔵ディスク3が故障しているためRAIDに組み込めない。

通知：なし

2108-0033

レベル : 警告

メッセージ :
内蔵ディスク3は取り外しできません。

説明 :
内蔵ディスク3を取り外せない。

通知 : なし

2108-0034

レベル : 警告

メッセージ :
RAIDが正常ではないため内蔵ディスク3は取り外しできません。

説明 :
RAID異常のため内蔵ディスク3を取り外せない。

通知 : なし

2108-0035

レベル : 警告

メッセージ :
RAIDが構成異常のため内蔵ディスク3は取り外しできません。

説明 :
RAID異常のため内蔵ディスク3を取り外せない。

通知 : なし

2108-0036

レベル : 警告

メッセージ :
RAIDが崩壊しているため内蔵ディスク3は取り外しできません。

説明 :
RAID異常のため内蔵ディスク3を取り外せない。

通知 : なし

2108-0040

レベル : 警告

メッセージ :
内蔵ディスク4が故障しました。交換してください。

説明 :
内蔵ディスク4が故障した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2108-0041

レベル : 警告

メッセージ :

内蔵ディスク4は容量不足です。

説明 :

接続された内蔵ディスク4が容量不足のためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

2108-0042

レベル : 警告

メッセージ :

内蔵ディスク4は故障しています。

説明 :

接続された内蔵ディスク4が故障しているためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

2108-0043

レベル : 警告

メッセージ :

内蔵ディスク4は取り外しできません。

説明 :

内蔵ディスク4を取り外せない。

通知 : なし

2108-0044

レベル : 警告

メッセージ :

RAIDが正常ではないため内蔵ディスク4は取り外しできません。

説明 :

RAID異常のため内蔵ディスク4を取り外せない。

通知 : なし

2108-0045

レベル : 警告

メッセージ :

RAIDが構成異常のため内蔵ディスク4は取り外しできません。

説明 :

RAID異常のため内蔵ディスク4を取り外せない。

通知 : なし

2108-0046

レベル : 警告

メッセージ :

RAIDが崩壊しているため内蔵ディスク4は取り外しできません。

説明：

RAID異常のため内蔵ディスク4を取り外せない。

通知：なし

2108-0050

レベル：警告

メッセージ：

内蔵ディスク5が故障しました。交換してください。

説明：

内蔵ディスク5が故障した。

通知：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2108-0051

レベル：警告

メッセージ：

内蔵ディスク5は容量不足です。

説明：

接続された内蔵ディスク5が容量不足のためRAIDに組み込めない。

通知：なし

2108-0052

レベル：警告

メッセージ：

内蔵ディスク5は故障しています。

説明：

接続された内蔵ディスク5が故障しているためRAIDに組み込めない。

通知：なし

2108-0053

レベル：警告

メッセージ：

内蔵ディスク5は取り外しできません。

説明：

内蔵ディスク5を取り外せない。

通知：なし

2108-0054

レベル：警告

メッセージ：

RAIDが正常ではないため内蔵ディスク5は取り外しできません。

説明：

RAID異常のため内蔵ディスク5を取り外せない。

通知：なし

2108-0055

レベル : 警告

メッセージ :
RAIDが構成異常のため内蔵ディスク5は取り外しできません。

説明 :
RAID異常のため内蔵ディスク5を取り外せない。

通知 : なし

2108-0056

レベル : 警告

メッセージ :
RAIDが崩壊しているため内蔵ディスク5は取り外しできません。

説明 :
RAID異常のため内蔵ディスク5を取り外せない。

通知 : なし

2108-0060

レベル : 警告

メッセージ :
内蔵ディスク6が故障しました。交換してください。

説明 :
内蔵ディスク6が故障した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2108-0061

レベル : 警告

メッセージ :
内蔵ディスク6は容量不足です。

説明 :
接続された内蔵ディスク6が容量不足のためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

2108-0062

レベル : 警告

メッセージ :
内蔵ディスク6は故障しています。

説明 :
接続された内蔵ディスク6が故障しているためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

2108-0063

レベル : 警告

メッセージ：
内蔵ディスク6は取り外しできません。

説明：
内蔵ディスク6を取り外せない。

通知：なし

2108-0064

レベル：警告

メッセージ：
RAIDが正常ではないため内蔵ディスク6は取り外しできません。

説明：
RAID異常のため内蔵ディスク6を取り外せない。

通知：なし

2108-0065

レベル：警告

メッセージ：
RAIDが構成異常のため内蔵ディスク6は取り外しできません。

説明：
RAID異常のため内蔵ディスク6を取り外せない。

通知：なし

2108-0066

レベル：警告

メッセージ：
RAIDが崩壊しているため内蔵ディスク6は取り外しできません。

説明：
RAID異常のため内蔵ディスク6を取り外せない。

通知：なし

2108-0120

レベル：警告

メッセージ：
USB2ディスクが故障しました。交換してください。

説明：
USB2ディスクが故障した。

通知：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2108-0126

レベル：警告

メッセージ：
USB2ディスクは故障しています。

説明 :
接続されたUSB2ディスクが故障しているためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

2108-0130

レベル : 警告

メッセージ :
USB3ディスクが故障しました。交換してください。

説明 :
USB3ディスクが故障した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2108-0131

レベル : 警告

メッセージ :
USB3ディスクは取り外しできません。

説明 :
USB3ディスクを取り外せない。

通知 : なし

2108-0132

レベル : 警告

メッセージ :
RAIDが正常ではないためUSB3ディスクは取り外しできません。

説明 :
RAID異常のためUSB3ディスクを取り外せない。

通知 : なし

2108-0133

レベル : 警告

メッセージ :
RAIDが構成異常のためUSB3ディスクは取り外しできません。

説明 :
RAID異常のためUSB3ディスクを取り外せない。

通知 : なし

2108-0134

レベル : 警告

メッセージ :
RAIDが崩壊しているためUSB3ディスクは取り外しできません。

説明 :
RAID異常のためUSB3ディスクを取り外せない。

通知 : なし

2108-0135

レベル : 警告

メッセージ :
USB3ディスクは容量不足です。

説明 :
接続されたUSB3ディスクが容量不足のためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

2108-0136

レベル : 警告

メッセージ :
USB3ディスクは故障しています。

説明 :
接続されたUSB3ディスクが故障しているためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

2108-0140

レベル : 警告

メッセージ :
USB4ディスクが故障しました。交換してください。

説明 :
USB4ディスクが故障した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2108-0141

レベル : 警告

メッセージ :
USB4ディスクは取り外しできません。

説明 :
USB4ディスクを取り外せない。

通知 : なし

2108-0142

レベル : 警告

メッセージ :
RAIDが正常ではないためUSB4ディスクは取り外しできません。

説明 :
RAID異常のためUSB4ディスクを取り外せない。

通知 : なし

2108-0143

レベル : 警告

メッセージ :

RAIDが構成異常のためUSB4ディスクは取り外しできません。

説明 :

RAID異常のためUSB4ディスクを取り外せない。

通知 : なし

2108-0144

レベル : 警告

メッセージ :

RAIDが崩壊しているためUSB4ディスクは取り外しできません。

説明 :

RAID異常のためUSB4ディスクを取り外せない。

通知 : なし

2108-0145

レベル : 警告

メッセージ :

USB4ディスクは容量不足です。

説明 :

接続されたUSB4ディスクが容量不足のためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

2108-0146

レベル : 警告

メッセージ :

USB4ディスクは故障しています。

説明 :

接続されたUSB4ディスクが故障しているためRAIDに組み込めない。

通知 : なし

▼カテゴリー: アクティブリペア

2200-0000

レベル : 情報

メッセージ :

設定を変更しました。

説明 :

アクティブリペアの設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

2200-0001

レベル : 情報

メッセージ :
開始しました。

説明 :
アクティブリペアを開始した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

2200-0002

レベル : 情報

メッセージ :
停止しました。

説明 :
アクティブリペアを停止した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

2200-0003

レベル : 情報

メッセージ :
完了しました。

説明 :
アクティブリペアが正常に完了した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

2200-0004

レベル : 情報

メッセージ :
完了しました。

説明 :
エラーが検出されてアクティブリペアが完了した。

通知 : なし

2200-0010

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ボリューム-アクティブリペアを開始しました。

説明 :
内蔵ボリュームのアクティブリペアを開始した。

通知 : なし

2200-0011

レベル : 情報

メッセージ :
内蔵ボリューム-アクティブリペア進捗 %s%

説明：内蔵ボリュームのアクティブリペアが進行中。

通知：なし

2200-0012

レベル：情報

メッセージ：内蔵ボリューム-アクティブリペアを完了しました。

説明：内蔵ボリュームのアクティブリペアが完了した。

通知：なし

2200-0020

レベル：情報

メッセージ：ミラーリング-アクティブリペアを開始しました。

説明：USBボリュームとのミラーリングのアクティブリペアが開始された。

通知：なし

2200-0021

レベル：情報

メッセージ：ミラーリング-アクティブリペア進捗 %s%

説明：USBボリュームとのミラーリングのアクティブリペアが進行中。

通知：なし

2200-0022

レベル：情報

メッセージ：ミラーリング-アクティブリペアを完了しました。

説明：USBボリュームとのミラーリングのアクティブリペアが完了した。

通知：なし

2203-0000

レベル：警告

メッセージ：システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明：他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知：なし

2203-0001

レベル	：警告
メッセージ	： システムが処理中です。処理を中止しました。
説明	： 他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。
通知	：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2204-0000

レベル	：警告
メッセージ	： 設定変更に失敗しました。
説明	： アクティブリペアの設定変更に失敗した。
通知	：なし

2204-0001

レベル	：警告
メッセージ	： アクティブリペアの開始に失敗しました。
説明	： アクティブリペアの開始に失敗した。
通知	：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2204-0002

レベル	：警告
メッセージ	： アクティブリペアの停止に失敗しました。
説明	： アクティブリペアの停止に失敗した。
通知	：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2204-0003

レベル	：警告
メッセージ	： アクティブリペアの処理中にエラーが発生しました。
説明	： アクティブリペアの処理中にエラーが発生した。
通知	：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2208-0010

レベル	：警告
-----	-----

メッセージ：

内蔵ボリューム-修復できないエラーが発生しました。何度か実行しても正常終了しない場合データをバックアップ後、システム初期化を「内蔵HDDの完全消去を行う」オプションを付けて実行してください。

説明：

アクティブリペアを行った結果、内蔵ボリュームで修復できないエラーが検出された。

通知：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2208-0020

レベル：警告

メッセージ：

ミラーリング-修復できないエラーが発生しました。何度か実行しても正常終了しない場合データをバックアップ後、システム初期化を「内蔵HDDの完全消去を行う」オプションを付けて実行してください。

説明：

アクティブリペアを行った結果、ミラーリングボリュームで修復できないエラーが検出された。

通知：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2208-0030

レベル：警告

メッセージ：

システム-修復できないエラーが発生しました。何度か実行しても正常終了しない場合データをバックアップ後、システム初期化を「内蔵HDDの完全消去を行う」オプションを付けて実行してください。

説明：

アクティブリペアを行った結果、システム領域で修復できないエラーが検出された。

通知：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

▼カテゴリー:ロックキー

2300-0000

レベル：情報

メッセージ：

設定を変更しました。

説明：

ロックキーの設定変更が正常に完了した。

通知：なし

2300-0001

レベル：情報

メッセージ：

削除が完了しました。

説明：

ロックキーの削除が正常に完了した。

通知：なし

2300-0002

レベル：情報

メッセージ：
コピーが完了しました。

説明：
ロックキーのコピーが正常に完了した。

通知：なし

2300-0003

レベル：情報

メッセージ：
セキュリティロックモードを解除しました。

説明：
内蔵ボリュームのセキュリティロックを解除した。

通知：メール、NarSuS、SNMP

2300-0004

レベル：情報

メッセージ：
対象変更が完了しました。

説明：
ロックキーの対象変更が正常に完了した。

通知：なし

2300-0005

レベル：情報

メッセージ：
キー登録が完了しました。

説明：
ロックキーのキー登録が正常に完了した。

通知：なし

2300-0006

レベル：情報

メッセージ：
キー生成が完了しました。

説明：
ロックキーのキー生成が正常に完了した。

通知：なし

2300-0110

レベル：情報

メッセージ :
USB1ボリュームのセキュリティロックを解除しました。

説明 :
USB1ボリュームのセキュリティロックを解除した。

通知 : メール、SNMP

2300-0120

レベル : 情報

メッセージ :
USB2ボリュームのセキュリティロックを解除しました。

説明 :
USB2ボリュームのセキュリティロックを解除した。

通知 : メール、SNMP

2300-0130

レベル : 情報

メッセージ :
USB3ボリュームのセキュリティロックを解除しました。

説明 :
USB3ボリュームのセキュリティロックを解除した。

通知 : メール、SNMP

2300-0140

レベル : 情報

メッセージ :
USB4ボリュームのセキュリティロックを解除しました。

説明 :
USB4ボリュームのセキュリティロックを解除した。

通知 : メール、SNMP

2303-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

2304-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
ロックキーの設定変更に失敗した。

通知 : なし

2304-0001

レベル : 警告

メッセージ :
削除に失敗しました。

説明 :
ロックキーの削除に失敗した。

通知 : なし

2304-0002

レベル : 警告

メッセージ :
コピーに失敗しました。

説明 :
ロックキーのコピーに失敗した。

通知 : なし

2304-0003

レベル : 警告

メッセージ :
セキュリティロックモードの解除に失敗しました。

説明 :
内蔵ボリュームのセキュリティロックモードの解除に失敗した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2304-0004

レベル : 警告

メッセージ :
対象変更に失敗しました。

説明 :
ロックキーの対象変更に失敗した。

通知 : なし

2304-0005

レベル : 警告

メッセージ :
キー登録に失敗しました。

説明 :
ロックキーのキー登録に失敗した。

通知 : なし

2304-0006

レベル：警告

メッセージ：
キー生成に失敗しました。

説明：
ロックキーのキー生成に失敗した。

通知：なし

2304-0110

レベル：警告

メッセージ：
USB1ボリュームのセキュリティロック解除に失敗しました。

説明：
USB1ボリュームのセキュリティロック解除に失敗した。

通知：なし

2304-0120

レベル：警告

メッセージ：
USB2ボリュームのセキュリティロック解除に失敗しました。

説明：
USB2ボリュームのセキュリティロック解除に失敗した。

通知：なし

2304-0130

レベル：警告

メッセージ：
USB3ボリュームのセキュリティロック解除に失敗しました。

説明：
USB3ボリュームのセキュリティロック解除に失敗した。

通知：なし

2304-0140

レベル：警告

メッセージ：
USB4ボリュームのセキュリティロック解除に失敗しました。

説明：
USB4ボリュームのセキュリティロック解除に失敗した。

通知：なし

2305-0000

レベル：警告

メッセージ：
キーサーバーへ接続が認証エラーになりました。(＜キーサーバー＞)

説明：
連携が許可されていないか、パスワードが間違っていて設定されている。

通知：なし

2306-0000

レベル：警告

メッセージ：
鍵ファイルが見つかりません。

説明：
ロックキー内に鍵ファイルが存在しない。

通知：なし

2308-0000

レベル：警告

メッセージ：
ロックキー用USBメモリーが接続されていません。

説明：
暗号化で使うロックキー用USBメモリーが接続されていない。

通知：なし

2308-0001

レベル：警告

メッセージ：
ロックキー用USBメモリーの容量が小さすぎます。

説明：
暗号化で使うロックキー用USBメモリーの容量が64MB以下。

通知：なし

2308-0002

レベル：警告

メッセージ：
接続されたロックキーは他のLAN DISKで使用されています。

説明：
他の機器のロックキーが接続されている。

通知：なし

2308-0003

レベル：警告

メッセージ：
ロックキーが接続されていません。

説明 :
 ロックキーが接続されていない。

通知 : なし

2309-0000

レベル : 警告

メッセージ :
 キーサーバーと通信できません。(<キーサーバー>)

説明 :
 キーサーバーとの通信でエラーが発生した。

通知 : なし

2310-0000

レベル : エラー

メッセージ :
 セキュリティロックモードで起動しました。

説明 :
 内蔵ボリュームがセキュリティロックモードで起動した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2310-0001

レベル : 警告

メッセージ :
 キーサーバーが操作に対応していない古いバージョンです。(<キーサーバー>)

説明 :
 キーサーバーが古いバージョンのため操作を実行できない。

通知 : なし

2310-0110

レベル : 警告

メッセージ :
 USB1ボリュームはセキュリティロックされています。

説明 :
 セキュリティロックされたUSB1ボリュームが接続されたが、ロックキーが接続されていない。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

2310-0120

レベル : 警告

メッセージ :
 USB2ボリュームはセキュリティロックされています。

説明 :
 セキュリティロックされたUSB2ボリュームが接続されたが、ロックキーが接続されていない。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

2310-0130

レベル : 警告

メッセージ :
USB3ボリュームはセキュリティロックされています。

説明 :
セキュリティロックされたUSB3ボリュームが接続されたが、ロックキーが接続されていない。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

2310-0140

レベル : 警告

メッセージ :
USB4ボリュームはセキュリティロックされています。

説明 :
セキュリティロックされたUSB4ボリュームが接続されたが、ロックキーが接続されていない。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

▼ カテゴリー : UPS

2400-0000

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
UPSの設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

2400-0001

レベル : 情報

メッセージ :
UPSが接続されていることを確認しました。

説明 :
UPS警告が有効な状態でUPSが接続された。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

2400-0002

レベル : 情報

メッセージ :
停電復旧により、通常動作に復帰しました。

説明 :
UPS警告が有効な状態で停電復旧により、通常動作に復帰した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

2400-0003

レベル : 情報

メッセージ :
停電復旧により、通常動作に復帰しました。

説明 :
UPS警告が無効な状態で停電復旧により、通常動作に復帰した。

通知 : なし

2400-0004

レベル : 情報

メッセージ :
ネットワークシャットダウン要求を送信しました。 - %s

説明 :
設定された機器に対してネットワークシャットダウン要求を送信した。

通知 : なし

2400-0010

レベル : 情報

メッセージ :
シリアルにUPSが接続されました。

説明 :
起動時、シリアルポート1にUPSが接続されていることを検出した。

通知 : なし

2400-0110

レベル : 情報

メッセージ :
USB1にUPSが接続されました。

説明 :
USBポート1にUPSが接続された。

通知 : なし

2400-0111

レベル : 情報

メッセージ :
USB1からUPSが取り外されました。

説明 :
USBポート1からUPSが取り外された。

通知 : なし

2400-0120

レベル : 情報

メッセージ :

USB2にUPSが接続されました。

説明 :

USBポート2にUPSが接続された。

通知 : なし

2400-0121

レベル : 情報

メッセージ :

USB2からUPSが取り外されました。

説明 :

USBポート2からUPSが取り外された。

通知 : なし

2400-0130

レベル : 情報

メッセージ :

USB3にUPSが接続されました。

説明 :

USBポート3にUPSが接続された。

通知 : なし

2400-0131

レベル : 情報

メッセージ :

USB3からUPSが取り外されました。

説明 :

USBポート3からUPSが取り外された。

通知 : なし

2400-0140

レベル : 情報

メッセージ :

USB4にUPSが接続されました。

説明 :

USBポート4にUPSが接続された。

通知 : なし

2400-0141

レベル : 情報

メッセージ :

USB4からUPSが取り外されました。

説明 :
USBポート4からUPSが取り外された。

通知 : なし

2403-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

2404-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
UPSの設定変更に失敗した。

通知 : なし

2404-0001

レベル : 警告

メッセージ :
状態取得に失敗しました。

説明 :
UPSの状態取得に失敗した。

通知 : なし

2404-0002

レベル : 警告

メッセージ :
ネットワークシャットダウン要求の送信に失敗しました。 - %s

説明 :
設定された機器に対するネットワークシャットダウン要求の送信に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

2408-0000

レベル : エラー

メッセージ :
UPSが接続されていません。

説明 :
UPS警告が有効な状態でUPSが取り外された。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2410-0000

レベル : エラー

メッセージ :
停電のため、バッテリー動作を開始しました。

説明 :
UPS警告が有効な状態で、停電によりUPSがバッテリー動作を開始したことを確認した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2410-0001

レベル : 警告

メッセージ :
停電のため、バッテリー動作を開始しました。

説明 :
UPS警告が無効な状態で、停電によりUPSがバッテリー動作を開始したことを確認した。

通知 : お知らせ、SNMP

2410-0002

レベル : エラー

メッセージ :
停電後、指定した時間経過しました。

説明 :
UPS警告が有効な状態で、停電後、指定時間を経過した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2410-0003

レベル : 警告

メッセージ :
停電後、指定した時間経過しました。

説明 :
UPS警告が無効な状態で、停電後、指定時間を経過した。

通知 : お知らせ、SNMP

2410-0004

レベル : エラー

メッセージ :
UPSのバッテリーローを検出しました。

説明 :
UPS警告が有効な状態で、バッテリーローを検出した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

2410-0005

レベル : 警告

メッセージ :

UPSのバッテリーローを検出しました。

説明 :

UPS警告が無効な状態で、バッテリーローを検出した。

通知 : お知らせ、SNMP

▼ カテゴリー: プリンター

2500-0000

レベル : 情報

メッセージ :

バッファークリアしました。

説明 :

プリンター用バッファークリアが正常に完了した。

通知 : なし

2500-0110

レベル : 情報

メッセージ :

USB1にプリンターが接続されました。

説明 :

USBポート1にプリンターが接続された。

通知 : なし

2500-0111

レベル : 情報

メッセージ :

USB1からプリンターが取り外されました。

説明 :

USBポート1からプリンターが取り外された。

通知 : なし

2500-0120

レベル : 情報

メッセージ :

USB2にプリンターが接続されました。

説明 :

USBポート2にプリンターが接続された。

通知 : なし

2500-0121

レベル : 情報

メッセージ :
USB2からプリンターが取り外されました。

説明 :
USBポート2からプリンターが取り外された。

通知 : なし

2500-0130

レベル : 情報

メッセージ :
USB3にプリンターが接続されました。

説明 :
USBポート3にプリンターが接続された。

通知 : なし

2500-0131

レベル : 情報

メッセージ :
USB3からプリンターが取り外されました。

説明 :
USBポート3からプリンターが取り外された。

通知 : なし

2500-0140

レベル : 情報

メッセージ :
USB4にプリンターが接続されました。

説明 :
USBポート4にプリンターが接続された。

通知 : なし

2500-0141

レベル : 情報

メッセージ :
USB4からプリンターが取り外されました。

説明 :
USBポート4からプリンターが取り外された。

通知 : なし

2503-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

2504-0000

レベル : 警告

メッセージ :
バッファークリアに失敗しました。

説明 :
プリンター用バッファークリアに失敗した。

通知 : なし

▼カテゴリー: サービス

2600-0000

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
サービスの設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

2603-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

2604-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
サービスの設定変更に失敗した。

通知 : なし

▼カテゴリー: メール

2700-0000

レベル：情報

メッセージ：
設定を変更しました。

説明：
メールの設定変更が正常に完了した。

通知：なし

2700-0010

レベル：情報

メッセージ：
テストメールを送信しました。(<メールアドレス>)

説明：
テストメールの送信が正常に完了した。

通知：なし

2700-0011

レベル：情報

メッセージ：
レポートメールを送信しました。(<メールアドレス>)

説明：
レポートメールの送信が正常に完了した。

通知：なし

2700-0012

レベル：情報

メッセージ：
システムイベントメールを送信しました。(<メールアドレス>)

説明：
システムイベントメールの送信が正常に完了した。

通知：なし

2700-0013

レベル：情報

メッセージ：
バックアップメールを送信しました。(<メールアドレス>)

説明：
バックアップメールの送信が正常に完了した。

通知：なし

2700-0014

レベル：情報

メッセージ：
温度・FANエラーメールを送信しました。(<メールアドレス>)

説明：
温度・FANエラーメールの送信が正常に完了した。

通知：なし

2700-0015

レベル：情報

メッセージ：
ディスク情報通知メールを送信しました。(<メールアドレス>)

説明：
ディスク情報通知メールの送信が正常に完了した。

通知：なし

2700-0016

レベル：情報

メッセージ：
ボリューム使用量警告メールを送信しました。(<メールアドレス>)

説明：
ボリューム使用量警告メールの送信が正常に完了した。

通知：なし

2700-0017

レベル：情報

メッセージ：
使用量制限警告メールを送信しました。(<メールアドレス>)

説明：
使用量制限警告メールの送信が正常に完了した。

通知：なし

2700-0018

レベル：情報

メッセージ：
UPS警告メールを送信しました。(<メールアドレス>)

説明：
UPS警告メールの送信が正常に完了した。

通知：なし

2700-0019

レベル：情報

メッセージ：
システムログをメール転送しました。(<メールアドレス>)

説明 :
システムログのメール転送が正常に完了した。

通知 : なし

2700-0020

レベル : 情報

メッセージ :
アクセスログをメール転送しました。(<メールアドレス>)

説明 :
アクセスログのメール転送が正常に完了した。

通知 : なし

2700-0030

レベル : 情報

メッセージ :
メールを再送しました。(<メールアドレス>)

説明 :
メールの再送が正常に完了した。

通知 : なし

2703-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

2704-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
メールの設定変更に失敗した。

通知 : なし

2709-0000

レベル : 警告

メッセージ :
テストメールの送信に失敗しました。(<メールアドレス>)

説明 :
テストメールの送信に失敗した。

通知 : なし

2709-0001

レベル : 警告

メッセージ :
レポートメールの送信に失敗しました。(<メールアドレス>)

説明 :
レポートメールの送信に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

2709-0002

レベル : 警告

メッセージ :
システムイベントメールの送信に失敗しました。(<メールアドレス>)

説明 :
システムイベントメールの送信に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

2709-0003

レベル : 警告

メッセージ :
バックアップメールの送信に失敗しました。(<メールアドレス>)

説明 :
バックアップメールの送信に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

2709-0004

レベル : 警告

メッセージ :
温度・FANエラーメールの送信に失敗しました。(<メールアドレス>)

説明 :
温度・FANエラーメールの送信に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

2709-0005

レベル : 警告

メッセージ :
ディスク情報通知メールの送信に失敗しました。(<メールアドレス>)

説明 :
ディスク情報通知メールの送信に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

2709-0006

レベル : 警告

メッセージ :
ボリューム使用量警告メールの送信に失敗しました。(＜メールアドレス＞)

説明 :
ボリューム使用量警告メールの送信に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

2709-0007

レベル : 警告

メッセージ :
使用量制限警告メールの送信に失敗しました。(＜メールアドレス＞)

説明 :
使用量制限警告メールの送信に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

2709-0008

レベル : 警告

メッセージ :
UPS警告メールの送信に失敗しました。(＜メールアドレス＞)

説明 :
UPS警告メールの送信に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

2709-0009

レベル : 警告

メッセージ :
システムログのメール転送に失敗しました。(＜メールアドレス＞)

説明 :
システムログのメール転送に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

2709-0010

レベル : 警告

メッセージ :
アクセスログのメール転送に失敗しました。(＜メールアドレス＞)

説明 :
アクセスログのメール転送に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

2709-0020

レベル : 警告

メッセージ :
メールの再送に失敗しました。(＜メールアドレス＞)

説明 :
メールの再送に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

▼ カテゴリー: 定期レポート

2800-0000

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
定期レポートの設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

2803-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

2804-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
定期レポートの設定変更に失敗した。

通知 : なし

▼ カテゴリー: 定期通知

2900-0000

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
定期通知の設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

2903-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

2904-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
定期通知の設定変更に失敗した。

通知 : なし

▼カテゴリー:SNMP

3000-0000

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
SNMPの設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

3000-0001

レベル : 情報

メッセージ :
トラップを送信しました。

説明 :
SNMPトラップを正常に送信した。

通知 : なし

3003-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

3004-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
SNMPの設定変更に失敗した。

通知 : なし

3009-0000

レベル : 警告

メッセージ :
トラップの送信に失敗しました。

説明 :
SNMPトラップの送信に失敗した。

通知 : なし

▼カテゴリー:NarSuS

3100-0000

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
NarSuSの設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

3100-0001

レベル : 情報

メッセージ :
定期通知を行いました。

説明 :
NarSuSの定期通知を正常に送信した。

通知 : なし

3103-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

3104-0000

レベル	：警告
メッセージ	： 設定変更に失敗しました。
説明	： NarSuSの設定変更に失敗した。
通知	：なし

3105-0000

レベル	：警告
メッセージ	： 利用コードが不正です。
説明	： 入力された利用コードが不正なコードだった。
通知	：なし

3109-0000

レベル	：警告
メッセージ	： NarSuSサーバーへの接続に失敗しました。
説明	： NarSuSサーバーとの通信が正常に完了しなかった。
通知	：お知らせ、SNMP

▼カテゴリー：電源

3200-0000

レベル	：情報
メッセージ	： 設定を変更しました。
説明	： 電源の設定変更が正常に完了した。
通知	：なし

3200-0001

レベル	：情報
メッセージ	： シャットダウンを開始しました。
説明	： Web管理からシャットダウンを開始した。
通知	：なし

3200-0002

レベル	： 情報
メッセージ	： 再起動を開始しました。
説明	： Web管理から再起動を開始した。
通知	： なし

3203-0000

レベル	： 警告
メッセージ	： システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。
説明	： 他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。
通知	： なし

3204-0000

レベル	： 警告
メッセージ	： 設定変更に失敗しました。
説明	： 電源の設定変更に失敗した。
通知	： なし

▼ カテゴリー: ボタン

3300-0000

レベル	： 情報
メッセージ	： 設定を変更しました。
説明	： スイッチの設定変更が正常に完了した。
通知	： なし

3303-0000

レベル	： 警告
メッセージ	： システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。
説明	： 他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。
通知	： なし

3304-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
スイッチの設定変更に失敗した。

通知 : なし

▼カテゴリー:ランプ

3400-0000

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
ランプの設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

3403-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

3404-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
ランプの設定変更に失敗した。

通知 : なし

▼カテゴリー:省電力

3500-0000

レベル : 情報

メッセージ：設定を変更しました。

説明：省電力の設定変更が正常に完了した。

通知：なし

3503-0000

レベル：警告

メッセージ：システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明：他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知：なし

3504-0000

レベル：警告

メッセージ：設定変更に失敗しました。

説明：省電力の設定変更に失敗した。

通知：なし

▼カテゴリー:パッケージ

3600-0000

レベル：情報

メッセージ：設定を変更しました。

説明：パッケージの設定変更が正常に完了した。

通知：なし

3600-0001

レベル：情報

メッセージ：追加完了しました。

説明：パッケージの追加が正常に完了した。

通知：なし

3600-0002

レベル：情報

メッセージ：
更新完了しました。

説明：
パッケージの更新が正常に完了した。

通知：なし

3600-0003

レベル：情報

メッセージ：
削除完了しました。

説明：
パッケージの削除が正常に完了した。

通知：なし

3600-0004

レベル：情報

メッセージ：
新しいパッケージは公開されていません。

説明：
新しいパッケージは公開されていない。

通知：なし

3600-0005

レベル：情報

メッセージ：
ファームウェア更新が必要な新しいパッケージが公開されています。

説明：
ファームウェア更新が必要な新しいパッケージが公開された。

通知：なし

3600-0010

レベル：情報

メッセージ：
自動更新完了しました。(<パッケージ名>)

説明：
パッケージの自動更新が正常に完了した。

通知：なし

3603-0000

レベル：警告

メッセージ：
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

3604-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
パッケージの設定変更に失敗した。

通知 : なし

3604-0001

レベル : 警告

メッセージ :
追加に失敗しました。

説明 :
パッケージの追加に失敗した。

通知 : なし

3604-0002

レベル : 警告

メッセージ :
更新に失敗しました。

説明 :
パッケージの更新に失敗した。

通知 : なし

3604-0003

レベル : 警告

メッセージ :
削除に失敗しました。

説明 :
パッケージの削除に失敗した。

通知 : なし

3604-0010

レベル : 警告

メッセージ :
自動更新に失敗しました。(<パッケージ名>)

説明 :
パッケージの自動更新に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

3609-0000

- レベル** : 警告
- メッセージ** :
パッケージ公開サーバーへの接続に失敗しました。
- 説明** :
パッケージ公開サーバーとの通信が正常に完了しなかった。
- 通知** : お知らせ、SNMP

3611-0000

- レベル** : 警告
- メッセージ** :
新しいパッケージが公開されています。
- 説明** :
新しいパッケージが公開された。
- 通知** : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

▼ カテゴリー: ファームウェア

3700-0000

- レベル** : 情報
- メッセージ** :
設定を変更しました。
- 説明** :
ファームウェアの設定変更が正常に完了した。
- 通知** : なし

3700-0001

- レベル** : 情報
- メッセージ** :
更新を開始しました。
- 説明** :
ファームウェアの更新を開始した。
- 通知** : なし

3700-0002

- レベル** : 情報
- メッセージ** :
ファームウェアは最新です。
- 説明** :
現在のファームウェアは最新の状態。
- 通知** : なし

3700-0003

レベル : 情報

メッセージ :
更新に成功しました。 : %s

説明 :
ファームウェアの更新が正常に完了。

通知 : なし

3700-0010

レベル : 情報

メッセージ :
自動更新を開始しました。

説明 :
ファームウェアの自動更新を開始した。

通知 : なし

3703-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

3704-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
ファームウェアの設定変更に失敗した。

通知 : なし

3704-0001

レベル : 警告

メッセージ :
更新に失敗しました。

説明 :
ファームウェアの更新に失敗した。

通知 : なし

3704-0010

レベル : 警告

メッセージ :
自動更新の開始に失敗しました。

説明 :
ファームウェアの自動更新の開始に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

3706-0000

レベル : 警告

メッセージ :
ファームウェアファイルが破損しています。

説明 :
ダウンロードしたファームウェアファイルが破損している。

通知 : なし

3709-0000

レベル : 警告

メッセージ :
ファームウェア公開サーバーへの接続に失敗しました。

説明 :
ファームウェア公開サーバーとの通信が正常に完了しなかった。

通知 : お知らせ、SNMP

3711-0000

レベル : 警告

メッセージ :
新しいファームウェアが公開されています。

説明 :
新しいファームウェアが公開された。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

▼ カテゴリー: ログ

3800-0000

レベル : 情報

メッセージ :
フィルタリング設定を変更しました。

説明 :
ログのフィルタリング設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

3803-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

3804-0000

レベル : 警告

メッセージ :
フィルタリング設定変更に失敗しました。

説明 :
ログのフィルタリング設定変更に失敗した。

通知 : なし

▼ カテゴリー : お知らせ

3900-0000

レベル : 情報

メッセージ :
お知らせをクリアしました。

説明 :
お知らせのクリアが正常に完了した。

通知 : なし

3903-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

3904-0000

レベル : 警告

メッセージ :
お知らせのクリアに失敗しました。

説明 :
お知らせのクリアに失敗した。

通知 : なし

▼カテゴリー:プロキシ

4000-0000

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
プロキシの設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

4003-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

4004-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
プロキシの設定変更に失敗した。

通知 : なし

▼カテゴリー:システム

4100-0000

レベル : 情報

メッセージ :
システムを起動しました。

説明 :
システムの起動が正常に完了した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

4100-0001

レベル : 情報

メッセージ :
システムをシャットダウンします。

説明 :
システムのシャットダウンを実行。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

4100-0002

レベル : 情報

メッセージ :
システムを再起動します。

説明 :
システムの再起動を実行。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

4100-0010

レベル : 情報

メッセージ :
管理者ログインしました。 : %s

説明 :
Web管理へのログインが正常に完了した。

通知 : なし

4100-0011

レベル : 情報

メッセージ :
管理者ログアウトしました。 : %s

説明 :
Web管理からログアウトした。

通知 : なし

4103-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

4105-0000

レベル : 警告

メッセージ :
管理者ログインに失敗しました。 : %s

説明 :
管理者ログインに失敗した。

通知 : なし

4105-0001

レベル	：警告
メッセージ	： ログイン中に他のPCからログインが実行されました。： %s
説明	： 管理者がログイン中に他のPCからログインが実行された。
通知	：なし

4111-0000

レベル	：警告
メッセージ	： シャットダウンはキャンセルされました。
説明	： スケジュールシャットダウンが起動時間を過ぎたためキャンセルされた。
通知	：なし

▼カテゴリー:温度・FAN

4210-0000

レベル	：警告
メッセージ	： 装置温度が異常です。装置の設置環境を見直してください。システムを強制終了します。
説明	： 装置内温度が高温に達したため、シャットダウンを行った。
通知	：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

4210-0001

レベル	：警告
メッセージ	： FANが停止しました。FANの状態を確認してください。装置が高温となり障害の原因となりますので、システムを強制終了します。
説明	： FANが停止したため、シャットダウンを行った。
通知	：お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

▼カテゴリー:システム初期化

4300-0000

レベル	：情報
-----	-----

メッセージ：初期化を開始しました。

説明：システムの初期化を開始した。

通知：なし

4300-0001

レベル：情報

メッセージ：初期化を完了しました。

説明：システムの初期化が正常に完了した。

通知：なし

4303-0000

レベル：警告

メッセージ：システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明：他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知：なし

4304-0000

レベル：警告

メッセージ：初期化に失敗しました。

説明：システムの初期化に失敗した。

通知：なし

▼ カテゴリー: ツール

4400-0000

レベル：情報

メッセージ：設定取得を開始しました。

説明：LAN DISK Restoreで設定保存が開始された。

通知：なし

4400-0001

レベル : 情報

メッセージ :
設定取得を完了しました。

説明 :
LAN DISK Restoreで設定保存が正常に完了した。

通知 : なし

4400-0010

レベル : 情報

メッセージ :
設定を開始しました。

説明 :
LAN DISK Restoreで設定復元が開始された。

通知 : なし

4400-0011

レベル : 情報

メッセージ :
設定を完了しました。

説明 :
LAN DISK Restoreでの設定復元が正常に完了した。

通知 : なし

4400-0020

レベル : 情報

メッセージ :
ネットワークシャットダウン要求を受信したため、シャットダウンを開始します。

説明 :
外部からのネットワークシャットダウン要求を受信したため、シャットダウンを開始した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

4403-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

4404-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定取得中にエラーが発生しました。

説明 :
LAN DISK Restoreの設定保存に失敗した。

通知 : なし

4404-0001

レベル : 警告

メッセージ :
設定中にエラーが発生しました。

説明 :
LAN DISK Restoreの設定復元に失敗した。

通知 : なし

4404-0002

レベル : 警告

メッセージ :
%s-設定中にエラーが発生しました。

説明 :
LAN DISK Restoreの設定復元で特定のカテゴリの復元に失敗した。

通知 : なし

▼ カテゴリー : Dropbox

6004-0000

レベル : 警告

メッセージ :
<共有フォルダー名>の同期に失敗しました。

説明 :
共有フォルダーのDropbox同期に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

6004-0001

レベル : 警告

メッセージ :
<ファイル名>を同期できません。スキップします。

説明 :
Dropbox同期時に同期できないファイルをスキップした。

通知 : お知らせ、SNMP

6004-0002

レベル : 警告

メッセージ :

<ファイル名>はアップロードできるサイズを超えています。スキップします。

説明 :

Dropbox同期時にアップロードできるサイズを超えるファイルをスキップした。

通知 : お知らせ、SNMP

6004-0003

レベル : 警告

メッセージ :

対象フォーマットではありません。(<共有フォルダー名>)

説明 :

ボリュームが対象のフォーマットでない。

通知 : お知らせ、SNMP

6009-0000

レベル : 警告

メッセージ :

接続がタイムアウトしました。(<共有フォルダー名>)

説明 :

Dropbox同期時に接続がタイムアウトした。

通知 : お知らせ、SNMP

6010-0000

レベル : 警告

メッセージ :

サーバーに空きがありません。

説明 :

Dropbox同期時にDropboxサーバーに空きがなかった。

通知 : お知らせ、SNMP

6010-0001

レベル : 警告

メッセージ :

共有フォルダーに空きがありません。(<共有フォルダー名>)

説明 :

Dropbox同期時に共有フォルダーに空きがなかった。

通知 : お知らせ、SNMP

▼ カテゴリー : AmazonS3

6104-0000

レベル : 警告

メッセージ :
<共有フォルダー名>の同期に失敗しました。

説明 :
共有フォルダーのAmazonS3同期に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

6104-0001

レベル : 警告

メッセージ :
<ファイル名>を同期できません。スキップします。

説明 :
AmazonS3同期時に同期できないファイルをスキップした。

通知 : お知らせ、SNMP

6104-0002

レベル : 警告

メッセージ :
<ファイル名>はアップロードできるサイズを超えています。スキップします。

説明 :
AmazonS3同期時にアップロードできるサイズを超えるファイルをスキップした。

通知 : お知らせ、SNMP

6104-0003

レベル : 警告

メッセージ :
対象フォーマットではありません。(<共有フォルダー名>)

説明 :
ボリュームが対象のフォーマットでない。

通知 : お知らせ、SNMP

6106-0000

レベル : 警告

メッセージ :
アクセスキーが不正です。(<共有フォルダー名>)

説明 :
AmazonS3同期時にアクセスキーが不正だった。

通知 : お知らせ、SNMP

6106-0001

レベル : 警告

メッセージ :
シークレットキーが不正です。(<共有フォルダー名>)

説明：

AmazonS3同期時にシークレットキーが不正だった。

通知：お知らせ、SNMP

6109-0000

レベル：警告

メッセージ：

接続がタイムアウトしました。(<共有フォルダー名>)

説明：

AmazonS3同期時に接続がタイムアウトした。

通知：お知らせ、SNMP

6110-0000

レベル：警告

メッセージ：

共有フォルダに空きがありません。(<共有フォルダー名>)

説明：

AmazonS3同期時に共有フォルダに空きがなかった。

通知：お知らせ、SNMP

6110-0001

レベル：警告

メッセージ：

バケットが存在しません。(<共有フォルダー名>)

説明：

AmazonS3同期時にバケットが存在しなかった。

通知：お知らせ、SNMP

▼ カテゴリー: AppleShare ネットワーク

6200-0000

レベル：情報

メッセージ：

設定を変更しました。

説明：

AppleShare ネットワークの設定変更が正常に完了した。

通知：なし

6203-0000

レベル：警告

メッセージ :

システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :

他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

6204-0000

レベル : 警告

メッセージ :

設定変更に失敗しました。

説明 :

AppleShareネットワークの設定変更に失敗した。

通知 : なし

▼ カテゴリー:FTP

6300-0000

レベル : 情報

メッセージ :

設定を変更しました。

説明 :

FTPの設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

6303-0000

レベル : 警告

メッセージ :

システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :

他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

6304-0000

レベル : 警告

メッセージ :

設定変更に失敗しました。

説明 :

FTPの設定変更に失敗した。

通知 : なし

▼ カテゴリー: レプリケーション

6400-0000

レベル : 情報

メッセージ :
レプリケーションを開始しました。

説明 :
レプリケーションを開始した。

通知 : なし

6400-0001

レベル : 情報

メッセージ :
レプリケーションを停止しました。

説明 :
レプリケーションを停止した。

通知 : なし

6400-0002

レベル : 情報

メッセージ :
<共有名> のレプリケーションを再開しました。

説明 :
%s のレプリケーションを再開した。

通知 : なし

6404-0000

レベル : 警告

メッセージ :
<共有名>のレプリケーション先に接続できませんでした。[エラーコード:<rsyncエラーコード>]

説明 :
レプリケーション先に接続できなかった。

通知 : お知らせ、SNMP

6405-0000

レベル : 警告

メッセージ :
<共有名>のレプリケーション先を認証できませんでした。[エラーコード:<rsyncエラーコード>]

説明 :
レプリケーション先を認証できなかった。

通知 : お知らせ、SNMP

6409-0000

レベル : 警告

メッセージ :
<共有名>の接続がタイムアウトしました。[エラーコード:<rsyncエラーコード>]

説明 :
レプリケーション先への接続がタイムアウトした。

通知 : お知らせ、SNMP

6409-0001

レベル : 警告

メッセージ :
<共有名>の接続が中断されました。[エラーコード:<rsyncエラーコード>]

説明 :
レプリケーション先への接続が中断された。

通知 : お知らせ、SNMP

▼カテゴリー: Azure

6504-0000

レベル : 警告

メッセージ :
<共有フォルダー名>の同期に失敗しました。

説明 :
共有フォルダーのAzure同期に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

6504-0001

レベル : 警告

メッセージ :
<ファイル名>を同期できません。スキップします。

説明 :
Azure同期時に同期できないファイルをスキップした。

通知 : お知らせ、SNMP

6504-0002

レベル : 警告

メッセージ :
<ファイル名>はアップロードできるサイズを超えています。スキップします。

説明 :
Azure同期時にアップロードできるサイズを超えるファイルをスキップした。

通知 : お知らせ、SNMP

6504-0003

レベル	：警告
メッセージ	： 対象フォーマットではありません。(＜共有フォルダー名＞)
説明	： ボリュームが対象のフォーマットでない。
通知	：お知らせ、SNMP

6506-0000

レベル	：警告
メッセージ	： アクセスキーが不正です。(＜共有フォルダー名＞)
説明	： Azure同期時にアクセスキーが不正だった。
通知	：お知らせ、SNMP

6509-0000

レベル	：警告
メッセージ	： 接続がタイムアウトしました。(＜共有フォルダー名＞)
説明	： Azure同期時に接続がタイムアウトした。
通知	：お知らせ、SNMP

6510-0000

レベル	：警告
メッセージ	： 共有フォルダに空きがありません。(＜共有フォルダー名＞)
説明	： Azure同期時に共有フォルダに空きがなかった。
通知	：お知らせ、SNMP

6510-0001

レベル	：警告
メッセージ	： コンテナが存在しません。(＜コンテナ名＞)
説明	： Azure同期時にコンテナが存在しなかった。
通知	：お知らせ、SNMP

6610-0000

レベル : 警告

メッセージ :
ウイルスが削除されました。共有:<共有フォルダー名>上のファイル:<ファイル名>

説明 :
ウイルスが発見され削除された。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

6610-0001

レベル : 警告

メッセージ :
ウイルスが隔離されました。共有:<共有フォルダー名>上のファイル:<ファイル名>

説明 :
ウイルスが発見され隔離された。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

6610-0002

レベル : 警告

メッセージ :
ウイルスが駆除されました。共有:<共有フォルダー名>上のファイル:<ファイル名>

説明 :
ウイルスが発見され駆除された。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

6610-0003

レベル : 警告

メッセージ :
ウイルスファイルの拡張子に変更されました。共有:<共有フォルダー名>上のファイル:<ファイル名>

説明 :
ウイルスが発見され拡張子に変更された。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

6610-0004

レベル : 警告

メッセージ :
ウイルスが放置されました。共有:<共有フォルダー名>上のファイル:<ファイル名>

説明 :
ウイルスが発見され放置された。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

6610-0005

レベル : 警告

メッセージ :

ウイルスファイルを適切に処理できませんでした。共有:<共有フォルダー名>上のファイル:<ファイル名>

説明 :

ウイルスが発見されたが適切な処理ができなかった。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

▼カテゴリー: クローン

6700-0000

レベル : 情報

メッセージ :

設定を変更しました。

説明 :

クローン機能の設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

6700-0010

レベル : 情報

メッセージ :

スレーブに設定を保存しました。

説明 :

マスターの設定変更に対するスレーブへの設定保存が正常に完了した。

通知 : なし

6700-0020

レベル : 情報

メッセージ :

切り替えを完了しました。

説明 :

切り替えを完了した。

通知 : なし

6700-0021

レベル : 情報

メッセージ :

自動切り替えを完了しました。

説明 :

自動切り替えを完了した。

通知 : メール、NarSuS、SNMP

6700-0030

レベル : 情報

メッセージ :
システム保存を開始しました。

説明 :
システム保存を開始した。

通知 : なし

6700-0031

レベル : 情報

メッセージ :
システム保存を停止しました。

説明 :
システム保存を停止した。

通知 : なし

6700-0032

レベル : 情報

メッセージ :
設定を保存しました。

説明 :
USBハードディスクへの設定保存が正常に完了した。

通知 : なし

6700-0040

レベル : 情報

メッセージ :
システム復元を開始しました。

説明 :
システム復元を開始した。

通知 : なし

6703-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

6704-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
クローン機能の設定変更に失敗した。

通知 : なし

6704-0001

レベル : 警告

メッセージ :
USBボリュームが接続されていないため、設定変更に失敗しました。

説明 :
USBが接続されていないため、設定変更に失敗した。

通知 : なし

6704-0002

レベル : 警告

メッセージ :
USBが共有モードでないため、設定変更に失敗しました。

説明 :
USBが共有モードでないため、設定変更に失敗した。

通知 : なし

6704-0003

レベル : 警告

メッセージ :
USBボリュームが専用フォーマットでないため、設定変更に失敗しました。

説明 :
USBが専用フォーマットでないため、設定変更に失敗した。

通知 : なし

6704-0010

レベル : 情報

メッセージ :
スレーブへ設定を保存できませんでした。

説明 :
マスターの設定変更に対するスレーブへの設定保存に失敗した。

通知 : なし

6704-0020

レベル : 警告

メッセージ :
切り替えに失敗しました。

説明 :
切り替えに失敗した。

通知 : なし

6704-0021

レベル : 警告

メッセージ :
自動切り替えに失敗しました。

説明 :
自動切り替えに失敗した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

6704-0022

レベル : 警告

メッセージ :
マスターからの応答がありませんでした。

説明 :
監視対象となるマスターからの応答がなかった。

通知 : なし

6704-0030

レベル : 警告

メッセージ :
システム保存に失敗しました。

説明 :
システム保存に失敗した。

通知 : なし

6704-0031

レベル : 警告

メッセージ :
USBボリュームが接続されていないため、システム保存に失敗しました。

説明 :
USBが接続されていないため、システム保存に失敗した。

通知 : なし

6704-0032

レベル : 警告

メッセージ :
USBが共有モードでないため、システム保存に失敗しました。

説明 :
USBが共有モードでないため、システム保存に失敗した。

通知 : なし

6704-0033

レベル : 警告

メッセージ :

USBボリュームが専用フォーマットでないため、システム保存に失敗しました。

説明 :

USBが専用フォーマットでないため、システム保存に失敗した。

通知 : なし

6704-0034

レベル : 警告

メッセージ :

システム保存の停止に失敗しました。

説明 :

システム保存の停止に失敗した。

通知 : なし

6704-0035

レベル : 警告

メッセージ :

設定保存に失敗しました。

説明 :

USBハードディスクへの設定保存に失敗した。

通知 : なし

6704-0040

レベル : 警告

メッセージ :

システム復元に失敗しました。

説明 :

システム復元に失敗した。

通知 : なし

6704-0041

レベル : 警告

メッセージ :

USBボリュームが接続されていないため、システム復元に失敗しました。

説明 :

USBが接続されていないため、システム復元に失敗した。

通知 : なし

▼ カテゴリー: HOME-BOX

6800-0001

レベル：情報

メッセージ：
設定を追加しました。

説明：
設定追加が正常に完了した。

通知：なし

6800-0002

レベル：情報

メッセージ：
設定を変更しました。

説明：
設定変更が正常に完了した。

通知：なし

6800-0003

レベル：情報

メッセージ：
設定を削除しました。

説明：
設定削除が正常に完了した。

通知：なし

6803-0000

レベル：警告

メッセージ：
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明：
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知：なし

6804-0001

レベル：警告

メッセージ：
設定追加に失敗しました。

説明：
設定追加に失敗した。

通知：なし

6804-0002

レベル：警告

メッセージ：
設定変更に失敗しました。

説明 :
設定変更に失敗した。

通知 : なし

6804-0003

レベル : 警告

メッセージ :
設定削除に失敗しました。

説明 :
設定削除に失敗した。

通知 : なし

6804-0010

レベル : 警告

メッセージ :
<共有フォルダー名>の同期に失敗しました。

説明 :
共有フォルダーのHOME-BOX同期に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

6805-0000

レベル : 警告

メッセージ :
サーバーへの接続がエラーになりました。(<共有フォルダー名>)

説明 :
サーバーへの同時接続数が多すぎるか、BOX IDもしくはパスワードが間違っていて設定されている。

通知 : お知らせ、SNMP

6809-0000

レベル : 警告

メッセージ :
サーバーと通信できません。(<共有フォルダー名>)

説明 :
サーバーとの通信でエラーが発生した。

通知 : お知らせ、SNMP

6809-0002

レベル : 警告

メッセージ :
接続がタイムアウトしました。(<共有フォルダー名>)

説明 :
サーバーとの接続がタイムアウトした。

通知 : お知らせ、SNMP

6810-0000

レベル：警告

メッセージ：
フォルダーがクラウドサーバーに存在しません。(＜クラウドサーバーのフォルダー名＞)

説明：
同期対象のフォルダーが存在しない。

通知：お知らせ、SNMP

6810-0001

レベル：警告

メッセージ：
共有フォルダーに空きがありません。(＜共有フォルダー名＞)

説明：
同期時に共有フォルダーに空きがない。

通知：お知らせ、SNMP

6810-0002

レベル：警告

メッセージ：
サーバーに空きがありません。(＜クラウドサーバーのフォルダー名＞)

説明：
同期時にサーバーに空きがない。

通知：お知らせ、SNMP

6810-0003

レベル：警告

メッセージ：
＜ファイルパス＞はアップロードできるサイズを超えています。スキップします。

説明：
ファイルのアップロードできるサイズを超えているためスキップされた。

通知：お知らせ、SNMP

6810-0004

レベル：警告

メッセージ：
＜ファイルパス＞は許可されていない名前です。スキップします。

説明：
ファイル名が許可されていない名前か長すぎるためスキップされた。

通知：お知らせ、SNMP

6810-0005

レベル：警告

メッセージ :

サーバー側のアクセス権限がありません。 スキップします。(<ファイルパス>)

説明 :

サーバー側でファイルへのアクセス権限がないためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

6810-0006

レベル : 警告

メッセージ :

サーバー側でロックされています。 スキップします。(<ファイルパス>)

説明 :

ファイルがサーバー側でロックされているためスキップされた。 スキップします。

通知 : お知らせ、SNMP

6810-0007

レベル : 警告

メッセージ :

<ファイルパス>を同期できません。 スキップします。

説明 :

ファイルが同期できなかったためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

6810-0008

レベル : 警告

メッセージ :

<ファイルパス>のパスが長すぎます。 スキップします。

説明 :

ファイルパスが長すぎるためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

6810-0009

レベル : 警告

メッセージ :

サーバー上で同名となるフォルダ・ファイルが存在します。 スキップします。(<ファイルパス>)

説明 :

サーバー上の変換により同名となるフォルダ・ファイルが存在するためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

6810-0010

レベル : 警告

メッセージ :

対象フォーマットではありません。(<共有フォルダー名>)

説明 :
ボリュームが対象のフォーマットでない。

通知 : お知らせ、SNMP

▼ カテゴリー: Working Folder

6900-0001

レベル : 情報

メッセージ :
設定を追加しました。

説明 :
設定追加が正常に完了した。

通知 : なし

6900-0002

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

6900-0003

レベル : 情報

メッセージ :
設定を削除しました。

説明 :
設定削除が正常に完了した。

通知 : なし

6900-0004

レベル : 情報

メッセージ :
同期方向の設定変更を有効にしました。

説明 :
隠しページから同期方向の設定変更を有効にする変更が正常に完了した。

通知 : なし

6900-0005

レベル : 情報

メッセージ :

同期方向の設定変更を無効にしました。

説明 :

隠しページから同期方向の設定変更を無効にする変更が正常に完了した。

通知 : なし

6903-0000

レベル : 警告

メッセージ :

システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :

他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

6904-0001

レベル : 警告

メッセージ :

設定追加に失敗しました。

説明 :

設定追加に失敗した。

通知 : なし

6904-0002

レベル : 警告

メッセージ :

設定変更に失敗しました。

説明 :

設定変更に失敗した。

通知 : なし

6904-0003

レベル : 警告

メッセージ :

設定削除に失敗しました。

説明 :

設定削除に失敗した。

通知 : なし

6904-0004

レベル : 警告

メッセージ :

同期方向の設定変更に失敗しました。

説明 :
隠しページから同期方向の設定変更の有効・無効の変更に失敗した。

通知 : なし

6904-0010

レベル : 警告

メッセージ :
<共有フォルダー名>の同期に失敗しました。

説明 :
共有フォルダーの同期に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

6905-0000

レベル : 警告

メッセージ :
サーバーへのログインに失敗しました。(<共有フォルダー名>)

説明 :
サーバーへのログインに失敗した。ユーザーIDかパスワードが間違っている可能性がある。

通知 : お知らせ、SNMP

6905-0001

レベル : 警告

メッセージ :
サーバーへの同時ログイン数が多すぎます。(<共有フォルダー名>)

説明 :
サーバーへの同時ログイン数が多すぎる。

通知 : お知らせ、SNMP

6909-0000

レベル : 警告

メッセージ :
サーバーと通信できません。(<共有フォルダー名>)

説明 :
サーバーとの通信でエラーが発生した。

通知 : お知らせ、SNMP

6909-0001

レベル : 警告

メッセージ :
サーバーで一時的なエラーが発生しました。(<共有フォルダー名>)

説明 :
サーバーで一時的なエラーが発生した。

通知 : お知らせ、SNMP

6909-0002

レベル：警告

メッセージ：
接続がタイムアウトしました。(＜共有フォルダー名＞)

説明：
サーバーとの接続がタイムアウトした。

通知：お知らせ、SNMP

6910-0000

レベル：警告

メッセージ：
ドロワーが存在しません。(＜ドロワー名＞)

説明：
同期対象のドロワーが存在しない。

通知：お知らせ、SNMP

6910-0001

レベル：警告

メッセージ：
共有フォルダーに空きがありません。(＜共有フォルダー名＞)

説明：
同期時に共有フォルダーに空きがない。

通知：お知らせ、SNMP

6910-0002

レベル：警告

メッセージ：
サーバーに空きがありません。(＜ドロワー名＞)

説明：
同期時にサーバーに空きがない。

通知：お知らせ、SNMP

6910-0003

レベル：警告

メッセージ：
ファイルまたはフォルダーが多すぎます。(＜ドロワー名＞)

説明：
ファイルまたはフォルダー数がサーバーの制限を超えている。

通知：お知らせ、SNMP

6910-0004

レベル：警告

メッセージ :

%s内のファイルまたはフォルダーが多すぎます。スキップします。

説明 :

フォルダー内のファイルまたはフォルダーが多すぎるためスキップされた。(%s:フォルダー名)

通知 : お知らせ、SNMP

6910-0005

レベル : 警告

メッセージ :

<ファイルパス>はアップロードできるサイズを超えています。スキップします。

説明 :

ファイルのアップロードできるサイズを超えているためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

6910-0006

レベル : 警告

メッセージ :

<ファイルパス>は許可されていない名前です。スキップします。

説明 :

ファイル名が許可されていない名前か長すぎるためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

6910-0007

レベル : 警告

メッセージ :

サーバー側のアクセス権がありません。スキップします。(<ファイルパス>)

説明 :

サーバー側でファイルへのアクセス権がないためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

6910-0008

レベル : 警告

メッセージ :

サーバー側でロックされています。スキップします。(<ファイルパス>)

説明 :

ファイルがサーバー側でロックされているためスキップされた。スキップします。

通知 : お知らせ、SNMP

6910-0009

レベル : 警告

メッセージ :

<ファイルパス>を同期できません。スキップします。

説明 :
ファイルが同期できなかったためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

6910-0010

レベル : 警告

メッセージ :
<ファイルパス>のパスが長すぎます。スキップします。

説明 :
ファイルパスが長すぎるためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

6910-0011

レベル : 警告

メッセージ :
サーバー上で同名となるフォルダ・ファイルが存在します。スキップします。(<ファイルパス>)

説明 :
サーバー上の変換により同名となるフォルダ・ファイルが存在するためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

6910-0012

レベル : 警告

メッセージ :
対象フォーマットではありません。(<共有フォルダー名>)

説明 :
ボリュームが対象のフォーマットでない。

通知 : お知らせ、SNMP

▼ カテゴリー : H/XR/XV 移行

7000-0001

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

7000-0002

レベル : 情報

メッセージ：移行を開始しました。

説明：移行を開始した。

通知：なし

7000-0003

レベル：情報

メッセージ：ネットワークの設定反映を開始しました。

説明：ネットワークの設定反映を開始した。

通知：なし

7000-0010

レベル：情報

メッセージ：移行が完了しました。

説明：移行が完了した。

通知：なし

7000-0011

レベル：情報

メッセージ：ネットワークの設定反映が完了しました。

説明：ネットワークの設定反映が完了した。

通知：なし

7003-0000

レベル：警告

メッセージ：システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明：他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知：なし

7004-0001

レベル：警告

メッセージ：設定変更に失敗しました。

説明 :
設定変更に失敗した。

通知 : なし

7004-0002

レベル : 警告

メッセージ :
移行を開始できませんでした。

説明 :
移行の開始に失敗した。

通知 : なし

7004-0003

レベル : 警告

メッセージ :
ネットワークの設定反映を開始できませんでした。

説明 :
ネットワークの設定反映の開始に失敗した。

通知 : なし

7004-0010

レベル : 警告

メッセージ :
移行に失敗しました。

説明 :
移行に失敗した。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

7004-0011

レベル : 警告

メッセージ :
ネットワークの設定反映に失敗しました。

説明 :
ネットワークの設定反映に失敗した。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

7005-0000

レベル : 警告

メッセージ :
認証に失敗しました。入力した移行元と管理者パスワードが正しいか確認してください。

説明 :
移行元への認証に失敗した。

通知 : なし

7005-0001

レベル : 警告

メッセージ :
認証に失敗しました。移行元の管理者パスワードが変更されていないか確認してください。

説明 :
スケジュール実行で移行元への認証に失敗した。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

7009-0000

レベル : 警告

メッセージ :
移行元と通信できません。(<移行元>)

説明 :
移行元との通信でエラーが発生した。

通知 : お知らせ、メール、SNMP

▼ カテゴリー: ログ拡張

7100-0001

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

7100-0002

レベル : 情報

メッセージ :
制限キーを登録しました。

説明 :
制限キーの登録が正常に完了した。

通知 : なし

7100-0003

レベル : 情報

メッセージ :
制限キーの登録を解除しました。

説明 :
制限キーの登録解除が正常に完了した。

通知 : なし

7100-0010

レベル : 情報

メッセージ :
アラート条件 <アラート条件名>: アラートメールを送信しました。(<メールアドレス>)

説明 :
アラートメールの送信が正常に完了した。

通知 : なし

7103-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

7104-0001

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
設定変更に失敗した。

通知 : なし

7104-0002

レベル : 警告

メッセージ :
制限キーの登録に失敗しました。

説明 :
制限キーの登録に失敗した。

通知 : なし

7104-0003

レベル : 警告

メッセージ :
制限キーの登録解除に失敗しました。

説明 :
制限キーの登録解除に失敗した。

通知 : なし

7105-0001

レベル : 警告

メッセージ :

制限キーが接続されていないため設定を変更できません。

説明 :

制限キーが接続されていないため設定変更に失敗した。

通知 : なし

7105-0002

レベル : 警告

メッセージ :

制限キーが接続されていないため制限キーの登録ができません。

説明 :

登録済の制限キーが接続されていないため制限キーの登録に失敗した。

通知 : なし

7105-0003

レベル : 警告

メッセージ :

制限キーが接続されていないため制限キーの登録 を解除できません。

説明 :

登録済の制限キーが接続されていないため制限キーの登録解除に失敗した。

通知 : なし

7109-0010

レベル : 警告

メッセージ :

アラート条件 <アラート条件名>: アラートメールの送信に失敗しました。(<メールアドレス>)

説明 :

アラートメールの送信に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

7110-0000

レベル : 警告

メッセージ :

登録するUSBメモリーが接続されていません。

説明 :

登録するUSBメモリーが接続されていないため登録に失敗した。

通知 : なし

7110-0001

レベル : 警告

メッセージ :

接続されたUSBメモリーは制限キーとして既に登録されています。

説明 :
既に制限キーとして登録されているUSBメモリーが接続されている。

通知 : なし

7110-0002

レベル : 警告

メッセージ :
接続されたUSBメモリーは制限キーとして利用できません。

説明 :
制限キーとして利用できないUSBメモリーが接続されている。

通知 : なし

7110-0010

レベル : 警告

メッセージ :
アラート条件 <アラート条件名>: アクセスを<件数>件検出しました。

説明 :
アラート条件に該当するアクセスを検出した。

通知 : お知らせ、NarSuS、SNMP

▼カテゴリー:Box

7204-0000

レベル : 警告

メッセージ :
<共有フォルダー名>の同期に失敗しました。

説明 :
共有フォルダーのBOX同期に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

7205-0000

レベル : 警告

メッセージ :
サーバーへの接続が認証エラーになりました。(<共有フォルダー名>)

説明 :
メールアドレスもしくはパスワードが間違って設定されている。

通知 : お知らせ、SNMP

7209-0000

レベル : 警告

メッセージ :
サーバーと通信できません。(＜共有フォルダー名＞)

説明 :
サーバーとの通信でエラーが発生した。

通知 : お知らせ、SNMP

7209-0002

レベル : 警告

メッセージ :
接続がタイムアウトしました。(＜共有フォルダー名＞)

説明 :
サーバーとの接続がタイムアウトした。

通知 : お知らせ、SNMP

7210-0000

レベル : 警告

メッセージ :
フォルダーがクラウドサーバーに存在しません。(＜クラウドサーバーのフォルダー名＞)

説明 :
同期対象のフォルダーが存在しない。

通知 : お知らせ、SNMP

7210-0001

レベル : 警告

メッセージ :
共有フォルダーに空きがありません。(＜共有フォルダー名＞)

説明 :
同期時に共有フォルダーに空きがない。

通知 : お知らせ、SNMP

7210-0002

レベル : 警告

メッセージ :
サーバーに空きがありません。(＜クラウドサーバーのフォルダー名＞)

説明 :
同期時にサーバーに空きがない。

通知 : お知らせ、SNMP

7210-0003

レベル : 警告

メッセージ :
＜ファイルパス＞はアップロードできるサイズを超えています。スキップします。

説明 :
ファイルのアップロードできるサイズを超えているためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

7210-0004

レベル : 警告

メッセージ :
<ファイルパス>は許可されていない名前です。スキップします。

説明 :
ファイル名が許可されていない名前か長すぎるためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

7210-0005

レベル : 警告

メッセージ :
サーバー側のアクセス権がありません。スキップします。(<ファイルパス>)

説明 :
サーバー側でファイルへのアクセス権がないためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

7210-0006

レベル : 警告

メッセージ :
サーバー側でロックされています。スキップします。(<ファイルパス>)

説明 :
ファイルがサーバー側でロックされているためスキップされた。スキップします。

通知 : お知らせ、SNMP

7210-0007

レベル : 警告

メッセージ :
<ファイルパス>を同期できません。スキップします。

説明 :
ファイルが同期できなかったためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

7210-0008

レベル : 警告

メッセージ :
<ファイルパス>のパスが長すぎます。スキップします。

説明 :
ファイルパスが長すぎるためスキップされた。

通知 : お知らせ、SNMP

7210-0009

- レベル** : 警告
- メッセージ** :
サーバー上で同名となるフォルダ・ファイルが存在します。スキップします。(<ファイルパス>)
- 説明** :
サーバー上の変換により同名となるフォルダ・ファイルが存在するためスキップされた。
- 通知** : お知らせ、SNMP

7210-0010

- レベル** : 警告
- メッセージ** :
対象フォーマットではありません。(<共有フォルダー名>)
- 説明** :
ボリュームが対象のフォーマットでない。
- 通知** : お知らせ、SNMP

▼カテゴリー:ESET File Security

7300-0001

- レベル** : 情報
- メッセージ** :
ライセンスキーファイルをインポートしました。
- 説明** :
ライセンスキーファイルのインポートが正常に完了した。
- 通知** : なし

7300-0002

- レベル** : 情報
- メッセージ** :
設定を変更しました。
- 説明** :
設定変更が正常に完了した。
- 通知** : なし

7300-0003

- レベル** : 情報
- メッセージ** :
ウイルス定義データベースの更新を開始しました。
- 説明** :
ウイルス定義データベースの更新を開始しました。
- 通知** : なし

7300-0004

レベル : 情報

メッセージ :
ウイルススキャンを開始しました。

説明 :
ウイルススキャンを開始しました。

通知 : なし

7300-0005

レベル : 情報

メッセージ :
ウイルス定義データベースの更新を完了しました。

説明 :
ウイルス定義データベースの更新を完了した。

通知 : なし

7300-0006

レベル : 情報

メッセージ :
ウイルススキャンを完了しました。(ウイルスなし)

説明 :
ウイルススキャンを完了し、ウイルスは発見されなかった。

通知 : メール

7300-0007

レベル : 情報

メッセージ :
ウイルススキャンが完了しました。(一部未検査)

説明 :
ウイルススキャンが完了したが、検査を行えないファイルが存在した。

通知 : メール

7300-0010

レベル : 情報

メッセージ :
ウイルスの検査ができませんでした。共有:<共有フォルダー名>上のファイル:<ファイル名>

説明 :
ウイルスの検査ができなかった。

通知 : なし

7303-0000

レベル : 警告

メッセージ :

システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :

他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

7304-0001

レベル : 警告

メッセージ :

ライセンスキーファイルのインポートに失敗しました。

説明 :

ライセンスキーファイルのインポートに失敗した。

通知 : なし

7304-0002

レベル : 警告

メッセージ :

設定変更に失敗しました。

説明 :

設定変更に失敗した。

通知 : なし

7304-0003

レベル : 警告

メッセージ :

ウイルス定義データベースの更新の開始に失敗しました。

説明 :

ウイルス定義データベースの更新の開始に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

7304-0004

レベル : 警告

メッセージ :

ウイルススキャンの開始に失敗しました。

説明 :

ウイルススキャンの開始に失敗した。

通知 : お知らせ、SNMP

7304-0010

レベル : 警告

メッセージ :

ウイルス定義データベースの更新に失敗しました。

説明 :
ウイルス定義データベースの更新に失敗した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

7304-0011

レベル : 警告

メッセージ :
ウイルススキャンに失敗しました。

説明 :
ウイルススキャンに失敗した。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

7304-0012

レベル : 警告

メッセージ :
ウイルススキャンを完了しました。(ウイルス削除)

説明 :
ウイルススキャンを完了し、ウイルスが発見されたが削除された。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

7304-0013

レベル : 警告

メッセージ :
ライセンスが無効なためウイルス定義データベースの更新ができませんでした。

説明 :
アクティベーションされていないかライセンスの有効期限が切れたため、ウイルス定義データベースの更新ができなかった。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

7304-0014

レベル : 警告

メッセージ :
ライセンスが無効なためウイルススキャンできませんでした。

説明 :
アクティベーションされていないかライセンスの有効期限が切れたため、ウイルススキャンができなかった。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

7305-0000

レベル : 警告

メッセージ :
サーバーへの接続が認証エラーになりました。

説明 :
ユーザー名もしくはパスワードが間違っていて設定されている。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

7310-0000

レベル : 警告

メッセージ :
ウイルスが削除されました。共有:<共有フォルダー名>上のファイル:<ファイル名>

説明 :
ウイルスが発見され削除された。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

7310-0001

レベル : 警告

メッセージ :
ウイルスが発見されましたが削除できませんでした。共有:<共有フォルダー名>上のファイル:<ファイル名>

説明 :
ウイルスが発見されたが削除できなかった。

通知 : お知らせ、メール、NarSuS、SNMP

▼カテゴリー:メディアサーバー

7400-0001

レベル : 情報

メッセージ :
設定を変更しました。

説明 :
設定変更が正常に完了した。

通知 : なし

7400-0002

レベル : 情報

メッセージ :
コンテンツ情報の初期化を開始しました。

説明 :
コンテンツ情報の初期化が開始された。

通知 : なし

7400-0003

レベル : 情報

メッセージ :
コンテンツ情報の初期化を完了しました。

説明 :
コンテンツ情報の初期化が完了した。

通知 : SNMP

7403-0000

レベル：警告

メッセージ：システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明：他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知：なし

7404-0001

レベル：警告

メッセージ：設定変更に失敗しました。

説明：設定変更に失敗した。

通知：なし

7404-0002

レベル：警告

メッセージ：コンテンツ情報の初期化の開始に失敗しました。

説明：コンテンツ情報の初期化の開始に失敗した。

通知：なし

7404-0003

レベル：警告

メッセージ：コンテンツ情報の初期化に失敗しました。

説明：コンテンツ情報の初期化に失敗した。

通知：お知らせ、SNMP

▼ カテゴリー: Remote Link 3

7500-0000

レベル：情報

メッセージ：設定を変更しました。

説明：Remote Link 3機能の設定変更が正常に完了した。

通知：なし

7500-0001

レベル : 情報

メッセージ :
利用規約に同意されました。

説明 :
Remote Link 3機能の利用規約に同意された。

通知 : なし

7500-0002

レベル : 情報

メッセージ :
IOPortalに登録されました。

説明 :
Remote Link 3利用情報がIOPortalに登録された。

通知 : なし

7500-0003

レベル : 情報

メッセージ :
PINコードを変更しました。

説明 :
PINコードを変更が正常に完了した。

通知 : なし

7500-0004

レベル : 情報

メッセージ :
一時公開用PINコードを生成しました。

説明 :
一時公開用PINコードの生成が正常に完了した。

通知 : なし

7500-0005

レベル : 情報

メッセージ :
端末認証用PINコードを生成しました。

説明 :
端末認証用PINコードの生成が正常に完了した。

通知 : なし

7500-0006

レベル : 情報

メッセージ :

一時公開登録を削除しました。

説明 :

一時公開登録の削除が正常に完了した。

通知 : なし

7500-0007

レベル : 情報

メッセージ :

端末登録を変更しました。

説明 :

端末登録の変更が正常に完了した。

通知 : なし

7500-0008

レベル : 情報

メッセージ :

端末登録を削除しました。

説明 :

端末登録の削除が正常に完了した。

通知 : なし

7500-0009

レベル : 情報

メッセージ :

接続用PINコードをメールで送信しました。(<メールアドレス>)

説明 :

接続用PINコードのメール送信が正常に完了した。

通知 : なし

7500-0010

レベル : 情報

メッセージ :

端末認証用PINコードをメールで送信しました。(<メールアドレス>)

説明 :

端末認証用PINコードのメール送信が正常に完了した。

通知 : なし

7500-0011

レベル : 情報

メッセージ :

UPnPによるポート開放に成功しました。

説明 :
UPnPによるポートの開放に成功した。

通知 : なし

7500-0012

レベル : 情報

メッセージ :
UPnPによるポート開放に失敗しました。

説明 :
UPnPによるポートの開放に失敗しました。

通知 : なし

7503-0000

レベル : 警告

メッセージ :
システムが処理中です。しばらく待ってからもう一度操作をやり直してください。

説明 :
他の処理中のため、指定された処理を行えなかった。

通知 : なし

7504-0000

レベル : 警告

メッセージ :
設定変更に失敗しました。

説明 :
Remote Link 3機能の設定変更に失敗した。

通知 : なし

7504-0001

レベル : 警告

メッセージ :
利用規約の状態保存に失敗しました。

説明 :
Remote Link 3機能の利用規約の状態保存に失敗した。

通知 : なし

7504-0002

レベル : 警告

メッセージ :
IOPortalの登録に失敗しました。

説明 :
Remote Link 3利用情報のIOPortalへの登録に失敗した。

通知 : なし

7504-0003

レベル : 警告

メッセージ :
PINコードの変更に失敗しました。

説明 :
PINコードを変更に失敗した。

通知 : なし

7504-0004

レベル : 警告

メッセージ :
一時公開用PINコードの生成に失敗しました。

説明 :
一時公開用PINコードの生成に失敗した。

通知 : なし

7504-0005

レベル : 警告

メッセージ :
端末認証用PINコードの生成に失敗しました。

説明 :
端末認証用PINコードの生成に失敗した。

通知 : なし

7504-0006

レベル : 警告

メッセージ :
一時公開登録の削除に失敗しました。

説明 :
一時公開登録の削除に失敗した。

通知 : なし

7504-0007

レベル : 警告

メッセージ :
端末登録の変更に失敗しました。

説明 :
端末登録の変更に失敗した。

通知 : なし

7504-0008

レベル : 警告

メッセージ：
端末登録の削除に失敗しました。

説明：
端末登録の削除に失敗した。

通知：なし

7505-0000

レベル：警告

メッセージ：
ユーザー名またはパスワードが違います。

説明：
サーバーへの接続が認証エラーとなった。

通知：なし

7505-0001

レベル：警告

メッセージ：
シリアルナンバーが正しくありません。

説明：
入力されたシリアルナンバーが製品のシリアルナンバーではない。

通知：なし

7509-0000

レベル：警告

メッセージ：
接続用PINコードのメール送信に失敗しました。(<メールアドレス>)

説明：
接続用PINコードのメール送信に失敗した。

通知：なし

7509-0001

レベル：警告

メッセージ：
端末認証用PINコードのメール送信に失敗しました。(<メールアドレス>)

説明：
端末認証用PINコードのメール送信に失敗した。

通知：なし

7509-0002

レベル：警告

メッセージ：
サーバーと通信できません。

説明 :
サーバーとの通信でエラーが発生した。

通知 : なし

一覧

設定画面を一覧で表示します。
説明を見たい画面をクリックしてください。

ログイン画面



ログイン画面



ユーザーパスワード設定

メイン画面



メイン画面

ホーム



情報・ログ表示



ネットワーク



共有



ユーザー&グループ



ボリューム



データバックアップ



一括登録



システム



かんたん設定



ウイルス対策

情報・ログ表示



お知らせ



システム情報



ネットワーク情報



ボリューム情報



システムログ



アクセスログ



レプリケーション動作
状況
([パッケージ](#))

ネットワーク



LANx



プロキシ設定

ネットワーク> LANx



IPv4



IPv6

共有



フォルダー



方式



メディアサーバー設定
([パッケージ](#))



Remote Link 3
([パッケージ](#))

共有> フォルダー



一覧



追加



変更



削除



使用量制限

共有＞方式



AppleShareネットワーク共有設定
([パッケージ](#))



FTP共有設定
([パッケージ](#))



Microsoftネットワーク共有設定

ユーザー & グループ



ユーザー



グループ



Microsoftネットワーク設定

ユーザー & グループ＞ユーザー



一覧



追加



変更



削除



使用量制限

ユーザー & グループ＞グループ



一覧



追加



変更



削除



使用量制限

ボリューム



内蔵



USBx



ロックキー

ボリューム> 内蔵



フォーマット



チェックディスク



アクティブリペア

ボリューム> USBx



フォーマット



チェックディスク



モード設定



取り外し

ボリューム> ロックキー



キーサーバー



ロックキー複製



ロックキー削除



対象変更

データバックアップ



バックアップ



データコピー



クローン機能
([パッケージ](#))



H/XR/XV移行
([パッケージ](#))

データバックアップ> バックアップ



一覧



追加

データバックアップ>データコピー



一覧



追加

一括登録



CSV一括登録

システム



名前設定



時刻設定



管理者設定



電源



ボタン



ランプ設定



通知



自己診断



パッケージ管理



ファームウェア



初期化



サービス設定



プリンターバッファークリア

システム＞電源



シャットダウン



スケジュール設定



AC電源連動設定



UPS設定



省電力設定

システム＞ボタン



リセットボタン設定

システム＞通知



定期通知



定期レポート



メール



SNMP

システム＞通知＞メール



基本設定



通知設定

システム＞パッケージ管理



一覧



追加



自動更新設定



更新通知設定

システム＞ファームウェア



更新



自動更新設定



更新通知設定

ログイン画面

● マニュアル

LAN DISK

管理者パスワード

ログイン

ユーザーパスワード設定

© I-O DATA DEVICE, INC.

▼上部アイコン

マニュアル	【画面で見るマニュアル】を開きます。
-------	--------------------

管理者パスワード	初期設定で設定した管理者パスワードを入力します。
ログイン	管理者パスワードを入力後にクリックすると、設定画面にログインできます。
ユーザーパスワード設定	本製品に登録したユーザーのパスワードを変更します。 ※管理者パスワードは変更できません。

ユーザーパスワード設定

● マニュアル

LAN DISK

ユーザーパスワード設定

ユーザー名

現在のパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード(確認用)

戻る

適用

© I-O DATA DEVICE, INC.

ユーザー名	パスワードを変更するユーザー名を入力します。
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード 新しいパスワード（確認用）	新しいパスワードを入力します。
戻る	適用せずに戻ります。
適用	入力した新しいパスワードを適用します。

メイン画面



▼上部アイコン

マニュアル	【画面で見るマニュアル】を開きます。
メロディ(開始)	本製品のメロディを鳴らします。メロディが鳴っている間はメロディ(停止) ボタンとなります。
ログアウト	設定画面からログアウトし、トップページに戻ります。

▼通知エリア（左）

通知	警告などを表示します。
----	-------------

▼通知エリア（右）

LAN DISKの名前	LAN DISKの名前を表示します。
バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
IPアドレス	本製品のLANのIPv4アドレスを表示します。
MACアドレス	本製品のLANのMACアドレスを表示します。
RAIDの状態	本製品の状態を表示します。
使用容量/全容量	現在の内蔵ディスクの使用容量と全容量を表示します。 ※本製品のシステム用に、約6GB使われています。ご了承ください。

▼下部アイコン

ホーム	クリックすると、メイン画面に戻ります。 表示されているアイコンをクリックすると、そのページにジャンプします。
戻る	クリックすると、上位メニューに戻ります。
全ヘルプ	すべてのヘルプを表示させます。
ヘルプ無し	マウスオーバーでのヘルプを表示させません。

情報・ログ表示

お知らせ

システム情報

ネットワーク情報

ボリューム情報

システムログ

アクセスログ

お知らせ

お知らせ

レベル

警告

警告

メッセージ

・バックアップ公開サーバーへの接続に失敗しました。(3609-0000)

・ファームウェア公開サーバーへの接続に失敗しました。(3709-0000)

クリア

レベル	お知らせのレベルを表示します。
メッセージ	お知らせの内容です。
クリア	レベルが「エラー」のお知らせを消去します。

システム情報

システム情報

製品	HDL
システムのバージョン	1.00(2016/04/19 20:29)
時刻	2016/4/28 08:32:44
時刻の同期	有効 時刻サーバー:ntp.nict.jp
有効なサービス	・ファームウェア自動更新 ・ファームウェア更新通知 ・バックアップ自動更新 ・バックアップ更新通知 ・Microsoftネットワーク
RAIDモード	拡張ボリューム
クイックボーン	有効
バックアップスケジュール	無効
データベーススケジュール	無効
省電力モード	30分
ランプの明るさ	明
起動スケジュール	無効
温度	43℃
FANの回転数	3000rpm
プリンター	未接続
UPS警告	無効
UPS接続状態	未接続
UPSバッテリー残量	-

製品	本製品の型番です。
システムのバージョン	本製品のファームウェアバージョンです。
時刻	現在の時刻です。
時刻の同期	本製品の時刻をタイムサーバーから取得するかどうかについて表示します。
有効なサービス	本製品が提供しているサービスを表示します。

サブネットマスク/プレフィックス長	本製品に設定しているサブネットマスクです。IPアドレスとの組み合わせにより、通信できるネットワークが決まります。DHCP機能を有効にしている場合は、DHCPサーバーから取得したサブネットマスク値が表示されます。(DHCP 取得失敗時：255.255.255.0)
Wake On LAN	Wake On LANの有効/ 無効を表示します。
フレームサイズ	本製品が通信する際に送り出す 1 回分のデータの最大値を指定します。 ※ネットワーク上すべての製品が1000BASE-T でジャンボフレームに対応している場合のみご利用いただけます。 ※ネットワーク上のすべての機器が同一の値でないと通信できません。設定をご確認ください。
MACアドレス	本製品のMAC アドレスです。出荷時点で本製品に書き込まれており、変更はできません。
リンク状態	現在のリンクスピードを表示しています。

▼共通

設定方法	デフォルトゲートウェイとDNSサーバーアドレスの情報取得方法を表示します。
デフォルトゲートウェイ	本製品に設定しているデフォルトゲートウェイです。
DNSサーバーアドレス	本製品に設定しているDNS サーバーアドレスです。

▼プロキシ

プロキシ	プロキシ設定の有効/ 無効を表示します。
------	----------------------

▼ Microsoftネットワーク

(ワークグループ設定時) ワークグループ名	本製品に設定しているワークグループ名です。
(ActiveDirectory設定時) ドメイン名(NetBIOS 名)	本製品で設定しているActive Directory のドメイン名 (NetBIOS名) です。
(ActiveDirectory設定時) ドメイン名(フルDNS名)	本製品で設定しているActive Directory のドメイン名 (フルDNS名) です。
(ActiveDirectory設定時) ドメインコントローラーの名前	本製品で設定しているNT ドメイン名です。
WINS サーバーアドレス	本製品に設定しているWINS サーバーアドレスです。この設定により、ルーターで区切られたネットワークにおいても名前によるWindows ネットワーク共有サービスが受けられます。通常、ご家庭でご利用になる場合は設定の必要はありません。

ボリューム情報

ボリューム情報

ディスク一覧

内蔵ディスク

USB1

USB2

内蔵ディスク		
モード	単一ドライブ	
ステータス	正常動作	
ボリューム情報	全容量	1994.32GB (1994323779584byte)
	使用容量	0.03GB (33832960byte) 0.00%
	フォーマット形式	専用フォーマット
ディスク	内蔵ディスク1	接続済 WDC WD20EZRX-22JD 2000.40 GB

トップへ戻る

USB1	
モード	クイックコピモード
ステータス	未接続

トップへ戻る

USB2	
モード	共有モード
ステータス	未接続

トップへ戻る

▼モード

モード	本製品の動作モードを表示します。
-----	------------------

▼内蔵ディスクのステータス

内蔵ディスクの動作状態を表示します。状態により複数表示される場合があります。
※各状態について再構築が実行されている場合、(再構築(*%)) と進捗が表示されます。

正常動作	内蔵ディスクは正常に動作しています。
構成異常	一部の内蔵ディスクが故障か接続されていない状態です。 [ディスク] の表示を確認し、故障したディスクの交換をしてください。
RAID崩壊	(対応製品のみ) 内蔵ディスクをRAIDとして機能させることができない状態です。 [ディスク] の表示を確認し、故障したディスクを交換し、復旧作業をおこなってください。
アクティブリペア中	内蔵ディスクがアクティブリペア中です。
停止中	内蔵ディスクを停止した状態です。
マウント失敗	内蔵ディスクのマウントに失敗した状態です。
チェックディスク中	内蔵ディスクがチェックディスク中です。
フォーマット中	内蔵ディスクがフォーマット中です。
未フォーマット	内蔵ディスクは未フォーマット状態です。
セキュリティロック中	内蔵ディスクがセキュリティロックされた状態です。ロックキーで解除されます。
処理中	内蔵ディスクに対して他の操作中を実行中です。

▼ボリューム情報

全容量	内蔵ディスク全体の容量を表示します。 1Kbyte = 1000byte で算出しています。
使用容量	現在使っている容量を表示します。
フォーマット形式	内蔵ディスクのフォーマット形式を表示します。

▼ディスク

内蔵ディスクの一覧を次の形式で表示します。(番号 状態 ディスク名 容量)

状	未	内蔵ディスクが接続されていません。内蔵ディスクの交換が可能な状態です。
---	---	-------------------------------------

態	接 続	
	接 続 済	本製品で正常に認識されています。
	容 量 不 足	内蔵ディスクに組み込むために必要なサイズより小さなサイズの内蔵ディスクです。適切な容量の内蔵ディスクに交換する必要があります。
	故 障	読み書きエラーやS.M.A.R.T.診断エラーが発生した内蔵ディスクです。新しい内蔵ディスクカートリッジに交換する必要があります。
	異 常	起動時に故障と判定されましたが、アクセスに成功したので、RAID 崩壊を防ぐためRAID に組み込まれた内蔵ディスクです。（他にも故障した内蔵ディスクがあります）まずデータをバックアップした後、故障した内蔵ディスクを新しい内蔵ディスクに交換してください。
デ ィ ス ク 名		ディスクのモデルナンバーを表示します。
	容 量	ディスク容量を表示します。1Kbyte = 1000byte で算出しています。

▼USBのステータス

USB機器の動作状態を表示します。状態により複数表示される場合があります。

未接続	USB HDDが接続されていないか、取り外し処理をおこなったか、あるいは正常に認識されていない状態です。USB機器を接続していない場合、USB機器を接続できます。
使用中	USB HDDが正常にマウントされています。取り外す場合は、USB HDDの取り外し処理をおこなってください。
取り外し済	USB HDDは取り外し処理済です。USB HDDの取り外しができます。ロックキー暗号化用のロックキーが接続されています。ロックキーは本体から取り外すことができます。
セキュリティ ロック中	暗号化されたUSB HDDのセキュリティロックが解除されていない状態です。使うには暗号化フォーマット時に利用したロックキーを接続してください。
マウント失敗	USB HDDのマウントに失敗しています。USB HDDの取り外しは可能です。
待機中	ミラーに追加したボリュームにデータが入っているため、手動でのミラーリング開始操作を待っている状態です。USB HDDの取り外しは可能です。
容量不足	USB HDDが接続されており、正常に認識されていますが、RAIDに組み込めない状態です。接続したUSB HDDの容量がミラーリングするために必要な容量より小さい場合に表示されます。適切な容量のUSB HDDと交換してください。USB HDDの取り外しは可能です。
チェックディ スク中	USB HDDをチェックしている状態です。取り外す場合は、USB HDDの取り外し処理をおこなってください。
フォーマット 中	USB HDDをフォーマットしている状態です。取り外す場合は、USB HDDの取り外し処理をおこなってください。
故障	USB HDDが故障しています。USB HDDの取り外しは可能です。
未フォーマッ ト	USB HDDが未フォーマット状態です。USB HDDの取り外しは可能です。
ミラーリング	ミラーリングモードに設定され、正常に動作しています。USB HDDは取り外さないでください。
ミラーリング (異常)	ミラーリングモードに設定され、USB HDDのみで動作している状態です。 故障した内蔵ディスクを交換し、USB HDDからミラーリングをおこなってください。USB HDDは取り外さないでくだ

	さい。
ミラーリング (再構築中 (*)))	ミラーリングモードに設定され、再構築を実行中です。USB HDDは取り外さないでください。
ミラーディスク (復旧可能)	本製品と同一型番の製品のミラーリングに利用されていたUSB HDDです。
ミラーディスク (復旧不可)	本製品と異なる型番の製品のミラーリングに利用されていたUSB HDDです。

システムログ

システムログ

フィルタリング設定

ダウンロード

ソート

日時 降順

フィルタリング

☐有効 ☒無効

◀ 前へ

1

次へ ▶

日時	レベル	カテゴリ	メッセージ
2013年11月26日 11:19:09	情報	システム	管理者ログインしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日 11:18:14	情報	システム	管理者ログアウトしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日 11:18:03	情報	システム	管理者ログインしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日 11:17:57	情報	システム	管理者ログアウトしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日 11:17:40	警告	NarSuS	NarSuSサーバーへの接続に失敗しました。(3109-0000)
2013年11月26日 11:13:32	情報	NarSuS	設定を変更しました。
2013年11月26日 11:09:50	情報	LAN1	LAN1 - DHCP成功 - アドレス: 192.168.31.91 更新間隔: 259200 秒
2013年11月26日 11:09:46	警告	LAN2	LAN2がリンクしていません。(608-0000)
2013年11月26日 11:09:44	情報	システム	管理者ログインしました。: 192.168.31.79
2013年11月26日 11:09:40	情報	LAN1	LAN1がリンクしました。
2013年11月26日 11:08:29	情報	システム	システムを起動しました。
2013年11月26日 11:08:20	情報	RAIDボリューム	内蔵ボリュームをマウントしました。
2013年11月26日 11:07:52	警告	ファームウェア	ファームウェア公開サーバーへの接続に失敗しました。(3709-0000)
2013年11月26日 11:07:48	警告	パッケージ	パッケージ公開サーバーへの接続に失敗しました。(3609-0000)
2013年11月26日 11:07:45	情報	日付と時刻	NTPサーバーと時刻を同期しました。
2013年11月22日 16:45:51	情報	システム	システムをシャットダウンします。
2013年11月22日 16:44:36	情報	システム	システムを起動しました。
2013年11月22日 16:44:27	情報	RAIDボリューム	内蔵ボリュームをマウントしました。
2013年11月22日 16:43:55	警告	ファームウェア	ファームウェア公開サーバーへの接続に失敗しました。(3709-0000)
2013年11月22日 16:43:51	警告	パッケージ	パッケージ公開サーバーへの接続に失敗しました。(3609-0000)
2013年11月22日 16:43:48	警告	日付と時刻	NTPサーバーと時刻を同期できませんでした。(309-0000)
2013年11月22日 16:43:15	警告	LAN2	LAN2がリンクしていません。(608-0000)
2013年11月22日 16:43:08	警告	LAN1	LAN1がリンクしていません。(508-0000)

◀ 前へ

1

次へ ▶

フィルタリング 設定	フィルタリングの設定ができます。[日時]、[レベル]、[カテゴリ]をそれぞれ設定し、[適用]をクリックすると保存されます。
ダウンロード	ログを.csv形式でダウンロードします。
ソート	ログの並べ替え方法を指定できます。
フィルタリング	設定したフィルタリングの有効/無効を設定します。
日時	ログを記録した日時を表示します。
レベル	ログの警告レベルを表示します。
カテゴリ	ログのカテゴリを表示します。
メッセージ	ログの内容を表示します。

アクセスログ

アクセスログ							
« 前へ 1 次へ »							ダウンロード
日時	ユーザー名	ホスト名	IPアドレス	操作	結果	共有フォルダー名	対象
2015/09/30 16:16:42	admin	r631-28e	192.168.	open	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	r631-28e	192.168.	close	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	r631-28e	192.168.	open	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	r631-28e	192.168.	close	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	r631-28e	192.168.	open	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:42	admin	r631-28e	192.168.	connect	ok	disk1	disk1
2015/09/30 16:16:41	test	r631-28e	192.168.	disconnect	ok	LAN DISK Manual	LAN DISK Manual
2015/09/30 16:16:34	test	r631-28e	192.168.	connect	ok	LAN DISK Manual	LAN DISK Manual
« 前へ 1 次へ »							

アクセスログのダウンロード

表示されたアクセスログの [ダウンロード] をクリックすると、アクセスログをダウンロードできます。

アクセスログの読み方

以下の順で表示されます。

日時,操作したユーザー,操作したホスト名,ユーザーのパソコンのIPアドレス,操作内容※,操作結果（OK : 成功 fail(xxxx) : 失敗）,操作したフォルダーとファイル

※操作内容

connect : クライアントPC が共有フォルダーに接続した

disconnect : クライアントPC が共有フォルダーの接続を解除した

open_read : 対象ファイルを読み込みモードで開いた

open_write : 対象ファイルを書き込みモードで開いた

close : ファイルが閉じられた

mkdir : フォルダー作成時

rmdir : フォルダー削除時

rename : ファイル/ フォルダーの名前が変更された

unlink : ファイル削除時

ネットワーク

IPv4

IPアドレス設定方式	☒ 自動で取得する(DHCP) ☐ 手動で設定する	
IPアドレス	192.168.31.199	
サブネットマスク	255.255.255.0	
フレームサイズ	1500	リストから選択
Wake On LAN	☒ 有効 ☐ 無効	

追加設定

設定方法	☒ 自動で取得する ☐ 手動で設定する	
デフォルトゲートウェイ	192.168.31.1	
DNSサーバー	192.168.31.1	

適用

IPv6

IPアドレス設定方式	☒ 無効 ☐ 自動で取得する(DHCP) ☐ 手動で設定する	
IPアドレス		
プレフィックス長	64	
フレームサイズ	1500	リストから選択

追加設定

設定方法	☒ 自動で取得する ☐ 手動で設定する	
デフォルトゲートウェイ		
DNSサーバー		

適用

▼IPv4

	本製品のIPアドレスの設定方法を選択します。	
IPアドレス設定方式	自動で取得する	本製品のIPアドレスをDHCPサーバーから自動で取得します。
	手動で設定する	本製品のIPアドレスを手動で設定します。
IPアドレス	IPアドレスを入力します。	
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。	
フレームサイズ	フレームサイズを設定できます。	
Wake On LAN	Wake On LANの有効/無効を選択します。	

▼IPv6

	本製品のIPアドレスの設定方法を選択します。	
IPアドレス設定方式	無効	IPv6設定を無効にします。
	自動で取得する	本製品のIPアドレスをDHCPサーバーから自動で取得します。
	手動で設定する	本製品のIPアドレスを手動で設定します。
IPアドレス	IPアドレスを入力します。	
プレフィックス長	プレフィックス長を設定できます。	
フレームサイズ	フレームサイズを設定できます。	

▼共通設定

設定方法	デフォルトゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレスの設定方法を選択します。	

	自動で取得する	デフォルトゲートウェイアドレス、DNSサーバーアドレスをDHCPサーバーから自動で取得します。
	手動で設定する	デフォルトゲートウェイアドレス、DNSサーバーアドレスを手動で設定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。	
DNSサーバー	DNSサーバーアドレスを入力します。	

プロキシ設定

プロキシ設定

プロキシ

☒ 使用しない

☐ 自動設定スクリプトを使用する

☐ 手動設定

適用

使用しない	プロキシ設定を利用しません。
自動設定スクリプトを利用する	自動設定スクリプトファイルのURL を入力します。 ※ 指定するURL については、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。
手動設定	プロキシサーバーの [アドレス] と [ポート] を入 力します。 ※ 指定するアドレス、ポートについては、ご利用のネットワーク管理者に確認してください。

フォルダー

一覧

一覧		
名前	基本設定	操作
LAN DISK Log		<button>変更</button>
disk1		<button>変更</button> <button>削除</button>
usb1		<button>変更</button>
usb2		<button>変更</button>
usb3		<button>変更</button>
詳細アクセス権設定が無効になっている共有フォルダーの名前は赤色で表示されます。		
<button>追加へ</button>		

名前	共有フォルダーの名前を表示します。
基本設定	基本設定で有効になっている項目がアイコンで表示されます。 アイコンの意味はマウスオーバーで確認できます。
操作	変更 フォルダーの設定を変更します。
	削除 フォルダーを削除します。
追加へ	共有フォルダーの追加画面を表示します。

追加/変更

追加

名前

コメント

基本設定

☐ 読み取り専用

☐ 非登録ユーザーからのアクセスを拒否

☒ Microsoftネットワーク共有

☐ ゴミ箱

本機能を有効から無効にする場合、ゴミ箱用フォルダーが削除されます。

ゴミ箱用フォルダーに大量のファイルが存在する場合、ゴミ箱用フォルダーの削除に時間がかかります。

☐ 隠し

使用量制限値

00 GB

(小数点第一位で入力してください)

詳細アクセス権

☒ 有効 ☐ 無効

禁止ユーザー

読み取りユーザー

読み書きユーザー

禁止グループ

読み取りグループ

読み書きグループ

情報

・ 現在下記サービスは無効です。[設定ページへ移動。](#)

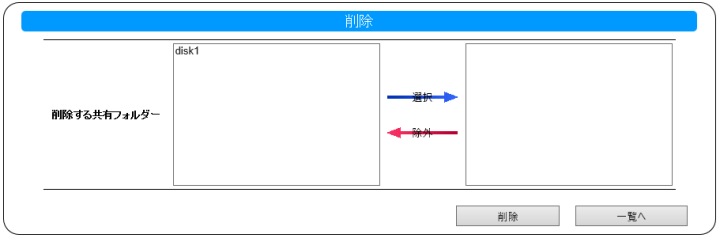
・ 使用量制限

追加

一覧へ

名前	共有フォルダーの名前を入力します。この名前が、ネットワーク上に表示される本製品の名前の下に表示されます。	
コメント	Windows用です。ネットワーク上の共有フォルダーのコメントとして表示されます。	
基本設定	読み取り専用	共有フォルダーを読み取り専用に設定します。詳細アクセス権で「読み書き」で設定した場合でも、読み取り専用となります。
	非登録ユーザーからのアクセスを拒否	本製品に登録されていないユーザーからの共有フォルダーに対するアクセスを拒否します。
	Microsoftネットワーク共有	Windowsからこのフォルダーにアクセスする場合にチェックします。
		ゴミ箱 Windows（Microsoftネットワーク共有）でのみ利用できます。ゴミ箱機能を使うかどうかを指定します。 ゴミ箱機能
		隠し 隠しを設定した共有フォルダーは、「¥¥LAN DISK名」で検索してもエクスプローラーに表示されません。「¥¥LAN DISK名¥ 共有フォルダー名」で検索すると表示されます。
詳細アクセス権設定	有効	使用量制限値 共有フォルダーに対し、容量制限を設定することができます。出荷時設定は無効です。 使用量制限について（クォータ機能）
	無効	「読み取り」「読み書き」のアクセス権を個別に設定することができます。禁止ユーザーや禁止グループを選択し、[選択]をクリックすると、そのユーザーやグループが該当するアクセス権に追加されます。該当するアクセス権のユーザーやグループを選択し、[除外]をクリックすると、そのユーザーやグループが禁止ユーザー、禁止グループに追加されます。
情報	共有フォルダー追加に関する追加情報を表示します。	

削除



削除する共有フォルダー	左の欄のフォルダーを選択状態にし、[選択]をクリックすると右の欄に移動します。その後、[削除]をクリックすると削除されます。
-------------	--

使用量制限

使用量制限

情報・使用量制限は無効です。[設定ページへ移動。](#)

フォルダーリスト

☐ 全てチェック全て解除

GB

一括入力

(小数点第一位で入力してください)

名前	現在の使用量	使用量制限値
☐ disk1	0.0 GB	0.0 GB

変更

全てチェック/全て解除	全てのフォルダーの[使用量制限値]を一括入力します。 クリックするごとにチェックの入れる/外すをします。全てチェック、かつ、使用量を入力した状態で[一括入力]をクリックします。
名前	共有フォルダーの名前です。
現在の使用量	共有フォルダーの現在の使用量です。
使用量制限値	使用量制限値を小数点第一位で入力します。

方式

Microsoftネットワーク共有設定

Microsoftネットワーク共有設定

Microsoftネットワーク

☒ 有効 ☐ 無効

適用

Microsoftネットワーク	Windowsからアクセスする場合に[有効]にします。
-----------------	-----------------------------

ユーザー & グループ

[ユーザー](#)

[グループ](#)

[Microsoftネットワーク設定](#)

ユーザー

一覧

一覧

ユーザーリスト (1ユーザー)

名前	フルネーム	操作
user1		変更 削除

ドメインユーザーリスト (0ユーザー)

なし

追加へ

ユーザーリスト	名前	ユーザー名を入力します。	
	フルネーム	ユーザーのフルネームを表示します。	
	操作	変更	ユーザーの設定を変更します。
		削除	ユーザーを削除します。
ドメインユーザーリスト		ドメインユーザーを表示します。	
追加へ		ユーザーの追加画面を表示します。	

追加/変更

追加

ユーザー名

パスワード

パスワード(確認)

フルネーム

コメント

プライマリグループ

選択してください

使用量制限値

00GB

(小数点第一位で入力してください)

情報

・使用量制限は無効です。[設定ページへ移動。](#)

追加

一覧へ

ユーザー名	ユーザー名を入力します。
パスワード	メモしたパスワードを入力します。 (確認) にも、同じパスワードを入力します。
フルネーム	追加するユーザーに関する情報を入力できます。
コメント	
プライマリグループ	指定したグループのメンバーとして追加されます。 また、使用量制限をする際、追加するユーザーの使用量を、指定したグループの使用量としてもカウントするようになります。
使用量制限値	使用量制限をする際の制限する値を指定できます。出荷時設定は無効です。
情報	ユーザー追加に関する追加情報を表示します。

削除

削除

削除ユーザー

user1

選択

除外

削除

一覧へ

削除ユーザー	左の欄のユーザーを選択状態にし、[選択]をクリックすると右の欄に移動します。その後、[削除]をクリックすると削除されます。
--------	---

使用量制限

使用量制限

情報

・使用量制限は無効です。[設定ページへ移動。](#)

ユーザーリスト

☐ 全てチェック全て解除

GB

一括入力

(小数点第一位で入力してください)

名前	現在の使用量	使用量制限値
☐ user1	0 GB	0.0 GB

ドメインユーザーリストなし

変更

全てチェック/全て解除	全てのユーザーの[使用量制限値]を一括入力します。 クリックするごとにチェックの入れる/外すをします。全てチェック、かつ、使用量を入力した状態で[一括入力]をクリックします。
名前	ユーザーの名前です。
現在の使用量	ユーザーの現在の使用量です。
使用量制限値	使用量制限値を小数点第一位で入力します。

グループ

一覧

一覧

グループリスト (1グループ)

グループ名	操作
group1	変更 削除

ドメイングループリスト (0グループ)

追加へ

グループリスト	グループ名	グループ名を入力します。	
	操作	変更	グループの設定を変更します。
		削除	グループを削除します。
ドメイングループリスト		ドメイングループを表示します。	

追加/変更

追加

名前

使用量制限

0.0 GB
(小数点第一位で入力してください)

ユーザー登録設定

未登録ユーザーリスト

user1

登録ユーザーリスト

選択

除外

情報

・ 使用量制限は無効です。[設定ページへ移動。](#)

追加

一覧へ

名前	グループ名を入力します。
使用量制限値	使用量制限をする際の制限する値を指定できます。出荷時設定は無効です。
ユーザー登録設定	グループに登録するユーザーを設定します。[未登録ユーザーリスト]のユーザーを選択状態にして、[選択]をクリックすると、[登録ユーザーリスト]に登録されます。
情報	ユーザー追加に関する追加情報を表示します。

削除

削除

削除グループ

group1

選択

除外

削除

一覧へ

削除グループ	左の欄のグループを選択状態にし、[選択]をクリックすると右の欄に移動します。その後、[削除]をクリックすると削除されます。
--------	---

使用量制限

使用量制限

情報

・ 使用量制限は無効です。[設定ページへ移動。](#)

グループリスト

☐ 全てチェック全て解除

 GB

一括入力
(小数点第一位で入力してください)

名前	現在の使用量	使用量制限値
☐ group1	0 GB	0.0 GB

ドメイングループリスト

なし

変更

全てチェック/全て解除	全てのグループの[使用量制限値]を一括入力します。 クリックするごとにチェックの入れる/外すをします。全てチェック、かつ、使用量を入力した状態で[一括入力]をクリックします。
-------------	--

名前	グループの名前です。
現在の使用量	グループの現在の使用量です。
使用量制限値	使用量制限値を小数点第一位で入力します。

Microsoftネットワーク設定

▼設定方法：ワークグループ

Microsoftネットワーク設定

設定方法	☒ ワークグループ ☐ Active Directory
ワークグループ名	WORKGROUP
WINSサーバー	

注意

- ・管理者ユーザー名には、ActiveDirectoryのadministrator権限を持ったユーザー名を指定してください。
- ・ドメインでご利用になる場合はワークグループに切替えないようにしてください。
- ・ドメインログオンした後にドメインユーザー、ドメイングループで作成した共有は、ワークグループに切替えると使用不可になりますので、事前にデータを保存し共有を削除してください。
- ・また、異なるドメインにログオンした場合には以前のドメインユーザー、ドメイングループで作成した共有は使用できません。

適用

ワークグループ名	ワークグループ名を入力します。
WINSサーバー	WINSサーバーがネットワーク内にある場合は、そのWINSサーバーのIPアドレスを入力します。

▼設定方法：Active Directory

Microsoftネットワーク設定

設定方法	☐ ワークグループ ☒ Active Directory
ドメイン名(NetBIOS名)	
ドメイン名(フルDNS名)	
ドメインコントローラーの名前	
管理者名	
管理者パスワード	
WINSサーバー	

注意

- ・管理者ユーザー名には、ActiveDirectoryのadministrator権限を持ったユーザー名を指定してください。
- ・ドメインでご利用になる場合はワークグループに切替えないようにしてください。
- ・ドメインログオンした後にドメインユーザー、ドメイングループで作成した共有は、ワークグループに切替えると使用不可になりますので、事前にデータを保存し共有を削除してください。
- ・また、異なるドメインにログオンした場合には以前のドメインユーザー、ドメイングループで作成した共有は使用できません。

適用

ドメイン名（NetBIOS名）	ドメイン名(NetBIOS名)を入力します。
ドメイン名（フルDNS名）	ドメイン名(フルDNS名)を入力します。
ドメインコントローラーの名前	ドメインコントローラーの名前を入力します。
管理者名	Active DirectoryのAdministrator権限を持ったユーザー名を入力します。
管理者パスワード	〔管理者名〕で指定したユーザーのパスワードを入力します。
WINSサーバー	WINSサーバーがネットワーク内にある場合は、そのWINSサーバーのIPアドレスを入力します。

ボリューム

内蔵

USB

ロックキー

内蔵

フォーマット

フォーマット

ステータス

未実行

暗号化

☐ 有効 ☒ 無効

実行

ステータス	内蔵ディスクの状況を表示します。
暗号化	暗号化の有効/無効を選択します。

チェックディスク

チェックディスク

ステータス

未実行

実行

ステータス	チェックディスクの状況を表示します。
-------	--------------------

アクティブリペア

アクティブリペア

ステータス

停止

アクティブリペア停止

アクティブリペア開始

スケジュール機能

☒ 有効 ☐ 無効

曜日(毎月最初)

☐ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☒ 土

時刻

00 00

適用

ステータス	アクティブリペアの状況を表示します。
アクティブリペア停止	実行中のアクティブリペアを停止します。
アクティブリペア開始	ただちにアクティブリペアを実行します。
スケジュール機能 曜日（毎月最初） 時刻	スケジュールで実行する場合に「有効」にします。その後、実行する「曜日」「時刻」を設定します。

USB

フォーマット

フォーマット

ステータス	未実行
フォーマット形式	☒ 専用フォーマット ☐ FAT32

実行

ステータス	USB HDDの状況を表示します。
フォーマット形式	フォーマット形式を選択します。

チェックディスク

チェックディスク

ステータス	未実行
-------	-----

実行

ステータス	チェックディスクの状況を表示します。
-------	--------------------

モード設定

モード設定

ポートモード	クイックコピモード クイックコピー共有 disk1
--------	---

適用

ポートモード	USBポートのモードを選択します。
--------	-------------------

取り外し

取り外し

ステータス	接続済
-------	-----

実行

ステータス	USB HDDの取り外し状況を表示します。
実行	USB HDDを取り外します。

ロックキー

キーサーバー

キーサーバー

有効	キーサーバー	ポート	キーの登録状況	操作
☒		51056	-	キー登録 ロックキー生成
☐		51056	-	キー登録 ロックキー生成
☐		51056	-	キー登録 ロックキー生成

適用

キーサーバーについては、[キーサーバー機能](#)をご覧ください。

ロックキー複製

ロックキー複製

ロックキーを複製します。

複製

ロックキーを複製します。詳しくは、[スペアキーを作成する](#)をご覧ください。

ロックキー削除

ロックキー削除

ロックキーを削除します。

削除

ロックキーを削除します。詳しくは、[ロックキーを削除する](#)をご覧ください。

対象変更

対象変更

本機能は別個体で作成されたロックキーを本機のロックキーとして変換します。USBポートIIに対象となるロックキーを接続し、「対象変更」を押して下さい。

対象変更

古いLAN DISKで使っていたUSB HDDを本製品につないで使う場合に実行します。

古いLAN DISK用のロックキーを本製品で使えるように変更します。

詳しくは、[ロックキーの対象機器を変更する](#)をご覧ください。

データバックアップ

[バックアップ](#)

[データコピー](#)

バックアップ

一覧

一覧

■ 有効	ジョブ名	ステータス	スケジュール	実行	設定
☐	 backup1	未実行	曜日: 時刻:	バックアップ開始 復元 停止	変更 削除
☐	 backup2	未実行	曜日: 時刻:	バックアップ開始 復元 停止	変更 削除

[複数停止](#) [複数削除](#) [追加へ](#)

有効	ジョブ（バックアップ設定）の有効／無効を設定します。
ジョブ名	ジョブの名前を表示します。
ステータス	ジョブの状態を表示します。
スケジュール	ジョブの実行スケジュールを表示します。
バックアップ開始	バックアップを今すぐ実行 します。
復元	バックアップからデータを復元 します。
停止	バックアップが実行中の場合、それを停止します。 ※ 停止した後、バックアップを途中から再開することはできません。 [バックアップ開始] でバックアップを最初から開始してください。
変更	ジョブの内容を変更します。
削除	ジョブを削除します。
複数停止	チェックしたジョブのバックアップが実行されている場合、停止します。
複数削除	チェックしたジョブを削除します。

追加

▼バックアップ基本設定

▼バックアップ元の設定

▼バックアップ先の設定

バックアップ先	項目右側のリストから、この装置上の共有フォルダーまたはネットワーク上のWindows共有フォルダーを選びます。 ※他のLAN DISKの共有フォルダーの場合、以下のように入力します。 例) ¥¥LANDISK-xxxxxx¥disk1
ユーザー名	バックアップ先がネットワーク上にある場合、ホストに設定されているユーザー名を入力します。

データコピー

一覧

一覧					
■ 有効	ジョブ名	ステータス	スケジュール	実行	設定
☐	 datacopy1	未実行	曜日: 時刻:	データコピー開始	変更 削除
☐	 datacopy2	未実行	曜日: 時刻:	データコピー開始	変更 削除

[複数削除](#) [追加へ](#)

有効	ジョブ（データコピー設定）の有効／無効を設定します。
ジョブ名	ジョブの名前を表示します。
ステータス	ジョブの状態を表示します。
スケジュール	ジョブの実行スケジュールを表示します。
データコピー開始	データコピーを今すぐ実行 します。
変更	ジョブの内容を変更します。
削除	ジョブを削除します。
複数削除	チェックしたジョブを削除します。

追加

追加	
ジョブ名	
スケジュール	☐ 有効 ☒ 無効 曜日 ☐ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 時刻 00 00
オプション	☐ ゴミ箱もコピーする ☐ データコピー後シャットダウン ☐ 強制フルコピー ☐ データコピー元がないファイルを削除する
データコピー元設定	
データコピー元	リスト取得中...
データコピー情報	ユーザー名 パスワード
データコピー先設定	
データコピー先	リスト取得中...
データコピー先情報	ユーザー名 パスワード

[注意:](#) [追加](#) [一覧へ](#)

▼データコピー基本設定

ジョブ名	データコピー設定の名前を任意で入力します。	
スケジュール	曜日指定	データコピーする曜日を指定します。 ※複数の指定が可能です。
	時刻指定	データコピーする時刻を指定します。24時間制で指定します。 例) 午後9時＝[21] 時 [00] 分

オプション	ゴミ箱もコピーする	本製品のゴミ箱もデータコピーします。
	データコピー後にシャットダウン	データコピー後に本製品の電源を切ります。
	強制フルコピー	すべてのファイルをコピーします。
	データコピー元にはないファイルを削除する	コピー先にはのみ存在するファイルを削除します。

▼データコピー元の設定

データコピー元	項目右側のリストから、この装置上の共有フォルダーまたはネットワーク上のWindows共有フォルダーを選びます。 ※他のLAN DISKの共有フォルダーの場合、以下のように入力します。 例) ¥¥LANDISK-xxxxxx¥disk1
ユーザー名	データコピー元がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているユーザー名を入力します。
パスワード	データコピー元がネットワーク上にある場合に、ホストに設定されているパスワードを入力します。

▼データコピー先の設定

データコピー先	項目右側のリストから、この装置上の共有フォルダーまたはネットワーク上のWindows共有フォルダーを選びます。 ※他のLAN DISKの共有フォルダーの場合、以下のように入力します。 例) ¥¥LANDISK-xxxxxx¥disk1
ユーザー名	データコピー先がネットワーク上にある場合、ホストに設定されているユーザー名を入力します。
パスワード	データコピー先がネットワーク上にある場合、ホストに設定されているパスワードを入力します。

CSV一括登録

CSV一括登録

ステータス	未実行
CSVファイル	参照...

適用

ステータス	一括登録の状況を表示します。
CSVファイル	一括登録するCSVファイルを入力します。

システム

[名前設定](#)

[時刻設定](#)

[管理者設定](#)

[電源](#)

[ボタン](#)

[ランプ設定](#)

[通知](#)

[自己診断](#)

[パッケージ管理](#)

[ファームウェア](#)

[初期化](#)

[サービス設定](#)

[プリンターバッファークリア](#)

名前設定

名前設定

LAN DISKの名前	landisk-
LAN DISKの説明	HDL-AA series
LAN DISKの設置場所	

適用

LAN DISKの名前	LAN DISKの名前を入力します。
LAN DISKの説明	任意でLAN DISKの説明を入力します。
LAN DISKの設置場所	任意でLAN DISKの設置場所を入力します。

時刻設定

時刻設定

時刻設定	☐ 手動 ☒ 同期
NTPサーバー	ntp.nict.jp
同期のタイミング	☒ 起動時 ☐ 毎日 0 0

適用

時刻設定	時刻設定を手動でおこなうか、NTPサーバーと同期するかを選択します。手動にした場合は、年月日時分を入力します。
------	---

NTPサーバー	NTPサーバーを入力します。
同期タイミ ング	NTPサーバーと同期するタイミングを設定します。

管理者設定

管理者設定

パスワード	
パスワード(確認)	
メール	
ログインタイムアウト時間	10 (分)

適用

パスワード（パスワード 確認）	新しいパスワードを入力します。 ※4 ～ 20文字（半角英数記号）
メール	必要に応じてメールアドレスを設定できます。 ここで設定したメールアドレスは、［システム］→［通知］→［メール］→［通知設定］の送信先メールアドレスの既定値となります。
ログインタイムアウト時 間	操作がおこなわれなかった場合に、自動的にログアウトする時間を設定します。

電源

シャットダウン

シャットダウン

シャットダウン	シャットダウン
再起動	再起動

シャットダウン	本製品をシャットダウンします。
再起動	本製品を再起動します。

スケジュール設定

スケジュール設定

	起動設定	起動時刻設定	終了設定	終了時刻設定
日	☐	08 ∨ 00 ∨	☐	20 ∨ 00 ∨
月	☐	08 ∨ 00 ∨	☐	20 ∨ 00 ∨
火	☐	08 ∨ 00 ∨	☐	20 ∨ 00 ∨
水	☐	08 ∨ 00 ∨	☐	20 ∨ 00 ∨
木	☐	08 ∨ 00 ∨	☐	20 ∨ 00 ∨
金	☐	08 ∨ 00 ∨	☐	20 ∨ 00 ∨
土	☐	08 ∨ 00 ∨	☐	20 ∨ 00 ∨

☐ 10分間共有フォルダーにアクセスがなくなるまで終了時刻を延期
※ クラウドサービスと同期設定を行っている場合、終了しない場合があります。

適用

スケジュール設定	それぞれ起動・終了を設定する曜日をチェックし、時刻を設定します。
10分間共有フォルダーへアクセスがなくなるまで終了時刻を延 期	以下の条件を満たすまでシャットダウンを延期する機能です。 ・ 過去10 分間内蔵ディスクのデータ領域へのアクセスがない ・ 過去10 分間USB HDD へのアクセスがない

※クラウドサービスと同期設定していると、終了しない場合があります。

AC電源連動設定

AC電源連動設定	
AC電源連動設定	☐ 有効 ☒ 無効
適用	

AC電源連動設定	停電などでコンセントからの電源供給が途絶え、復帰したときに自動的に電源ONにするかどうか選択します。
----------	--

UPS設定

UPS設定												
UPS警告 ☐ 有効 ☒ 無効												
停電後のシャットダウン 10分 ▾												
ネットワークシャットダウン設定												
有効 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	シャットダウンするLAN DISK名 <table><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr></table>						管理者パスワード <table><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr></table>					
適用												

UPS警告

本製品とUPSの接続状態を監視し、次の状態をランプやブザーでお知らせします。

- ・システム起動時に、UPSがつながれていない状態
- ・システム稼働中に、UPS接続ケーブルが抜けた状態

停電後のシャットダウン

停電後にLAN DISKをシャットダウンする時間を設定します。

ネットワークシャットダウン設定

停電時にシャットダウンするLAN DISKを設定します。

有効

チェックをつけたLAN DISKについて、上記の設定でシャットダウンをおこないます。

シャットダウンするLAN DISK名

LAN DISKの名前を入力します。

管理者パスワード

LAN DISKの管理者パスワードを入力します。

省電力設定

省電力設定	
時間設定	30分 ▾
内蔵ボリューム	☒ 有効 ☐ 無効
USB1ボリューム	☒ 有効 ☐ 無効
USB2ボリューム	☒ 有効 ☐ 無効
適用	

時間設定

停止までの時間を設定します。

内蔵ボリューム

USBxボリューム

省電力設定を適用するボリュームで「有効」を選択します。

ボタン

リセットボタン

リセットボタン設定

リセットボタン

☒有効 ☐無効

適用

RESETボタン	RESETボタンの機能の有効/無効を設定します。
----------	--------------------------

ランプ設定

ランプ設定

LEDの明るさ

☐暗 ☐中 ☒明

適用

LEDの明るさ	ランプの明るさを設定します。
---------	----------------

通知

定期通知

定期通知

定期通知

☒有効 ☐無効

定期通知項目

☒UPS警告

☒ディスクエラー

☐ボリューム使用量警告

ボリューム制限: %

☐使用量監視警告

使用量制限: %

適用

定期通知	チェックをつけると、エラー発生時および定期 通知時に、メールを送信します。
定期通知項目	チェックをつけた項目に該当するエラーが発生している場合、1時間ごとにブザー、ランプ、メールによる再通知をおこないます。 エラーを解決すると警告は止まります。 エラー内容は、 ログ・お知らせ一覧 を確認してください。

定期レポート

定期レポート

定期レポート

☐有効 ☒無効

曜日

☐日 ☐月 ☐火 ☐水 ☐木 ☐金 ☐土

時刻

12 ☐ 00 ☐

適用

定期レポート	定期レポートの有効/無効を設定します。
曜日	定期レポートをおこなう曜日を設定します。
時刻	定期レポートをおこなう時刻を設定します。

メール - 基本設定

基本設定

SMTPサーバー	
SMTPポート	25
SSL暗号化通信	☐ 有効 ☒ 無効
差出人メールアドレス	
メールエンコード	☐ UTF-8 ☒ ISO-2022-JP
認証	認証なし v

適用

SMTPサーバー	メール送信に利用する SMTPサーバーを設定します。プロバイダーや会社から指定されたサーバー名を入力してください。	
SMTPポート	メール送信に利用するTCPポート番号を指定します。（初期値：25） ご利用のプロバイダがセキュリティ上の理由で25番ポートでのメール送信を遮断している場合は、適切な番号に変更してください。	
SSL暗号化通信	SSL暗号化通信の有効/無効を設定します。有効に設定すると、SMTPSでメールを送信します。（無効の場合はSMTP）	
差出人メールアドレス	送信するメールアドレスの差出人を設定することができます。送信メールサーバーが差出人チェックを実行している場合や、どこから送られてきているのかを明確にしたい場合などに設定します。	
メールエンコード	送信するメールのエンコードを選択します。受信するメーラーの設定に合わせてください。	
認証	指定するSMTPサーバーがサポートしている認証方式を設定してください。	
	認証なし	設定はありません。
	POP before SMTP	POP サーバー、POP ポート、ユーザー名、パスワードを入力します。
	SMTP AUTH(PLAIN)	ユーザー名、パスワードを入力します。
	SMTP AUTH(LOGIN)	ユーザー名、パスワードを入力します。
	SMTP AUTH(CRAM-MDS)	ユーザー名、パスワードを入力します。

メール - 通知設定

通知設定

情報

●基本設定が設定されていません。[設定ページへ移動。](#)

有効	メール設定	通知項目
☐	メールアドレス ☐ 詳細設定	☐ システムイベント ☐ システムログ ☐ アクセスログ ☐ バックアップ・データコピー ☐ 温度・FANエラー ☐ 定期レポート ☐ UPS警告 ☐ ディスク情報 ☐ ボリューム使用量警告 ☐ 使用量制限警告 ☐ システムイベント

有効	チェックをつけると、エラー発生時および定期通知 時に、メールを送信します。
メールアドレス	送信先のメールアドレスを入力します。

詳細設定	チェックすると、【メール基本設定】の内容と同じ設定項目を設定できます。この設定は、【メール基本設定】より優先されます。（宛先によって異なる設定が必要な場合に使います） ※設定を変更したい項目のみ設定してください。空白項目は、【メール基本設定】のものとなります。
通知項目	チェックを付けた項目に該当するイベントが発生した場合、メールによる通知をおこないます。以下の【送信されるメールについて】をご覧ください。

SNMP

SNMP

SNMPトラップ

☐有効

☒無効

ポート番号

162

送信先ホスト

適用

ポート番号	ポート番号を入力します。
送信先ホスト	IPv4アドレス、IPv6アドレス、コンピューター名の いずれかを入力します。

自己診断

自己診断

診断項目	結果
☐ Ping ・送信先ホスト:	未実行
☐ Traceroute ・送信先ホスト:	未実行
☐ サービス	未実行
☐ デバイス	未実行
☐ キーサーバー	未実行
☐ SNMPトラップ	未実行
☐ ネットワークシャットダウン ・シャットダウン: ☐ する ☒ しない	未実行
☐ メール	未実行
☐ バックアップ	未実行
☐ データコピー	未実行

実行

診断する項目をチェックします。

Ping	以下の形式で入力した送信先ホストへのネットワーク通信が可能かを確認します。 IPv4アドレス or IPv6アドレス(コロン区切り) or ホスト名
Traceroute	以下の形式で入力した送信先ホストへのネットワーク通信経路を確認します。 IPv4アドレス or IPv6アドレス(コロン区切り) or ホスト名
サービス	本製品の各サービス(ファイル共有/UPS 警告等) の稼働状態を確認します。
デバイス	本製品に接続されている機器(内蔵ディスク/USB HDD/UPS/プリンター) の各情報を確認します。
キーサーバー	本製品に設定したキーサーバーと接続/認識できることを確認します。
SNMPトラップ	本製品に設定したSNMPトラップ先ホストと接続/認識できることを確認します。
ネットワークシャットダウン	本製品に設定したネットワークシャットダウン相手ホストと接続/認識できることを確認します。
メール	本製品に設定したメール送信先アドレスへメール送信できることを確認します。
バックアップ	本製品に設定したバックアップジョブのバックアップ元/先と接続/認識できることを確認します。
データコピー	本製品に設定したデータコピージョブのデータコピー元/先と接続/認識できることを確認します。

パッケージ管理

一覧

一覧

☐ 全てチェック/全て解除

パッケージ名	バージョン	操作	
☐ [REDACTED]	1.00	削除	詳細
☐ [REDACTED]	1.00	削除	詳細
☐ [REDACTED]	1.00	削除	詳細

全てチェック/全て解除	クリックするたびにチェック/解除します。
パッケージ名	パッケージの名前です。
バージョン	追加したパッケージのバージョン番号です。
削除	クリックすると、パッケージを削除します。
詳細	クリックすると、パッケージの詳細情報を表示します。

追加

追加

☐ 全てチェック/全て解除

パッケージ名	新バージョン	詳細
☐ [REDACTED]	1.00	詳細
☐ [REDACTED]	1.00	詳細

全てチェック/全て解除	クリックするたびにチェック/解除します。
パッケージ名	パッケージの名前です。
新バージョン	最新のバージョン番号です。
詳細	クリックすると、パッケージの詳細情報を表示します。

自動更新設定

自動更新設定

☐ 全てチェック/全て解除

自動更新	☒ 有効 ☐ 無効
時刻	3 v 時

自動更新	パッケージの自動更新の有効/無効を選択します。
時刻	自動更新の時刻を設定します。

更新通知設定

更新通知設定

☐ 全てチェック/全て解除

更新通知	☒ 有効 ☐ 無効
オプション	☒ インストール済みパッケージのみ
時刻	3 v 時

更新通知	パッケージの更新通知の有効/無効を選択します。
オプション	インストール済みのパッケージのみに適用する場合にチェックをつけます。
時刻	更新通知の時刻を設定します。

ファームウェア

更新

更新

現バージョン	1.00
更新方法	☒ サーバーからダウンロードする ☐ ファームウェアファイルを指定する

更新

現バージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
接続方法	インターネットに接続できる場合は、[サーバーからダウンロードする]を選択します。 インターネットに接続できない場合は、[ファームウェアファイルを指定する]を選んで、ファームウェアを指定します。 ファームウェアは、他のパソコンで弊社サポートライブラリからダウンロードしてください。

自動更新設定

更新

最新バージョン:

バージョン	変更点
100.01	
100.02	

戻る 実行

自動更新	ファームウェアの自動更新の有効/無効を選択します。
時刻	自動更新の時刻を設定します。

更新通知設定

自動更新設定

自動更新	☒ 有効 ☐ 無効
時刻	3 時

適用

更新通知	ファームウェアの更新通知の有効/無効を選択します。
時刻	更新通知の時刻を設定します。

初期化

初期化

注意

- ・システム初期化を実行すると、全ての設定、及び内蔵HDDの全てのデータが消去されます。
- ・内蔵HDDの完全消去を行う前にチェックをつけてシステム初期化を実行すると、内蔵HDDのデータ領域をゼロクリアします。完全消去には数時間かかる場合があります。

☐ 内蔵HDDの完全消去を行う。

実行

初期化については、[出荷時設定に戻す](#)をご覧ください。

サービス設定

サービス設定

使用量制限	☐ 有効 ☒ 無効
UPS警告	☐ 有効 ☒ 無効
ファームウェア自動更新	☒ 有効 ☐ 無効
ファームウェア更新通知	☒ 有効 ☐ 無効
パッケージ自動更新	☒ 有効 ☐ 無効
パッケージ更新通知	☒ 有効 ☐ 無効
SNMPトラップ	設定されていません。 設定ページへ移動。
アクセスログ	☐ 有効 ☒ 無効
Microsoftネットワーク	☒ 有効 ☐ 無効

適用

使用量制限	使用量制限の有効/無効を選びます。
UPS警告	UPS警告の有効/無効を選びます。
ファームウェア自動更新	ファームウェア自動更新の有効/無効を選びます。
ファームウェア更新通知	ファームウェア更新通知の有効/無効を選びます。
パッケージ自動更新	パッケージ自動更新の有効/無効を選びます。
パッケージ更新通知	パッケージ更新通知の有効/無効を選びます。
SNMPトラップ	SNMPトラップ設定を確認できます。
アクセスログ	アクセスログの有効/無効を選びます。
Microsoftネットワーク	Microsoftネットワークの有効/無効を選びます。

プリンターバッファークリア

プリンター

プリンターバッファークリアしますか？

実行

プリンターバッファークリア	プリンターバッファークリアします。
---------------	-------------------

かんたん設定

1. 本製品の名前を設定

かんたん設定

本製品の情報を設定します。
「LAN DISKの名前」は「パソコン」などから本製品にアクセスする際に利用します。重複しない名前を設定してください。
「LAN DISKの説明」は本製品を識別するためのメモです。
「LAN DISKの設置場所」は設置場所に関するメモです。

LAN DISKの名前	landisk-
LAN DISKの説明	HDL-AA series
LAN DISKの設置場所	

進む

2. 本製品のIPアドレスを設定

かんたん設定

本製品の LAN1 の IPv4 アドレスを設定します。
DHCP で IPv4 アドレスを設定できない場合は、手動で設定してください。
LAN2 の IPv4 アドレスおよび全ての IPv6 アドレスの設定は変更されません。

IPアドレス設定方式	☒ 自動で取得する(DHCP) ☐ 手動で設定する
IPアドレス	192.168.31.245
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.31.1
DNSサーバー	192.168.31.1

戻る

進む

3. 本製品の日付時刻を設定

かんたん設定

日付と時刻を設定します。

時間設定	☐ 手動 ☒ サーバーと同期
NTPサーバー	ntp.nict.jp
同期タイミング	☒ 起動時 ☐ 毎日

戻る

進む

4. 共有へのアクセス権を設定

かんたん設定

共有のアクセス設定を行います。
全てのユーザーにアクセスを許可する場合は「全員共有」を選択してください。
管理者ユーザー(admin)のみにアクセスを許可する場合は「管理者共有」を選択してください。

disk1	アクセス設定	変更しない
usb1	アクセス設定	変更しない
usb2	アクセス設定	変更しない

戻る

確認

5. 変更内容を確認

かんたん設定

下記のように設定を行います。
内容をご確認の上、「適用」ボタンを押してください。

LAN DISKの名前	landisk-
LAN DISKの説明	HDL-AA series
LAN DISKの設置場所	
LAN	自動で取得する(DHCP)
時刻同期設定	同期: 有効 タイムサーバー: ntp.nict.jp 同期タイミング: 起動時
共有設定	disk1: 変更しない usb1: 変更しない usb2: 変更しない

戻る

適用

ウイルス対策

機能追加（パッケージ）した場合のみ表示されます。
パッケージについては、[パッケージを追加/ 削除する](#)をご覧ください。

弊社サポートQ&A

最新のQ&Aについては、I-O DATAサポートページの[よくあるお問い合わせ](#)をご確認ください。

ランプが赤点滅または赤点灯している

- ◆ LANケーブルやUSBケーブルが正しくつながっていることをご確認ください。
- ◆ インターネットに接続できていないことが考えられます。
[ネットワークを設定する](#)を参考に、設定をご確認ください。
 - ※ インターネットに接続できない環境でご利用の場合は、本製品の[ファームウェア](#)、[パッケージ](#)の「自動更新」を〔無効〕にし、[「時刻設定」](#)を〔手動〕に設定することで、エラーは発生しなくなります。
（ファームウェア、パッケージの更新には重要な内容が含まれることがあります。定期的に弊社webページをご確認のうえ、手動で更新してください。）
- ◆ エラーが発生しました。ログを確認してください。
[システムログを確認する](#)

ランプが緑点滅している

起動中や終了中、または何らかのシステム処理が実行されています。 本製品をコンセントから抜いたりしないでください。

ファイアウォールソフトで本製品に対してアクセスを許可する場合のポート番号

137 ～ 139番、445番のポートに対して、アクセスを許可するように設定してください。
設定方法は、ファイアウォールソフトメーカーにご確認ください。
使用されるポート番号については、設定画面でご確認ください。

パソコンのIPアドレスを調べたい

Windowsの場合は、LAN DISKコネクで確認できます。LAN DISKコネクに表示される本製品のアイコンを右クリックし、[IP設定] をクリックして表示される画面でご確認ください。
また、Magical Finderで確認できます。[IP設定] をクリックして表示される画面で、[このコンピューターのIPアドレス] 欄をご確認ください。

本製品のIPアドレスを調べたい

設定画面上部の通知エリアで確認できます。
Windowsの場合は、LAN DISKコネクで確認できます。LAN DISKコネクに表示される本製品のアイコンを右クリックし、[IP設定] をクリックして表示される画面でご確認ください。
また、Magical Finderで確認できます。[IP設定] をクリックし表示される画面に表示される [IPアドレス] 欄をご確認ください。

パソコンでアクセス時

特定の共有フォルダー（disk1など）にアクセスできない

その共有フォルダーの詳細アクセス権が有効になっていることが考えられます。

[共有フォルダーを変更・削除する](#)を参考に、その共有フォルダーの「詳細アクセス権」をご確認ください。

◆【有効】の場合

「詳細アクセス権」下の「読み書きユーザー」にアクセスできないユーザーの名前が表示されているかご確認ください。

表示されていない場合は、「禁止ユーザー」からそのユーザー名を選び、[選択]して「読み書きユーザー」に移動してください。

表示されている場合は、下の「◆【無効】の場合」をご覧ください。

◆【無効】の場合

基本設定の[Microsoftネットワーク共有]にチェックを付けてください。

Windows 10/8でLAN DISKにアクセスできない

Microsoftアカウント等※1でWindows 10/8にログオンしている場合、アクセス制限をかけたフォルダーにアクセスできないことがあります

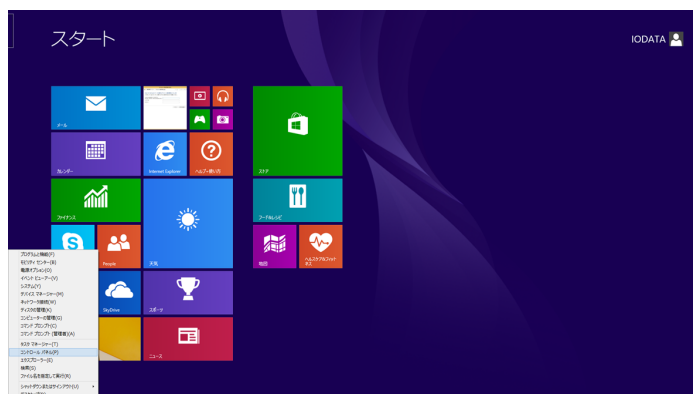
※2。このような場合は、以下の手順をお試しください。

※1「@」が含まれるアカウント。

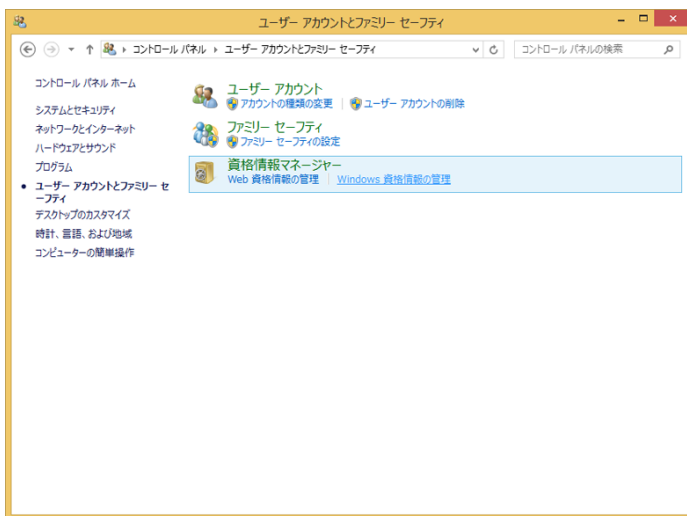
※2「@」が含まれるユーザー名をLAN DISK上で作成できないため。

ここでは、LAN DISK上で作成したユーザー（「@」が含まれない）を、Windows 10/8上に登録する手順を案内しています。あらかじめLAN DISK上で、対象のフォルダーにアクセス権を持ったユーザーをご用意ください。

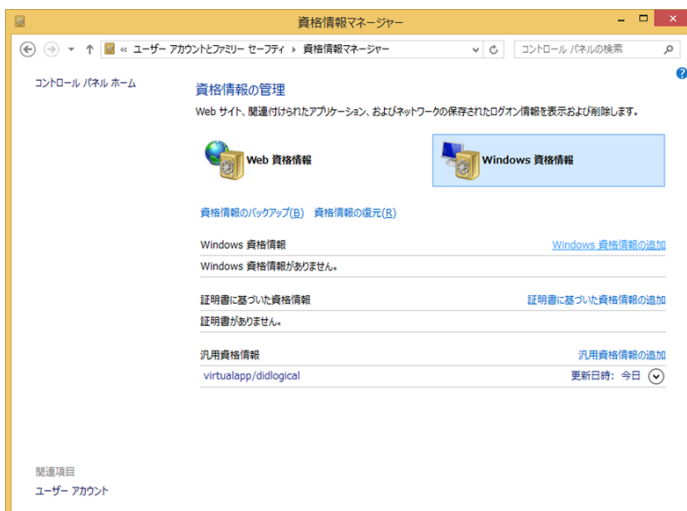
1. ① 画面左下を右クリック
- ② [コントロールパネル] をクリック



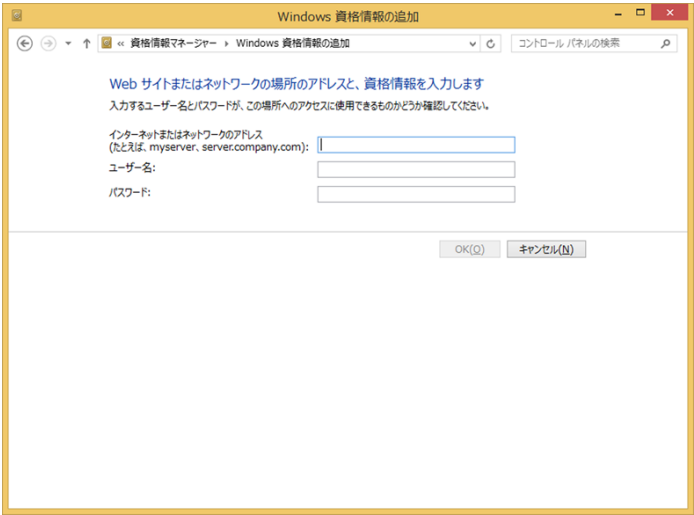
2. ① [ユーザーアカウントとファミリーセーフティ] または [ユーザーアカウント] をクリック
② [Windows資格情報の管理] をクリック



3. [Windows資格情報の追加] をクリック
※ 表示されていない時は、[Windows資格情報] をクリック



4. ① アクセス権を持ったユーザーの情報を入力
② [OK] をクリック



インターネットまたはネットワークのアドレス	LAN DISK にアクセスする際に使う「LAN DISK名」または「LAN DISKのIPアドレス」を入力します。 (例) LANDISK-123456 ※例のように「LAN DISK 名」を入力した場合、LAN DISKのフォルダーを開く際にも「LAN DISK名」を使ってください。
ユーザー名	LAN DISKに登録されている、アクセス権を持ったユーザー名を入力します。
パスワード	上記「ユーザー名」で指定したユーザーのパスワードを入力します。

これで、アクセス制限が掛かったフォルダーにアクセスできるようになります。（手順4 で設定したユーザー権限でアクセスします。）

「アクセス権限が無い」とエラーが表示された

ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示された

- ◆ Windowsの場合
Windowsにユーザー登録をします。ユーザー登録されていない場合には、本製品に登録した【ユーザー名】【パスワード】と同じユーザーアカウントを作成してください。
- ◆ macOSの場合
[macOSから共有にアクセスする](#) の操作をしてください。
その際、アクセスしたい共有フォルダーを開くことができるユーザー名をお使いください。

macOSからファイル保存できなくなった

macOSで保存したファイルをWindowsで削除すると、本製品のシステムに採用されているWindowsサービスとmacOSサービス間のファイル保存情報に不整合が生じるために起こります。
macOSのデスクトップ上にマウントした共有をゴミ箱へ捨て、再度、Finderから本製品の共有へアクセスしてください。

本製品にネットワーク経由で接続するパソコンの台数制限

制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。
推奨する同時接続台数は16台まで（ネットワークドライブの割り当ても同様）

本製品にアクセスできないパソコンがある（他のパソコンはアクセスできている場合）

他のパソコンがアクセスできている場合、本製品の動作や設定には問題はありません。再度、[共有にアクセスする](#)の手順をお試しください。

Windowsの[コンピューターの検索]で[LANDISK-xxxxxx]が見つからない

- ◆ [表示] → [最新の情報に更新] をクリックしてください。
- ◆ 接続が正しくない可能性があります。本製品の電源（ランプが緑色に点灯しているか）、LANケーブルの接続、本製品を接続したブロードバンドルーターやハブ、LANポートのランプが点灯または点滅していることをご確認ください。
- ◆ ファイアウォールソフトで、本製品のコンピューター名（初期値は「LANDISK-xxxxxx」）や本製品のIPアドレス（DHCPから自動取得）を使用できるように設定してください。（詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。）
- ◆ パソコンを再起動してお試しください。
- ◆ 本製品の電源を入れなおしてお試しください。
- ◆ LANアダプターが正常に認識されていることをご確認ください。（詳しくは、各LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。）
- ◆ 本製品に設定されているIPアドレスで検索してください。
- ◆ 本製品のIPアドレスを固定設定する場合は、お使いのネットワークに合ったIPアドレスになっているかをご確認ください。
- ◆ 本製品とパソコンのワークグループ名を一致するように設定してください。
（本製品のワークグループ名は、設定画面の[情報・ログ表示] → [ネットワーク情報] を参照）
（パソコンのワークグループ名は、下の【Windowsパソコンの「ワークグループ名」の調べかた】を参照）

Windowsパソコンの「ワークグループ名」の調べかた

Windows 10、7、Vistaの場合

1. [スタート] をクリック後、[コンピューター] を右クリックし、[プロパティ] をクリック
2. 「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。

Windows 8の場合

1. 画面の右上（下）にマウスポインターを移動し、チャームバーが表示されたら、[検索] をクリック
2. [コンピューター] を右クリックし、[プロパティ] をクリック
3. 「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。

Windows上から本製品を参照した場合に、見覚えのないフォルダーやファイルがある

- ◆ macOSでフォルダーやファイルを作成した場合は、作成したフォルダーやファイルの他に、別のフォルダーやファイルが作成されます。
（例：「.AppleDouble」「.AppleDB」など）
このフォルダーやファイルには、macOS用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。
- ◆ アプリケーションによっては、作業ファイルを作成・削除するものがあります。この場合、[TrashBox] フォルダーにフォルダーやファイルがある場合があります。

Windowsで、ユーザー権限共有フォルダーにログオンできない

本製品に登録したユーザー名、パスワードをWindowsでも作成し、Windowsへログイン時にそのユーザー名、パスワードでログインしてください。

macOSで、[LANDISK-xxxxxx] が見つからない、接続できない

- ◆ 正しく接続されていない可能性があります。本製品の電源（ランプが緑点灯）、LANケーブルの接続、本製品を接続したブロードバンドルーターやハブ、LANポートのランプが点いていることをご確認ください。
- ◆ ファイアウォールソフトで、本製品のコンピューター名（初期値は「LANDISK-xxxxxx」）や本製品のIPアドレス（DHCPから自動取得）を使用できるように設定してください。（詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。）
- ◆ 以下の操作をしてください。

① Finder の [移動] メニュー→ [サーバへ接続] をクリック

② 「サーバアドレス」に [smb://landisk-xxxxxx] を入力

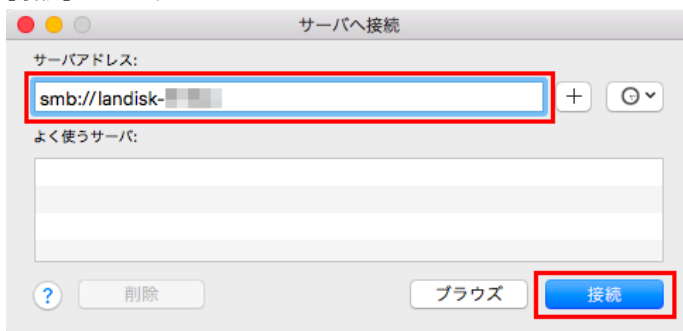
※ xxxxxx は、本製品のシールに記載のMAC アドレス下6桁です。

※ [smb://landisk-xxxxxx] で接続できなかった場合は、代わりに「smb://（本製品のIPアドレス）」と入力してください。

入力例 smb://192.168.0.200/

本製品のIPアドレスは「[Magical Finder](#)」の画面上に表示されます。

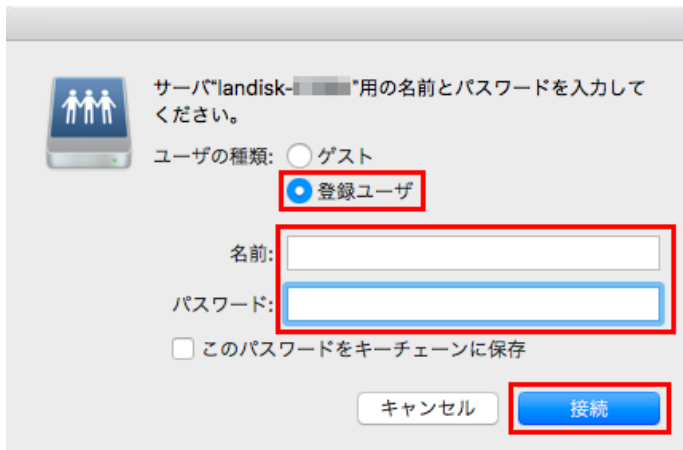
③ [接続] をクリック



④ [登録ユーザ] を選ぶ

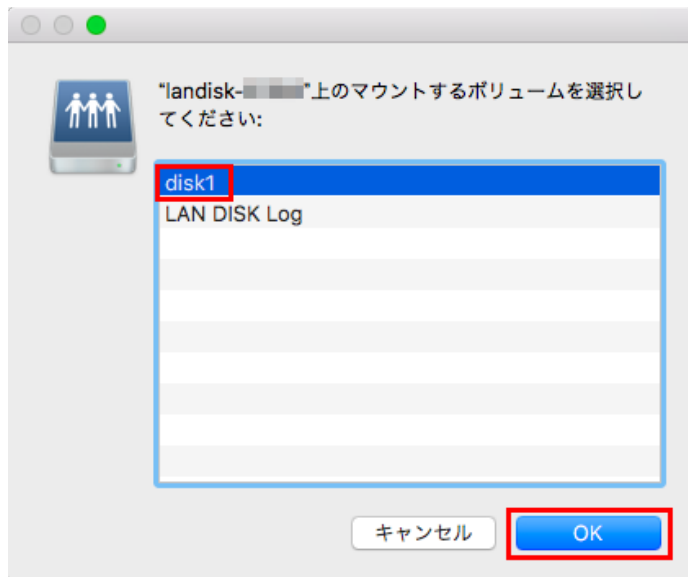
⑤ アクセスのためのユーザー名（名前）とパスワードを入力

⑥ [接続] をクリック



⑦ [disk1] を選ぶ

⑧ [OK] をクリック



macOSで「"（共有フォルダー名）"のオリジナルの項目が見つからないため、操作を完了できません。」と表示された

アクセスするユーザーを先に指定する必要があります。
[macOSから共有にアクセスする](#) の操作でアクセスしてください。

Active Directoryへの参加ができない

- ◆ 設定画面の [ネットワーク] → [LAN1] → [IPv4] （ [IPv6] ） から [DNSサーバー] を正しく設定してください。
- ◆ 設定画面の [ユーザー & グループ] → [Microsoftネットワーク設定] を正しく設定してください。
- ◆ 指定の管理者ユーザーがドメインコントローラー上でAdministrator権限を有することを確認してください。また、Active Directoryの仕様により、ドメインコントローラーのAdministratorパスワードが一度も変更されていない場合、ログオンは失敗します。Administratorパスワードを変更してから、再度設定してください。
- ◆ ドメインコントローラーの時刻設定とLAN DISKの時刻設定が5 分以上離れているとログオンは失敗します。その場合、両者の時刻設定を合わせてから再度設定してください。
- ◆ サーバーに本製品の名前と同じコンピューターがすでに登録されていた場合は、登録されているコンピューターをいったん削除してから再度設定してください。
- ◆ 設定画面の [ユーザー & グループ] → [Microsoftネットワーク設定] で、一度ワークグループモードに設定を戻してから、再度Active Directory モードに設定してください。
- ◆ 本製品を再起動してから、再度Active Directoryモードに設定してください。
- ◆ ご利用のネットワークにBDC（バックアップドメインコントローラー）がある場合、以下をご確認ください。
 - ① 設定画面の [ユーザー & グループ] → [Microsoftネットワーク設定] の参加方法の設定で、[ワークグループ] を選んで設定します。
 - ② PDC(プライマリドメインコントローラー)を再起動します。
 - ③ 本製品を再度Active Directoryモードに設定します。

ドメインモードに切り替えると共有にアクセスできなくなった

ドメインモードとワークグループモードでは、ユーザー認証の方法が異なります。そのため、ドメインモードとワークグループモードを切り替えると、共有にアクセスできなくなります。

ファイルの保存

ファイルごとに、「読み込みのみ」「読み書き可能」のように設定したい

製品の仕様上、ファイルごとのセキュリティ設定はできません。
ファイルやフォルダーに属性やセキュリティ設定はおこなわないでください。

ファイル名やフォルダー名の制限について

本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、文字制限があります。
[文字制限一覧](#)

ファイルを削除するとゴミ箱にいったん入りますか？

ご購入時にある共有フォルダー「disk」のゴミ箱機能は、無効に設定されています。[ゴミ箱機能](#)

共有フォルダーにファイルをコピーする際のサイズの制限はありますか？

制限はありません。

ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない

- 本製品が正しく接続できていない可能性があります。本製品の電源（ランプが緑点灯）、LANケーブルの接続をご確認ください。
 - 本製品とパソコンのIPアドレス設定があっていない可能性があります。本製品をパソコンと同じルーターにつなげてください。
 - セキュリティ関連のソフトウェアのファイアウォール機能により制限されている場合があります。ファイアウォール機能を本製品設定時のみ解除してください。（ファイアウォールソフトの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。）
- Windows の場合は、以下の【（参考）Windows 8 のWindows ファイアウォール機能の除外設定】をご覧ください。

（参考）Windows 8のWindowsファイアウォール機能の除外設定

1. LAN DISKコネクタをインストールする
2. [コントロールパネル] を開く
3. [Windowsファイアウォール] を検索し、[Windowsファイアウォールによるアプリケーションの許可] をクリック
4. [設定の変更]をクリック
5. 一覧から[LAN DISKコネクタ] にチェックし、[OK] をクリック

- 設定した本製品のIPアドレスが正しくないおそれがあります。RESETボタンで本製品のIPアドレスをご購入時の設定に戻してください。[出荷時設定に戻す](#)

ご購入時の設定に戻した後、本製品の設置をやり直してください。

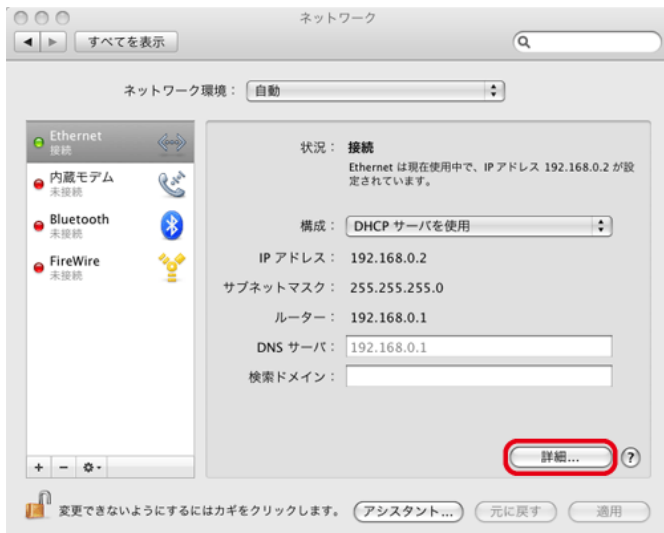
- Webブラウザがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を開くことができません。Webブラウザの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。

本製品の設定終了後は、プロキシ設定を元に戻してください。

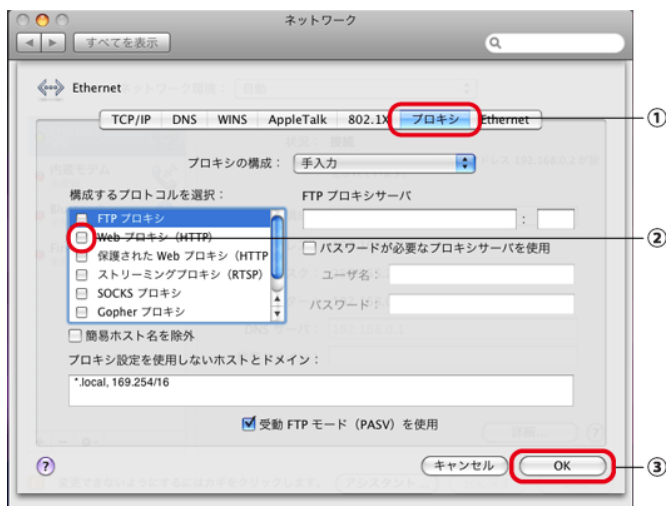
macOSの場合は、以下の【macOSでプロキシサーバー設定を無効にする】をご覧ください。

macOSでプロキシサーバー設定を無効にする

1. [アップルメニュー] → [システム環境設定] をクリック
2. [ネットワーク] を開く
3. [詳細] をクリック



4. ①[プロキシ] をクリック
- ②[Web プロキシ(HTTP)] のチェックを外す
- ③[OK] をクリック



設定画面で一部表示されない項目がある

●セキュリティ関連のソフトウェアのファイアウォール機能により制限されている場合があります。ファイアウォール機能を本製品設定時のみ解除してください。（ファイアウォールソフトの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。）

Windows の場合は、[【（参考）Windows 8 のWindowsファイアウォール機能の除外設定】](#)をご覧ください。

●本製品の設定時のみセキュリティレベルを「中」に設定してください。

設定後は、元の「高」設定に戻してください。

※Internet Explorer をご利用の場合の例

[インターネットオプション] → [セキュリティ] タブをクリックし、[このゾーンのセキュリティレベル] を「中」に合わせます。

設定画面で文字が入力できない

●入力する場所を一度クリックしてください。

●入力できる文字を確認してください。

本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。[文字制限一覧](#)

パスワード認証に失敗し設定画面を表示できない、パスワードを忘れた

設定したパスワードを入力する必要があります。再度パスワードを確認してお試しください。

パスワードを忘れてしまった場合は、[出荷時設定に戻す](#)をご覧ください、一部の設定をご購入時に戻してください。

「現在処理中です」と表示された

●他の設定処理中でないかご確認ください。

●いったん本製品の電源を入れ直して、同様の操作をしてください。

●本製品を初期化してください。[出荷時設定に戻す](#)

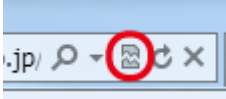
設定画面の動作が遅い

本製品の処理動作中である可能性があります。以下の処理が終了するまでお待ちください。
ファイル共有サービス転送中/再生中、データベース更新中、スピンアップ中、バックアップ中など

設定画面が崩れたり、画面内の文章が正しく表示されない

Webブラウザの互換表示をクリックしてください。

例) Internet Explorer の場合



LAN DISKコネクト、Magical Finderで本製品が検索されない

- 最新バージョンをご使用ください。
- 接続が正しくないおそれがあります。以下をご確認ください。
 - ・ 本製品の電源（ランプが緑色に点灯していること）
 - ・ 本製品をつないだブロードバンドルーターやハブなどのLAN ポートのランプが点灯または点滅していること
 - ・ LANケーブルの接続（LANケーブルを抜き差ししてみる）
- 本製品が再起動中の場合があります。

本製品が起動するまで（ランプが緑点滅から緑点灯に変わるまで）お待ちください。

- セキュリティ関連のソフトウェアのファイアウォール機能により制限されている場合があります。ファイアウォール機能を本製品設定時のみ解除してください。（ファイアウォールソフトの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。）

Windows の場合は、[【（参考）Windows 8 のWindowsファイアウォール機能の除外設定】](#)をご覧ください。

内蔵ディスク

デフラグ機能はありますか？

本製品にデフラグ機能はありません。

省電力機能が働かない

本製品のシステムが必要なファイルにアクセスする場合があります。

バックアップ時

バックアップ、データコピー後にデータを参照したい

以下のページをご覧ください。

[バックアップしたデータを確認する](#)

[データコピーしたデータを確認する](#)

バックアップ、データコピーにかかる時間について

バックアップ（データコピー）元および先が本製品上の場合、目安として1GB あたり約100 秒かかります。

バックアップ（データコピー）元または先がネットワーク上の場合、ネットワークの負荷状況などにより変動しますが、さらに多くの時間を要します。

スケジュール設定をした場合、更新されたデータのみバックアップされますか？

下の2つは、更新されたデータのみバックアップ（履歴差分バックアップ）となります。

・内蔵ディスク ・専用フォーマットされたUSB HDD

上記以外の共有は、更新されていないデータについてもバックアップ・データコピーされます。

バックアップ、データコピー先のデータを見せないようにできますか？

対象先の共有フォルダーが本製品上にある場合は、見せないようにできます。すべてのサービスを無効にした共有フォルダーをバックアップ先に指定してください。

対象先の共有フォルダーがネットワーク上の場合は、見せないようにすることはできません。

エラーのログが表示された、バックアップ（データコピー）を実行するとブザーが鳴りエラーとなる

●下の表を参考に、確認してください。

USB HDD	・USB HDDがつながっていること ・USB HDDの電源が入っていること ・元のフォルダーが読み取り可能であること ・USB HDDが書き込み可能なフォーマットでフォーマットされていること ・USB HDDのファイルが正しく読めること ・USB HDDのポート設定が共有モードに設定されていること
ネットワーク上	・本製品がネットワークに接続されていること ・ネットワーク上の装置がネットワークに接続されていること ・ユーザー名とパスワードが正しいこと ・元に設定したユーザーに読み取り権限があること ・先に設定したユーザーに書き込み権限があること

●バックアップ（データコピー）先の空きが不足しているおそれがあります。ディスクの使用量を確認してください。

空き容量が無い場合はバックアップ（データコピー）先の読み取り専用オプションを外し、不要なファイルを削除する必要があります。

●バックアップ（データコピー）元または先のファイルシステムに異常がある可能性があります。チェックディスクにより、ファイルシステムに異常がないかご確認ください。

●システムログの内容にエラー原因が表示されている場合がありますので、内容を確認してください。[システムログを確認する](#)

●[LAN DISK Log] 共有の [Backup] （ [Data Copy] ）の[ジョブ名] 以下に「(実行日時)_failed.log」というファイル名のログファイルが生成されますので、内容を確認してください。

[バックアップしたデータを確認する](#)

[データコピーしたデータを確認する](#)

ログにクイックコピーのエラーが表示された クイックコピーを実行するとブザーが鳴りエラーとなる

●コピー先がUSB HDDの場合は、接続されていること、電源が入っていること、書き込み可能なフォーマットでフォーマットされていること、ポート設定が共有モードに設定されていることをご確認ください。

●コピー先のディスクに空きが不足しているおそれがあります。ディスクの使用量をご確認ください。空き容量が不足している場合は不要なファイルを削除するなどして空きを確保する必要があります。

●システムログの内容にエラー原因が表示されている場合がありますので、内容を確認してください。[システムログを確認する](#)

[LAN DISK Log] 共有内の [QuickCopy] フォルダー以下にログファイルが生成されますので、内容を確認してください。

メール送信でエラーとなる

- 「デフォルトゲートウェイ」と「DNSサーバー」が正しく設定されていない可能性があります。

（DHCPサーバーから自動で取得していない場合）設定画面の［ネットワーク］で、「デフォルトゲートウェイ」と「DNSサーバー」をパソコンで設定されているものと同じ値に設定してください。

以下の手順で確認したIPアドレスを、設定画面の［ネットワーク］に入力してタイムサーバーとの同期とメール通知テストで送信ができるかどうかご確認ください。

【デフォルトゲートウェイとDNSサーバーの確認方法】

- ・ Windows 10、8の場合

- ①画面の左下にマウスポインターを移動し、右クリックします。
- ②メニューが表示されたら、［コマンドプロンプト］をクリックします。
- ③ ipconfig /all と入力してEnterキーを押します。
- ④ [デフォルトゲートウェイ] と「DNSサーバー」のIPアドレスを確認します。

- ・ Windows 7、Vistaの場合

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] をクリックします。
- ② ipconfig /all と入力してEnterキーを押します。
- ③ [デフォルトゲートウェイ] と「DNS サーバー」のIPアドレスを確認します。

- ・ macOS の場合

- ① [アップルメニュー] → [システム環境設定] で [ネットワーク] を開きます。
- ② [Ethernet] を選択し、表示された [ルーター] [DNS サーバ] のIPアドレスを確認します。

- メール送信時の認証が正しくないおそれがあります。

［システム］→［通知］→［メール］→［基本設定］の［認証］で、適切な認証方式を選択し設定します。

※メール送信時の認証については、プロバイダーやメール送信サーバーの管理者にご確認ください。

- プロバイダーが迷惑メール送信防止措置（OP25B）を実施しているおそれがあります。以下のいずれかの方法を試してください。

- ・プロバイダーから指定されたSMTP サーバーを［SMTP サーバー］に指定する。
- ・プロバイダー外部のSMTP サーバーを指定する場合はSMTP AUTH を使い、25 番ポートでのメール送信を行わないようにする。（SMTP サーバーがSMTP AUTH に対応している場合に限られます。）

- Active Directoryに参加している場合、ドメインコントローラーのDNSサーバーに転送設定がないとエラーとなります。Windowsのヘルプをご覧ください。DNSサーバーの転送設定を行ってください。

CSV一括登録でエラーが表示される

- 「ファイルサイズが20MB を超えています。」と表示された場合
20MB以下のファイルを使ってください。

- 「ファイルが不正です。」と表示された場合
CSV形式のファイルを使ってください。

- 「設定が不正です。」と表示された場合

設定値として以下の例のような不正な値が設定されています。CSVファイルを修正してください。

例1：文字制限に違反している。（[文字制限一覧参照](#)）

例2：使用量制限が0 ～ 99999の範囲で、かつ小数点第1位以上で設定されていない。

例3：バックアップ先に指定されている共有を非読み取り専用で設定している。

例4：USB共有フォルダーに対して使用量制限を0.1 以上で設定している。

- 「項目は対応外です。」と表示された場合

- ・ 設定項目定義をCSVファイルに記述していない場合

弊社製HDL-XRなどとの互換性のための表示です。対処の必要はありません。

- ・ 設定項目定義をCSV ファイルに記述している場合

以下の例のような対応外の項目が設定されています。

例 1：項目のスペルミスがあります。→内容が正しいかご確認ください。

例2：項目に対応するパッケージをインストールしていない。→該当のパッケージを追加してください。

- 「Name の項目が設定されていない箇所があります。」と表示された場合

対象の名前を指定してください。

例 1：名前の項目が空で設定されている。

例2：設定項目定義をCSV ファイルに記述している場合、一番目(一番左) の項目にNameを定義していない。

アフターサービス

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器の[プライバシーポリシー](#)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法

[弊社サポートページ](#)にて、以下をご確認ください

- ・「Q&A よくあるご質問」を参照
- ・最新のソフトウェアをダウンロード

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話:050-3116-3025

※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日をのぞく）

インターネット: <http://www.iodata.jp/support/>

※ご用意いただく情報▷製品情報（製品名、シリアル番号など）、PCや接続機器の情報（型番、OSなど）

修理を依頼する方法

修理については、[弊社修理ページ](#)をご覧ください（修理依頼書は[弊社修理ページ](#)から印刷できます）。

ソフトウェアライセンス情報

●本製品で使用しているソフトウェアライセンス情報
弊社Webページをご覧ください。

●機能追加（パッケージ）で使用しているソフトウェアライセンス情報
パッケージ取扱説明書をご覧ください。

●本マニュアルで使用しているソフトウェアライセンス情報

jquery.min.js

jQuery v1.10.2 | (c) 2005, 2013 jQuery Foundation, Inc. | jquery.org/license
@ sourceMappingURL=jquery.min.map

jquery.cookie.js

jQuery Cookie Plugin v1.4.1
<https://github.com/carhartl/jquery-cookie>

Copyright 2006, 2014 Klaus Hartl
Released under the MIT license

jquery.easing.1.3.js

jQuery Easing v1.3 - <http://gsgd.co.uk/sandbox/jquery/easing/>

Uses the built in easing capabilities added In jQuery 1.1
to offer multiple easing options

TERMS OF USE - jQuery Easing

Open source under the BSD License.

Copyright c 2008 George McGinley Smith
All rights reserved.

jquery.lazyload.js

Lazy Load - jQuery plugin for lazy loading images
Copyright (c) 2007-2015 Mika Tuupola

Licensed under the MIT license:
<http://www.opensource.org/licenses/mit-license.php>

Project home:
<http://www.appelsiini.net/projects/lazyload>

Version: 1.9.5

jquery.hashchange.min.js

jQuery hashchange event, v1.4, 2013-11-29
<https://github.com/georgekosmidis/jquery-hashchange>

lity.js

Copyright (c) 2015-2016 Jan Sorgalla

Permission is hereby granted, free of charge, to any person
obtaining a copy of this software and associated documentation
files (the "Software"), to deal in the Software without

restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

● Google アナリティクスを利用した計測について

本マニュアルではサービス向上のため、Google アナリティクス を使用しております。

これによって、データ収集のためにGoogleがお使いのWebブラウザにcookie を設定したり、既存のcookie を読み取ったりする場合があります。

また、本マニュアルをご利用中のWebブラウザは、Googleに特定の非個人情報（IPアドレスやアクセスしたウェブページのアドレスなど）を自動的に送信します。

弊社はそれらの情報を、マニュアル利用状況の把握やユーザー体験の改善といった用途で利用いたします。

利用者は、本マニュアルを利用することで、上記方法および目的においてGoogleと弊社がおこなう、こうしたデータ処理に対して許可を与えたものとみなします。

※ なお「cookie」は、お客様がWebブラウザを設定することで拒否できる場合があります。

その場合、本マニュアルの機能が一部利用できなくなるおそれがあります。

設定方法については、Webブラウザのヘルプなどをご覧ください。

本製品で設定できるRAIDモード

本製品は、出荷時〔拡張ボリューム〕で構成されています。
本製品の設定画面で他のRAID モードに変更できます。本製品では以下のRAID モードに設定することができます。
※ 内蔵ディスクをそれぞれ別のHDD として使うことはできません。

拡張ボリュームとは？

本製品の出荷時は、拡張ボリュームに設定されています。

- ・動作
それぞれ2台のHDDでペアを構成し、ファイル単位でミラーリングします。そのようなペアが複数集まり、1つのドライブとして構成されます。
- ・故障時
ペアがAとA'で構成されている場合、仮にAが故障した場合はA'が補完します。Aを交換すると、A'からAへ再構築処理を実施します。この時、使われている容量分のみで再構築するため、処理が速く完了します。
- ・容量
ペアの容量を全て合計したものが本製品の容量となります。なお、各ペアの容量を同一サイズにする必要はありません。
- ・構成
内蔵ディスクが2つあるため、ペアが1つできます。

▼RAIDモード

拡張ボリューム（出荷時設定）	内蔵ディスク全容量の1/2を利用できます。 再構築は使われている容量のみおこなわれます。（再構築が速い） 2台のHDDをペアにして、ファイル単位でミラーリングをおこないます。 《データの保護機能：高》 ・ RAID崩壊なし ・ ペアを構成しているHDDが同時に故障すると、当該ペア内のデータが欠損
RAID 1	内蔵ディスク全容量の1/2を利用できます。 1台のHDDに障害が発生しても復旧できます。 《データの保護機能：中》 ・ 1台故障に対応 ・ 2台故障でRAID崩壊
RAID 0	内蔵ディスクの全容量を利用できます。 アクセス速度が最も速くなります。 《データの保護機能：なし》 ・ 1台故障でRAID崩壊

現在のRAIDモードを確認する

- 1. [情報] → [ボリューム情報] をクリック
- 2. [内蔵ディスク] の [モード] を確認

ボリューム情報

ディスク一覧

内蔵ディスク

USB1

USB2

USB3

内蔵ディスク	
モード	拡張ボリューム
ステータス	正常動作

RAIDモードを変更する

ご注意

・ RAIDモードを変更するには、内蔵ディスクがすべて取り付けられている必要があります。

・ 内蔵ディスクはすべてフォーマットされます。

本製品内にデータが保存されている場合は、RAIDモード変更前にバックアップしてください。

・ RAIDモードを変更すると、RAIDの再構築処理をおこないます。

RAIDモードの変更処理は数分で終わりますが、再構築完了までに多くの時間がかかります。

・ 再構築中であっても本製品を通常通り使えますが、再構築中に以下の操作はできません。また、再構築中は、データ保護されません。

- スケジュールシャットダウン
- アクティブリペア

RAID再構築完了までの所要時間

・ 次の時間は、6TBモデルの場合です。この時間は製品のモデル容量に応じて、およそ比例した時間を必要とします。お使いのモデルにあわせ目安としてください。

変更するRAIDモード	RAID再構築完了までの時間
拡張ボリューム	約2分
RAID 1	約6時間半
RAID 0	約2分

※内蔵ディスクを暗号化していた場合や、再構築中に設定変更やファイル操作をおこなった場合は、上記以上の時間を必要とします。

※RAIDモードの所要時間は、他のRAIDモードから変更し、設定画面にてモード変更処理が完了した後、再構築が完了するまでの時間です。ただし、拡張ボリューム、RAID 0では再構築はおこなわれません。モード変更のみにかかる時間です。

1. [ボリューム] → [内蔵] → [フォーマット] をクリック

2. ①RAIDモードを選ぶ
- ② [実行] をクリック

フォーマット

ステータス	完了(成功)
RAIDモード	RAID0 ▼ 正常動作
暗号化	☒ 有効 ☐ 無効

実行

3. 「フォーマットしますか？」と表示されたら [OK] をクリック

フォーマットを開始します。しばらくお待ちください。

RAID再構築完了まで

- RAIDの再構築が完了するまでに、時間がかかる場合がありますが、本製品へのアクセスは可能です。ただし、再構築完了まではRAIDによるデータ保護はされません。
 - 現在の構築状態は、[ボリューム情報] で確認できます。内蔵ディスクの[ステータス] に「正常動作」と表示されたら再構築完了です。
- ※ 情報を更新する場合は、[ボリューム情報] を開き直してください。

本製品の容量を増やす（拡張ボリューム時）

この方法は、RAIDモードが「拡張ボリューム」（出荷時設定）の場合のものです。

（拡張ボリュームについては、[本製品で設定できるRAIDモード](#)をご覧ください。）

※他のRAIDモードでは、容量を増やすことはできません。以下を実行するとRAID崩壊のおそれがあります。

ペアになっている内蔵ディスクを順番に交換し、最終的に両方を交換することで本製品の容量を増やします。

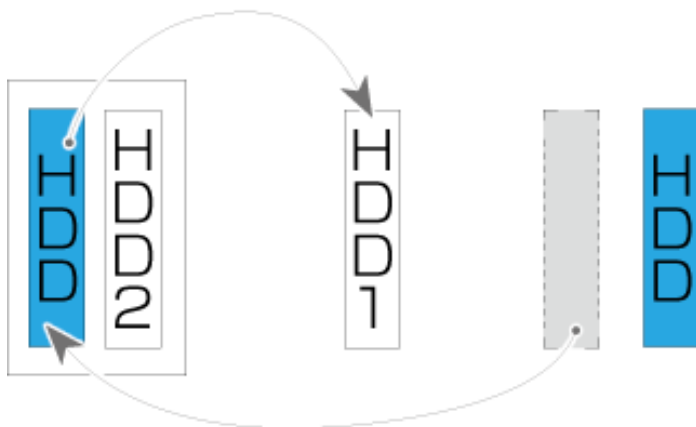
準備する

- ・現在の内蔵ディスクの容量より大きいものを2台準備します。
- ・交換する内蔵ディスクのペアを決めます。

交換方法

※ 以下は、内蔵ディスク1と2を交換する場合の例です。

1. 本製品の電源を切る
2. 交換するペアの片方を取り外し、容量の大きい内蔵ディスクを取り付ける
[内蔵ディスクの交換方法](#)



3. 本製品の電源を入れる
4. 再構築が開始されます。再構築が終わるまでお待ちください。

構築状況を確認する

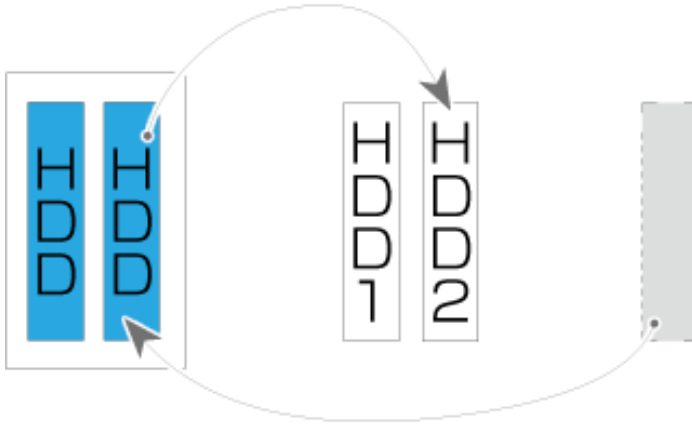
再構築の状況は［情報・ログ表示］→［ボリューム情報］で確認できます。

内蔵ディスクの［ステータス］に「正常動作」と表示されたら再構築完了です。

※ 情報を更新する場合は、再度［ボリューム情報］を開き直してください。

5. 再構築が終わったら、本製品の電源を切る

6. 交換するペアの残りを取り外し、容量の大きい内蔵ディスクを取り付ける



7. 本製品の電源を入れる

8. 再構築が開始されます。再構築が終わるまでお待ちください。

再構築が終われば、本製品の容量が増えます。

故障と思ったら…

万に備えて、定期的にバックアップしてください

RAID構成が崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。

事前にバックアップ設定をして、万が一の故障に備えてください。[本製品のバックアップ方法](#)

保守サービスのご案内

アイオー・セーフティ・サービス（ISS）は、本製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。

設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。詳しくは以下をご確認ください。

<http://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/>

状態を確認する

どのHDDが故障しているか、RAID構成は無事なのかを確認する必要があります。故障の状況を確認してください。

▶[ランプ・ブザーの状態](#)

データをできるだけ回収する

RAID崩壊などで、データが取り出せない状態になった場合は、以下をお試してください。

本製品の電源をいったん完全に切り、再び電源を入れてください。場合によっては、保存されたデータにアクセスできることがあります。

※弊社では、取り出したデータの保証はできません。

RAIDが崩壊していたら…

本製品内部のデータの一部または全部が壊れています。以下をご覧ください。

▶[RAIDが崩壊したときには](#)

故障したディスクを交換する

内蔵ディスクが故障している場合は、内蔵ディスクの交換が必要です。新しい内蔵ディスクに交換してください。

※内蔵ディスクが完全に交換されるまで、データの冗長性は低くなっているか、失われています。速やかに内蔵ディスクを交換してください。

▶[内蔵ディスクの交換方法](#)

USB HDDが故障している場合は、USB HDDの交換が必要です。故障したUSB HDDを取り外し、新しいUSB HDDをつないでください。

内蔵ディスクの交換方法

内蔵ディスク交換時のご注意

- 本製品の内蔵ディスクは、故障時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 構成が崩壊してすべてのデータを失う危険があります。
拡張ボリュームで容量を増やす際は、記載された手順にしたがってください。
[本製品の容量を増やす（拡張ボリューム時）](#)
- 内蔵ディスクの取り付け・取り外しは、必ず 1 台ずつ、以下の説明通りにおこなってください。

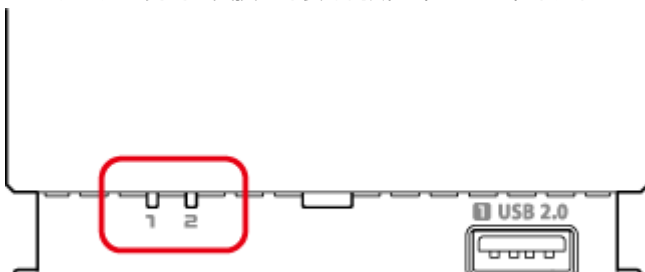
対応オプションHDD

以下の弊社Webページをご確認ください。

http://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm

内蔵ディスクを交換する

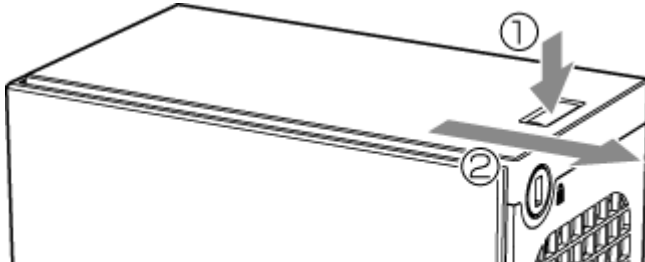
1. HDDランプを見て、交換が必要な内蔵ディスクを確認する



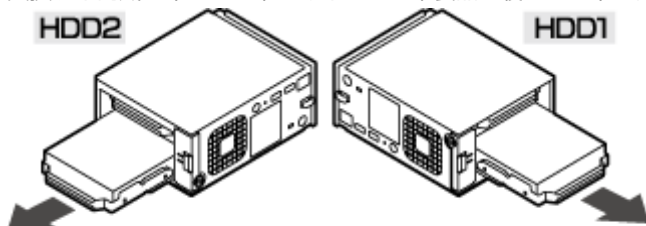
2. 本製品の電源を切り、十分に冷めるまで待つ

▶ [電源を切る](#)

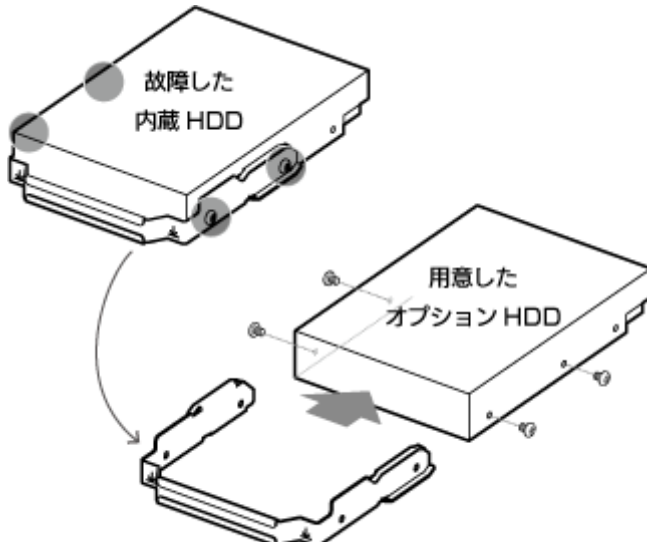
3. 本製品のフタを外す



4. 交換する内蔵ディスクが下になるように本製品を寝かせ、下の内蔵ディスクを取り出す



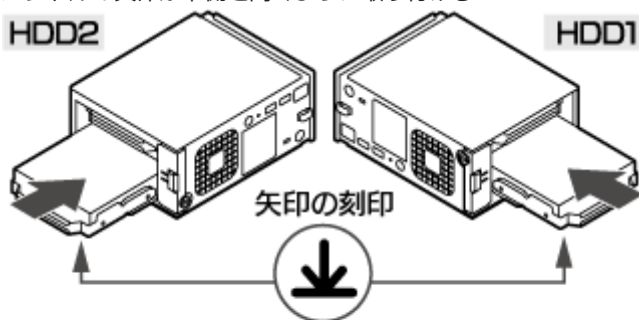
5. ネジを4か所外し、用意したオプションHDDに金具を付け替える



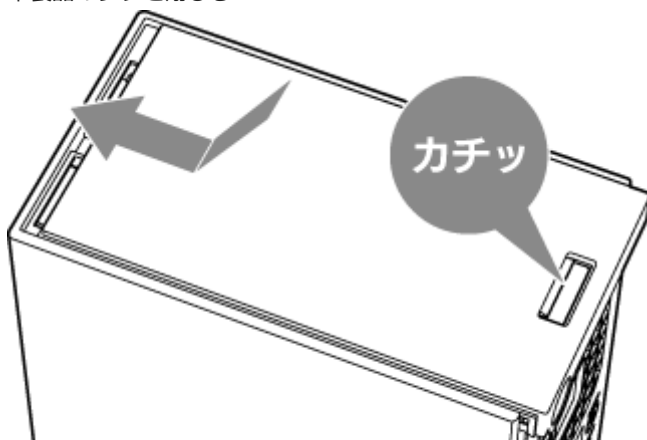
ご注意

金具をネジ留めする際は、HDDを少し浮かせるなどしてネジ穴に水平に入るようにしてください。

6. ハンドルの矢印が下側を向くように取り付ける



7. 本製品のフタを閉じる



RAIDが崩壊したときには

[RAID崩壊モード](#)

[RAID崩壊モードへの対処](#)

[RAID強制復帰](#)

[RAID再設定（再フォーマット）](#)

RAID崩壊モード

以下の「RAID崩壊モードの状態」の場合、内蔵ボリュームに異常が発生し、RAIDが崩壊した状態(RAID崩壊モード) となっています。
RAIDが崩壊した状態になった場合、内蔵ボリュームに保存されたデータの一部またはすべては失われている可能性があります。

▼RAID崩壊モードの状態

ランプやブザー	状態	補足
STATUSランプ	赤点滅	-
HDDランプ	赤点滅	故障した内蔵ディスクです。交換してください。
	赤点灯	そのまま使える内蔵ディスクです。
	消灯	使えない内蔵ディスクです。正しい内蔵ディスクを取り付けてください。
ブザー	「ピーポーピーポー」と鳴り続けている	ブザーはFUNC.ボタンを押すと停止します。

RAID崩壊モードへの対処

RAID崩壊モードとなった場合、以下の対処をおこなってください。

対処1 データをできるだけ回収する

本製品の電源をいったん完全に切り、再び電源を入れます。場合によっては、内蔵ディスクに保存されたデータにアクセスできることがあります。

※弊社では、取り出したデータの保証はできません。

データをバックアップした後は、速やかに故障した内蔵ディスクを交換してください。

再起動してもアクセスできない

RAID強制復帰を試すこともできます。ただし、データ復旧業者に依頼してもデータを回復できなくなる場合があります。

[RAID強制復帰](#)

対処2 RAID構成を正常な状態に戻す

故障した内蔵ディスクを交換した後、RAIDを再設定します。

[RAID再設定（再フォーマット）](#)

ミラーディスクがある場合

事前にミラーディスクを作成してある場合には、そのミラーディスクからシステムを復旧することができます。

[USB HDDを利用したミラーリング](#)

出荷時の状態に近づけるには

〔システム〕→〔初期化〕をクリックし、〔内蔵HDDの完全消去を行う。〕にチェックを付け、〔実行〕をクリックしてください。

RAID強制復帰

RAIDが崩壊した時点で、内蔵ディスク上に保存されたデータの一部または全部は、すでに失われています。
RAID強制復帰をすると、崩壊したRAIDの復帰処理を試みます。
成功した場合は、一部データが破損した状態で、内蔵ディスクに保存されたデータに再びアクセスできる場合があります。
※弊社では、取り出したデータの保証はできません。

データ復旧業者に依頼する場合は、この操作をしないでください

この操作をすると、データ復旧業者に依頼してもデータを回復できなくなる場合があります。データ復旧をおこなう場合は、RAID強制復帰の実行せず、データ復旧業者へご依頼ください。

1. [ボリューム] → [内蔵] → [RAID 強制復帰] をクリック
2. ①内容をよく読む
② [同意する] をチェック
③ [実行] をクリック

RAID強制復帰

ステータス	正常動作
内蔵ボリュームに保存されたデータはすでに失われています。RAID強制復帰を実行すると、崩壊した内蔵ボリュームのRAIDの復帰処理を試みます。成功した場合は、一部データが破損した状態で、内蔵ボリュームに保存されたデータに再度アクセスできる場合があります。この場合でも取り出したデータについては保証されません。失敗した場合は、データ復旧業者に依頼してもデータを回復できなくなる場合があります。できる限りデータ復旧を行う場合は、RAID強制復帰を行わず、データ復旧業者へご依頼ください。以上内容を理解の上、RAID強制復帰を実行してください。(内蔵ボリュームを暗号化していた場合はUSBハブコネクタを接続してから実行してください)	
☒ 同意する	
実行	

完了画面が表示されたら、RAID強制復帰は完了です。
正常に強制復帰できた場合は、復旧した内蔵ディスクをご確認ください。
※強制復帰できた場合でも共有フォルダーにアクセスできない場合があります。その場合、データを取り出すことはできません。

速やかに故障した内蔵ディスクを交換してください

RAID強制復帰に成功した場合でも、故障した内蔵ディスクが残っていると、再び異常およびRAID崩壊のおそれがあります。
速やかに故障した内蔵ディスクを正常なものと交換し、RAIDを再設定してください。

[RAID再設定（再フォーマット）](#)

RAID再設定（再フォーマット）

RAIDの強制復帰に失敗した場合など、正常なRAIDボリュームを構成できなくなった場合に、RAID再設定（再フォーマット）をおこなう手順について説明します。

データはすべて失われます

RAID再設定をすると、内蔵ディスクを再度作成し直します。そのため、内蔵ディスク上に作成した共有フォルダーや、共有フォルダー内のデータはすべて失われます。
※ユーザー、グループの設定をはじめとする各種設定は引き継ぐことができます。

1. 故障した内蔵ディスクをすべて正常な内蔵ディスクに交換する
2. [ボリューム] → [内蔵] → [フォーマット] をクリック

3. ① [RAIDモード] を選ぶ
② [実行] をクリック

フォーマット

ステータス	未実行
RAIDモード	拡張ボリューム ▼ 正常動作
暗号化	☐ 有効 ☒ 無効

実行

4. 「フォーマットしますか？」と表示されたら、[OK] をクリック

フォーマットを開始します。しばらくお待ちください。

ご注意

内蔵ディスク上の共有フォルダー等は削除されています。再度設定してください。

